

Panasonic®

取扱説明書 デジタルカメラ

品番 DC-G100



LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ご使用前に「安全上のご注意」(20~25 ページ) を必ずお読みください。
- ・パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします。詳しくは、449 ページをご覧ください。

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを実施しました。
・追加および変更した機能については、「ファームウェアアップデート」のページをお読みください。

クリックすると、「ファームウェアアップデート」に移動します。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。 DVQP2172ZC
<https://panasonic.jp/support/dsc/> M0620KZ2051

❖ 知りたいことの探し方

本書では、知りたいことを以下のページから探し出すことができます。

目次	→ 6
機能別目次	→ 16
各部の名前	→ 32
メニューガイド	→ 269
さくいん	→ 441

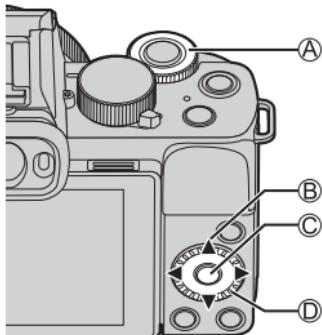
取扱説明書について

❖ 本書で使用する記号について

黒いアイコンは使用可能な条件、グレーのアイコンは使用不可能な条件を表します。



操作記号



Ⓐ		前ダイヤル
Ⓑ		カーソルボタンの上下左右
Ⓒ		[MENU/SET] ボタン
Ⓓ		コントロールダイヤル

- その他、カメラの画面に表示されるアイコンなどを説明に使用しています。
- 本書では、メニュー項目を選ぶ手順を次のように説明しています。
例) 撮影メニューの【クオリティ】を  に設定する

    を選ぶ

お知らせの分類記号

	機能を使う前にご確認いただきたいこと
	上手に使うためのヒントや撮影のポイント
	仕様に関するお知らせや補足事項
	関連の深い情報とページ番号

-
- ・本書の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。
 - ・本書では交換レンズ（H-FS12032）を用いて説明しています。

章目次

安全上のご注意	20
1. はじめに	26
2. 準備	36
3. 基本操作	51
4. 撮影モード	72
5. 画像の記録	108
6. フォーカス／ズーム	114
7. ドライブ／シャッター／手ブレ補正	144
8. 明るさ（露出）／色合い／画像効果	183
9. フラッシュ	198
10. 動画撮影	209
11. 画像の再生／編集	234
12. カメラのカスタマイズ	254
13. メニューガイド	269
14. Wi-Fi／Bluetooth	326
15. 他機器との接続	379
16. 資料	391

目次

 「安全上のご注意」を必ずお読みください (20~25 ページ)

取扱説明書について	3
章目次	5
機能別目次	16

1. はじめに 26

ご使用の前に	26
同梱品	28
使用できるレンズ	30
使用できるメモリーカード	31
各部の名前	32
カメラ	32
同梱レンズ (H-FS12032)	34
同梱トライポッドグリップ	34
モニターの表示	35

2. 準備 36

ショルダーストラップの取り付け	36
バッテリーの充電	37
バッテリーの挿入	37
充電する	39
充電についてのお知らせ	41
エコモード	42
カード (別売) の挿入	44
カードのフォーマット (初期化)	45
レンズの取り付け	46
レンズを繰り出す／収納する	
[交換レンズ (H-FS12032) 装着時]	47
モニターの向きと角度の調整	48
時計の設定 (初めて電源を入れるとき)	49

3. 基本操作	51
撮影の基本操作	51
カメラの構え方	51
写真の撮影	52
動画の撮影	53
撮影モードの選択	53
カメラの設定操作	54
表示の設定	56
ファインダーの視度の調整	56
モニターとファインダーの切り換え	57
情報表示の切り換え	58
クイックメニュー	60
モニター撮影情報画面	61
メニューの操作方法	62
設定リセット	64
タッチ撮影	65
タッチ AF／タッチシャッター	65
タッチ AE	66
トライポッドグリップで撮る	67
ハンドストラップを取り付ける	67
カメラを取り付ける	67
グリップとして使う	69
三脚として使う	71

4. 撮影モード	72
インテリジェントオートモード.....	72
インテリジェントオートメニュー	76
色合い、ボケ具合、明るさを変えて撮る.....	77
自分撮りモード.....	79
内蔵マイク設定（自分撮り）.....	81
4Kセルфиー	82
プログラム AE モード.....	86
絞り優先 AE モード	88
シャッター優先 AE モード.....	90
マニュアル露出モード.....	92
ライブビューコンポジット撮影	95
プレビューモード.....	98
シーンガイドモード.....	99
シーンガイドモードの種類.....	100
クリエイティブコントロールモード.....	103
フィルター効果の種類と調整	104
ボケ具合、明るさを変えて撮る	107
5. 画像の記録	108
画像横縦比.....	108
記録画素数.....	109
クオリティ	110
フォルダー/ファイル設定.....	111
番号リセット	113

6. フォーカス／ズーム	114
フォーカスマードの選択	114
オートフォーカスを使う	116
AF 追従感度 (写真)	118
オートフォーカスマードの選択	119
顔・瞳認識	121
追尾	123
49 点	124
カスタムマルチ (横・縦・中央)	125
カスタムマルチ (C1～C3)	127
1 点	128
ピンポイント	129
タッチでの AF エリア移動操作	131
タッチした位置にピントや明るさを合わせる	131
ファインダー表示中の AF エリア移動操作	133
マニュアルフォーカスで撮る	135
ズームを使って撮る	139
EX テレコン	140
デジタルズーム	142
パワーズームレンズ	143

7. ドライブ／シャッター／手ブレ補正	144
ドライブモードの選択	144
連写する	145
4K フォト撮影	149
4K 連写ファイルから写真を選ぶ	154
写真を選ぶときの操作	156
フォーカスセレクト撮影	161
ピント位置を選んで写真を保存する	163
フォーカス合成	165
セルフタイマー撮影	167
インターバル撮影	169
コマ撮りアニメ撮影	172
インターバル／コマ撮りアニメの動画	174
プラケット撮影	175
サイレントモード	179
シャッター方式	180
手ブレ補正	181
手ブレ補正の設定	181

8. 明るさ（露出）／色合い／画像効果	183
測光モード.....	183
露出補正.....	184
ピントや露出の固定（AF／AE ロック）.....	186
ISO 感度.....	187
ホワイトバランス（WB）.....	189
ホワイトバランスの調整.....	192
フォトスタイル.....	193
フィルター設定.....	196
フィルターなし同時記録.....	197
9. フラッシュ	198
フラッシュを使う.....	198
フラッシュの設定.....	199
フラッシュモード.....	199
フラッシュ光量調整.....	202
フラッシュシンクロ.....	203
露出補正連動.....	203
デジタル赤目補正.....	204
ワイヤレスフラッシュ撮影.....	205

10. 動画撮影	209
動画を撮る	209
動画撮影中の写真撮影	213
クリエイティブ動画モード	214
4K ライブクロップ	216
スロー&クイックモード	218
スロー&クイックメニュー	220
スナップムービー	221
動画の設定（オートフォーカス）	224
AF 連続動作	224
AF カスタム設定（動画）	225
動画の設定（明るさ）	226
輝度レベル設定	226
ISO 感度設定（動画）	226
動画の設定（音声）	227
録音レベル表示	227
録音レベル設定	227
風音キャンセラー	228
レンズ動作音低減	228
内蔵マイク設定	229
内蔵マイクアイコン表示	230
動画の設定（表示）	231
ゼブラパターン表示	231
フレーム表示	232
Log 撮影する	233

11. 画像の再生／編集	234
写真の再生.....	234
動画の再生.....	236
写真の切り出し	238
表示方法の切り換え	239
拡大表示.....	239
サムネイル表示	240
カレンダー表示	241
グループ画像.....	242
画像の消去.....	243
比較明合成.....	244
軌跡合成.....	246
クリアレタッチ	247
RAW 現像.....	249
動画分割.....	253
12. カメラのカスタマイズ	254
Fn ボタン.....	255
ダイヤル動作切換	260
クイックメニューのカスタマイズ	262
カスタムモード.....	265
マイメニュー.....	267

13. メニューガイド	269
メニュー一覧.....	270
特定の撮影モードで表示されるメニュー.....	274
インテリジェントオートメニュー.....	274
クリエイティブ動画メニュー.....	274
スロー＆クイックメニュー.....	275
シーンガイドメニュー.....	275
クリエイティブコントロールメニュー.....	275
撮影メニュー.....	276
動画メニュー.....	288
カスタムメニュー.....	292
セットアップメニュー.....	310
再生メニュー.....	317
文字の入力.....	325
14. Wi-Fi／Bluetooth	326
スマートフォンと接続する.....	328
スマートフォンでカメラを操作する.....	339
テレビに写真を映す.....	349
カメラから画像を送る.....	350
Wi-Fi接続.....	366
送信設定、画像の選択.....	372
Wi-Fi設定メニュー.....	374
15. 他機器との接続	379
テレビで見る.....	380
カメラの映像をモニターしながら撮る.....	382
パソコンに画像を取り込む.....	383
パソコンに画像をコピーする.....	383
ソフトウェアのインストール.....	385
レコーダーにダビングする.....	387
プリントする.....	388

16. 資料

391

別売品のご紹介	391
別売品を使う	393
外部フラッシュ (別売)	393
外部マイク (別売)	394
海外旅行先で使う	396
モニター／ファインダーの表示	398
撮影画面	398
再生画面	403
メッセージ表示	406
Q & A 故障かな? と思ったら	408
使用上のお願い	417
無線 LAN 使用上のお願い	424
バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間	426
カードの静止画撮影枚数、動画記録時間	427
各撮影モードで設定できる機能一覧	428
仕様	431
商標、ライセンス	438
 さくいん	441
保証とアフターサービス	448

機能別目次

電源

充電	→37
充電エラー	→40
バッテリー残量	→41
省電力機能	→42
撮影可能枚数、撮影可能時間	→426

カード

使用できるカード	→31
フォーマット	→45
フォルダー構造	→384
フォルダー/ファイル設定	→111
番号リセット	→113
文字入力	→325
撮影枚数、記録時間	→427

レンズ

取り付け	→46
------	-----

トライポッドグリップ

取り付け、使用方法	→67
-----------	-----

基本設定

時計設定	→49
ワールドタイム	→310
電子音	→312
設定リセット	→64

ファインダー

視度調整	→56
アイセンサー	→57
アイセンサーAF	→293

表示

撮影画面	→398
再生画面	→403
モニター/ファインダー	→35 →398
モニター撮影情報画面	→61 →402
表示切り換え	→58
モニター/ファインダー調整	→313
モニター輝度/ファインダー輝度	→314
表示速度	→313
水準器	→59
ガイドライン	→303
ヒストグラム	→303
白飛び確認	→304

AF/MF

フォーカスモード	→114
AF 連続動作	→224
オートフォーカスモードの選択	→119
顔・瞳認識	→121
動体追尾	→123
AF-ON	→186
AF 感度設定	→118 →288
AF/AE ロック	→186
タッチ AF	→65 →131
タッチパッド AF	→133
AF 補助光	→294
MF	→135
MF ガイド	→304
MF アシスト	→296
ピーキング	→302

手ブレ補正

手ブレ補正	→181
電子補正（動画）	→181

ドライブ

ドライブモード	→144
連写	→145
4K フォト	→149
フォーカスセレクト	→161
セルフタイマー	→167
インターバル撮影	→169
コマ撮りアニメ撮影	→172

画質

記録画素数	→109
クオリティ	→110
RAW	→110
JPEG	→110
アスペクト比	→108
ホワイトバランス	→189
フォトスタイル	→193
フィルター設定	→196
色空間	→277
ハイライトシャドウ	→278
iD レンジコントロール	→279
超解像	→279
長秒ノイズ除去	→281
シェーディング補正	→282
回折補正	→282
HDR	→285

写真撮影

自分撮りモード	→79
撮影モード	→53
クイックメニュー	→60
ズーム	→139
EX テレコン（写真）	→140
プラケット撮影	→175
タイム撮影	→94
ライブビューコンポジット	→95
撮影	
多重露出	→286
シャッター方式	→180
サイレントモード	→179
画面表示	→398

露出

露出補正	→184
プログラムシフト	→87
プレビューモード	→98
測光モード	→183
AE ロック	→186
ワンプッシュAE	→257
タッチ AE	→66
ISO 感度	→187
拡張 ISO 感度	→292

フラッシュ

フラッシュモード	→199
フラッシュ光量調整	→202
フラッシュシンクロ	→203
ワイヤレスフラッシュ設定	→205
外部フラッシュ	→393

動画撮影

動画撮影	→209
動画撮影中の写真撮影	→213
EX テレコン (動画)	→141
クリエイティブ動画モード	→214
4K ライブクロップ	→216
スロー＆クイックモード	→218
スナップムービー	→221
Log 撮影 (V-Log L)	→233

表示 (動画)

ゼブラパターン表示	→231
フレーム表示	→232

画質 (動画)

画質設定	→210
フリッカー軽減	→290

露出 (動画)

動画露出設定	→214
S&Q 画質設定	→220
輝度レベル	→226

音声

録音レベル表示	→227
録音レベル設定	→227
ミュート	→227
風音キャンセラー	→228
内蔵マイク設定 (自分撮り)	→81
内蔵マイク設定	→229
内蔵マイクアイコン表示	→230
外部マイク	→394
風音低減	→395

再生

オートレビュー	→300
写真的再生	→234
動画の再生	→236
サムネイル表示	→240
カレンダー表示	→241
拡大表示	→239
グループ画像	→242
4K フォト保存	→154
テレビで見る	→380
消去	→243
画面表示	→403
スライドショー	→318

画像編集

フォーカス合成	→165
比較明合成	→244
軌跡合成	→246
クリアレタッチ	→247
RAW 現像	→249
プロテクト	→318
レーティング	→319
トリミング	→322
リサイズ	→322
回転	→323
動画分割	→253

カスタマイズ

カスタムメニュー	→292
Fn (ファンクション) ボタン	→255
カスタム撮影モード	→265
マイメニュー	→267
クイックメニュー	→262
ダイヤル動作	→260

他機器接続

パソコン	→383
プリンター	→388
テレビ	→380
HDMI 出力	→379 →382

Wi-Fi／Bluetooth

Bluetooth 接続	→330
Wi-Fi 接続	→334 →366
Wi-Fi 設定	→374
スマートフォンアプリ 「LUMIX Sync」	→328
リモート撮影	→340
位置情報	→346
画像送信（スマートフォン）	→343 →353
画像送信（パソコン）	→356
画像送信（プリンター）	→358
画像送信（AV 機器）	→360
画像送信（Web サービス）	→362
画像送信 (クラウド同期サービス)	→364
LUMIX CLUB	→375

ソフトウェア

PHOTOfunSTUDIO	→385
SILKYPIX	→386

メンテナンス

ピクセルリフレッシュ	→316
------------	------

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険



バッテリーパック^{*}は、誤った使いかたをしない
(※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ・指定外のものは使わない
- ・分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- ・水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ・炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- ・極端に気圧が低い場所で充電・使用しない
- ・端子部（ \oplus ・ \ominus ）に金属を接触させない
- ・落下や衝撃を与えない
- ・バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠ 危険



バッテリーの充電は、本体または専用充電器を使用する
指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠ 警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する
異常があったときには、バッテリーを外す

- ・煙が出たり、異常においや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体や AC アダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ・AC アダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- ・電源プラグがすぐ抜けるよう、AC アダプターは容易に手が届く位置にある電源コンセントに接続してください。
- ・電源を切り、販売店にご相談ください。



AC アダプターは、誤った使いかたをしない
感電や、ショートによる火災の原因になります。

- ・加工しない・傷つけない
- ・熱器具に近づけない
- ・傷んだら使わない
- ・差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- ・たこ足配線や定格外（交流 100 V～240 V 以外）で使わない
- ・ぬれた手で抜き差ししない



電源プラグは、正しく扱う
感電や、ショートによる火災の原因になります。

- ・定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- ・根元まで確実に差し込む
- ・接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない



警告



指定した AC アダプター、USB 接続ケーブルを使用する

指定以外の AC アダプターや USB 接続ケーブルを使用すると発熱により、火災・感電・やけどの原因になります。



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- ・機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- ・特にお子様にはご注意ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- ・粉じんの発生する場所でも使わない



雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

接触禁止

- ・本体や AC アダプターには、金属部があります。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- ・歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する



運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。



メモリーカード、ホットシューカバーは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- ・万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



警告



ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない
誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながる
おそれがあります。



ショルダーストラップは肩に掛けて使う
けがや事故の原因になります。
・首に掛けての使用はしない



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない
本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※
の原因になります。

- ・長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
- ※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）
や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



航空機内では Bluetooth 機能を停止させる

航空機内では電源を切る*

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

- ・Bluetooth 機能は、電源を切っても機能が働く場合があります。
Bluetooth 機能を停止させるためには、次の順で選択してください。
① セットアップメニューの [Bluetooth] を選ぶ
② Bluetooth メニューから [Bluetooth] を選ぶ
③ ▲▼で [OFF] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

* やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線 LAN
機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。



**満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメー
カーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る**
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合が
あります。



**心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 以
上離す**
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合が
あります。



警告



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



トライポッドグリップ使用時はデジタルカメラを確実に取り付ける
トライポッドグリップを三脚として使用する場合、安定した状態で使用する

デジタルカメラの角度、または取り付けるレンズやアクセサリーによっては転倒や落下し、事故やけがの原因になることがあります。



注意



フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない
誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- ・乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。



フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- ・発光直後は、しばらく触らないでください。



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- ・異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- ・油煙や湯気の当たるところ
- ・湿気やほこりの多いところ

⚠ 注意



次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す

通電状態、またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ・長期間使わないとき
- ・お手入れのとき



ACアダプターの放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- ・本棚やラックの中など狭い空間に設置しない
- ・新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



トライポッドグリップ使用時は周囲や路面の状況の安全を確認する

事故やけがの原因になることがあります。



トライポッドグリップ使用時は積載質量を守る

積載質量（積載カメラ本体、レンズ、バッテリー、その他装着品の総質量）は 1.2 kg 以下です。積載質量を超えると、転倒などにより事故やけがの原因となることがあります。

三脚として使用時、積載質量を超える力を加えると破損するおそれがあります。



トライポッドグリップ使用時、次のときは指などをはさまない

けがの原因になることがあります。

- ・三脚を開閉するとき
- ・角度を調整するとき



トライポッドグリップ使用時、次のような状態で持ち運ばない

事故やけが、破損の原因になることがあります。

- ・トライポッドグリップをデジタルカメラに取り付けた状態でハンドストラップだけを持つ
- ・三脚の脚が開いた状態で脚だけを持つ

1. はじめに

ご使用の前に

❖ カメラ／レンズのファームウェアについて

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを提供する場合があります。より快適な撮影のために、カメラ／レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることをお勧めします。

- ・ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>
- ・カメラ／レンズのファームウェアのバージョンは、カメラにレンズを取り付けて、セットアップメニューの【バージョン表示】でご確認ください。
- ・本書はカメラのファームウェアバージョンが1.0の状態で説明しています。

❖ カメラの取り扱いについて

カメラを使用するときは、落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えたりしないようお気をつけください。カメラおよびレンズの故障や破損の原因になります。

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

モニターに砂やほこり、液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

- タッチ操作が誤認識される場合があります。

カメラのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器のため、故障や破損の原因になります。

❖ 露付き（レンズやファインダー、モニターが曇るとき）

- ・露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になるためお気をつけください。
- ・露付きが起こった場合は、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、自然に曇りが取れます。

❖ 必ず事前に試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に記録されていることを確かめてください。

❖ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で記録されなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。

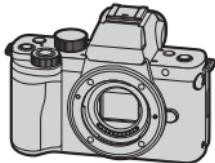
❖ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影、録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合があるためお気をつけください。

❖ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください（→417）

同梱品

デジタルカメラボディ
(本書ではカメラと表記します)



付属品をご確認ください。
(品番は 2020 年 6 月現在)

バッテリーパック
DMW-BLG10
(本書ではバッテリーと表記します)
・充電してからお使いください。



AC アダプター
SAE0012B
・充電に使用します。



USB 接続ケーブル
K1HY04YY0106



ショルダーストラップ
VFC5167



ホットシューカバー^{※1}
SKF0106K



□ 交換レンズ^{※1}

H-FS12032

(本書ではレンズと
表記します)□ レンズキャップ^{※2}

SYF0059



※1 お買い上げ時はカメラに装着されています。

※2 お買い上げ時はレンズに装着されています。

DC-G100V（レンズ/トライポッドグリップキット商品）に同梱

□ トライポッドグリップ

DMW-SHGR1



□ ハンドストラップ

（トライポッドグリップ用）

DVPW1022Z



・メモリーカードは別売です。

- ・包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- ・小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ・別売品のバッテリーチャージャー（DMW-BTC12）を使ってバッテリーを充電することもできます。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

使用できるレンズ

本機は、マイクロフォーサーズ™システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ（マイクロフォーサーズマウント）を使うことができます。

また、マウントアダプターを装着することで以下のマウント規格のレンズを使用することができます。



レンズ	マウントアダプター
フォーサーズ™ マウント規格レンズ	マウントアダプター（別売：DMW-MA1）
ライカ M マウント規格レンズ	M マウントアダプター（別売：DMW-MA2M）
ライカ R マウント規格レンズ	R マウントアダプター（別売：DMW-MA3R）

❖ レンズと機能について

お使いのレンズによっては、オートフォーカス、手ブレ補正、ズーム操作など一部の機能が使用できない、または動作が異なる場合があります。

- 本機に対応するレンズの最新情報は、カタログ／ホームページをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>



- マイクロフォーサーズのレンズに表記されている焦点距離は、35 mm フィルムカメラで換算すると 2 倍に相当します。（50 mm レンズを使用した場合は、35 mm 換算で 100 mm レンズ相当になります）

使用できるメモリーカード

本機は、以下のメモリーカードを使用できます。

- ・本書では、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードの総称をカードと表記します。

SD メモリーカード (512 MB~2 GB)	
SDHC メモリーカード (4 GB~32 GB)	<ul style="list-style-type: none">・本機は UHS-I UHS Speed Class 3 規格の SDHC／SDXC メモリーカードに対応しています。・左記の当社製カードで動作確認済みです。
SDXC メモリーカード (48 GB~128 GB)	

以下の機能を使う場合は、対応した SD スピードクラス、UHS スピードクラス、Video スピードクラスのカードを使用してください。

- ・スピードクラスとは、連続的な書き込みのために必要な最低速度を保証するための規格です。

機能	画質設定	スピードクラス	表示の例
動画撮影	FHD／HD	Class 4 以上	CLASS④ ④
	4K	UHS Speed Class 3 Video Speed Class 30 以上	U3 V30
4K フォト／ フォーカス セレクト	－		



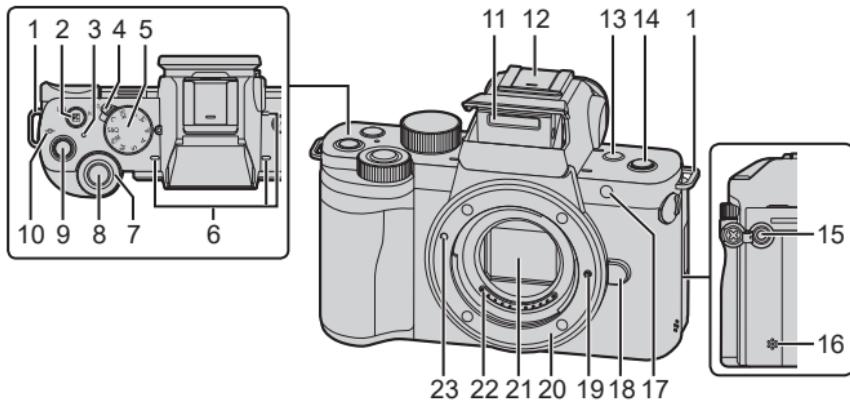
- ・カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去を禁止できます。
- ・電磁波、静電気、カメラやカードの故障により、カードに記録されたデータが破損することがあります。大切なデータはバックアップを取ることをお勧めします。



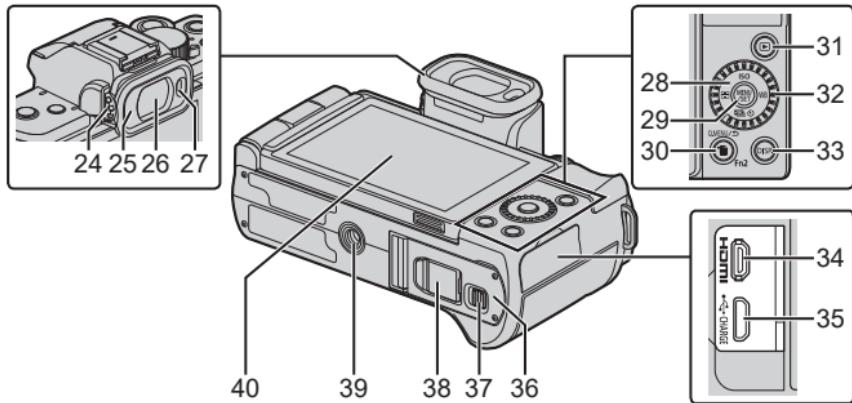
書き込み禁止
スイッチ

各部の名前

カメラ



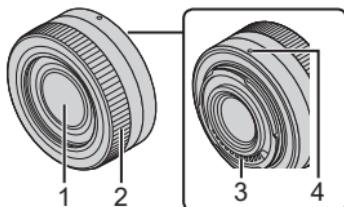
1	ショルダーストラップ取り付け部 (→36)	11	フラッシュ発光部 (→51、198)
2	[] (露出補正)ボタン (→184) / Fn ボタン (Fn1) (→255)	12	ホットシュー (ホットシューカバー) (→393)
3	充電ランプ (→40) / WIRELESS 接続ランプ (→312、326)	13	[LVF] ボタン (→57) / Fn ボタン (Fn3) (→255)
4	電源スイッチ (→49)	14	[] (スマートフォン転送) ボタン (→355) / Fn ボタン (Fn4) (→255)
5	モードダイヤル (→53)	15	[MIC] 端子 (→394)
6	ステレオマイク (→227) ・マイクを指で塞がないでください。音声が記録されにくくなります。	16	スピーカー (→312)
7	前ダイヤル (→54)	17	セルフタイマーランプ (→167) / AF 補助光ランプ (→294)
8	シャッター ボタン (→52)	18	レンズ取り外しボタン (→47)
9	動画記録ボタン (→53、209)	19	レンズロックピン
10	[] (撮影距離基準マーク) (→138)	20	マウント
		21	センサー
		22	接点
		23	レンズ取り付けマーク (→46)



24	視度調整ダイヤル (→56)	33	[DISP.] ボタン (→58)
25	アイカップ (→418)	34	[HDMI] 端子 (→379)
26	ファインダー (→57、398)	35	[USB/CHARGE] 端子 (→39、379)
27	アイセンサー (→57)	36	カード/バッテリー扉 (→37、44)
28	カーソルボタン (→55) [ISO] (ISO 感度) (▲) (→187) [WB] (ホワイトバランス) (►) (→189) [4K] (ドライブモード) (▼) (→144) [■] (オートフォーカスモード) (◀) (→119)	37	開閉レバー (→37、44) DC カプラー扉 (→391) • AC アダプターを使用するときは、当社製の AC アダプター (別売: DMW-AC10) と DC カプラー (別売: DMW-DCC11) を使用してください。
29	[MENU/SET] ボタン (→55、62)	38	三脚取り付け部 (→67、422) • ねじの長さが 5.5 mm 以上の三脚を取り付けると、しっかり固定できない場合や、カメラを傷つける場合があります。
30	[■] (消去) ボタン (→243) / [Q.MENU] ボタン (→60) / [◀] (戻る) ボタン (→63) / Fn ボタン (Fn2) (→255)	39	モニター (→35、398) / タッチパネル (→55)
31	[□] (再生) ボタン (→234)	40	
32	コントロールダイヤル (→54)		

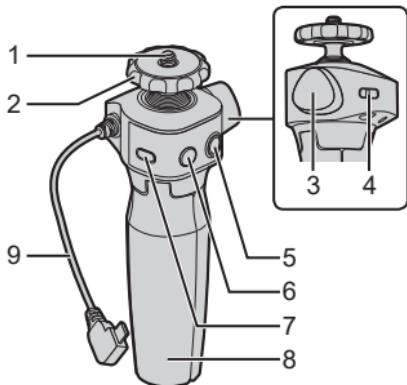
→ • [Fn5] ~ [Fn9] ボタンを使う (タッチアイコン) (→259)

同梱レンズ (H-FS12032)



- | | |
|---|------------------|
| 1 | レンズ面 |
| 2 | ズームリング (→139) |
| 3 | 接点 |
| 4 | レンズ取り付けマーク (→46) |

同梱トライポッドグリップ



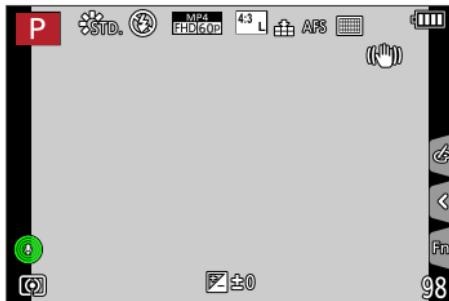
- | | |
|---|---------------|
| 1 | カメラねじ |
| 2 | カメラ台 |
| 3 | 締め付けつまみ |
| 4 | ハンドストラップ取り付け部 |
| 5 | 動画記録ボタン |
| 6 | シャッターボタン |
| 7 | スリープボタン |
| 8 | グリップ部 |
| 9 | 接続ケーブル |

- ・カメラの取り付け方と操作方法は 67 ページをお読みください。

モニターの表示

お買い上げ時、モニターには以下のアイコンが表示されます。

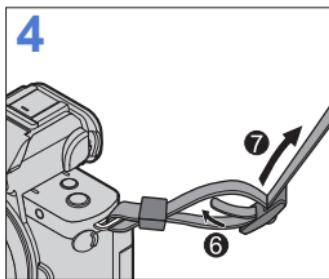
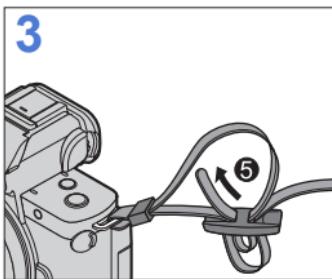
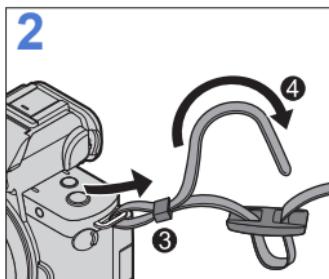
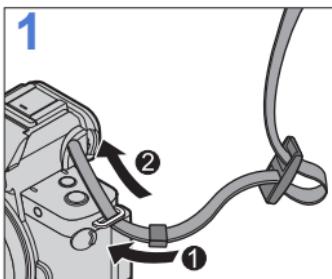
- ・アイコンについて詳しくは、[398](#) ページをお読みください。



2. 準備

ショルダーストラップの取り付け

落下防止のため、以下の手順でショルダーストラップを取り付けてください。



- ・ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認してください。
- ・反対側も、同じ手順で取り付けてください。

バッテリーの充電

本機にバッテリーを入れて充電してください。

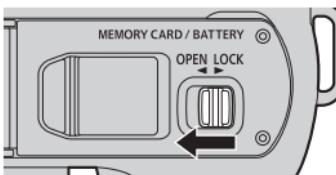
- ・本機で使うことができるバッテリーは DMW-BLG10 です。
(2020 年 6 月現在)



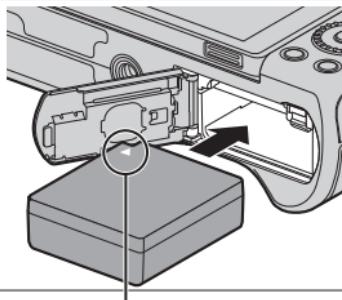
- ・お買い上げ時、バッテリーは充電されていないため、充電してからお使いください。
- ・電源スイッチが [OFF] になっていることをご確認ください。

バッテリーの挿入

1

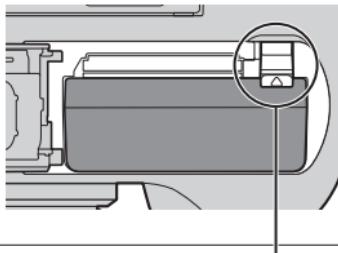


2



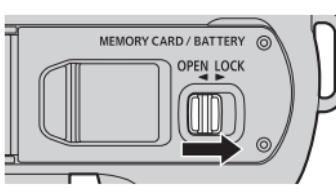
バッテリーの向きを確認してください。

3



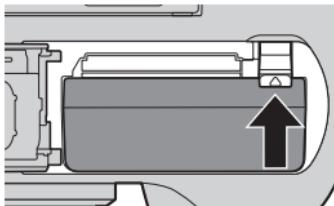
バッテリーにレバーがかかるっていることを確認してください。

4



❖ バッテリーの取り出し

レバーを矢印の方向に押してください。



- ・ 使用後は、バッテリーを取り出してください。(カメラ内に挿入したまま長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- ・ バッテリーの取り出しは、電源を切り、画面のLUMIX表示が消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)
- ・ 使用後や充電中、充電直後のバッテリーは、温かくなります。また使用中はカメラも温かくなりますが、異常ではありません。
- ・ バッテリーを取り出すときに、バッテリーが飛び出すためお気をつけください。

充電する

充電時間

約 190 分

- ・カメラ本体と付属の AC アダプターを使用。
- ・充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温／低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。



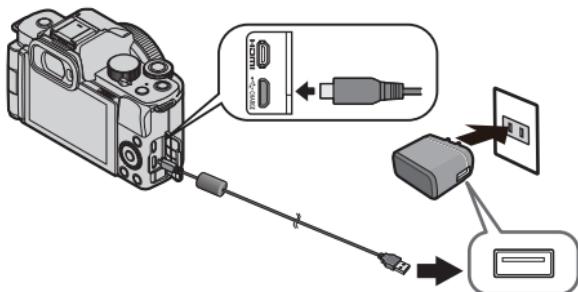
- ・充電には本機の付属品をお使いください。

1 電源スイッチを [OFF] にする

- ・電源スイッチが [ON] になっているときは、充電できません。

2 カメラにバッテリーを入れる

3 カメラの [USB/CHARGE] 端子と AC アダプターを USB 接続ケーブルでつなぐ

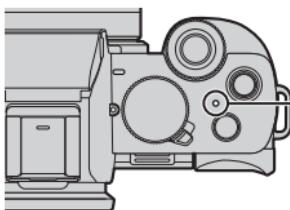


- ・プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)

4 AC アダプターを電源コンセントに差し込む

- ・充電ランプが赤色点灯し、充電が始まります。(→40)

❖ 充電ランプ表示



充電ランプ (赤色)

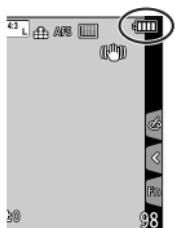
点灯：充電中
消灯：充電終了
点滅：充電エラー



- USB 機器（パソコンなど）とカメラを USB 接続ケーブルでつないでも充電できます。この場合、充電時間が長くなる場合があります。
 - AC アダプター（別売：DMW-AC9）でも、本機にバッテリーを入れて充電できます。
 - バッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC12）でも充電できます。
- 【】
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使用しないでください。故障の原因になります。
 - 付属の AC アダプターまたは当社製 AC アダプター（別売：DMW-AC9）以外は使用しないでください。故障の原因になります。
 - 充電完了後は、電源との接続を解除してください。
 - 充電ランプが点滅しているときは、充電できていません。
 - バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が 10 ℃～30 ℃のところで再度充電してください。
 - バッテリーの端子部が汚れています。バッテリーを取り出して汚れを乾いた布でふき取ってください。
 - 電源スイッチを [OFF] にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

充電についてのお知らせ

❖ バッテリー残量の表示



	75% 以上
	74%~50%
	49%~25%
	24% 以下
	残量不足 • バッテリーを充電または交換してください。

- 表示される残量は目安です。周囲の環境や使用条件によって異なります。



- パナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めします。純正品以外のバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。純正品以外のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、弊社では、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- AC アダプターおよび USB 接続ケーブルは、他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- USB 延長ケーブルや、USB 変換アダプターは使用しないでください。
- AC アダプターは海外でも使用できます。（→396）
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。電源プラグを接続し直してください。
- キーボードやプリンターの USB 端子や USB ハブには接続しないでください。
- 接続したパソコンが休止状態になると、充電が中止されることがあります。

エコモード

一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ（省電力）状態にしたり、ファインダー／モニターを消灯したりする機能です。バッテリーの消費を抑えます。

 →  → [エコモード] を選ぶ

スリープモード	スリープするまでの時間を設定します。				
スリープモード（Wi-Fi）	Wi-Fi 切断後、15 分でスリープするように設定します。				
LVF/モニター自動 OFF	ファインダー／モニターを消灯する時間を設定します。 (電源は切れません)				
	ファインダー／モニター自動切換で、撮影画面をモニターに表示しているときにスリープします。				
省電力ファインダー撮影	<table border="1"> <tr> <td>時間</td><td>スリープするまでの時間を設定します。</td></tr> <tr> <td>画面</td><td> スリープが働く画面を設定します。 [モニター撮影情報画面のみ] : モニター撮影情報画面（→58）を表示しているときだけスリープします。 [ライブビュー画面すべて] : 撮影待機中はどの画面のときでもスリープします。 </td></tr> </table>	時間	スリープするまでの時間を設定します。	画面	スリープが働く画面を設定します。 [モニター撮影情報画面のみ] : モニター撮影情報画面（→58）を表示しているときだけスリープします。 [ライブビュー画面すべて] : 撮影待機中はどの画面のときでもスリープします。
時間	スリープするまでの時間を設定します。				
画面	スリープが働く画面を設定します。 [モニター撮影情報画面のみ] : モニター撮影情報画面（→58）を表示しているときだけスリープします。 [ライブビュー画面すべて] : 撮影待機中はどの画面のときでもスリープします。				

- ・ [スリープモード]、[スリープモード（Wi-Fi）]、[省電力ファインダー撮影] から復帰する場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
 - シャッターボタンを半押しする
 - 電源スイッチを [OFF] にしてから、もう一度 [ON] にする
- ・ [LVF/モニター自動 OFF] から復帰するには、いずれかのボタンを押してください。



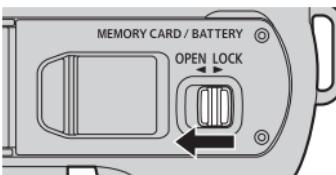
- 以下の場合、[エコモード] が働きません。
 - パソコンまたはプリンター接続中
 - 動画撮影／動画再生中
 - [4K ブリ連写] 撮影時
 - インターバル撮影中
 - コマ撮りアニメ撮影時（[自動撮影] 設定時）
 - [ライブビュー・コンポジット撮影] 時
 - [多重露出] 撮影時
 - スライドショー中
 - HDMI 出力して撮影中

カード（別売）の挿入

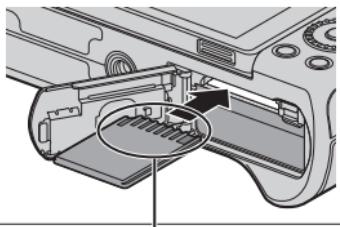


- 電源スイッチが【OFF】になっていることをご確認ください。

1

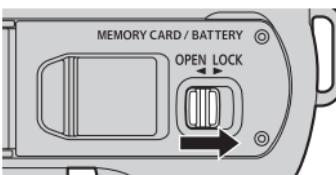


2



端子部には触れない

3



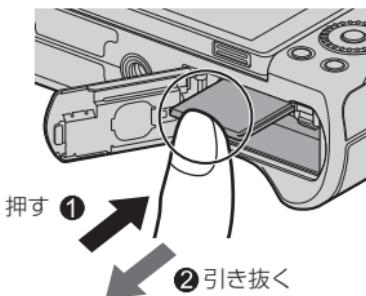
❖ カードアクセス中の表示

カードアクセス中は、アクセス表示が赤く表示されます。



❖ カードの取り出し

「カチッ」と音がするまでカードを押して、まっすぐ引き抜いてください。



押す ①
②引き抜く



- ・カードの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）
- ・カメラ使用後はカードが熱くなっていることがあります。
- ・アクセス中は、以下の操作をしないでください。カメラが正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります。
 - 電源を切る
 - バッテリーやカード、AC アダプター（別売：DMW-AC10）、DC カプラ（別売：DMW-DCC11）を取り外す
 - カメラに振動や衝撃、静電気を与える

カードのフォーマット（初期化）

使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。



- ・フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。必要なデータのバックアップを取ってからフォーマットしてください。

→ [] → [フォーマット] を選ぶ



- ・フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- ・フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- ・パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。

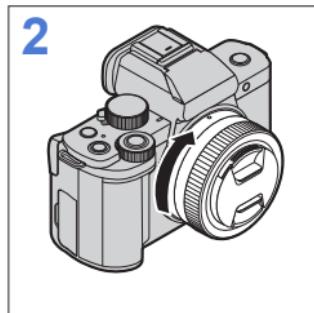
レンズの取り付け



- ・電源スイッチが【OFF】になっていることをご確認ください。
- ・レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみやほこりが付着した場合は、418 ページをお読みください。
- ・レンズの交換は、レンズキャップを取り付けた状態で行ってください。
- ・交換レンズ（H-FS12032）をお使いのときは、レンズの取り付け・取り外しは、レンズ鏡筒が収納されている状態で行ってください。

レンズとカメラのレンズ取り付けマークを合わせ、
レンズを矢印の方向に回す

- ・「カチッ」と音がするまで回して取り付けてください。



- ・レンズはまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込んで取り付けようすると、カメラのレンズ取り付け部を傷つけるおそれがあります。

❖ レンズの取り外し

- ① 電源スイッチを [OFF] にする
- ② レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



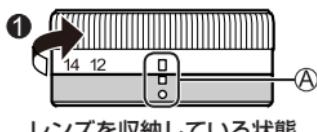
- ・レンズを取り外したあとは、ボディキャップとレンズリアキャップを必ず取り付けてください。

レンズを繰り出す／収納する [交換レンズ (H-FS12032) 装着時]

❖ レンズを繰り出す

レンズ収納状態 (Ⓐ の位置) から、ズームリングを矢印 ① の方向に回し、Ⓑ の位置 [12 mm~32 mm] にしてレンズを繰り出す。

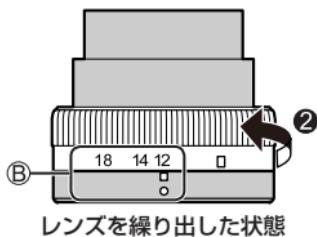
- ・レンズ鏡筒が収納されている状態では、撮影することができません。



❖ レンズを収納する

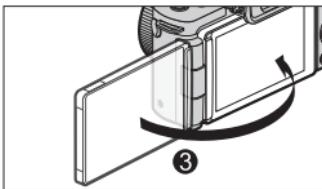
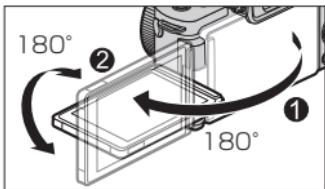
Ⓑ の位置 [12 mm~32 mm] から、ズームリングを矢印 ② の方向に回し、Ⓐ の位置に合わせて収納する。

- ・12 mm の位置でクリック感がありますが、そのまま Ⓐ の位置まで回してください。
- ・撮影しないときは収納状態にしておくことをお勧めします。



モニターの向きと角度の調整

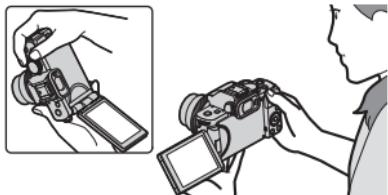
お買い上げ時はモニターが収納状態になっています。モニタ一面を表にしてからご使用ください。



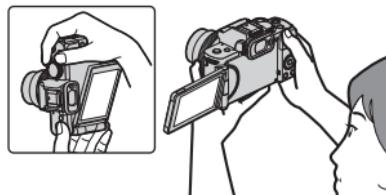
❖ フリーアングル撮影

レンズ側に 180°、手前に 90° 回転できます。

ローアングル撮影

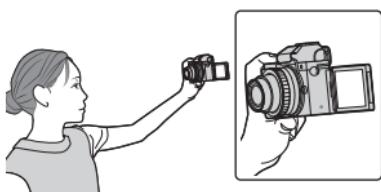


ハイアングル撮影



❖ 自分撮り

モニターを図のように回転させると自分撮りモードになります。(→79)



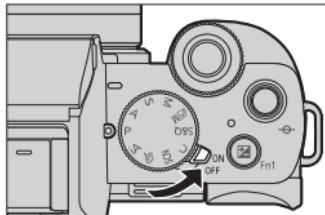
- ・調整できる角度は目安です。
- ・モニターに無理な力を加えないでください。傷や故障の原因になります。
- ・カメラを使用しないときは、モニタ一面を内側にして閉じてください。

時計の設定（初めて電源を入れるとき）

初めて電源を入れたときは、時計とホームエリアを設定する画面が表示されます。

正しい日時の情報を記録するために、ご使用の前に必ず設定してください。

1 電源スイッチを【ON】にする



2 【時計を設定してください】と表示されたら、を押す

3 時計を設定する

- ◀▶：項目（年・月・日・時・分）の選択
- ▲▼：数値の選択

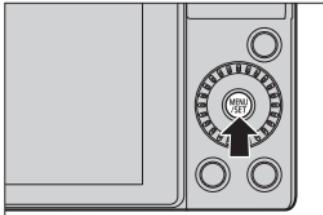
表示順・時刻表示形式を設定する場合

- ◀▶で【表示形式】を選び、を押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。



4 決定する

-  を押します。



5 [時計を設定しました] と表示されたら、 を押す

6 [ホームエリアを設定してください] と表示されたら、 を押す

7 ホームエリアを設定する

-  でホームエリアを選び、 を押します。
- ・ サマータイム  (夏時間) を採用している場合は、▲を押してください。 (時計が 1 時間進みます) 元に戻すには、もう一度 ▲ を押してください。
- 交換レンズ (H-FS12032) 装着時、レンズ鏡筒が収納されている状態ではメッセージが表示され、撮影することができません。ズームリングを回し、レンズを繰り出してください。 (→47)



GMT (グリニッジ標準時) との時差



- ・ 時計の設定をしないでカメラを使うと、2020 年 1 月 1 日 0:00:00 に設定されます。
- ・ バッテリーなしでも約 3 か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーをカメラに約 24 時間入れたままにしてください)
- 〔時計設定〕はメニューから変更できます：
-  → 〔時計設定〕

3. 基本操作

撮影の基本操作

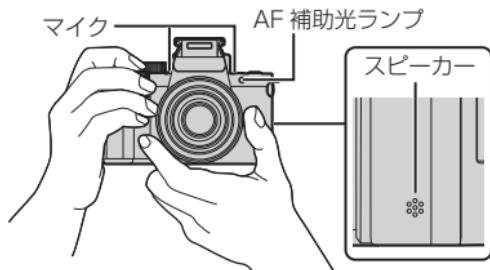
カメラの構え方

手ブレを抑えるため、カメラが動かないように構えて撮影します。

両手でカメラを持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- 右手でカメラのグリップを包むようにしっかりと持ってください。
- 左手でレンズを下から支えてください。

- ・ フラッシュ発光部や AF 補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。



❖ 縦位置検出機能

縦に構えて撮影したことを検出する機能です。初期設定では、写真を自動で縦向きにして再生します。([→323](#))

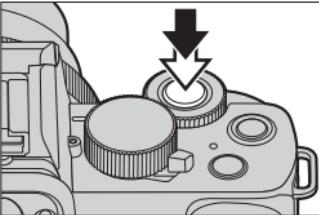


- ・ カメラを大きく上や下に向けると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- ・ 以下の機能を使用して撮影した画像は、サムネイル表示のみ縦向きに再生します。
 - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト]

写真の撮影

1 ピントを合わせる

- シャッター ボタンを半押し（軽く押す）します。

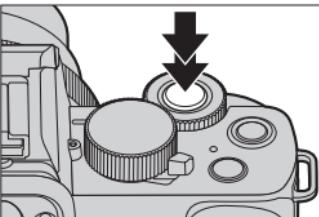


- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。（フラッシュ発光時を除き、適正な露出が得られないときは、赤く点滅します）
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。（ピントが合わないときは点滅します）



2 撮影する

- シャッター ボタンを全押し（さらに押し込む）します。



カスタムメニュー（モニター/表示）の【オートレビュー】を設定すると、撮影した写真を自動で表示できます。写真を表示する時間もお好みで変更できます。（→300）



初期設定では、ピントが合うまで撮影できません。

カスタムメニュー（フォーカス/レリーズ）の【フォーカス/レリーズ優先】を【バランス】または【レリーズ】にすると、ピントが合っていなくても撮影できます。（→295）

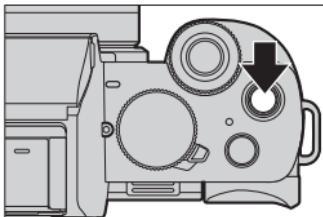
動画の撮影

1 撮影を開始する

- 動画記録ボタンを押します。
- 動画記録ボタンを押したあと、すぐに離してください。

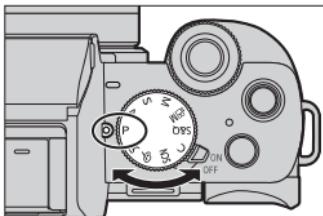
2 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタンを押します。



撮影モードの選択

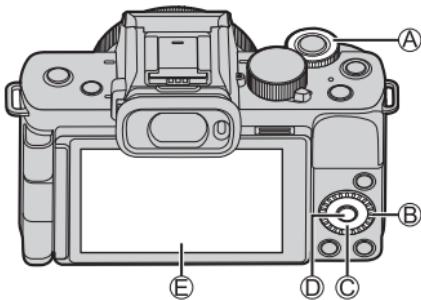
モードダイヤルを回す



iA	インテリジェントオートモード (→72)
	インテリジェントオートプラスモード (→74)
P	プログラム AE モード (→86)
A	絞り優先 AE モード (→88)
S	シャッター優先 AE モード (→90)
M	マニュアル露出モード (→92)
	クリエイティブ動画モード (→214)
S&Q	スロー＆クイックモード (→218)
C	カスタムモード (→265)
SCN	シーンガイドモード (→99)
	クリエイティブコントロールモード (→103)

カメラの設定操作

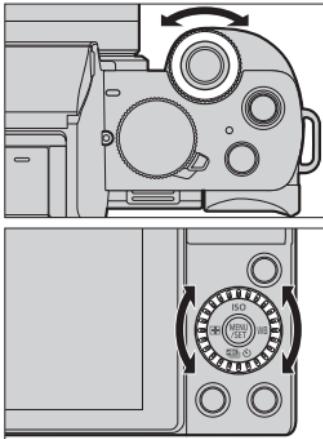
カメラの設定を変更するときは、以下の操作部を使って操作します。



- | | |
|---|----------------------|
| Ⓐ | 前ダイヤル (→54) |
| Ⓑ | コントロールダイヤル (→54) |
| Ⓒ | カーソルボタン (→55) |
| Ⓓ | [MENU/SET] ボタン (→55) |
| Ⓔ | タッチパネル (→55) |

❖ 前ダイヤル (▲) / コントロールダイヤル (◎)

回す：項目や数値を選択します。

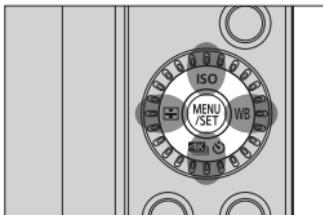


❖ カーソルボタン (▲▼◀▶)

押す：項目や数値を選択します。

❖ [MENU/SET] ボタン (MENU/SET)

押す：設定内容を決定します。



❖ タッチパネル

画面に表示されるアイコンやスライドバー、メニューなどを指で触れて操作できます。

Ⓐ タッチする

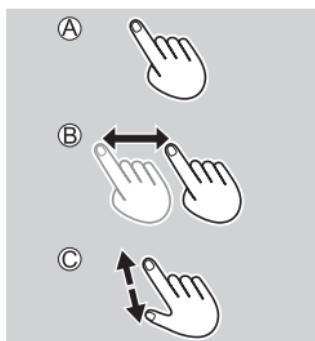
タッチパネルに触れて離す動作です。

Ⓑ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま指を動かす動作です。

Ⓒ ピンチする（広げる・縮める）

タッチパネルを2本の指で触れたまま、広げる（ピンチアウト）動作と縮める（ピンチイン）動作です。



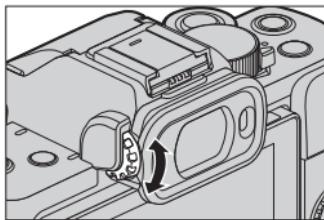
- 市販のモニター保護シートを使う場合は、その注意書きに従ってください。（モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性を損なう場合があります）
- タッチ操作を無効にできます：
[?] → [?] → [タッチ設定] (→299)

表示の設定

ファインダーの視度の調整

ファインダーをのぞきながら、
視度調整ダイヤルを回す

- ・ ファインダー内の文字がはっきり見えるまで
調整してください。

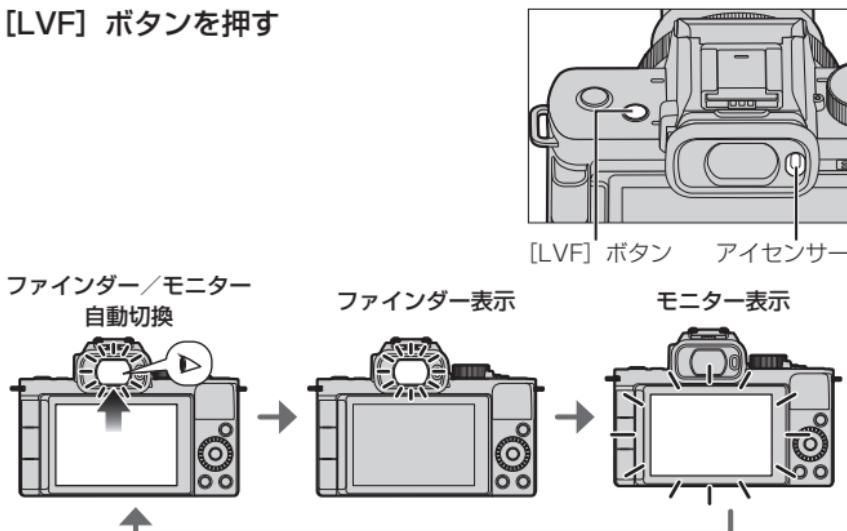


モニターとファインダーの切り換え

初期設定では、ファインダー／モニター自動切換が設定されています。ファインダーをのぞくとアイセンサーが働き、モニター表示からファインダー表示に切り換わります。

[LVF] ボタンで、ファインダー表示またはモニター表示に切り換えることができます。

[LVF] ボタンを押す



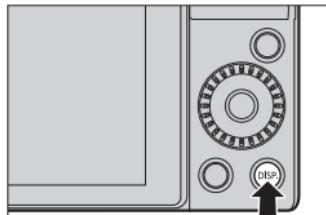
- 💡 • ファインダー使用時、[LVF 表示速度] を [ECO 30fps] に設定すると、バッテリーの消耗を抑え、使用時間が長くなります。
- 💡 • 自分撮りモード時は、自動的にモニター表示に切り換わり、[LVF] ボタンとアイセンサーが無効になります。
- 💡 • 眼鏡の形状やカメラの構え方、接眼部付近への強い光により、アイセンサーが正しく働かない場合があります。
- 💡 • 動画再生中やスライドショー中は、ファインダー／モニター自動切換が働きません。
- ➔ • ファインダーをのぞいたときにピントを合わせます：
[FOCUS] ➔ [FOCUS] ➔ [アイセンサーAF] (→293)
- ➔ • アイセンサーの感度を変更できます：
[FOCUS] ➔ [アイセンサー] (→314)

情報表示の切り替え

ファインダー／モニターの表示方法を切り換えることができます。

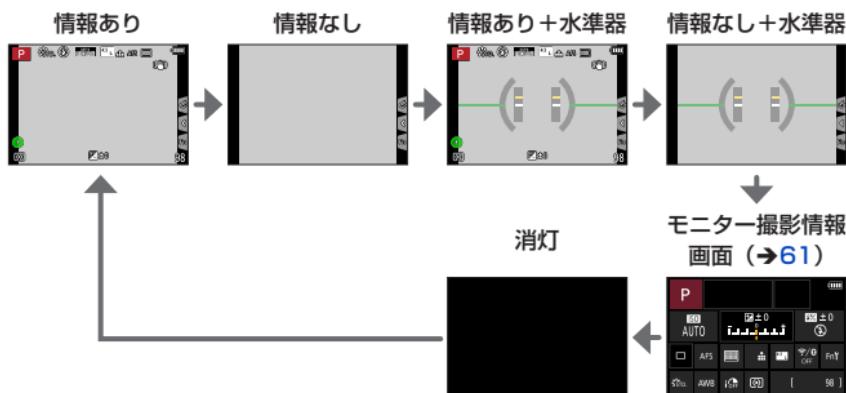
[DISP.] ボタンを押す

- 情報表示が切り換わります。

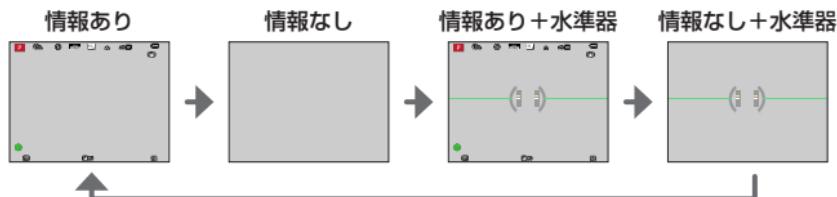


❖ 撮影画面

モニター



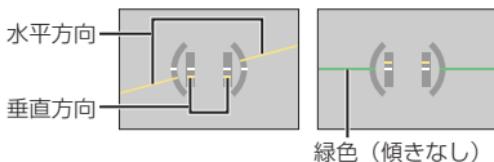
ファインダー



- • ファインダー／モニターの表示方法を切り換えることができます：
 [C-Fn] → [i] → [LVF/モニター表示設定] (→305)

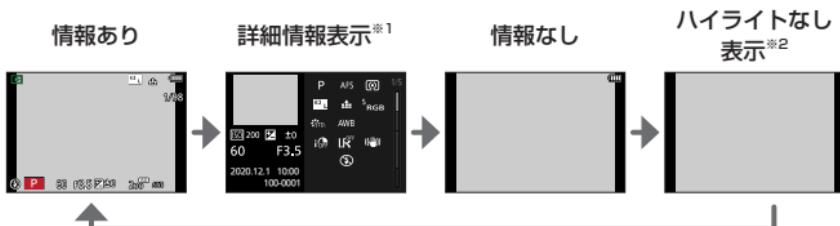
水準器を使う

黄色い線が現在の傾き具合を表しています。白い線に合わせるように本機の傾きを補正してください。



- ・傾きが補正された状態でも、±1°程度の誤差が生じことがあります。
- ・カメラを大きく上や下に向けると、水準器が正しく表示できないことがあります。
- ・セットアップメニューの【水準器調整】で、水準器の調整や、調整値のリセットができます。（→316）

❖ 再生画面



※1 ▲▼を押すと、表示内容が切り換わります。（→405）

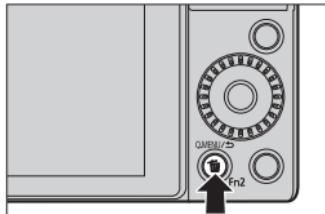
※2 カスタムメニュー（モニター/表示）の【ハイライト表示】を【ON】にすると表示される、ハイライト表示のない画面です。この画面以外では、白飛びの起こっている部分が点滅表示されます。（→304）

クイックメニュー

撮影でよく使う機能を、メニュー画面を呼び出すことなく素早く設定できるメニューです。クイックメニューの表示方法や、表示する項目の変更もできます。

1 クイックメニューを表示する

- [Q.MENU] ボタンを押します。



2 メニュー項目を選ぶ

-  を回します。
- メニュー項目をタッチしても選択できます。



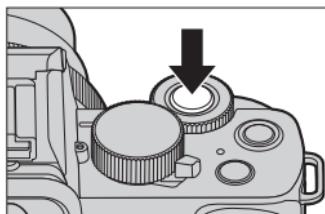
3 設定項目を選ぶ

-  を回します。
- 設定項目をタッチしても選択できます。



4 クイックメニューを終了する

- シャッター ボタンを半押しします。
- [Q.MENU] ボタンを押しても終了できます。



・撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。



・クイックメニューのカスタマイズができます：
[] → [] → [Q.MENU] → [カスタム] (→262)

モニター撮影情報画面

現在の撮影設定をモニターで確認できる画面です。

- ・カスタムメニュー（モニター/表示）の【モニター撮影情報画面】を【ON】にしているときのみ表示できます。

1 モニター撮影情報画面を表示する

- ・[DISP.] ボタンを数回押します。

2 項目をタッチする

- ・それぞれの項目の設定画面が表示されます。

3 設定を変更する

例）オートフォーカスモードの変更

- ・設定項目をタッチします。

- ・設定の変更操作については、各項目の説明ページをお読みください。

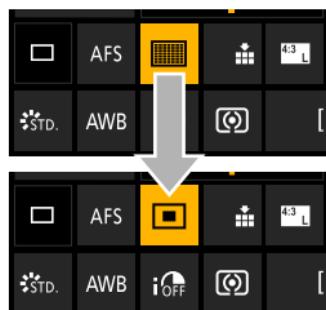


（画面に【決定】と表示される場合）

4 【決定】をタッチする

手順2～4は以下の操作でも変更できます。

- ① [Q.MENU] ボタンを押す
- ② ▲▼◀▶ を押して（または ■ を回して）、項目を選ぶ
- ③ ○ を回して、設定を変更する



- ・撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。

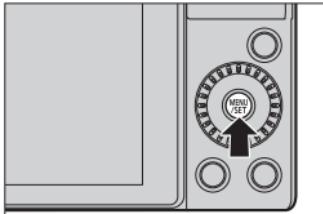
メニューの操作方法

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。

メニューの操作はカーソル、ダイヤル、タッチのどれでも可能です。

1 メニューを表示する

-  を押します。



2 メニューの種類を切り換える

- ①  を押す
- ②  で [CAMERA] などのタブを選び
・  または  を回しても、タブを選べます。
- ③  を押す



3 メニュー項目を選ぶ

-  でメニュー項目を選び、 を押します。
-  を回してメニュー項目を選び、 を押しても同じ操作ができます。



4 設定項目を選び決定する

-  で設定項目を選び、 を押します。
-  を回して設定項目を選び、 を押しても同じ操作ができます。



5 メニューを終了する

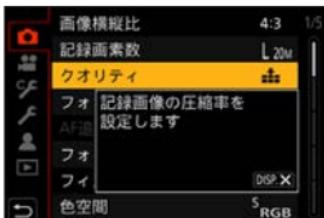
- シャッターボタンを半押しします。
- [] ボタンを数回押しても終了できます。



- メニュー項目の詳細については、メニューガイドをお読みください。
([→269](#))

❖ メニュー項目や設定内容の説明を表示する

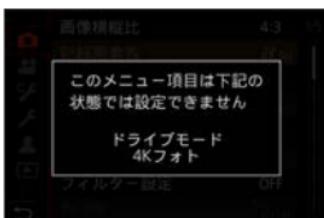
メニュー項目や設定項目を選択中に [DISP.] ボタンを押すと、メニューの説明が画面に表示されます。



❖ グレーで表示されるメニュー項目

設定できないメニュー項目はグレーで表示されます。

一部の設定状況では、グレーの項目を選択しているときに を押すと、設定できない理由が表示されます。



設定リセット

以下のそれぞれの設定を、初期設定に戻します。

- 撮影設定
- ネットワーク設定（[Wi-Fi 設定]、[Bluetooth] の設定内容）
- カスタム設定（[個人認証]、[プロフィール設定] の設定内容）
- セットアップ／カスタム設定（[Wi-Fi 設定]、[Bluetooth]、[個人認証]、[プロフィール設定] 以外）

  [設定リセット] を選ぶ

-  • セットアップ／カスタム設定をリセットした場合、以下もリセットされます。
- [ワールドタイム] の設定内容
 - [トラベル日付] の設定内容（出発日、帰着日、旅行先）
 - 再生メニューの [縦位置自動回転]、[画像表示順]、[消去確認画面] の設定内容
- フォルダーフolder番号、時計はリセットされません。

タッチ撮影

タッチ AF／タッチシャッター

REC P A S M M S&Q SCN 



タッチした位置にピントを合わせたり、シャッターを切ったりします。

1 [↖] をタッチする

2 アイコンをタッチする

- タッチするたびに、アイコンが切り換わります。



 AF タッチ AF	タッチした位置にピントを合わせます。
 タッチシャッター	タッチした位置にピントを合わせて撮影します。
 OFF	—

3 (OFF 以外に設定した場合) 被写体をタッチする



- タッチシャッターに失敗したときは、AF エリアが赤色になったあと消えます。
- AF エリアの操作方法については、122 ページの「AF エリアの移動画面での操作」をお読みください。
- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます：
[] → [] → [タッチ設定] → [タッチ AF] → [AF+AE] (→ 131)

タッチ AE

[M] [AV] [P] [A] [S] [M] [M] [S&Q] [SCN] [6]



タッチした位置に明るさを合わせます。

人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくできます。

1 [] をタッチする

2 [] をタッチする

- タッチ AE の設定画面が表示されます。

3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- 明るさを合わせる位置を中央に戻すには、[リセット] をタッチしてください。

4 [決定] をタッチする



❖ タッチ AE の解除方法

[] をタッチする



- 以下の機能を使用中は、タッチ AE は使用できません。

- 自分撮りモード
- [デジタルズーム]
- [4K ライブクロップ]



- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます（このとき、タッチ AE は使用できません）：

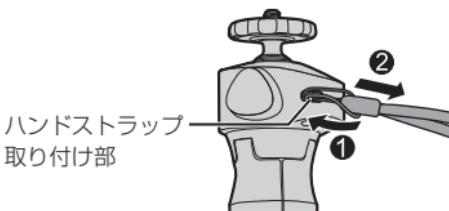
[] → [] → [タッチ設定] → [タッチ AF] → [AF+AE] (→ 131)

トライポッドグリップで撮る

歩き撮り用のグリップとして使用することができます。カメラ本体を操作することなく、写真や動画を撮影できます。三脚としても使用できます。

- トライポッドグリップは、DC-G100V の付属品、または別売品 (DMW-SHGR1) をお使いください。

ハンドストラップを取り付ける



カメラを取り付ける



- カメラやトライポッドグリップを落とさないようにしっかりと手に持って、確実に取り付けてください。

1 電源スイッチを [OFF] にする

2 カメラ台をゆるめる

- 締め付けつまみを Ⓐ の方向に回します。

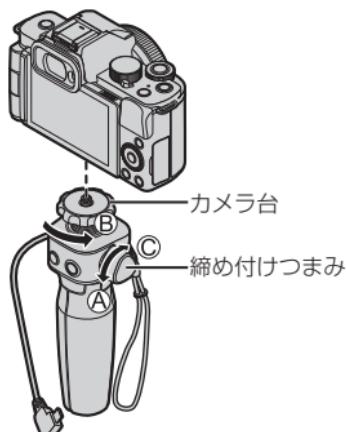
3 カメラを取り付ける

- カメラの三脚取り付け部にカメラねじを合わせ、カメラ台を Ⓑ の方向に回して、しっかりと締めます。

4 カメラ台を固定する

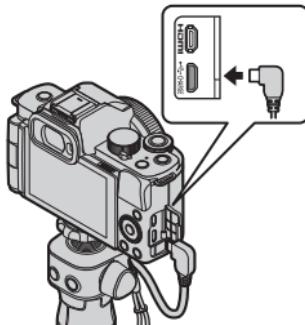
- カメラの向きを調整し、締め付けつまみを Ⓒ の方向に回して、しっかりと締めます。

- カメラ台は全方位に 40° 傾けることができます。



5 接続ケーブルでカメラとつなぐ

- カメラの [USB/CHARGE] 端子に接続ケーブルを接続します。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)



- ・ カメラにバッテリー、カードを入れてから取り付けてください。
- ・ ご使用後はカメラからトライポッドグリップを取り外してください。
- ・ 取り外しは、逆の手順で行ってください。
- ・ 指などをはさまないようお気をつけください。
- ・ 積載質量（積載カメラ本体、レンズ、バッテリー、その他装着品の総質量）は 1.2 kg 以下です。
(積載質量を超えると、けがや破損の原因となるおそれがあります)
- ・ トライポッドグリップにカメラが確実に取り付けられていることを確認してからご使用ください。

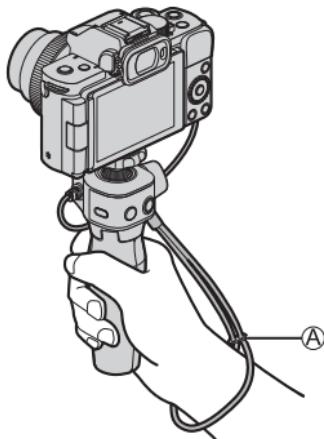
グリップとして使う

落下防止のため、必ずハンドストラップを手首に通してご使用ください。

1 トライポッドグリップの脚を閉じ、ハンドストラップを手首に通して握る

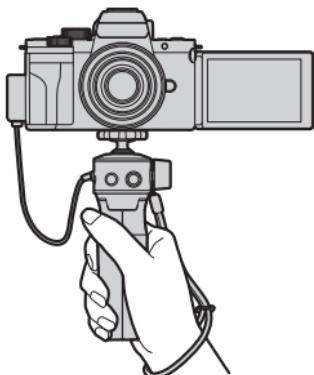
- アジャスター ④ をスライドさせて、ハンドストラップを手首に固定してください。
- カメラの向きを調整するときは、カメラを手で支えながら締め付けつまみをゆるめて向きを調整してください。調整後は、しっかりと締め直してください。

2 ボタンを押して、撮影する



❖ 自分撮りスタイル

カメラを図の向きに取り付け、モニターを回転すると、自分撮りモードで撮影できます。（→79）



- ・ カメラを取り付けた状態で、ハンドストラップだけを持って運ばないでください。

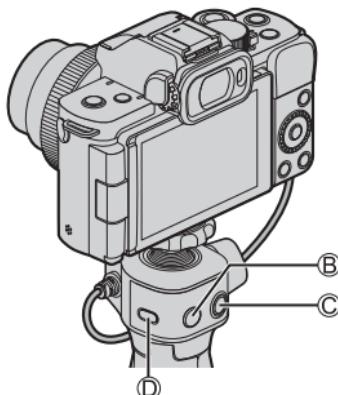
❖ 写真の撮影

① ピントを合わせる

- ・シャッターボタン (B) を半押し（軽く押す）します。

② 撮影する

- ・シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）します。



❖ 動画の撮影

① 撮影を開始する

- ・動画記録ボタン (C) を押します。
- ・動画記録ボタンを押したあと、すぐに離してください。

② 撮影を終了する

- ・もう一度、動画記録ボタンを押します。

❖ スリープボタン (D)

押す：カメラをスリープ（省電力）状態にします。

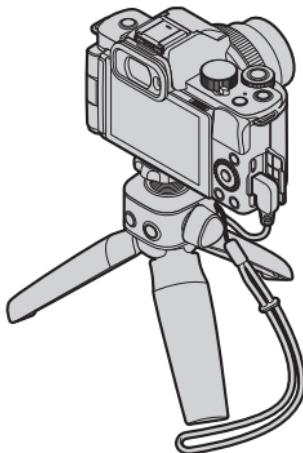
- ・[エコモード] の [スリープモード] と同じ状態です。（→42）
- ・[スリープモード] が働かない状態になっているときは、スリープモードになりません。
- ・[スリープモード] を [OFF] に設定時も有効です。
- ・スリープから復帰する場合は、シャッターボタンを半押ししてください。

三脚として使う

1 トライポッドグリップの脚を開く

2 水平で安定した場所に置く

- カメラの向きを調整するときは、カメラを手で支えながら締め付けつまみをゆるめて向きを調整してください。調整後は、しっかりと締め直してください。



- ・カメラの角度、または取り付けるレンズやアクセサリーによっては、バランスがとれず不安定になる場合があります。不安定な状態では三脚として使用しないでください。
- ・三脚の脚が開いた状態で脚だけを持って運ばないでください。

4. 撮影モード

[**AE**M] モードと [S&Q] モードについては 214、218 ページを、
[C] モードについては 265 ページをお読みください。

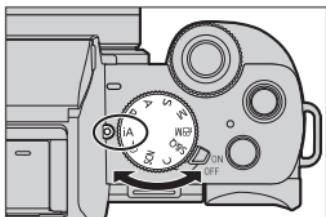
インテリジェントオートモード



[iA] モード（インテリジェントオートモード）では、被写体や撮影状況に合わせてカメラがシーンを判別し、自動で最適な撮影設定をします。

1 モードダイヤルを [iA] に合わせる

- 初期設定は、インテリジェントオートプラスモードに設定されています。



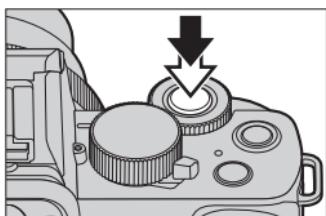
2 被写体に向けてカメラを構える

- カメラがシーンを判別すると、撮影モードのアイコンが変化します。
(自動シーン判別)



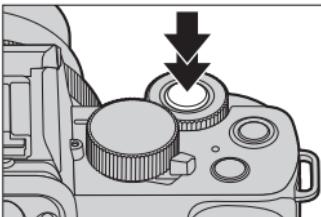
3 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)



4 撮影する

- シャッター ボタンを全押しします。



- 逆光時に被写体が暗く写らないように、逆光補正が自動で働きます。

❖ 自動シーン判別の種類

- 写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン



写真撮影時に判別されるシーン
動画撮影時に判別されるシーン

※1 フラッシュ使用時に表示されます。

※2 [i 手持ち夜景] が [ON] の場合に表示されます。

※3 個人認証機能で登録した乳幼児（3歳未満）を認識したときに表示されます。

- どのシーンにも当てはまらない場合は [iA] / [iA⁺] (標準的な設定) で撮影します。
- [個人認証] を [ON] に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[i 人物]、[i^{*} 人物]、[i⁺ 人物] の右上に [R] が表示されます。
 - 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。

❖ インテリジェントオートプラスモード

[**iA⁺**] は、[**iA**] の設定に加えて明るさや色合いなどの設定を変更できるため、より好みに合わせた撮影ができます。

(✓ : 設定可、— : 設定不可)

	iA⁺ インテリジェントオート プラスモード	iA インテリジェントオート モード
色合い設定	✓	—
明るさ（露出）設定	✓	—
ボケ味コントロール	✓	—
設定できるメニュー	多い	少ない

 → [**iA**] / [**iA⁺**] → [インテリジェントオートモード] を選ぶ

設定 : [**iA**] (インテリジェントオートモード) /
[**iA⁺**] (インテリジェントオートプラスモード)



- 撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



❖ オートフォーカスモード

オートフォーカスモードは自動で [] (顔・瞳認識) に設定されます。

- 被写体をタッチすると [] (追尾) に切り換わり、追尾 AF 機能が働きます。
 - [] ボタン (◀) を押し、シャッターボタンを半押ししても追尾 AF 機能が働きます。
- [] ボタン (◀) を押すごとに、オートフォーカスモードが切り換わります。

- • オートフォーカスモードについて詳しくは、[121](#)、[123](#) ページをお読みください。

❖ フラッシュ

フラッシュ撮影時は、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。

- ✎ • []、[] のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- スローシンクロ ([]、[]) のときは、シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにお気をつけください。
 - インテリジェントオートプラスモード時は、フラッシュを開いているときでも、撮影メニューの [フラッシュ設定] で、[フラッシュモード] を [] (発光禁止) に設定できます。

インテリジェントオートメニュー

IA FA P A S M S&Q SCN



❖ i手持ち夜景

手持ち撮影時に夜景を自動判別した場合、複数枚撮影した写真を合成して、三脚を使わずに手ブレとノイズの少ない写真を記録します。

/ [i手持ち夜景] を選ぶ

設定：[ON] / [OFF]

- ・フラッシュは (発光禁止) に固定されます。

❖ iHDR

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。

/ [iHDR] を選ぶ

設定：[ON] / [OFF]

- ・[iHDR] は必要に応じて働きます。働くときは、画面に [HDR] が表示されます。
- ・撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- ・連写合成した場合、動いている被写体の残像が記録される場合があります。



- ・画角がわずかに狭くなります。
- ・シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- ・動画撮影中の写真撮影では働きません。
- ・以下の機能を使用中は、[iHDR]、[i手持ち夜景] は使用できません。
 - 自分撮りモード
 - [連写]
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - [ブラケット]
 - [クオリティ] の [RAW^{■■}]、[RAW^{■■}]、[RAW]
 - [EX テレコン (写真)]
 - [インターバル撮影]
 - [コマ撮りアニメ] ([自動撮影] 設定時)
- ・フラッシュ発光時は、[iHDR] は働きません。

色合い、ボケ具合、明るさを変えて撮る

IA FA P A S M S&Q SCN



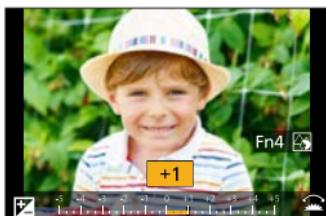
❖ 色合い

- ① [WB] ボタン (▶) を押す
- ② または を回して色合いを調整する
 - ・シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。
 - ・設定した色合いは、電源を切る、または撮影モードを変更すると、標準（中心点）に戻ります。



❖ 明るさ

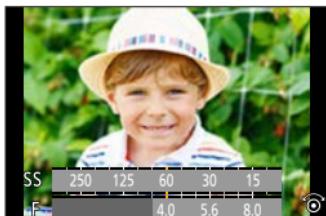
- ① [Fn4] ボタンを押す
- ② または を回して明るさを調整する
 - ・シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。



❖ 背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール）

- ① [Fn4] ボタンを押してから、
[Fn4] ボタンを押す
- ② または を回してボケ具合を設定する
 - ・シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。
 - ・オートフォーカスマードが になります。

画面をタッチすると、AF エリアの位置を設定できます。（大きさは変更できません）



❖ タッチパネルで設定を変える

- ① [A] をタッチする
- ② 設定する項目をタッチする
 - [] : 色合い
 - [] : ボケ具合
 - [] : 明るさ
- ③ スライドバーや露出メーターをドラッグして設定する
 - ・シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。



- 【】
- ・ 使用するレンズによっては、ボケ具合を操作しているときに、レンズ部から音がすることがあります。このときの音はレンズの絞り動作によるもので、異常ではありません。
 - ・ 使用するレンズによっては、動画撮影中にボケ具合を操作すると、その動作音が記録されることがあります。
-
- ・ 明るさの設定画面で ▲▼ に露出ブラケットを割り当てることができます：
[C] → [] → [露出補正画面の操作] (→297)

自分撮りモード

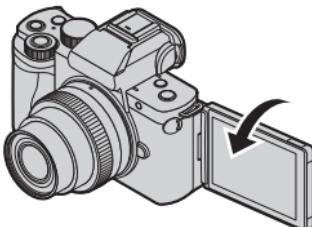
■■■■■PASM■■■■■SCN■■



画面を確認しながら簡単に自分撮りができます。

1 モニターを図のように回転する

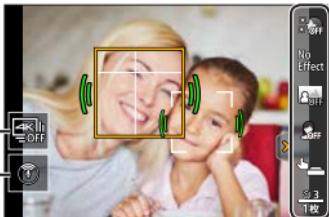
- モニターの画像が反転します。
- タッチ操作が可能な状態になります。
- [クイック AF] が [ON] になります。
(→293)



2 設定項目をタッチする

- 詳しくは、80 ページをお読みください。

4K セルфиー (→82)
内蔵マイク設定 (自分撮り) (→81)



3 [終了] をタッチする

4 モニターを見ながらポーズを決める

- 顔・瞳認識機能により、顔に合わせて AF エリアが表示されます。
- 被写体の状態に応じて、カメラが自動で AF エリアの周りに収音対象者を示すマークを表示します。
(→230)
- オートフォーカスマードを [■] に設定できない撮影モードの場合は、各撮影モードの設定に従います。

5 撮影する

- 撮影の開始方法は、80 ページの [シャッター] をお読みください。
- [シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンまたは動画記録ボタンを押しても撮影を開始できます。



- 初期設定では、カウントダウン終了後に自動でピントを合わせます。
([カウントダウン後 AF] (→307))

❖ 設定項目

▶： 初期設定

 美肌効果	▶ OFF / 1~10 人物の顔を明るく、肌色を滑らかにします。
 No Effect フィルター選択	▶ No Effect (効果なし) / POP (ポップ) / RETR (レトロ) / HKEY (ハイキー) / MONO (モノクローム) / TOY (トイフォト) 自分撮りに合うフィルター効果を加えます。
 背景コントロール	▶ OFF (OFF) / ON (ぼかし) / ON (くっきり) 検出した顔の背景のぼかし具合を設定します。
 スリムモード	▶ OFF / 1~10 人物をスリムに撮影します。
 シャッター	 シャッター動作を開始する方法を設定します。  (本体シャッターのみ)：写真撮影時はシャッターボタンを、動画撮影時は動画記録ボタンを押して撮影します。  (タッチ)：タッチした位置にピントを合わせて写真を撮影します。([S&M] / [S&Q] モード時は動画を撮影します)  (フレンドリー)：2つの顔が近づいたときにシャッター動作を開始します。 • 被写体が複数人いても、顔・瞳認識の枠は2つまでです。  (フェイス)：顔を手などで隠してから再度認識させるとシャッター動作を開始します。
 カウントダウン/ 1枚 撮影枚数	OFF / 1~10 (▶ 3) 撮影するまでの秒数 ([カウントダウン]) を設定します。 ▶ 1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 連続撮影する枚数 ([撮影枚数]) を設定します。

❖ おまかせで自分撮り動画を撮る

カメラが自動で人物にピントを合わせ、人物を明るく、背景をはっきり撮影します。SNS用の自分撮り動画撮影に向いています。

モードダイヤルを以下のいずれかに合わせる

- ・[P] / [A] / [S] / [M] モード
- ・[M] モード（[動画露出設定] を [P] に設定します）
- ・[S&Q] モード（[S&Q 露出設定] を [P] に設定します）



- ・上記の撮影モード以外でも動画を撮影できますが、自動でおまかせ自分撮り動画の設定にはなりません。

内蔵マイク設定（自分撮り）



画面のアイコンをタッチして、内蔵マイク使用時の収音範囲を設定できます。

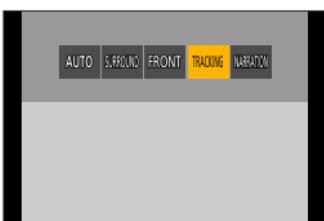
1 [] をタッチする



2 収音範囲を選び、タッチする

設定：オート／サラウンド／
フロント／トラッキング／
ナレーション

- ・詳しくは、[229](#) ページをお読みください。



- ・動画メニューの [内蔵マイク設定] とは連動しません。

4K セルфиー

REC | **P** | **S** | **M** | **SCN** | **Q**



4K フォトモードに切り換えて自分撮りをすることができます。

1 [] をタッチする



2 撮影方法を選び、タッチする

- 自分撮りモードでは、背景を広く写すことができる [4K 連写 (広角)] で撮影できます。
(自分撮りモード時以外は [4K 連写] に切り換わります)



4K 連写 (広角)

[4K 連写] より画角の広い、自分撮り用の 4K フォトモード

連写速度：15 コマ/秒

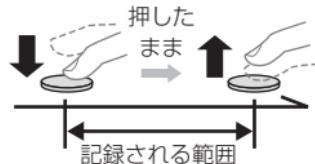
音声記録：なし

- その他の 4K フォトモードや撮影方法など (→ 150)

3 モニターを見ながらポーズを決めて、撮影する

([4K 連写 (広角)] 選択時)

- ① シャッターボタンを半押しする
- ② 撮影する間、シャッターボタンを全押ししたままにする
 - ・全押しから約 0.5 秒後に撮影が開始されますので、早めに全押ししてください。
 - ・撮影中は [AF 連続動作] は働きません。ピントは 1 コマ目に固定されます。
 - ・連写を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続ける場合があります。



- ・4K フォト撮影時、画角が狭くなります。([4K 連写(広角)] で撮影時を除く)
- ・4K フォト撮影時、[フィルター選択] のみ設定できます。



- ・[自分撮り] を [OFF] に設定すると、モニターを回転しても自分撮りモードになりません。(→307)
- ・フラッシュや AF 補助光の光を直接見ないようお気をつけください。
- ・[美肌効果] を設定時は
 - 効果の強さを [2] 以上に設定すると撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。また、撮影時は画像処理のために次の撮影まで時間がかかります。
 - 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
 - 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
- ・[背景コントロール] を [ON] (ぼかし) に設定時は、撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。また、撮影時は画像処理のために次の撮影まで時間がかかります。
- ・[背景コントロール] を [ON] (くっきり) に設定時は、周囲の明るさが不十分なところで撮影すると、意図どおりに撮影できないことがあります。
- ・以下の機能を使用中は、自分撮りモードは使用できません。
 - [インターバル撮影]
 - [コマ撮りアニメ]
 - [多重露出]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
- ・以下の機能を使用中は、[美肌効果] と、[背景コントロール] の [ON] (ぼかし) は使用できません。
 - 動画撮影
 - [SCN] モード ([水面をキラキラ撮る] [夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る] [料理をおいしそうに撮る] [スイーツをかわいく撮る])
 - [()] モード
 - マニュアルフォーカス
- ・以下の機能を使用中は、[背景コントロール] の [ON] (くっきり) は使用できません。
 - 動画撮影
 - [SCN] モード ([人物の肌をきれいに撮る]、[モノクロで撮る] 以外のモード)
 - [A] / [S] / [M] / [()] モード



- 撮影メニュー／動画メニューの【フィルター設定】が使えない設定になっているときは、自分撮りモードの【フィルター選択】も使用できません。
- 動画撮影時は、【スリムモード】と【撮影枚数】は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、【】(フレンドリー)、【】(フェイス) は使用できません。
 - 【M】／【S&Q】モード
 - オートフォーカスマードの【】に設定できない撮影モード (→120)
 - マニュアルフォーカス

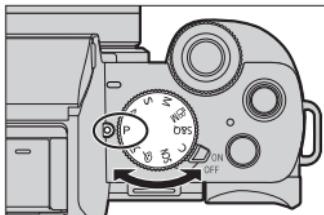
プログラム AE モード

■ iA ■ P ■ A ■ S ■ M ■ M ■ S&Q ■ SCN ■ 



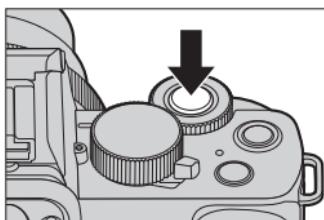
[P]モード(プログラム AE モード)では、被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動で設定します。同じ露出のままでシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフトもできます。

1 モードダイヤルを [P] に合わせる



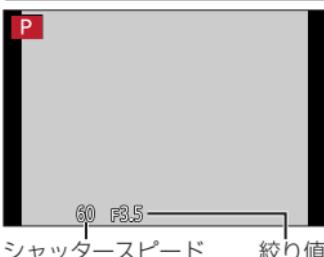
2 シャッター ボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。



- 適正な露出が得られないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

3 撮影する



❖ プログラムシフト

カメラが自動で設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。

より背景をぼかす（絞り値を小さくする）、動きを表現する（シャッタースピードを遅くする）などの設定が可能です。

① シャッター ボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。（約 10 秒間）

② 数値が表示されている間に、 または を回す

- 撮影画面にプログラムシフトアイコンが表示されます。

③ 撮影する



プログラムシフトの解除方法

- 電源スイッチを [OFF] にする
- プログラムシフトアイコンが消えるまで、 または  を回す



- 以下の機能を使用中は、プログラムシフトは使用できません。

- フラッシュ
- [4K フォト]、[フォーカスセレクト]
- ISO 感度の [ISO]



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
 →  → [ダイヤル設定] → [F/SS ダイヤルの回転] (→ 298)
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
 →  → [露出メーター] (→ 304)

絞り優先 AE モード

[A] P A S M [M] S&Q SCN []



[A] モード (絞り優先 AE モード) では、絞り値を設定して撮影できます。シャッタースピードはカメラが自動で設定します。



絞り値が小さい

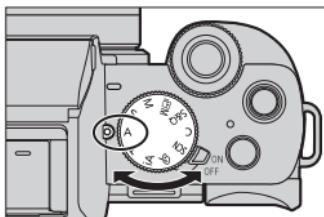
背景をぼかしやすくなります。



絞り値が大きい

背景までピントが合った状態にしやすくなります。

1 モードダイヤルを [A] に合わせる

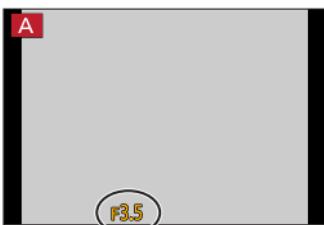
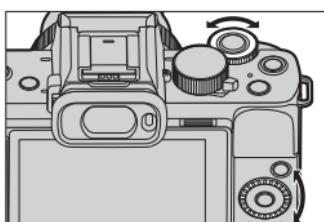


2 絞り値を設定する

- または を回します。

3 撮影する

- シャッター ボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。



❖ 被写界深度の性質

絞り値	小さい	大きい
レンズの焦点距離	望遠	広角
被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)	浅い (狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいとき	深い (広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいとき



- ・ 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。 (→98)
 - ・ 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
 - ・ 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を [A] 以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。
- ・ ダイヤルの動作をカスタマイズできます:
 [CF] → [] → [ダイヤル設定] →
 [F/SS ダイヤルの割当] / [F/SS ダイヤルの回転] (→298)
- ・ 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます:
 [CF] → [] → [露出メーター] (→304)

シャッター優先 AE モード

■ ■ ■ P A S M ■ ■ ■ S & Q SCN



[S] モード（シャッター優先 AE モード）では、シャッタースピードを設定して撮影できます。
絞り値はカメラが自動で設定します。

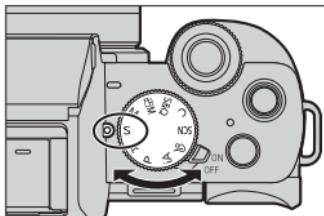


シャッタースピードが遅い
動きを表現しやすくなります。



シャッタースピードが速い
動きを止めやすくなります。

1 モードダイヤルを [S] に合わせる

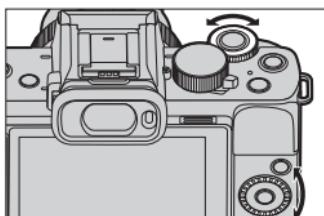


2 シャッタースピードを設定する

- または を回します。

3 撮影する

- ・ シャッターボタンを半押ししたときに、
適正な露出が得られない場合は、絞り値
とシャッタースピードの数値が赤色で点
滅します。





- ・ 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。
撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。 (→98)
- ・ 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。
再生画面で確認してください。
- ・ フラッシュ発光時は、1/50 秒より速いシャッタースピードには設定できません。 (→201)



- ・ ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
[] → [] → [ダイヤル設定] →
[F/SS ダイヤルの割当] / [F/SS ダイヤルの回転] (→298)
- ・ 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示
できます：
[] → [] → [露出メーター] (→304)

マニュアル露出モード

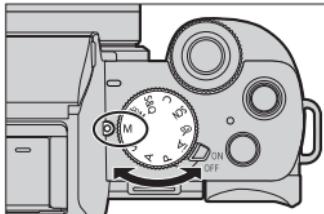
■ ■ ■ P A S M ■ ■ ■ S&Q SCN ■



【M】モード（マニュアル露出モード）では、絞り値とシャッタースピードを手動で設定して撮影します。

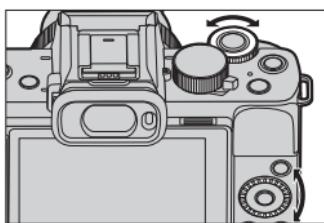
初期設定では、ISO 感度が【AUTO】に設定されています。そのため、絞り値とシャッタースピードに応じて ISO 感度が設定されます。ISO 感度【AUTO】設定時は露出補正も使用できます。

1 モードダイヤルを【M】に合わせる



2 絞り値とシャッタースピードを設定する

- を回して絞り値を、 を回してシャッタースピードを設定します。



3 撮影する

- ・シャッター ボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。



❖ 設定可能なシャッタースピード（秒）

電子先幕	T (タイム、最大約 60 秒間)、60~1/500
電子シャッター	1~1/16000

- - ・ 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。([→98](#))
 - ・ [M] モードで常にプレビューモードが働くように設定できます：
[] → [] → [常時プレビュー (M モード)] ([→300](#))
 - ・ 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
 - ・ 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を [A] 以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。
 - ・ フラッシュ発光時は、1/50 秒より速いシャッタースピードには設定できません。([→201](#))
- - ・ ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
[] → [] → [ダイヤル設定] →
[F/SS ダイヤルの割当] / [F/SS ダイヤルの回転] ([→298](#))
 - ・ 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
[] → [] → [露出メーター] ([→304](#))

❖ マニュアル露出アシスト

ISO 感度を [AUTO] 以外に設定したときに、マニュアル露出アシスト (例：) が撮影画面に表示されます。

現在の露出値と、カメラが測光した適正露出(±0)との差を確認できます。
・ マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

❖ T (タイム)

シャッタースピードを T (タイム) に設定し、シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開いた状態になります。(最大約 60 秒間)

シャッターボタンをもう一度押すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景、星空の撮影で、長時間シャッターを開いておきたいときに使います。



- タイム撮影中は、三脚やシャッターリモコン機能 (→341) の使用をお勧めします。
- タイム撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの [長秒ノイズ除去] (→281) を [ON] にして撮影することをお勧めします。
- 以下の機能を使用中は、タイムは使用できません。
 - フラッシュ撮影時 ([フラッシュシンクロ] を [後幕] に設定時)
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - [インターバル撮影]
 - [コマ撮りアニメ] ([自動撮影] 設定時)
 - [プラケット]
 - [HDR]
 - [サイレントモード]
 - 電子シャッター

ライブビューコンポジット撮影

■ ■ ■ P A S M ■ ■ ■ S&Q SCN ■ ■



設定した露光時間ごとに画像を撮影し、明るく変化した部分を合成して1枚の写真として記録します。

- 露光時間が経過ごとに合成された画像を確認できます。
- 明るい夜景を背景に、星や花火の光跡を一緒に撮影するときに便利です。



- カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 ライブビューコンポジット撮影を開始する

- **MENU** → [CAMERA] → [ライブビューコンポジット撮影] → [開始]

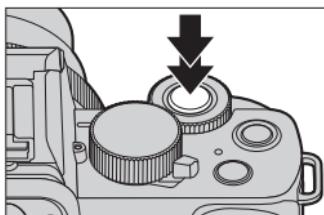


3 1コマごとの露光時間（シャッタースピード）とISO感度を設定する

- **◎** を回してシャッタースピードを設定します。（1/2秒～60秒）
- **▲** を押し、**◎** を回してISO感度を設定します。

4 ノイズリダクション用の画像を取得する

- シャッターボタンを全押しします。
- カウントダウン画面が表示されます。
終了するまでお待ちください。



5 撮影を開始する

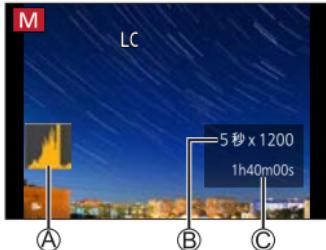
- シャッター ボタンを全押しします。
- ・手順 3 で設定した露光時間が経過するたびに画像が合成されます。

Ⓐ ヒストグラム表示

Ⓑ 1 コマごとの露光時間×合成した枚数

Ⓒ 経過時間

- ・合成した枚数が増えるたびに時間が更新されます。



6 撮影を終了する

- もう一度、シャッター ボタンを全押しします。
- ・ノイズリダクションが実行され、画像が保存されます。
- ・1 回のライブビューコンポジット撮影につき、最大 3 時間まで撮影できます。
(3 時間を超えると、自動的に撮影を終了します)

❖ シャッターディレイ

撮影開始時、シャッターを押したときの手ブレを抑えたいときは手順 2 で [シャッターディレイ] を設定できます。シャッター ボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。

設定 : [8 秒] / [4 秒] / [2 秒] / [1 秒] / [OFF]

❖ ライブビューコンポジット撮影の終了方法

撮影画面で [Fn2] ボタンを押す



- ・[長秒ノイズ除去] は [ON] に固定されます。
- ・フラッシュは 1 コマ目だけ発光します。
- ・ノイズリダクション用の画像を取得したあとは、一部のメニューが表示されません。
- ・以下の操作をすると、ノイズリダクション用の画像が破棄されます。再度手順 4 の操作をしてください。
 - [ライブコンポジット撮影] で [開始] を選ぶ
 - シャッタースピードを変更する
 - ISO 感度を変更する
 - 再生モードに切り換える
- ・シャッターボタンを全押して撮影を終了するときは、最後の画像が合成されない場合があります。
- ・以下の機能を使用中は、[ライブビューコンポジット撮影] は使用できません。
 - 自分撮りモード
 - [フィルター設定]
 - [サイレントモード]
 - [インターバル撮影]
 - [コマ撮りアニメ]
 - [HDR]
 - [多重露出]
 - 電子シャッター

プレビューモード

[A][A*] P A S M [M] S&Q SCN [6]



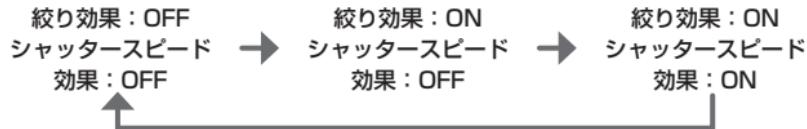
実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、絞り効果を撮影画面で確認できます。

また、絞り効果に加えてシャッタースピード効果も同時に確認できます。

- ・[プレビュー] を登録した Fn ボタンで操作します。初期設定では [Fn6] ボタンに登録されています。Fn ボタンについては、[255 ページ](#)をお読みください。

[Fn6] ボタンを押す

- ・ボタンを押すごとに、効果の確認画面が切り換わります。



- ・プレビューモード中でも撮影できます。
- ・シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8 秒～1/16000 秒です。
- ・[4K プリ連写] 撮影では、プレビューモードは使用できません。

シーンガイドモード

■ ■ ■ P A S M ■ ■ ■ S & Q SCN

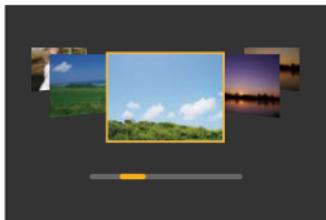


作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

2 シーンを選ぶ

- **◀▶** でシーンを選び、**MENU /SET** を押します。
- **▲** または **◎** を回しても選択できます。
- 作例写真をタッチしても選択できます。
- [DISP.] ボタンを押すと、通常表示、ガイド表示、一覧表示の順に画面が切り換わります。ガイド表示では、各シーンの説明が表示されます。



- 撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- シーンによっては、撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- シーンを変更したい場合は、シーンガイドメニューで [シーン切換] を選んで **MENU /SET** を押すと手順 2 に戻ります。
- カメラが自動で最適に調整するため、一部の撮影メニューが設定できません。
- シーンによってホワイトバランスは [AWB] に固定されますが、撮影画面で [WB] ボタン (▶) を押すとホワイトバランスの微調整やホワイトバランスプラケットが使えます。

シーンガイドモードの種類



1 人物をきれいに撮る

【美肌効果】、【スリムモード】を設定する

自分撮りモードと共に【美肌効果】、【スリムモード】を設定できます。

① [?] をタッチし、設定項目を選ぶ

OFF 美肌効果	人物の顔を明るく、肌色を滑らかにします。
OFF スリムモード	人物をスリムに撮影します。



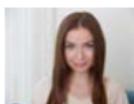
② スライドバーをタッチする

- ・ [OFF]、[1] ~ [10] の範囲で設定できます。スライドバーの左端 ④ を選ぶと [OFF] に設定できます。



③ [終了] をタッチする

- ・ オートフォーカスモードを [?] (顔・瞳認識) 以外に変更すると、【美肌効果】と【スリムモード】は使用できません。



2 人物の肌をきれいに撮る

- ・ 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- ・ 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。



3 逆光でふんわり撮る



4 ほのぼのした雰囲気で撮る



5 子どもをかわいく撮る

- ・ 顔をタッチするとタッチした場所にピントや露出が合い、写真が撮影されます。



6 風景をきれいに撮る



8 夕焼けを幻想的に撮る



10 水面をキラキラ撮る

- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。



12 夜空をクールに撮る



14 夜景をアーティスティックに撮る



16 夜景を手持ちで撮る

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 画角がわずかに狭くなります。



18 花をふんわり撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。



7 青空をさわやかに撮る



9 夕焼けを印象的に撮る



11 夜景をきれいに撮る



13 夜景を暖かく撮る



15 イルミネーションをキラキラ撮る



17 夜景をバックに人物をきれいに撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。



19 料理をおいしそうに撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。



20 スイーツをかわいく撮る

- ・近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めしま



22 スポーツをきれいに撮る



21 動くペットをきちんと撮る

- ・[AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。



23 モノクロで撮る

クリエイティブコントロールモード

■ ■ ■ P A S M ■ ■ ■ S & Q SCN []



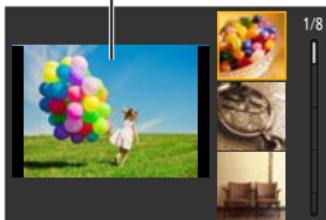
画像に加える効果を作例写真から選んで、画面で効果を確認できます。

1 モードダイヤルを [] に合わせる

2 フィルター効果を選ぶ

- ▲ ▼ で選択し、**[MENU/SET]** を押します。
 - ・ [] または [] を回しても選択できます。
 - ・ 作例写真をタッチしても選択できます。
- [DISP.] ボタンを押すと、通常表示、ガイド表示、一覧表示の順に画面が切り換わります。ガイド表示では、各フィルターの説明が表示されます。

プレビュー表示



- 撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- フィルター効果によっては、撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- ホワイトバランスは [AWB] に、ISO 感度は [AUTO] に固定されます。

❖ クリエイティブコントロールメニュー

[MENU/SET] ➡ [] を選ぶ

フィルター効果	フィルター効果の選択画面を表示します。
フィルターなし同時記録	フィルター効果を加えていない写真を同時に撮影できます。

フィルター効果の種類と調整

1 撮影画面で【WB】ボタン(▶)を押す

2 ■ または◎を回して設定する

- シャッター ボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。
- フィルター効果を調整すると、撮影画面のフィルター アイコンに[+]が表示されます。

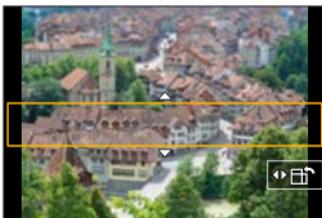


フィルター効果	調整できる項目
ポップ	鮮やかさ
レトロ	色合い
オールドデイズ	コントラスト
ハイキー	色合い
ローキー	色合い
セピア	コントラスト
モノクローム	色合い
ダイナミックモノクローム	コントラスト
ラフモノクローム	粒子感
シルキーモノクローム	ボケ具合
インプレッシブアート	鮮やかさ
ハイダイナミック	鮮やかさ
クロスプロセス	色合い
トイフォト	色合い
トイポップ	周辺光量が落ちる範囲
ブリーチバイパス	コントラスト
ジオラマ	鮮やかさ

フィルター効果	調整できる項目
ソフトフォーカス	ボケ具合
ファンタジー	鮮やかさ
	<input checked="" type="checkbox"/> : 輝きが短い／輝きが長い
クロスフィルター	<input checked="" type="checkbox"/> : 輝きが少ない／輝きが多い
	<input checked="" type="checkbox"/> : 輝きを左に回転／輝きを右に回転
ワンポイントカラー	残す色の量
サンシャイン	色合い

❖ ぼかし方の設定（ジオラマ）

- ① フィルター効果を【ジオラマ】に設定する
- ②  をタッチしたあと、 をタッチする
- ③ ▲▼ または ◀▶ でぼかさない部分を移動する
 - ・画面をタッチしても、ぼかさない部分を移動できます。
 - ・ をタッチしても、ぼかす向きを切り換えることができます。
- ④  または  を回してぼかさない部分の大きさを変更する
 - ・画面をピンチアウト／ピンチインしても、拡大／縮小できます。
 - ・ぼかさない部分の設定を初期設定に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。
- ⑤  を押して決定する



-  • 動画に音声は記録されません。
- 記録される動画の長さが実際の記録時間の約 1/10 になります。表示される動画記録時間は約 10 倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。

❖ 残す色の設定（ワンポイントカラー）

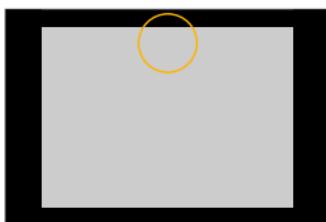
- ① フィルター効果を【ワンポイントカラー】に設定する
- ② [] をタッチしたあと、[] をタッチする
- ③ ▲▼◀▶ で枠を移動し、残す色を選ぶ
 - ・画面をタッチしても、残す色を選択できます。
 - ・枠を中央に戻すには、【DISP.】ボタンを押してください。



- ④  を押して決定する

❖ 光源の位置と大きさの設定（サンシャイン）

- ① フィルター効果を【サンシャイン】に設定する
- ② [] をタッチしたあと、[] をタッチする
- ③ ▲▼◀▶ で光源の中心の位置を移動する
 - ・画面をタッチしても、光源の位置を移動できます。
- ④  または  を回して光源の大きさを調整する

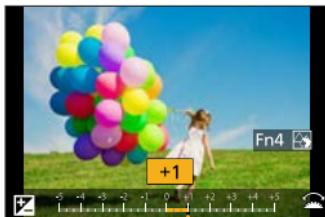


- ・ピンチアウト／ピンチインしても拡大／縮小できます。
 - ・光源の設定を初期設定に戻すには、【DISP.】ボタンを押してください。
- ⑤  を押す

ボケ具合、明るさを変えて撮る

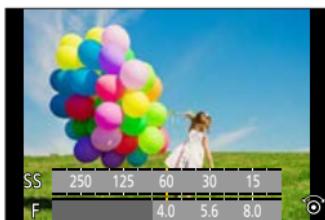
❖ 明るさ

- ① [Fx] ボタンを押す
- ② [▲] または [▼] を回して明るさを調整する
 - ・シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。



❖ 背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール）

- ① [Fx] ボタンを押してから、[Fn4] ボタンを押す
- ② [▲] または [▼] を回してボケ具合を設定する
 - ・シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。



❖ タッチパネルで設定を変える

- ① [6] をタッチする
- ② 設定する項目をタッチする
 - [Fx] : フィルター効果の調整
 - [▲] : ボケ具合
 - [Fx] : 明るさ
- ③ スライドバーや露出メーターをドラッグして設定する
 - ・シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。



- 【】
- ・[6] モードの [ジオラマ] では、ボケ味コントロール機能を使用できません。
-
- ・明るさの設定画面で ▲▼ に露出ブラケットを割り当てることができます：
[Fx] → [▲] → [露出補正画面の操作] (→ 297)

5. 画像の記録

画像横縦比

REC P A S M M S&Q SCN 



画像の横縦比（アスペクト比）を選択できます。

   [画像横縦比] を選ぶ

4:3	4:3 モニターの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	16:9 テレビの横縦比
1:1	正方形横縦比



- 以下の機能を使用中は、[画像横縦比] は設定できません。
 - [多重露出]

記録画素数

REC P A S M M S&Q SCN



写真の画像サイズを設定します。

→ → [記録画素数] を選ぶ

画像横縦比	4:3	3:2	16:9	1:1
記録画素数	[L] 20M 5184 × 3888	[L] 17M 5184 × 3456	[L] 14.5M 5184 × 2920	[L] 14.5M 3888 × 3888
	[M] 10M 3712 × 2784	[M] 9M 3712 × 2480	[M] 8M 3840 × 2160	[M] 7.5M 2784 × 2784
	[S] 5M 2624 × 1968	[S] 4.5M 2624 × 1752	[S] 2M 1920 × 1080	[S] 3.5M 1968 × 1968

- ・ [EX テレコン (写真)] 設定時は、[M]、[S] の記録画素数に [EX] が表示されます。



- ・以下の機能を使用中は、[記録画素数] は設定できません。
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - [クオリティ] の [RAW]
 - [多重露出]

クオリティ

[][][][][][][]



写真を保存するときの圧縮率を設定します。

→ [] → [クオリティ] を選ぶ

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先した JPEG 画像です。
		標準画質の JPEG 画像です。画素数を変えずに記録枚数を増やす場合に便利です。
RAW	RAW+JPEG	RAW 画像と JPEG 画像 ([] または []) を同時に記録します。
RAW		RAW 画像を記録します。



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアが必要です。

- ・カメラでRAW画像を現像できます。(→[249](#))
- ・パソコンでRAWファイルの現像・編集をする場合は、ソフトウェア（市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」）をお使いください。(→[386](#))
- ・[RAW]で撮影した写真は、再生時に最大倍率まで拡大表示できません。撮影後にカメラでピントを確認するときは、[RAW] または [RAW] で撮影してください。
- ・RAW画像は常に画像横縦比 [4:3] の [L] サイズで記録されます。
- ・[RAW]、[RAW] の画像を本機で消去すると、RAW画像とJPEG画像が同時に消去されます。
- ・以下の機能を使用中は、[RAW] [RAW] [RAW] は設定できません。
 - [SCN] モード ([夜景を手持ちで撮る])
- ・以下の機能を使用中は、[クオリティ] は設定できません。
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - [多重露出]

フォルダー/ファイル設定

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダ名	ファイル名
100ABCDE ① ②	PABC0001.JPG ③ ④ ⑤ ⑥
① フォルダ番号 (3桁、100~999) ② 任意の5桁	③ 色空間 ([P] : sRGB、[_] : AdobeRGB)
	④ 任意の3桁
	⑤ ファイル番号 (4桁、0001~9999)
	⑥ 拡張子

   [フォルダー/ファイル設定] を選ぶ

フォルダー選択	画像を保存するフォルダーを選択します。	
新規フォルダー作成	フォルダ番号を繰り上げて、新規フォルダーを作成します。 ・カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダ番号のリセット画面が表示されます。	
	OK	任意の5桁 (上記②) は変更せずに、フォルダ番号を繰り上げます。
フォルダ名変更		任意の5桁 (上記②) を変更します。フォルダ番号も繰り上がります。
ファイル名設定	フォルダ番号連動	任意の3桁 (上記④) をフォルダ番号 (上記①) にします。
	ユーザー設定	任意の3桁 (上記④) を変更します。

- ・設定可能な文字：英字（大文字）、数字、[_]（文字の入力方法（[→325](#)））



- ・1つのフォルダーに1000ファイルまで保存できます。
- ・ファイル番号は撮影順に0001～9999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、ファイル番号は前の番号の続きで保存されます。
- ・以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダーファイル番号を繰り上げて新しいフォルダーを自動で作成します。
 - フォルダー内のファイル数が1000に達したとき
 - ファイル番号が9999に達したとき
- ・フォルダーファイル番号が100～999のフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。

番号リセット

フォルダーファイル番号を更新し、ファイル番号を 0001 にリセットします。

 → [F] → [番号リセット] を選ぶ



- フォルダーファイル番号が 999 になると番号リセットができなくなります。
データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- フォルダーファイル番号を 100 にリセットするには：
 - ① [フォーマット] を実行し、カードを初期化する (→45)
 - ② [番号リセット] を実行し、ファイル番号をリセットする
 - ③ フォルダーファイル番号のリセット画面で、[はい] を選ぶ

6. フォーカス／ズーム

フォーカスモードの選択

■■■ P A S M ■■■ S&Q SCN ⚡



被写体の動きに合わせて、ピント合わせの方法（フォーカスモード）を選択できます。

フォーカスモードを設定する

- → / →
[フォーカスモード]



AFS	静止している被写体の撮影に適しています。 シャッター <button>ボタン</button> を半押しすると、1回だけピントを合わせます。 シャッター <button>ボタン</button> を半押ししている間はピントが固定されます。
AFF ^{※1}	動きが予測できない被写体の撮影に適しています。 シャッター <button>ボタン</button> を半押ししている間に被写体が動いても、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC ^{※1}	動いている被写体の撮影に適しています。 シャッター <button>ボタン</button> を半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピントを合わせます。
MF	手動でピントを合わせます。ピントを固定したい場合や、オートフォーカスを働かせたくない場合に使います。（→135）

※1 被写体の動きを予測しながらピントを合わせます。（動体予測）



- 以下の場合にシャッターボタンを半押しすると、[AFF] または [AFC] は [AFS] と同じ動作をします。
 - [M] / [S&Q] モード
 - [4K 連写 (S/S)]
 - 低照度時
- 4K フォト撮影時、[AFF] に設定できません。撮影時には AF 連続動作が働きます。
- フォーカスセレクト撮影では設定できません。

オートフォーカスを使う

IA FA P A S M M S&Q SCN 



AF（オートフォーカス）とは自動ピント合わせのことです。被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードとオートフォーカスモードを選択してください。

1 フォーカスモードを設定する（→114）

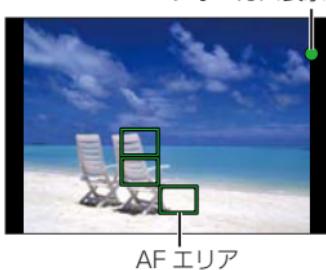
-  → [CAMERA] / [MOVIE] → [フォーカスモード] → [AFS] / [AFF] / [AFC]

2 オートフォーカスモードを選ぶ

-  ボタン (◀) を押してオートフォーカスモードの選択画面を表示し、 で決定します。（→119）
-  /  モードでは、 ボタン (◀) を押すごとに  と  が切り換わります。（→75）

3 シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスが働きます。



ピント		
	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	緑	—
合焦音	ピピッ	—

低照度 AF

- 暗い環境では低照度 AF が自動で働き、フォーカス表示が **[LOW]** と表示されます。
- 通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

星空 AF

- 低照度 AF と判定したあとに夜空の星を検知した場合は、星空 AF が働きます。ピントが合うとフォーカス表示が **[STAR]** と表示され、ピントが合った場所に AF アリアが表示されます。
- 画面の端では、星空 AF の検知ができません。



オートフォーカスでピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体
- 光るもの近くにある被写体
- 非常に明るい被写体
- 非常に暗い場所にある被写体
- 濃淡のない被写体
- 遠くと近くの被写体を同時に撮るとき
- ガラス越しにある被写体



- [AFF] または [AFC] で撮影中に以下の操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
 - W 端から T 端にズームする
 - 被写体を遠くから近くに急に変える
- ピントを合わせたあとにズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがあります。ピントを合わせ直してください。



- シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます：
[CF] → **[FOCUS]** → [シャッター半押しリリーズ] (→292)
- カメラのブレが小さくなると自動でピントを合わせる設定ができます：
[CF] → **[FOCUS]** → [クイック AF] (→293)

AF 追従感度（写真）

IA IA P A S M M S&Q SCN



被写体の動きに追従する感度を設定します。

- 1 フォーカスマードを [AFF] または [AFC] にする (→ 114)
- 2 [AF 追従感度（写真）] を設定する
 - → → [AF 追従感度（写真）]



+	被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。
-	被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。カメラの前を障害物が横切った場合でも、意図しないピントの合わせ直しを防ぐことができます。



- 以下の機能を使用中は、[AF 追従感度（写真）] は使用できません。
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]

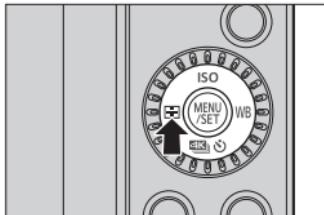
オートフォーカスモードの選択

IA iA P A S M  M S&Q SCN 



被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 ボタン (◀) を押す



2 オートフォーカスモードを選ぶ

-   で項目を選び、 を押します。
-  または  を回しても選択できます。



	顔・瞳認識	→ 121
	追尾	→ 123
	49 点	→ 124
	など	カスタムマルチ → 125 → 127
	1 点	→ 128
	ピンポイント	→ 129

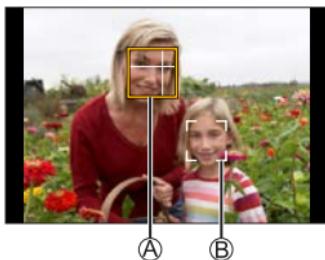
- 以下の機能を使用中は、（顔・瞳認識）は使用できません。
 - [SCN] モード（[夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [料理をおいしそうに撮る] [スイーツをかわいく撮る]）
- 以下の機能を使用中は、は使用できません。
 - [インターバル撮影]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
- フォーカスマードを [AFF] または [AFC] に設定しているときは、は使用できません。
- 以下の機能を使用しているときは、に固定されます。
 - 自分撮りモード（ に設定できない撮影モードの場合は、各撮影モードの設定に従います）
 - [4K ライブクロップ]
- 以下の機能を使用しているときは、に固定されます。
 - [デジタルズーム]
 - [ モード（[ジオラマ]）]
- 以下の機能を使用中は、オートフォーカスマードを設定できません。
 - [フォーカスセレクト]
 - [スナップムービー] の [ピント送り]
- [デジタルズーム] を使用時は、AF エリアの移動と大きさの変更はできません。

顔・瞳認識

人の顔と目を自動的に検知します。

カメラが人の顔Ⓐ、Ⓑを認識すると、AFエリアが表示されます。

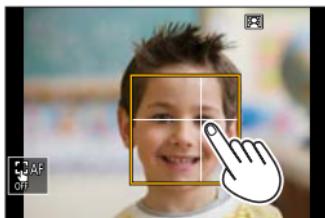
黄色	ピントを合わせる対象のAFエリアです。 カメラが自動で選びます。
白色	複数の被写体を認識すると表示されます。
・瞳認識は黄色の枠内の目Ⓐに対して働きます。	



❖ ピントを合わせる目の指定

① ピントを合わせる目をタッチする

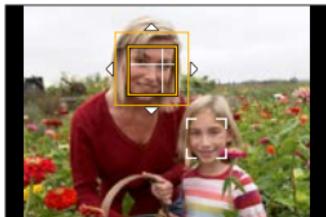
- 指定を解除するには、[AF OFF] をタッチしてください。



- 4Kライブクロップ設定時、ピントを合わせる目の変更はできません。
 - 人の目を認識した場合、カメラに近い側の目にピントを合わせます。
露出は顔に合わせます。（[測光モード] を[○]に設定時）
 - カメラが認識できる人の顔は、最大15人までです。
 - 人を認識できない場合は、[] の動作になります。
- 動画撮影時の内蔵マイクの収音範囲を顔・瞳認識機能に連動させることができます：
[] → [内蔵マイク設定] (→229)

❖ 黄色いAFエリアの移動と大きさの変更

- ① [] ボタン (◀) を押してオートフォーカスモードの選択画面を表示する
- ② [] を選び、▼を押す
- ③ ▲▼◀▶でAFエリアを移動する
- ④ [] または [] を回してAFエリアの大きさを変更する
- ⑤ [] を押す
 - ・撮影画面で [] を押す、または [] をタッチすると、AFエリアの設定が解除されます。



AFエリアの移動画面での操作

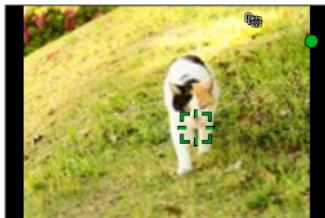
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	AFエリアの移動
[]	ピンチアウト／ピンチイン	AFエリアを細かく拡大／縮小
[]	—	AFエリアを拡大／縮小
[DISP.]	[リセット]	1回目：AFエリアの位置を中央に戻す 2回目：AFエリアの大きさを初期設定に戻す

『追尾』追尾

AF エリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。

追尾を開始する

- AF エリアに被写体を入れて、シャッター ボタンを半押しします。
- ・ 被写体を認識すると追尾 AF エリアが緑色になります。シャッターボタンを離すと追尾 AF エリアが黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続けます。
- ・ 被写体をタッチしても同じ操作ができます。
- ・ 追尾 AF を解除するとき → [AF] をタッチする、または [SET] を押す
- ・ 追尾に失敗したときは、AF エリアが赤色で点滅します。



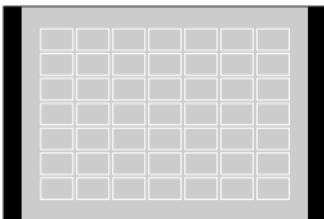
- ・ [測光モード] を [◎] にすると、露出も合わせ続けます。
- ・ 以下の場合、[] は [] の動作になります。
 - [SCN] モード（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [花をふんわり撮る] [モノクロで撮る]）
 - [] モード（[セピア] [モノクローム] [ダイナミックモノクローム] [ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - [フォトスタイル] の [モノクローム] / [L. モノクローム] / [L. モノクローム D]
 - 被写体が小さいとき

❖ AF エリアの移動

- ① [] ボタン (◀) を押してオートフォーカスモードの選択画面を表示する
- ② [] を選び、▼ を押す
- ③ ▲ ▼ ◀ ▶ で AF エリアを移動する
 - ・ タッチしても AF エリアを移動できます。
 - ・ 位置を中央に戻すには [DISP.] ボタンを押してください。
- ④ [SET] を押す

■ 49 点

49 点からカメラが最適な AF エリアを選んでピントを合わせます。複数の AF エリアが選ばれるときは、選ばれたすべての AF エリアでピントが合います。



❖ AF エリアの移動と大きさの変更

AF エリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49 点の AF エリアは 9 点（画面の端では 6 点または 4 点）ごとのグループに分けられています。

① [] ボタン (◀) を押してオートフォーカスモードの選択画面を表示する

② [] を選び、▼を押す

③ ▲▼◀▶で AF エリアのグループを選択する

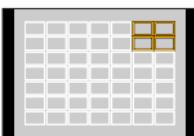
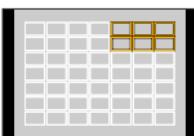
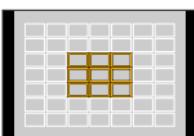
・タッチしても AF エリアを移動できます。

・位置を中央に戻すには [DISP.] ボタンを押してください。

④ [] を押す

・ [] を押す、または [] をタッチすると AF エリアの設定が解除されます。

グループの例



→ • 49 点を利用した AF エリアの表示方法を変更できます：
 [] → [] → [AF エリア表示] (→ 295)

□／□／■ カスタムマルチ（横・縦・中央）**□（横）**

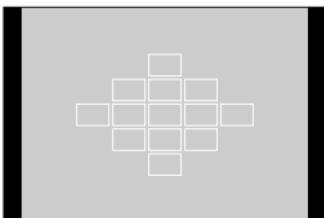
流し撮りなどの撮影に便利な形状です。

**□（縦）**

建築物の撮影などに便利な形状です。

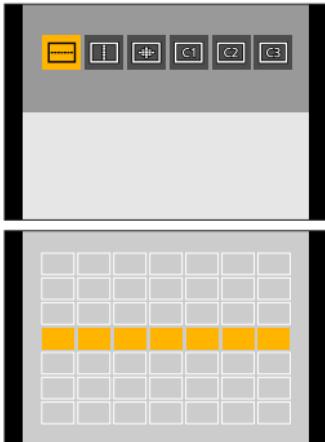
**■（中央）**

49点のAFエリアのうち、中央の橢円形ゾーンでピント合わせができます。



❖ AF エリアの移動と大きさの変更

- ① [] ボタン (◀) を押してオートフォーカスモードの選択画面を表示する
- ② カスタムマルチアイコン ([] など) を選び、▲を押す
- ③ []、[] または [] を選び、▼を押す



- ④ ▲▼◀▶ で AF エリアを移動する
 - ・タッチしても AF エリアを移動できます。

- ⑤ [] または [] を回して AF エリアの大きさを変更する
 - ・AF エリアをピンチアウト／ピンチインしても大きさを変更できます。
 - ・[DISP.] ボタンを押すと、1 回目は AF エリアの位置を中央に戻します。
2 回目は AF エリアの大きさを初期設定に戻します。
- ⑥ [] を押す

設定した AF エリアを []、[]、[] (カスタム) に登録する

- 1 手順 ③ の画面で、▲を押す
- 2 ▲▼ で登録先を選び、[] を押す



・ [] / [] / [] で調整した設定は、電源を切るとお買い上げ時の設定に戻ります。



・ 49 点を利用した AF エリアの表示方法を変更できます：
[] ⇒ [] ⇒ [AF エリア表示] (→ 295)

[C1] [C2] [C3] カスタムマルチ (C1~C3)

49点のAFエリアから、AFエリアの形状を自由に設定できます。設定したAFエリアを [C1] ~ [C3] に登録できます。

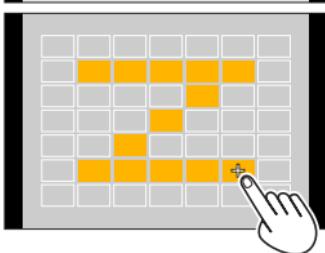
- ① [] ボタン (◀) を押してオートフォーカスモードの選択画面を表示する
- ② カスタムマルチアイコン ([] など) を選び、▲を押す
- ③ [C1] ~ [C3] のいずれかを選び、▼を押す



④ AFエリアを選ぶ

● タッチ操作

- AFエリアにする部分をタッチする
- ・連続した位置を選択するには、画面をドラッグしてください。
 - ・選択したAFエリアを解除するには、もう一度タッチしてください。



● ボタン操作

▲▼◀▶ でAFエリアを選び、[] で設定する

(繰り返す)

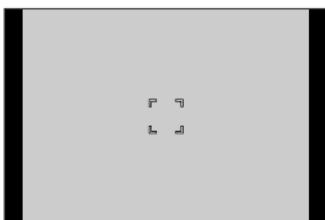
- ・選択したAFエリアを解除するには、もう一度 [] を押してください。
- ・すべての選択を解除するには、[DISP.] ボタンを押してください。

⑤ [Fn4] ボタンを押す

- 49点を利用したAFエリアの表示方法を変更できます：
 [] → [] → [AFエリア表示] (→295)

□ 1点

ピント位置を指定します。



❖ AF エリアの移動と大きさの変更

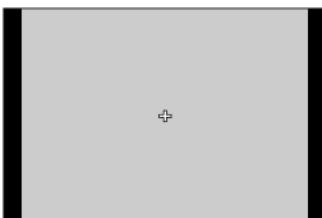
- ① [] ボタン (◀) を押してオートフォーカスモードの選択画面を表示する
- ② [] を選び、▼を押す
- ③ ▲▼◀▶で AF エリアを移動する
- ④ ⚡ または ⚡ を回して AF エリアの大きさを変更する
- ⑤ を押す



- • AF エリアの詳細な操作方法については、122 ページの「AF エリアの移動画面での操作」をお読みください。

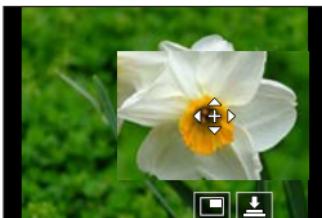
□ ピンポイント

小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するために画面が拡大表示されます。



❖ AFエリアの移動

- ① [■] ボタン (◀) を押してオートフォーカスモードの選択画面を表示する
- ② [+] を選び、▼を押す
- ③ ▲▼◀▶で [+] の位置を決め、 MENU / SET を押す
 - ・選んだ位置が拡大表示されます。
 - ・画面の端にはAFエリアを移動できません。
- ④ ▲▼◀▶で [+] の位置を微調整する
- ⑤ MENU / SET を押す



拡大画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	[+] の移動
	ピンチアウト／ ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	—	画面を拡大／縮小
—	—	拡大表示の切り換え（画面の一部／画面全体）
		 ⇔ 
[DISP.]	[リセット]	1回目：手順③の画面に戻す 2回目：AFエリアの位置を中央に戻す

- ・画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大できます。
- ・[] をタッチして写真を撮影できます。



- ・以下の機能を使用中は、[] が [] に切り換わります。
- 動画撮影、[4K フォト]



- ・拡大画面の表示方法を変更できます：
[] ⇒ [] ⇒ [ピンポイントAF設定] (→293)

タッチでの AF エリア移動操作

モニターをタッチした位置に AF エリアを移動します。

タッチした位置にピントや明るさを合わせる

[タッチ AF] を設定する

- → → → [タッチ設定]
→ [タッチ AF]

AF	タッチした被写体にピントを合わせます。
AF+AE	タッチした被写体にピントと明るさを合わせます。



- ・初期設定は [AF] に設定されています。

❖ タッチした位置にピントを合わせる ([AF])

① 被写体をタッチする

- ・タッチした位置に AF エリアが移動します。

オートフォーカスモードが以下の場合、AF エリアの大きさを設定できます。

- (顔・瞳認識) / (1 点) / (ピンポイント)
- など ([カスタムマルチ] の [縦] / [横] / [中央])

② ピンチアウト/ピンチインして AF エリアの大きさを変更する

- ・[リセット] をタッチすると、1 回目は AF エリアの位置を中央に戻します。
2 回目は AF エリアの大きさを初期設定に戻します。
- ・ では、拡大画面での操作になります。(→ 130)

③ [決定] をタッチする

- ・ では、[終了] をタッチしてください。

❖ タッチした位置にピントと明るさを合わせる ([AF+AE])

- ①明るさを合わせたい被写体をタッチする
- タッチした場所に [] と同じ働きの AF エリアが表示されます。AF エリアの中央には明るさを合わせる点が配置されます。
 - 【測光モード】はタッチ AE 専用の [] に変わります。



- ②ピンチアウト/ピンチインして AF エリアの大きさを変更する
- 【リセット】をタッチすると、1 回目は AF エリアの位置を中央に戻します。2 回目は AF エリアの大きさを初期設定に戻します。
- ③【決定】をタッチする
- 撮影画面で [] ([]) 設定時は [] をタッチすると、[AF+AE] の設定が解除されます。



- 以下の機能を使用中は、[AF+AE] は働きません。
 - [デジタルズーム]
 - [4K ライブクロップ]

ファインダー表示中のAFエリア移動操作

ファインダー表示中にモニターをタッチして、AFエリアの移動と大きさの変更ができます。

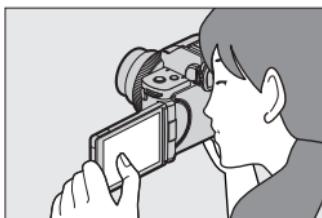
1 [タッチパッドAF] を設定する

- → → →
[タッチ設定] →
[タッチパッドAF] →
[絶対位置] / [相対位置1]～
[相対位置7]



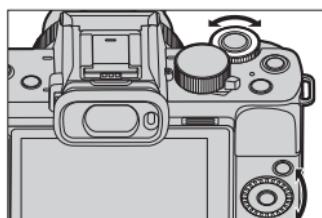
2 AFエリアを移動する

- ファインダー表示中にモニターをタッチします。



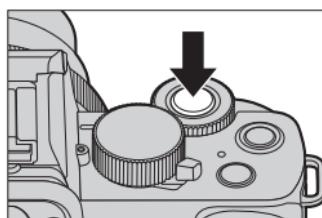
3 AFエリアの大きさを変更する

- または を回します。
- ・ [DISP.] ボタンを押すと、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。



4 決定する

- シャッター ボタンを半押しします。



❖ 設定項目（タッチパッド AF）

絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーの AF エリアが移動します。		
相対位置 1 ～ 相対位置 7	タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーの AF エリアが移動します。ドラッグ操作を検知する範囲を選択します。		
OFF	—		



- 以下の機能を使用中は、[タッチパッド AF] は使用できません。
 - [4K ライブクロップ]
 - [スナップムービー] の [ピント送り]

マニュアルフォーカスで撮る

AF AF P A S M M S&Q SCN 



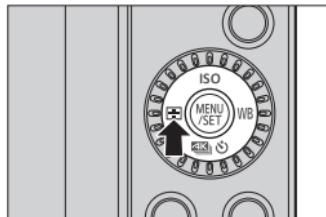
MF（マニュアルフォーカス）とは手動ピント合わせのことです。ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、AFを働かせたくない場合に使います。

1 フォーカスモードを設定する

-  → [CAMERA] → [フォーカスモード]
→ [MF]
- シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。

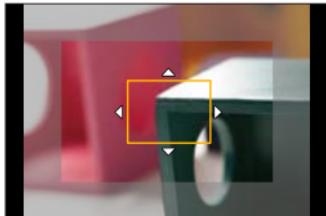


2 [■] ボタン (◀) を押す



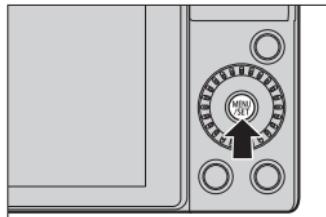
3 ピント位置を選ぶ

- ▲ ▼ ◀ ▶ でピント位置を選びます。
- ピント位置を中央に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。



4 決定する

-  を押します。
- MF アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。



5 ピントを合わせる

ピントを合わせる操作はレンズによって異なります。

フォーカスリングがない交換レンズをお使いの場合

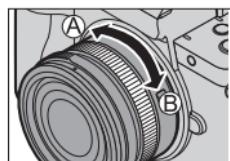
- ▶を押す：近くにピントを合わせる
- ◀を押す：遠くにピントを合わせる
- ・◀▶を押したままにすると、ピント調整の速度が速くなります。
- ・スライドバーをドラッグすることでも、ピント合わせができます。



スライドバー

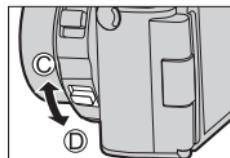
フォーカスリングがある交換レンズをお使いの場合

- Ⓐ 側に回す：近くにピントを合わせる
- Ⓑ 側に回す：遠くにピントを合わせる



フォーカスレバーがある交換レンズをお使いの場合

- Ⓐ 側に動かす：近くにピントを合わせる
- Ⓑ 側に動かす：遠くにピントを合わせる
- ・フォーカスレバーを動かす幅によって、ピントを合わせる速度が変わります。



- ・ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- ・撮影距離の目安が表示されます。(MF ガイド)

MFアシスト(拡大画面)

ピーキング



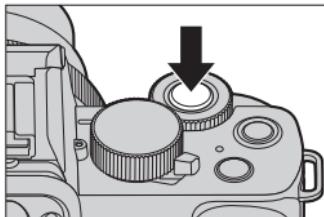
MF ガイド

6 MF アシスト画面を終了する

- シャッター ボタンを半押しします。
- MENU** を押しても同じ操作ができます。

7 撮影する

- シャッター ボタンを全押しします。



❖ MF アシスト画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶※1	ドラッグ	拡大表示位置の移動
▲▼	ピンチアウト／ ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
○	—	画面を拡大／縮小
—	—	拡大表示の切り替え（画面の一部／画面全体）※3
—	□※2	 ⇔ 
[DISP.]※1	[リセット]※1	1 回目：MF アシストの位置を中央に戻す 2 回目：MF アシストの拡大倍率を初期設定に戻す
—	[AF]	オートフォーカスが働きます。※4

※1 フォーカスリングがない交換レンズをお使いの場合、▼を押して拡大位置の設定画面を表示させると操作ができます。

※2 [A] モードでは設定できません。

※3 画面の一部のときは約 3 倍～6 倍、画面全体のときは約 3 倍～20 倍に拡大できます。

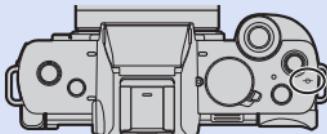
※4 次の操作でもオートフォーカスが働きます。

- [AF-ON] を設定した Fn ボタンを押す (→ 186)

- モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す



- 撮影画面でフォーカスリングを回しても、MFアシスト画面を表示できます。フォーカスリングを回して拡大表示した場合は、操作をやめて一定時間が経過すると、アシスト画面を終了します。
- 撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。マニュアルフォーカスや接写の目安にしてください。



- 以下の場合、シャッタースピードを極端に遅くすると、撮影中にマニュアルフォーカス操作ができない場合があります。
 - 【M】モード（[動画露出設定] を [M] に設定時）
 - 【S&Q】モード（[S&Q 露出設定] を [M] に設定時）

（フォーカスリングがある交換レンズを使用時は、マニュアルフォーカス操作はできますが、マニュアルフォーカス中のオートフォーカスはできなくなります）
- 使用するレンズによって、MFアシストやMFガイドが表示されない場合があります。MFアシストはタッチパネル操作またはボタン操作で本機を直接操作すると表示させることができます。
- MFアシストの位置を縦位置と横位置で別々に記憶できます：
[] → [] → [縦/横位置フォーカス切換] (→295)
- MFアシストのループ移動を設定できます：
[] → [] → [フォーカス枠のループ移動] (→295)
- 拡大画面の表示方法を変更できます：
[] → [] → [MFアシスト] (→296)
- フォーカスリングの操作を無効にできます：
[] → [] → [フォーカスリングロック] (→299)
- ピーキングの感度や表示方法を変更できます：
[] → [] → [ピーキング] (→302)
- MFガイドの表示を変更できます：
[] → [] → [MFガイド] (→304)
- 電源を切ったときのピント位置を記憶します：
[] → [] → [レンズ位置メモリー] (→306)

ズームを使って撮る

■■■P A S M ■■■S&Q SCN



レンズの光学ズームを使って、望遠または広角にズーミングします。

■ T 側：望遠、大きく撮る

■ W 側：広角、広く撮る

ズームリングのある交換レンズ	ズームリングを回す。	
パワーズーム (電動式ズーム) に対応した交換レンズ	ズームレバーを動かす。 (動かす幅によって、ズームスピードが変わります) ・Fnボタンに「ズーム操作」 を設定すると、◀▶でゆっくり、▲▼で速く、光学 ズーム操作ができます。	
ズームに対応していない交換レンズ	光学ズームはできません。	

EX テレコン

EX テレコンを使うと、画質を劣化させることなく光学ズームよりさらに拡大して撮ることができます。

❖ EX テレコン（写真）



- ・[EX テレコン（写真）] の最大倍率は、撮影メニューの [記録画素数] と [画像横縦比] の設定によって異なります。
 - [EX M] に設定時：最大 1.4 倍
 - [EX S] に設定時：最大 2.0 倍

① [記録画素数] を [M] または [S] に設定する

- ・ → [CAMERA] → [記録画素数] → [M] / [S]

② [EX テレコン（写真）] を設定する

- ・ → [CAMERA] → [EX テレコン（写真）]

ZOOM	ズーム倍率を変更できます。
TELE CONV.	ズーム倍率を最大に固定します。
OFF	—

ズーム倍率を変更する（ボタン操作）

- ① [EX テレコン（写真）] を [ZOOM] にする
 - ・ → [CAMERA] → [EX テレコン（写真）] → [ZOOM]
- ② Fn ボタンに [ズーム操作] を設定する (→255)
- ③ Fn ボタンを押す
- ④ カーソルボタンでズーム操作する
 - ▲▶ : T 側（望遠）
 - ◀▼ : W 側（広角）
 - ・もう一度 Fn ボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。



ズーム倍率を変更する（タッチ操作）

- ① [EX テレコン（写真）] を [ZOOM] にする
・  →  → [EX テレコン（写真）] → [ZOOM]
- ②  をタッチする
- ③  をタッチする



- ④ スライドバーをドラッグして、ズーム操作する
T 側：望遠
W 側：広角
・タッチズーム操作を終了するには、もう一度  をタッチしてください。



❖ EX テレコン（動画）



- ① [画質設定] を [FHD] または [HD] に設定する
・  →  → [画質設定] → [FHD] / [HD]
- ② [EX テレコン（動画）] を設定する
・  →  → [EX テレコン（動画）]

ON	ズーム倍率を最大に固定します。
OFF	—



- カスタムメニュー（操作）の [Fn ボタン設定] に [EX テレコン] を設定すると、設定した Fn ボタンを押して写真と動画の EX テレコンの設定画面を表示できます。画面表示中に [DISP.] ボタンを押すと [記録画素数] の設定を変更できます。
- 以下の機能を使用中は、EX テレコンは使用できません。
 - [] モード（[トイフォト] / [トイポップ]）
 - [クオリティ] の [RAW]
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - [HDR]
 - [多重露出]
 - [4K ライブクロップ]
- 次の場合、[EX テレコン（写真）] は使えません。
 - [SCN] モード（[夜景を手持ちで撮る]）
- 次の場合、[EX テレコン（動画）] は使えません。
 - HDMI 出力して撮影中（[M] モード時を除く）
- 自分撮りモード時は、タッチでズーム操作できません。

デジタルズーム



元のズーム倍率の 2 倍に拡大できます。画質は粗くなります。

\Rightarrow [CAMERA] / [MOVIE] \Rightarrow [デジタルズーム] を選ぶ

設定 : [2x] / [OFF]



- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー（[167](#)）を使って撮影することをお勧めします。
- 以下の機能を使用中は、デジタルズームは使用できません。
 - [] モード（[トイフォト] [トイポップ] [ジオラマ]）
 - [クオリティ] の [RAW^{■■}] [RAW^{■■}] [RAW]
 - [フォーカスセレクト]
 - [HDR]
 - [多重露出]

パワーズームレンズ

■ ■ ■ P A S M ■ ■ ■ S & Q S C N ■ ■



パワーズーム（電動式ズーム）対応交換レンズ使用時の画面表示や動作を設定します。

- ・パワーズーム（電動式ズーム）対応交換レンズをお使いの場合に選択できます。

[MENU/SET] → [C/F] → [○] → [パワーズームレンズ] を選ぶ

焦点距離表示	ズーム操作中に、撮影画面に焦点距離を表示します。	<p>焦点距離表示</p>  <p>現在の焦点距離</p>
ステップズーム	<p>[ON] に設定してズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。</p> <p>動画撮影中、4K フォトの  (4K プリ連写) で撮影時は動かない。</p>	<p>ステップズーム表示</p> 
ズーム速度	<p>ズーム操作時のズーム速度を設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ステップズーム] を [ON] に設定すると、ズーム速度は変わりません。 <p>[写真]：[H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速） [動画]：[H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速）</p>	
ズームリング操作	ズームレバーとズームリングのあるパワーズーム対応交換レンズを装着しているときのみ選択できます。[OFF] に設定すると、誤操作を防止するためにズームリングでの操作を無効にできます。	

7. ドライブ／シャッター／手ブレ補正

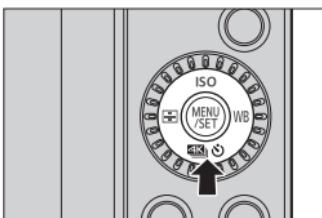
ドライブモードの選択

■ ■ ■ P A S M ■ ■ S&Q SCN



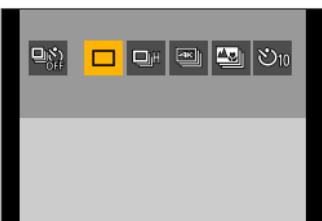
撮影状況に合わせて、ドライブモードを単写、連写などに切り換えることができます。

1 [■] ボタン (▼) を押す



2 ドライブモードを選ぶ

- ▶でドライブモードを選び、
MENU/SETボタンを押します。
- ○を回しても選ぶことができます。



□ 単写	シャッターを押すごとに1枚ずつ撮影します。
□ H 連写 (→145)	シャッター ボタンを押している間、連続して撮影します。
4K 4K フォト (→149)	シャッター ボタンを押すと4K フォトで撮影します。
■ フォーカスセレクト (→161)	シャッター ボタンを押すとフォーカスセレクト撮影します。
⌚10 セルフタイマー (→167)	シャッター ボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

- ・ [■] を選ぶと、単写（初期設定）に戻ります。

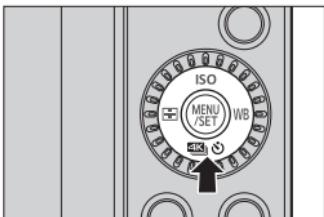
連写する

[] **P** **S** **M** **[]** **S&Q** **SCN** **[]**



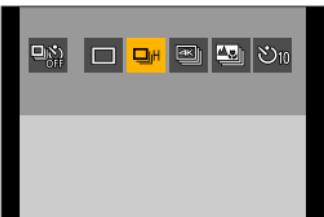
シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 [] ボタン (▼) を押す



2 ◀▶ で [連写] を選び、 ▲ を押す

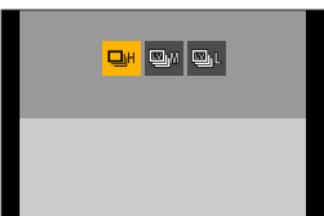
- を回しても選ぶことができます。



3 連写速度を選ぶ

- ◀▶ で連写速度を選び、 を押します。

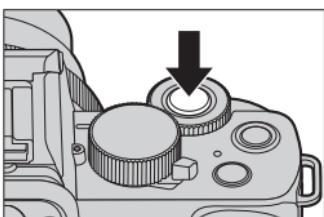
設定 : [H] (高速) /
[M] (中速) /
[L] (低速)



- または を回しても選ぶことができます。
- 連写速度は、撮影メニューの [連写速度] でも設定できます。

4 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。



❖ 連写速度

	電子先幕	電子シャッター	連写中の ライブビュー
【H】 高速	6コマ/秒 (AFS、MF) 5コマ/秒 (AFF、AFC)	10コマ/秒 (AFS、MF) 10コマ/秒 (AFF、AFC)	なし (AFS、MF) あり (AFF、AFC)
【M】 中速	4コマ/秒	4コマ/秒	あり
【L】 低速	2コマ/秒	2コマ/秒	あり

- 【記録画素数】 やフォーカスマードなど、撮影時の設定によって、連写速度は低下する場合があります。

❖ 最大撮影可能コマ数

	クオリティ	
	【】、【】	【RAW ^{grid} 】、【RAW ^{star} 】、【RAW】
【H】 高速		
【M】 中速	480コマ以上	20コマ以上
【L】 低速		

- 当社測定条件による撮影時。
撮影条件によっては最大撮影可能コマ数が少なくなる場合があります。
- 途中から連写速度が遅くなりますが、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。

❖ 連続撮影可能枚数

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が撮影画面に表示されます。

例) 20枚のとき: [r20]

- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。
[r0] と表示されると、連写速度が低下します。
- 撮影画面に [r99+] と表示されているときは、100枚以上の連写ができます。



❖ 連写時のピント

フォーカスマード	フォーカス/ レリーズ優先 (→295)	[H]	[M] / [L]
AFS	フォーカス	1コマ目のピントに固定	
	バランス		
	レリーズ		
AFF/AFC	フォーカス	予測ピント	常時ピント
	バランス	予測ピント	
	レリーズ		
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス	

- ・[AFF] または [AFC] で被写体が暗い場合は、ピントは 1 コマ目に固定されます。
- ・予測ピント時は、連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。
- ・常時ピント時は、連写速度が遅くなることがあります。

❖ 連写時の露出

フォーカスマード	[H]	[M] / [L]
AFS	1コマ目の露出に固定	1コマごとに露出を調整
AFF/AFC	1コマごとに露出を調整	
MF	1コマ目の露出に固定	

❖ 連写の解除方法

[] ボタン (▼) を押して [□] (単写) または [] を選ぶ



- ・連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大撮影可能コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。
- ・以下の機能を使用中は、連写は働きません。
 - 自分撮りモード
 - **[SCN]** モード（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る]）
 - **[** **]** モード（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - フラッシュ
 - [インターバル撮影]
 - [コマ撮りアニメ]（[自動撮影] 設定時）
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

4K フォト撮影

[][] P A S M [M][S&Q][SCN] []

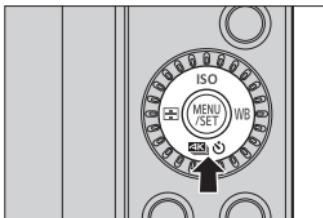


4K フォトでは 30 コマ/秒の高速連写を行い、約 800 万画素の写真を保存できます。



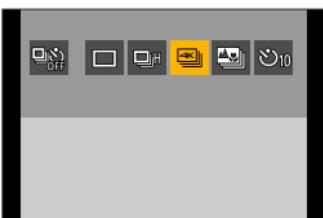
- 撮影時は UHS Speed Class 3 以上のカードをお使いください。
- 撮影時に画角が狭くなります。
- 1 回の撮影時間が 10 分を超えると、記録を停止します。
- カメラの温度が上昇すると、[] が表示され撮影が停止する場合があります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。

1 [] ボタン (▼) を押す



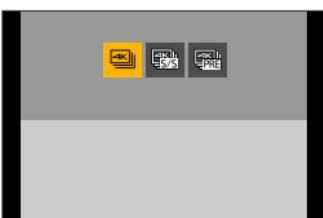
2 ◀▶ で [4K フォト] を選び、 ▲ を押す

- ◎ を回しても選ぶことができます。



3 [撮影方法] を選ぶ

- ◀▶ で撮影方法を選び、MENU /SET を押します。
- ▲ または ◎ を回しても選ぶことができます。
- 撮影方法は、撮影メニューの [4K フォト] でも設定できます。



	動きの速い被写体のベストな一瞬をとらえたいとき シャッターボタンを押している間、連写します。
4K 連写	音声記録：なし
	いつ起こるかわからないシャッターチャンスをとらえたいとき シャッターボタンを押すと連写を開始します。もう一度押すと、連写を終了します。開始音、終了音が鳴ります。
4K 連写 (S/S) S/S とは 「Start/Stop」の略 を表します。	音声記録：あり ^{※1}
	シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき シャッターボタンを押した瞬間の前後約 1 秒を連写します。シャッターチャンスが 1 回だけ鳴ります。
4K プリ連写	記録時間：約 2 秒 音声記録：なし

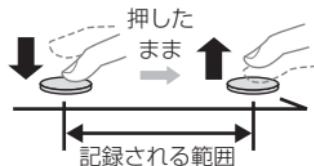
※1 カメラで再生する場合、音声は再生されません。

4 撮影する

- オートフォーカスで撮影中は [AF 連続動作] が働き、ピントを合わせ続けます。

[4K 連写]

- シャッターボタンを半押しする
- 撮影する間、シャッターボタンを全押ししたままにする
- 全押しから約 0.5 秒後に撮影が開始されるため、早めに全押ししてください。



[4K 連写 (S/S)]

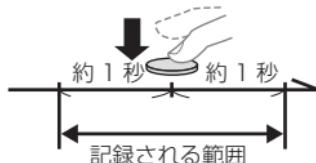
- シャッターボタンを全押しし、撮影を開始する
- もう一度、シャッターボタンを全押しし、撮影を終了する
 - 撮影中に [Fn2] ボタンを押すと、マーカー（白色）を付けることができます。（1 回の撮影に最大 40 個まで）4K 連写ファイルから写真を選ぶときに、マーカーを付けた位置へスキップできます。



[4K プリ連写]

シャッターボタンを全押しする

- 撮影画面表示中は、オートフォーカスが常に働きピントを合わせ続けます。[M] モード以外では、露出も合わせ続けます。
- 被写体が中央ないときには、ピントと露出を固定したい場合は、AF/AE ロックをお使いください。（→186）



- 初期設定ではオートレビューが働き、連写ファイルから写真を選ぶ画面が表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ってください。

撮影した4K連写ファイルから写真を選び保存する方法については、154ページをお読みください。

❖ プリ記録（4K 連写、4K 連写（S/S））

シャッターボタンを全押しする約1秒前から記録し、シャッターチャンスを逃すことを防ぎます。

[CAMERA] → [4K フォト] → [プリ記録] を選ぶ

設定：[ON] / [OFF]

- [プリ記録] 使用中は、撮影画面に [PRE] が表示されます。
- [プリ記録] 使用中のAF動作や機能の制限は [4K プリ連写] と同じになります。

❖ 4K フォトの解除方法

[] ボタン (▼) を押して [□] (単写) または [] を選ぶ



- [比較明合成] や [軌跡合成] を行う場合、カメラのブレを抑えるために、三脚とシャッターリモコン機能（→341）の使用をお勧めします。

• 4K フォトモードで自分撮りをする（4K セルфиー）

4K フォトモードに切り換えて自分撮りをすることができます。（→82）

自分撮りモードでは、背景を広く写すことができる [4K 連写（広角）] で撮影できます。（自分撮りモード時以外は [4K 連写] に切り換わります）



- ・4K フォト撮影では、以下の設定範囲に変わります。
 - シャッタースピード：1/30～1/16000
 - [下限シャッター速度]：[1/1000]～[1/30]
 - 露出補正：±3 EV
- ・カードの種類によって、ファイルの保存方法が異なります。
 - SDHC メモリーカード：
ファイルサイズが4 GB を超えると、新しいファイルを作成して撮影を
続けます。
 - SDXC メモリーカード：
ファイルが分割保存されることはありません。
- ・撮影時、画角が狭くなります。([4K 連写 (広角)] で撮影時を除く)
- ・4K フォト撮影時、次の機能は使用できません。
 - [トラベル日付] の [旅行先]
 - [フィルターなし同時記録] (→ 103, 197)
 - HDMI 出力
- ・[4K プリ連写] で撮影時、[ステップズーム] は働きません。
- ・[IA] / [IA+] モードでのシーン判別は、動画撮影時と同じシーン判別
になります。
- ・[4K プリ連写] や [プリ記録] を設定しているときは、バッテリーの消費
が早くなり、カメラの温度も上昇します。撮影するときだけ設定してください。
- ・4K フォトでは、以下のメニューが固定されます。
 - [記録画素数]：4K (8M)
[4:3]：3328 × 2496 [3:2]：3504 × 2336
[16:9]：3840 × 2160 [1:1]：2880 × 2880
 - [シャッター方式]：[電子シャッター]
 - [クオリティ]：[■■■]

- 4K フォト撮影では、以下の機能は使用できません。
 - [フォーカスモード] の [AFF]
 - フラッシュ
 - [プラケット]
 - プログラムシフト
 - オートフォーカスモードの [+] [MF]
 - MF アシスト ([4K ブリ連写] のみ)
- 極端に明るい場所、または蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 以下の機能を使用中は、4K フォトは働きません。
 - [SCN] モード ([水面をキラキラ撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る] [花をふんわり撮る])
 - [♪] モード ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - [インターバル撮影]
 - [コマ撮りアニメ]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

4K 連写ファイルから写真を選ぶ

4K 連写ファイルから写真を選び保存できます。

- 4K フォト撮影後のオートレビューから続けて写真を選ぶ場合は、手順 2 または 3 から操作してください。

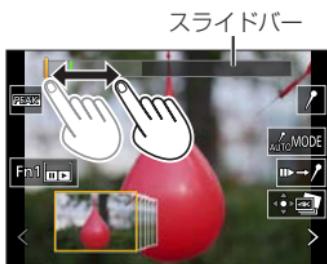
1 再生画面で 4K 連写ファイルを選ぶ (→234)

- [▲] アイコンが付いた画像を選び、▲を押します。
- [▲] アイコンをタッチしても同じ操作ができます。
- [4K プリ連写] で撮影した場合は、手順 3 へ進んでください。



2 おおまかにシーンを選ぶ

- スライドバーをドラッグします。
- スライドフォトセレクト画面での操作方法は、156 ページをお読みください。
- [4K 連写] または [4K 連写 (S/S)] で撮影した場合は、[◀▶] をタッチすると、4K 連写再生画面でシーンを選ぶこともできます。 (→158)



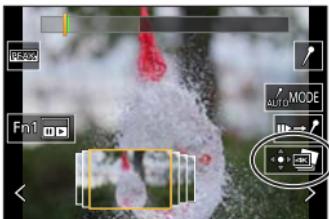
3 保存するコマを選ぶ

- スライドフォトセレクトをドラッグします。
- ◀▶ を押しても、同じ操作ができます。
- 連続してコマ戻し／コマ送りするには、[◀] / [▶] をタッチし続けてください。



4 写真を保存する

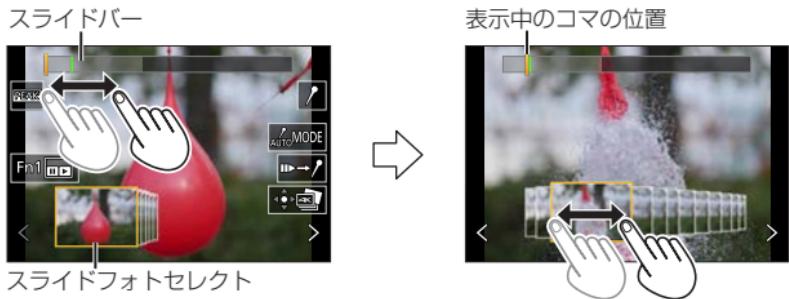
- [] をタッチします。
- 確認画面が表示されます。



- ・写真は JPEG 形式で保存されます。
- ・保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) が記録されます。

写真を選ぶときの操作

❖ スライドフォトセレクト画面



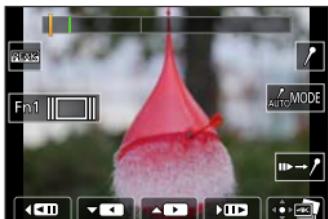
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀▶ / ☀	ドラッグ／<>	コマの選択 ・スライドフォトセレクトを切り換えるには、端のコマを選択し、[<] または [>] をタッチしてください。
◀▶ 長押し	<> タッチし続ける	連続してコマ戻し／コマ送り
—	タッチ／ドラッグ	表示するコマの選択
—	ピンチアウト／ ピンチイン	表示を細かく拡大／縮小
◎	—	表示を拡大／縮小
☀	—	拡大したままコマを選択（拡大表示中）
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動（拡大表示中）
—	AUTOMODE	表示するマーカーの切り換え
[Fn1]	REC	4K 連写再生画面を表示
—	▶▶▶	マーカー操作への切り換え
—	▶ / ■	マーカーの追加（白色）／削除

—		ピントが合っている部分に色を付けて表示 (ピーキング) ・ [PEAK OFF] → [PEAK L] (低) → [PEAK H] (高) の順に切り換わります。
		写真の保存

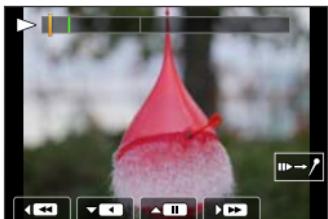
- マーカー操作中は、設定したマーカーや 4K 連写ファイルの始めと終わりにスキップする操作が可能になります。[◀→▶] をタッチすると、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▶	▶	次のマーカーへ移動
◀	◀	前のマーカーへ移動

❖ 4K 連写再生画面



一時停止中



連続再生中

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶ / II	連続再生／一時停止（連続再生中）
▼	◀ / II	連続戻し再生／一時停止（連続戻し再生中）
▶ / ⏪	▶ / II▶	早送り再生／コマ送り（一時停止中）
◀ / ⏫	◀ / II◀	早戻し再生／コマ戻し（一時停止中）
—	タッチ／ドラッグ	表示するコマの選択（一時停止中）
—	ピンチアウト／ピンチイン	表示を細かく拡大／縮小（一時停止中）
⌚	—	表示を拡大／縮小（一時停止中）
✿	—	拡大したままコマを選択（拡大表示中）
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動（拡大表示中）
—	AUTO MODE	表示するマーカーの切り換え
[Fn1]	□□	スライドフォトセレクト画面を表示（一時停止中）
—	II→▶	マーカー操作への切り換え
—	▶ / ■	マーカーの追加（白色）／削除
—	PEAK	ピントが合っている部分に色を付けて表示（ピーキング） ・ [PEAK OFF] → [PEAK L]（低）→ [PEAK H]（高）の順に切り換わります。
MENU / SET	◆□	写真的保存（一時停止中）

- マーカー操作中は、設定したマーカーや4K連写ファイルの始めと終わりにスキップする操作が可能になります。[] をタッチすると、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▶	—	次のマーカーへ移動
◀	—	前のマーカーへ移動

-  • パソコンで4K連写ファイルから写真を選び保存する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。ただし、「PHOTOfunSTUDIO」では4K連写ファイルを動画として扱うことはできません。

❖ オートマーキング機能

被写体の動きや顔を検出したシーンに、カメラが自動でマーカーを設定します。(緑色)
(例:乗り物が横切るシーン、風船が割れるシーン、人が振り向くシーン)
・1ファイルにつき最大10個まで表示されます。

オートマーキング機能によるマーカー
手動で設定したマーカー



表示するマーカーを切り換える

スライドフォトセレクト画面、4K連写再生画面、またはマーカー操作画面で [] をタッチする

オート	顔を検出したシーンや、動きを検出したシーンのマーカーを表示
顔優先	顔を検出したシーンのマーカーを優先して表示
動き優先	動きを検出したシーンのマーカーを優先して表示
OFF	手動で設定したマーカーのみ表示

-  • オートマーキング機能によるマーカーは削除できません。
• 撮影条件や被写体の状態によって、オートマーキング機能によるマーカーが設定されない場合があります。
• 次の場合、オートマーキング機能によるマーカーは表示されません。
- [4K ブリ連写] で撮影した4K連写ファイル

❖ 4K フォト一括保存

4K 連写ファイルから、5 秒分の写真を一括で保存できます。

① [4K フォト一括保存] を選ぶ

-     [4K フォト一括保存]

② で 4K 連写ファイルを選び、 を押す

- 連写時間が 5 秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

③ 一括保存する最初のコマを選び、 を押す

- 写真は JPEG 形式で、1 つの連写グループとして保存されます。

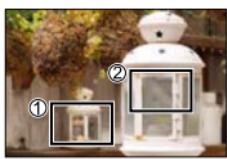
フォーカスセレクト撮影

■■■PASM■■■S&Q|SCN|



自動でピント位置を変化させながら、4K フォトと同じ画質の連写をします。撮影後にピント位置を選んで写真を保存できます。フォーカス合成で、複数のピント位置の合成もできます。

動きのない被写体に適した機能です。



自動でピントをずらしながら 4K フォト連写

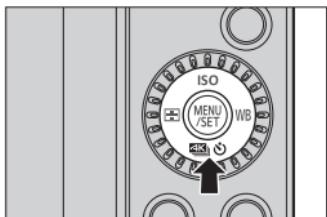
合わせたいピント位置をタッチ

お好みのピント位置の写真が完成



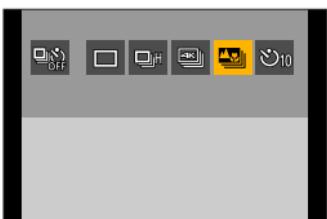
- 撮影時は UHS Speed Class 3 以上のカードをお使いください。
- 撮影時に画角が狭くなります。
- 撮影後にフォーカス合成する場合は、三脚の使用をお勧めします。
- カメラの温度が上昇すると、[] が表示され撮影が停止する場合があります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。

1 [] ボタン (▼) を押す



2 ◀▶ で [フォーカスセレクト] を選び、 を押す

- 回しても選ぶことができます。



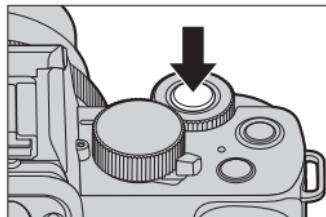
3 構図を決めて、ピントを合わせる

- シャッター ボタンを半押しします。
- オートフォーカスが働き、画面内のピント位置を検出します。(画面の端を除く)
 - 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示 Ⓐ が点滅し、撮影できません。
 - 撮影が終わるまで、被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。



4 撮影する

- シャッター ボタンを全押しします。



- ピント位置を自動で変化させながら撮影します。アイコン Ⓑ が消えると、撮影は自動で終了します。
- 音声は記録されません。
- 初期設定ではオートレビューが働き、ピント位置を選ぶ画面が表示されます。
(→163)



❖ フォーカスセレクトの解除方法

[] ボタン (▼) を押して [] (単写) または [] を選ぶ



- ・4K フォトと同様の画質で撮影するため、撮影機能やメニューに制限があります。
- ・フォーカスセレクト撮影では、フォーカスに関する設定ができません。
- ・デジタルズームは使用できません。
- ・以下の機能を使用中は、[フォーカスセレクト] は使用できません。
 - 自分撮りモード
 - [SCN] モード（[水面をキラキラ撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を持ちで撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る] [花をふんわり撮る]）
 - [♪] モード（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - [インターバル撮影]
 - [コマ撮りアニメ]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

ピント位置を選んで写真を保存する

1 再生画面でフォーカスセレクト画像を選ぶ (→234)

- ・[] アイコンが付いた画像を選び、▲を押します。
- ・アイコン [] をタッチしても同じ操作ができます。



2 ピント位置をタッチする

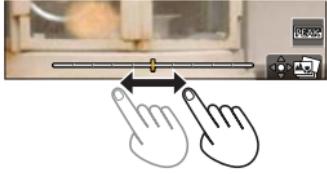
- ・ピントが合うと緑色の枠が表示されます。
- ・選んだ位置にピントが合う写真がない場合は、赤い枠が表示されます。写真是保存できません。
- ・画面の端は選べません。



3 写真を保存する

- ・[] をタッチします。
- ・写真是 JPEG 形式で保存されます。

❖ ピント位置選択中の操作

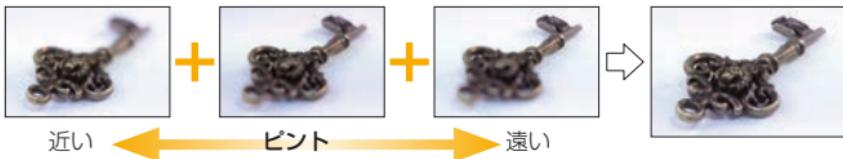
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶ / 	タッチ	<p>ピントの位置の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡大表示中は選択できません。
		<p>表示の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡大表示中は、スライドバーをドラッグし、ピントを微調整できます。（◀▶でも同じ操作ができます） 
		表示の縮小（拡大表示中）
[Fn1]		フォーカス合成操作への切り換え（→165）
—		<p>ピントが合っている部分に色を付けて表示（ピーキング）</p> <ul style="list-style-type: none"> [PEAK OFF] → [PEAK L]（低）→ [PEAK H]（高）の順に切り換わります。
		写真の保存



- ・テレビに画像を表示して、ピント位置を選ぶことはできません。

フォーカス合成

複数のピント位置を合成することで、手前から奥までピントの合った写真を保存できます。



1 163 ページ手順 2 のピント位置を選択画面で、[] をタッチする

- [Fn1] ボタンを押しても、同じ操作ができます。



2 合成方法を選ぶ

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1枚の写真に合成します。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を1枚の写真に合成します。



3 ([指定範囲合成] 選択時) ピント位置をタッチする

- 2点以上の位置を選んでください。選択した点には緑色の枠が表示されます。
 - 選択した2点の間で、ピントの合う範囲が緑色で表示されます。
 - 選択できない範囲はグレーで表示されます。
 - 選択を解除するには、緑色の枠が付いた点をもう一度タッチしてください。
 - 連続した位置を選択するには、画面をドラッグしてください。



4 写真を保存する

- [◀▶] をタッチします。

❖ [指定範囲合成] 選択中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	位置の選択
【Fn1】	【設定/解除】	位置の設定／解除
【DISP.】	【全範囲】	すべての位置を選択（位置の選択前）
	【リセット】	すべての選択を解除（位置の選択後）
		写真の合成・保存



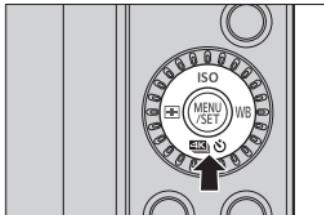
- 写真は JPEG 形式で保存され、最も近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。
 - 手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角がわずかに狭くなります。
 - 撮影中に被写体が動いた場合や、被写体間の距離の差が大きい場合、不自然な写真に合成される場合があります。

セルフタイマー撮影

■■■■■P■■■■■M■■■■■S&Q■■■■■SCN■■■■■

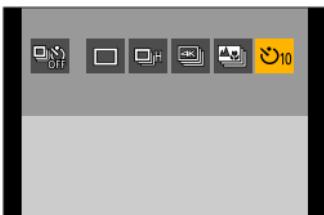


1 [■■■■■] ボタン (▼) を押す



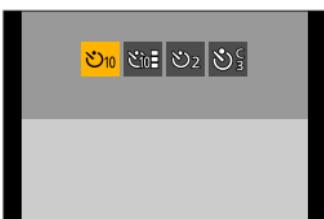
2 ◀▶で [セルフタイマー] を選び、▲を押す

- ○を回しても選ぶことができます。



3 セルフタイマーの時間を設定する

- ◀▶でセルフタイマーの時間を選び、MENU/SETを押します。
- ■■■■■または○を回しても選ぶことができます。
- 撮影／動画メニューの【セルフタイマー】でも設定できます。

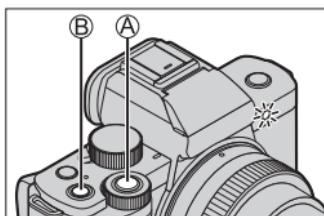


4 構図を決め、ピントを合わせる

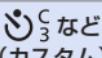
- シャッターボタンを半押しします。
- ピントと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。

5 撮影する

- シャッターボタンⒶまたは動画記録ボタンⒷを押します。
- セルフタイマーランプが点滅後、シャッターが切れます。



❖ 設定項目（セルフタイマー）

	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。（動画撮影時は【  】と同じ動作になります）
	2秒後に撮影します。 ・シャッターボタンを押したときのカメラプレを防ぐのに便利です。
	撮影／動画メニューの【セルフタイマー】の【設定】で登録した秒数の後に撮影します。（ 283 、 290 ）

❖ セルフタイマーの解除方法

【 】ボタン（▼）を押して【□】（単写）または【】を選ぶ

	・セルフタイマー撮影をするときは、三脚の使用をお勧めします。
	・以下の機能を使用中は、【  】は使用できません。 -【フィルターなし同時記録】（ 103 、 197 ） -【プラケット】 -【ライブビューコンポジット撮影】 -【多重露出】
	・以下の機能を使用中は、セルフタイマーは働きません。 -自分撮りモード（自分撮りモード撮影時は、【カウントダウン】（ 80 ）でセルフタイマーを設定できます） -【インターバル撮影】 -【コマ撮りアニメ】（【自動撮影】設定時）

インターバル撮影

[**IA**] [**FA**] [**P**] [**AS**] [**M**] [**S&Q**] [**SCN**] [**6**]



設定した撮影間隔で自動的に撮影します。時間経過を追って動植物などの被写体を撮影するのに適しています。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、グループ画像を動画にすることもできます。

- ・時計が正しく設定されているか確認してください。(→49)
- ・撮影間隔が長いときは、カスタムメニュー（レンズ/その他）の【レンズ位置メモリー】を【ON】に設定することをお勧めします。

1 [インターバル撮影] に設定する

- **[MENU/SET] → [CAMERA] → [インターバル撮影]**



2 撮影の設定をする

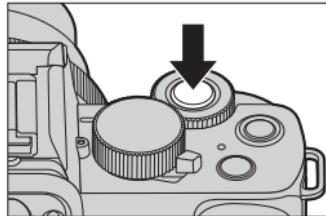
撮影間隔設定	ON	次の撮影までの間隔を設定できます。
	OFF	撮影間隔を空けずに連続で撮影します。
開始時刻	即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影が始まります。
	開始時刻設定	設定した時刻から、撮影が始まります。
撮影枚数 撮影間隔	撮影枚数	撮影枚数と撮影間隔を設定します。
	撮影間隔	・【撮影間隔設定】が【OFF】のときは、【撮影間隔】が使用できません。

3 ▲で【開始】を選び、**[MENU/SET]** を押す



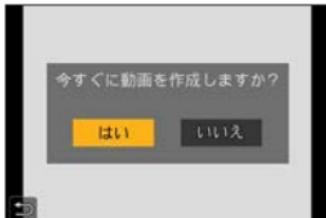
4 ピントを合わせて撮影を開始する

- シャッター ボタンを全押しすると、インターバル撮影を開始します。
- 【開始時刻設定】を設定したときは、開始時刻までスリープ状態になります。
- 撮影待機中に一定時間何も操作しないと、スリープ状態になります。
- 撮影は自動で終了します。



5 動画を作成する (→174)

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で【[はい]】を選んでください。
- 【[いいえ]】を選んだときは、再生メニューの【インターバル動画作成】で、動画を作成できます。(→323)



❖ インターバル撮影中の動作

スリープ状態でシャッター ボタンを半押しすると、電源が入ります。

- インターバル撮影中に【Fn2】ボタンを押すと、以下の操作ができます。

継続	撮影に戻ります。(撮影中のみ)
一時停止	撮影を中断します。(撮影中のみ)
再開	撮影を再開します。(一時停止中のみ) ・ シャッター ボタンを押しても再開できます。
終了	インターバル撮影を終了します。

- 適正露出を優先するため、設定どおりの撮影間隔や撮影枚数で撮影されない場合があります。また、画面に表示される終了予定時刻どおりに終わらない場合があります。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - 電源スイッチを [OFF] にしたとき
電源スイッチを [OFF] にして、バッテリーやカードを交換できます。
 - 電源スイッチを [ON] にして、シャッターボタンを全押しすると、撮影が再開されます。(ただし、カードを交換したあとに撮影した画像は、別のグループ画像として保存されます)
- 以下の機能を使用中は、[インターバル撮影] は使用できません。
 - [SCN] モード ([夜景を手持ちで撮る])
 - 自分撮りモード
 - [コマ撮りアニメ]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

コマ撮りアニメ撮影

[A][AF] P A S M [M] S&Q SCN [6]



被写体を少しずつ動かしながら写真を撮影します。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、ストップモーション動画を作成できます。

1 [コマ撮りアニメ] に設定する

- [MENU/SET] → [CAMERA] → [コマ撮りアニメ]



2 撮影の設定をする

自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。
	OFF	1コマずつ手動で写真を撮影します。
撮影間隔		[自動撮影] の撮影間隔を設定します。

3 ▲で [開始] を選び、[MENU/SET] を押す

4 ▲で [新しく撮る] を選び、[MENU/SET] を押す

5 ピントを合わせて撮影する



- 被写体を少しずつ動かしながら、撮影を繰り返してください。
- ・ 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- ・ 撮影中に[REC]ボタンを押すと、コマ撮りした画像を再生できます。不要な画像は[Delete]ボタンを押して消去してください。撮影画面に戻るには、もう一度[REC]ボタンを押してください。



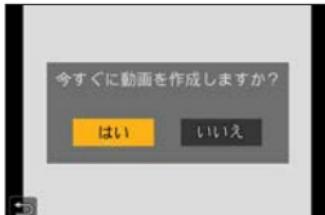
6 撮影を終了する

-  を押し、撮影メニューから [コマ撮りアニメ] を選んで終了します。



7 動画を作成する (→ 174)

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で [はい] を選んでください。[いいえ] を選んだときは、再生メニューの [コマ撮りアニメ作成] で、動画を作成できます。(→ 323)



- 手順 4 で [続きから撮る] を選ぶと、[コマ撮りアニメ] で撮影したグループ画像が表示されます。画像を選択したあと、手順 5 へ進んでください。
- 最大 9999 コマまで撮影できます。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい] を選ぶと続きから撮影できます。
- 適正露出を優先するため、フラッシュ撮影したときは、設定どおりの撮影間隔で自動撮影されない場合があります。
- 1 枚だけ撮影された画像を [続きから撮る] で選ぶことはできません。
- 以下の機能を使用中は、[コマ撮りアニメ] は使用できません。
 - 自分撮りモード
 - [インターバル撮影]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]
- 以下の機能を使用中は、[コマ撮りアニメ] の [自動撮影] は使用できません。
 - [SCN] モード ([夜景を手持ちで撮る])

インターバル／コマ撮りアニメの動画

インターバル撮影、コマ撮りアニメ撮影後に、続けて動画を作成できます。

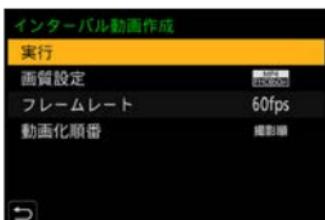
- 撮影については、以下をお読みください。
 - インターバル撮影 : [→ 169](#)
 - コマ撮りアニメ : [→ 172](#)
- 動画の作成は、再生メニューの【インターバル動画作成】 ([→ 323](#))、【コマ撮りアニメ作成】 ([→ 323](#)) からでも可能です。

1 撮影後に表示される確認画面で、 [はい] を選ぶ



2 動画の作成方法を設定する

3 [実行] を選ぶ



実行	動画を作成します。	
画質設定	動画の画質を設定します。	
フレームレート	1秒当たりのコマ数を設定します。 数字が大きいほど滑らかな動画になります。	
動画化順番	撮影順	撮影した順番で画像をつなげます。
	逆順	撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。



- 記録時間が 29 分 59 秒を超える動画は作成できません。
- 以下の場合、ファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。
 - SDHC メモリーカードを使用し、4K の [画質設定] に設定
 - FHD または HD の [画質設定] に設定

ブラケット撮影

[][] P A S M [M][S&Q][SCN][]



シャッターボタンを押すと、露出、絞り、フォーカス、またはホワイトバランスの設定値を自動で変えて複数枚の画像を撮影できます。



- 絞りブラケットは以下の場合に選択できます。
 - [A] モード
 - [M] モード (ISO 感度を [AUTO] に設定したとき)

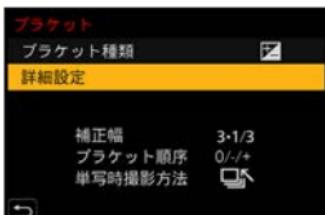
1 [ブラケット種類] を設定する

- → [] → [ブラケット] → [ブラケット種類]



2 [詳細設定] を設定する

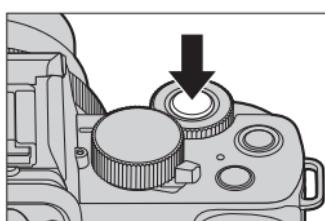
- [詳細設定] については、各ブラケットのページをお読みください。



3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

4 ピントを合わせて撮影する



❖ 設定項目（ブラケット種類）

 露出ブラケット	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。（→177）
 絞りブラケット	シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。（→177）
FOCUS フォーカスブラケット	シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。（→178）
 WB ホワイトバランス ブラケット	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動で3枚撮影します。（→178）
OFF	—

❖ ブラケットの解除方法

手順1で[OFF]に設定する

	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を使用中は、ブラケット撮影は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> - 自分撮りモード - [SCN] モード（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る]） - [] モード（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]） - [4K フォト]、[フォーカスセレクト] - [インターバル撮影] - [コマ撮りアニメ]（[自動撮影] 設定時） - [ライブビューコンポジット撮影] - [多重露出] ・フラッシュ撮影時は、露出ブラケット、絞りブラケット、フォーカスブラケットは使用できません。外部フラッシュで撮影する場合は、[絞りブラケット]とフォーカスブラケットを使用できます。 ・以下の機能を使用中は、ホワイトバランスブラケットは働きません。 <ul style="list-style-type: none"> - [] / [] モード - [連写] - [クオリティ] の [RAW] [RAW] [RAW] - [フィルター設定]
---	---

❖ 詳細設定（露出ブラケット）

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 【3•1/3】(3枚撮影・1/3 EV幅)～【7•1】(7枚撮影・1 EV幅)
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法	【□】: シャッター ボタンを押すごとに1枚撮影。 【■】: 1回シャッター ボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。 ・ 設定枚数分がすべて撮影されるまで【BKT】アイコンが点滅します。

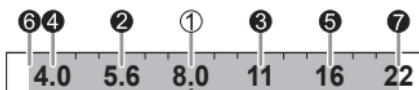


- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

❖ 詳細設定（絞りブラケット）

撮影枚数	【3】／【5】: 開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。 【ALL】: すべての絞り値で撮影。
------	--

開始位置を F8.0 に設定しているときの例



- ① 1枚目、② 2枚目、③ 3枚目・・・⑦ 7枚目

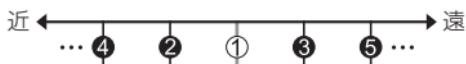


- 絞り値は使用するレンズによって変わります。

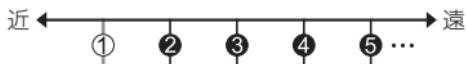
❖ 詳細設定（フォーカスブラケット）

補正幅	ピント合わせの幅を設定します。 ・ピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置が近い場合は短く、遠い場合は長くなります。
撮影枚数	撮影枚数を設定します。 ・連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連写されます。
ブラケット順序	[0/-/+]：開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。 [0/+]：開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

[ブラケット順序] : [0/-/+] 設定時の例



[ブラケット順序] : [0/+] 設定時の例



① 1枚目、② 2枚目 … ⑤ 5枚目 …



- ・フォーカスブラケット撮影した写真は、1つのグループ画像として表示されます。
- ・[シャッター方式]は【電子シャッター】に固定されます。

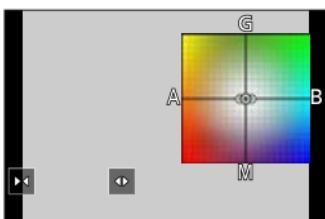
❖ 詳細設定（ホワイトバランスブラケット）

▲ または ▼ を回して補正幅を設定し、
MENU/SET を押す

横方向 : [A] ~ [B]

縦方向 : [G] ~ [M]

- ・[◀] / [▶] / [↑] / [↓] をタッチしても補正幅を設定できます。



サイレントモード

[][] P A S M [] S&Q SCN []



カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。

スピーカーからの音声は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。

- 以下の設定が固定されます。
 - [フラッシュモード] : [] (発光禁止)
 - [AF 補助光] : [OFF]
 - [シャッター方式] : [電子シャッター]
 - [電子音音量] : [] (OFF)
 - [シャッター音音量] : [] (OFF)

[サイレントモード] を選ぶ

設定 : [ON] / [OFF]



- [ON] に設定していても、以下の機能は点灯／点滅します。
 - セルフタイマーランプ
 - WIRELESS 接続ランプ
- [ライブビューコンポジット撮影] 時は、[サイレントモード] は使用できません。
- 本機能のご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

シャッター方式

■ ■ ■ P A S M ■ ■ ■ S & Q SCN ■



写真撮影時のシャッター方式を選びます。

MENU → [CAMERA] → [シャッター方式] を選ぶ

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り替えます。
電子先幕	電子先幕方式で撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式で撮影します。

	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式	露光の開始と終了を電子的に行う方式
フラッシュ	✓	—
シャッタースピード	T(タイム、最大約60秒間) ^{※1} 、 60秒～1/500秒	1秒 ^{※2} ～1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音 + 電子シャッター音 ^{※3}	電子シャッター音 ^{※3}

※1 [M] モード時に設定できます。

※2 ISO 感度が3200より高い場合、1秒より速くなります。

※3 セットアップメニューの[電子音]の[シャッター音音量]と[シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。(→312)

- 画面に[■]が表示されている場合は、電子シャッター方式で撮影されます。
- 電子シャッターで動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、電子シャッターで撮影すると、横しまが記録されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 以下の機能を使用中は、[シャッター方式]は設定できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [サイレントモード]
 - [ブラケット] のフォーカスブラケット
- シャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押した数秒後にシャッターを切る設定ができます：
[CAMERA] → [シャッターディレイ] (→284)

手ブレ補正

撮影時の手ブレを感じて、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。



- O.I.S. スイッチのあるレンズを使用するときは、レンズ側でスイッチを [ON] にしてください。
- 本機との通信機能がないレンズを使用時は、[手ブレ補正] は選択できません。
- 手ブレ補正機能がないレンズを使用時は、[動作設定] は選択できません。

手ブレ補正の設定



撮影状況に合わせて、手ブレ補正の動作を設定します。

→ [CAMERA] / [MOVIE] → [手ブレ補正] を選ぶ

動作設定	撮影手法（通常、流し撮り）に合わせて、補正する動き（ブレ）を設定します。（→ 182）	
電子補正 (動画)	強	大きなブレを補正します。 (補正幅が大きいため、画角が狭くなります) ・動画撮影中、画面に [補正] が表示されます。
	標準	ブレを補正します。（画角が狭くなる場合があります） ・動画撮影中、画面に [補正] が表示されます。
	OFF	電子補正（動画）をオフにします。
動画撮影中の上下、左右、回転軸、縦回転、水平回転の5つのブレをレンズ、電子式を組み合わせて補正します。 (5軸ハイブリッド手ブレ補正)		
<ul style="list-style-type: none">• Dual I.S.2 に対応した当社製レンズを使用しても撮影画面のアイコンに [補正] や [補正] が表示されない場合は、レンズのファームウェアを最新のバージョンにしてください。対応レンズの最新情報やファームウェアのダウンロードについては、サポートサイトをご覧ください。（→ 26）• Dual I.S.2 に対応していない交換レンズを使用時や、[動作設定] を [OFF] に設定時は、[補正]（強）／[補正]（標準）が表示されます。		



- シャッター ボタンを半押しすると、撮影画面に手ブレ警告アイコン が表示される場合があります。表示されたときは、三脚やセルフタイマー、シャッターリモコン機能 (→ 341) を使用することをお勧めします。
 - 三脚を使用するときは、手ブレ補正機能をオフにすることをお勧めします。
- 以下の機能を使用中は、[電子補正 (動画)] は使用できません。
- [S&Q] モード
 - [デジタルズーム]
 - [4K ライブクロップ]

❖ 動作設定

撮影手法 (通常、流し撮り) に合わせて、補正する動き (ブレ) を設定します。

通常	上下、左右、回転の動きに対する手ブレを補正します。 通常の撮影に適しています。
流し撮り	上下の動きに対する手ブレを補正します。左右方向に流し撮りするときに適しています。
OFF	レンズ内手ブレ補正機能を OFF にします。

- お使いのレンズによって、使える手ブレ補正の種類が異なります。
- O.I.S. スイッチのあるレンズ使用時は、カメラの動作設定で [OFF] に設定できません。レンズ側でスイッチを [OFF] にしてください。
- 以下の機能を使用中は、 (流し撮り) は (通常) に切り換わります。
- 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト]

8. 明るさ（露出）／色合い／画像効果

測光モード

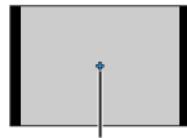
IA AE-L/AF-L P A S M 包围 M S&Q SCN REC



明るさを測る方式を切り換えることができます。

MENU SET → [CAMERA] / [MOVIE] → [測光モード] を選ぶ

① マルチ測光	画面全体の明るさの配分を評価して、露出が最適になるように測光する方式です。
② 中央重点	画面中央部に重点を置いて測光する方式です。
③ スポット	<p>スポット測光ターゲット周辺の極めて狭い部分を測光する方式です。</p> <ul style="list-style-type: none">AFエリアを移動すると、スポット測光ターゲットも合わせて移動します。



スポット測光ターゲット

露出補正

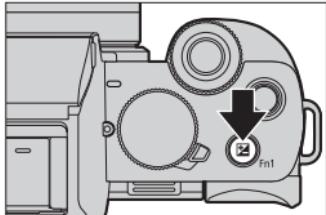
■ ■ P A S M ■ M S & Q S C N 



カメラが決めた適正露出では明るすぎたり暗すぎたりする場合に露出補正できます。

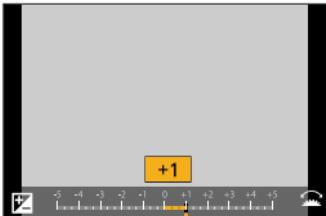
露出補正できる範囲は、1/3 EV ステップ、±5 EV です。動画撮影、4K フォト撮影、フォーカスセレクト撮影では、±3 EV の範囲になります。

1 ボタンを押す



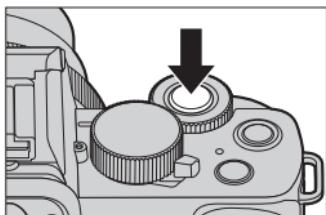
2 露出を補正する

-  または  を回します。



3 決定する

- シャッター ボタンを半押しします。





- ・[M] モードでは、ISO 感度を [AUTO] に設定すると露出補正できます。
 - ・露出補正值が±3 EV の範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。シャッターボタンを半押し、または AE ロックすると、撮影画面に反映されます。
 - ・設定した露出補正值は、電源を切っても記憶しています。
-
- ・電源を切ると露出補正值をリセットするように設定できます：
[CF] → [+] → [露出補正リセット] (→292)
 - ・露出補正画面で露出ブラケットの設定とフラッシュ発光量の調整ができます：
[CF] → [?] → [露出補正画面の操作] (→297)

ピントや露出の固定 (AF/AE ロック)

REC iA P A S M  S&Q SCN 



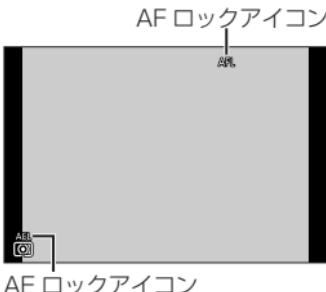
撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。画面の端にピントを合わせたいときや逆光時に便利です。

1 Fn ボタンに [AF/AE LOCK] を登録する (→255)

- [Fn5] ~ [Fn9] には登録できません。

2 ピントや露出を固定する

- Fn ボタンを押したままにします。
- ピントがロックされると、AF ロックアイコンが表示されます。
- 露出がロックされると、AE ロックアイコンが表示されます。



3 Fn ボタンを押したまま、構図を決めて撮影する

- シャッター ボタンを全押しします。

❖ [AF/AE LOCK] の機能を設定する

 → [] → [] → [AF/AE ロック切換] を選ぶ

AE LOCK	露出を固定します。
AF LOCK	ピントを固定します。
AF/AE LOCK	ピントと露出を固定します。
AF-ON	オートフォーカスが働きます。



- AE ロック中でも、プログラムシフトを設定できます。



- Fn ボタンを押し続けなくても、ロックを維持するようにできます：
[] → [] → [AF/AE ロック維持] (→292)

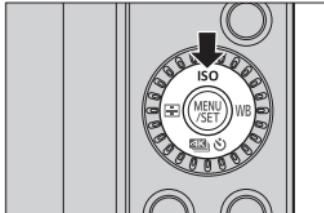
ISO 感度

拍摄模式 P A S M M S&Q SCN



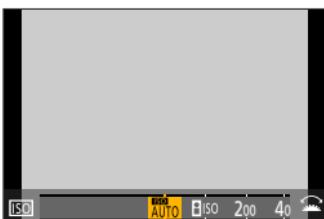
光に対する感度 (ISO 感度) を設定できます。初期設定では、1/3 EV ごとに 200~25600 の範囲で設定できます。

1 [ISO] ボタン (▲) を押す



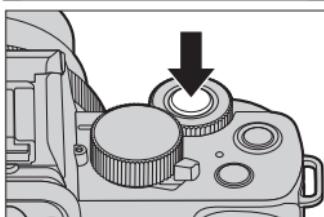
2 ISO 感度を選ぶ

- または を回します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



ISO 感度の性質

ISO 感度を上げると、暗い場所でもシャッタースピードを速くして、手ブレや被写体ブレを防ぐことができます。ただし、ISO 感度が高いほど、撮影した画像のノイズが多くなります。

❖ 設定項目 (ISO 感度)

AUTO	被写体の明るさに応じて、最大 3200 までの範囲で自動設定します。
ISO (インテリジェント ISO)	被写体の動きと明るさに応じて、最大 3200 までの範囲で自動設定します。 ・シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
200~25600	それぞれの ISO 感度に固定します。 ・カスタムメニュー (露出) の [拡張 ISO 感度] (→292) を [ON] にすると、下限値 100 まで ISO 感度を拡張できます。

- 以下の機能を使用中は、[ISO] は使用できません。
 - [S] / [M] / [P] / [S&Q] モード
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
- 以下の機能を使用中は、設定できる ISO 感度に制限があります。
 - [P] / [S&Q] モード、[4K フォト]、[フォーカスセレクト] : 上限 6400
 - [フォトスタイル] の [V-Log L] : 下限 400
 - [フィルター設定] : 上限 3200 ([ハイダイナミック] 設定時は [AUTO] に固定)
 - [ライブビューコンポジット撮影] : 下限 200 ([拡張 ISO 感度] を [ON] に設定時は L.100)、上限 1600
 - [多重露出] : 下限 200、上限 3200



- 動画撮影中は [AUTO] (動画用) の動作になります。
([P] / [S&Q] モード時以外)



- ISO オートの上限と下限を設定できます：
[CAMERA] → [ISO 感度設定 (写真)] (→281)
[MOVIE] → [ISO 感度設定 (動画)] (→226)
- ISO オート時のシャッタースピードの下限を設定できます：
[CAMERA] → [下限シャッター速度] (→281)
- ISO 感度の設定値の刻みを変更できます：
[CAMERA] → [+] → [ISO 感度ステップ] (→292)
- ISO 感度の設定画面で ISO オートの上限を設定できます：
[CAMERA] → [ISO] → [ISO 感度画面の操作] (→297)

ホワイトバランス (WB)

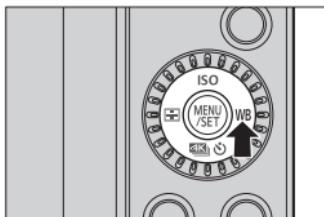
IA iA P A S M M S&Q SCN 



ホワイトバランス (WB) は、被写体を照らす光の色の影響を補正する機能です。白いものを白く、見た目に近い色に補正します。

通常はオート ([AWB]、[AWBc] または [AWBw]) で適切なホワイトバランスが得られます。画像の色合いが思ったとおりにならないときや、色合いを変化させて雰囲気を表現したいときに設定してください。

1 [WB] ボタン (►) を押す



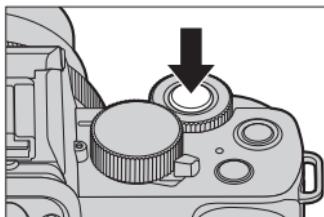
2 ホワイトバランスを選ぶ

-  または  を回します。



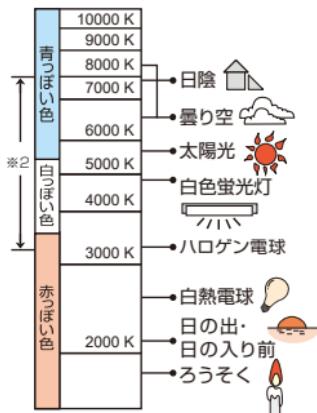
3 決定する

- シャッター ボタンを半押しします。



❖ 設定項目 (ホワイトバランス)

AWB	オート
AWBc	オート (白熱電球下で赤みを抑えます)
AWBw	オート (白熱電球下で赤みを残します)
晴天	晴天
曇天	曇天
晴天の日陰	晴天の日陰
白熱灯	白熱灯
フラッシュ	フラッシュ
1 ~ 4	セットモード 1~4 (→191)
SK1 ~ SK4	色温度 1~4 (→191)



※1 動画撮影、4K フォト撮影、フォーカスセレクト撮影では、[AWB] と同じ動作をします。

※2 [AWB] が働く範囲

- 蛍光灯や LED などの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なります。[AWB]、[AWBc]、[AWBw]、[1] ~ [4] をご使用ください。
- [フィルター設定] 使用中は、ホワイトバランスは [AWB] に固定されます。
- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- [SCN] モードでは、それぞれのシーンに適した設定になります。
- [SCN] モードでは、シーンまたは撮影モードを変更すると、設定したホワイトバランス（ホワイトバランス微調整も含む）は、[AWB] に戻ります。

❖ ホワイトセット登録 ([] ~ [])

撮影場所の光源下で白いものを撮影して、白く写るようにホワイトバランスを調整します。

- ① [WB] ボタン (▶) を押し、[] ~ [] のいずれかを選ぶ
- ② ▲ を押す
- ③ 画面中央の枠内に白いものを映し、 を押す
 - ・ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。



- ・[ライブビューコンポジット撮影] でノイズリダクション用の画像を取得後は、ホワイトセット登録は使用できません。

❖ 色温度設定 ([] ~ [])

ホワイトバランスの色温度を数値で設定します。

- ① [WB] ボタン (▶) を押し、[] ~ [] のいずれかを選ぶ
- ② ▲ を押す
- ③ ▲ ▼ で色温度を選び、 を押す

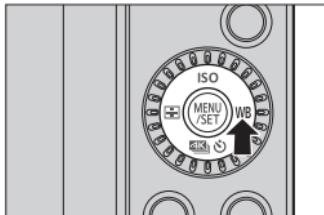


- ・2500K~10000K まで設定できます。

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないときに、色合いを調整できます。

1 [WB] ボタン (►) を押す

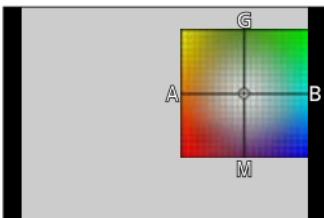


2 ホワイトバランスを選び、▼を押す

- 調整画面が表示されます。

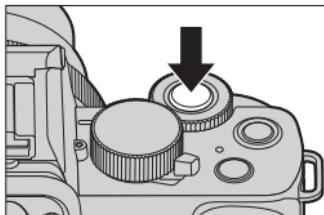
3 色合いを調整する

- ◀ : [A] (アンバー : オレンジ系)
- ▲ : [G] (グリーン : 緑系)
- : [B] (ブルー : 青系)
- ▼ : [M] (マゼンタ : 赤系)
- ・グラフをタッチしても調整できます。
- ・調整していない状態に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。
- ・または を回すと、ホワイトバランスプラケットの設定ができます。
(→178)



4 決定する

- シャッター ボタンを半押しします。



-  • ホワイトバランスを調整すると、撮影画面のアイコンが調整した色に変わります。G 方向に調整すると [+] が、M 方向に調整すると [-] が表示されます。

フォトスタイル

IA FA P A S M M S&Q SCN



被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。
フォトスタイルごとに画質調整ができます。

[MENU/SET] → [CAMERA] / [MOVIE] → [フォトスタイル] を選ぶ

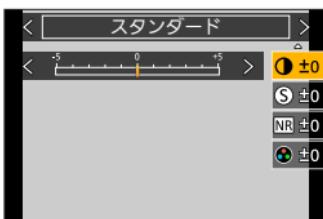
STD. スタンダード	標準的な設定
VIVID ヴィヴィッド	彩度とコントラストが高めの鮮やかな設定
NAT ナチュラル	コントラストが低めの柔らかな設定
MONO モノクローム	色味を抜いた単色の設定
L.MONO L. モノクローム	階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ設定
L.MONO D L. モノクローム D	ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ設定
SCNY 風景	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した設定
SPORT 人物	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した設定
CUST カスタム	あらかじめ登録した色や画質に設定できます。
CNED シネライク D	動画編集時の処理に適した、ダイナミックレンジを優先したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定
CNEV シネライク V	コントラストを重視したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定
V-Log L V-Log L	ポストプロダクション処理を前提としたガンマカーブの設定 ・ ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることができます。



- ・ [FA+] モード時は、他の撮影モードと動作が異なります。
 - [スタンダード]、[モノクローム] に設定できます。
 - 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード] にリセットされます。
 - 画質調整できません。
- ・ [SCN] モード時は、画質調整のみできます。
- ・ [フィルター設定] 使用中は、[フォトスタイル] は使用できません。

❖ 画質調整

- ①◀▶でフォトスタイルの種類を選ぶ
- ②▲▼で設定項目を選び、◀▶で調整する
 - ・ [DISP.] ボタンを押すと、調整した内容を [カスタム] に登録できます。
- ③ MENU を押す
 - ・ 画質調整すると、撮影画面のフォトスタイルアイコンに [+] が表示されます。



設定項目（画質調整）

 コントラスト ^{※1}	画像の明暗差を調整します。	
 シャープネス	画像の輪郭を調整します。	
 ノイズリダクション	ノイズリダクションの効果を調整します。 ・効果を強めた場合、解像感がわずかに低下する場合があります。	
 彩度 ^{※2}	色の鮮やかさを調整します。	
 色調 ^{※3}	青み、黄色みを調整します。	
 フィルター効果 ^{※3}	黄	コントラストを強調します。(効果:弱) 青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	コントラストを強調します。(効果:中) 青空を色濃く撮影できます。
	赤	コントラストを強調します。(効果:強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。 緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	—
 粒状 ^{※3}	弱／中／強	粒状感の強弱を設定します。
	OFF	—

※1 [V-Log L] 選択中は調整できません。

※2 [モノクローム]、[L. モノクローム]、[L. モノクローム D]、[V-Log L] 以外を選択中に使用できます。

※3 [モノクローム]、[L. モノクローム]、[L. モノクローム D]選択中に使用できます。



- ・[粒状] の効果は、撮影画面では確認できません。
- ・以下の機能を使用中は、[粒状] は使用できません。
– 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト]

フィルター設定

[][][][][][][][]



画像に [] モードと同じ効果（フィルター）を加えて撮影できます。
(→104)

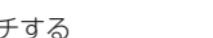
フィルターごとに効果を調整できます。また、効果のない写真も同時に撮影できます。

 → [] / [] → [フィルター設定] → [フィルター効果] を選ぶ
設定 : [ON] / [OFF] / [設定]

❖ タッチ操作でフィルターを設定する

- ① [] をタッチする
- ② 設定する項目をタッチする
[] : フィルターの入／切
[POP] : フィルター
[] : フィルター効果の調整



- ・ [フィルター効果] 使用時は、[] モードで設定できない機能も設定できなくなります。
- ・ ホワイトバランスは [AWB] に、フラッシュは [] (発光禁止) に固定されます。
- ・ ISO 感度の上限は 3200 になります。
- ・ [ハイダイナミック] 設定時は、ISO 感度は [AUTO] に固定されます。
- ・ 動画撮影時は、[ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] / [サンシャイン] は使用できません。
- ・ 以下の機能を使用中は、[フィルター設定] は使用できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]
 - [4K ライブクロップ]

フィルターなし同時記録

IA FA P A S M M S&Q SCN 



フィルター効果を加えていない写真を同時に撮影できます。

  /   [フィルター設定]  [フィルターなし同時記録] を選ぶ

設定 : [ON] / [OFF]



- 以下の機能を使用中は、[フィルターなし同時記録] は使用できません。
 - [連写]
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - 動画撮影中の写真撮影 ( (動画優先) 設定時)
 - [インターバル撮影]
 - [コマ撮りアニメ]
 - [クオリティ] の   
 - [プラケット]

9. フラッシュ

フラッシュを使う

回 **P A S M** 回 **S&Q** **SCN** 



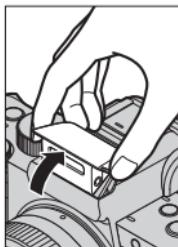
❖ 内蔵フラッシュを開く／閉じる

Ⓐ 開く

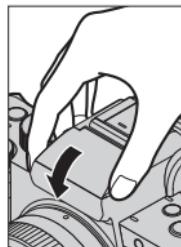
Ⓑ 閉じる

- ・フラッシュを開じているときは、発光禁止 ([]) に固定されます。(外部フラッシュ使用時を除く)

Ⓐ



Ⓑ



- ・指などをはさまないようにお気をつけてください。
- ・無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- ・使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じてください。
- ・フラッシュに物を近づけたり、ふさがないでください。熱や光で変形、変色することがあります。
- ・発光中にフラッシュを手でふさがないでください。
- ・赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- ・撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中はフラッシュが発光せずに撮影されます。
- ・外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。外部フラッシュについては、[393 ページ](#)をお読みください。

フラッシュの設定

[A] [A⁺] P A S M [M] S&Q SCN [6]



カメラからフラッシュの発光を制御するためのフラッシュ機能を設定できます。

フラッシュモード

フラッシュの発光方法を設定します。

[MENU] → [CAMERA] → [フラッシュ設定] → [フラッシュモード] を選ぶ



⚡ 強制発光	フラッシュが強制的に発光します。逆光下や蛍光灯などの照明下での撮影に適しています。
⚡◎ 赤目軽減強制発光	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景も明るく写します。 <ul style="list-style-type: none">シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。
◎ 発光禁止	フラッシュは発光しません。

- ・ [A] / [A⁺] モード時のフラッシュ設定については、[75 ページ](#)をお読みください。

- 〔〕
- ・ フラッシュは 2 回発光します。特に [⚡◎]、[⚡S◎] 設定時は、発光間隔が長くなります。2 回目の発光終了まで動かないようにしてください。
 - ・ 以下を設定しているときは、[⚡◎]、[⚡S◎] は使用できません。
 - [フラッシュシンクロ] : [後幕]
 - [ワイヤレスモード] : [ON]
 - ・ 外部フラッシュ側の設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できないことがあります。
 - ・ 赤目軽減の効果には個人差があります。被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。

❖ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(✓ : 設定可、— : 設定不可)

撮影モード	⚡	⚡◎	⚡S	⚡S◎	⌚
P/A	✓	✓	✓	✓	✓
S/M	✓	✓	—	—	✓
SCN (◎: 初期設定)	人物をきれいに撮る	✓	◎	—	—
	人物の肌をきれいに撮る	✓	◎	—	—
	子どもをかわいく撮る	✓	◎	—	—
	夜景をバックに人物をきれいに撮る	—	—	—	◎
	花をふんわり撮る	◎	—	—	✓
	料理をおいしそうに撮る	◎	—	—	✓
	スイーツをかわいく撮る	◎	—	—	✓
	動くペットをきちんと撮る	◎	—	—	✓
	スポーツをきれいに撮る	◎	—	—	✓
	モノクロで撮る	◎	✓	✓	✓



- 以下の機能を使用中は、フラッシュ撮影できません。
 - [SCN] モード ([逆光でふんわり撮る] [ほのぼのした雰囲気で撮る]
[風景をきれいに撮る] [青空をさわやかに撮る] [夕焼けを幻想的に撮る]
[夕焼けを印象的に撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をきれいに撮る]
[夜景をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る]
[イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を持ちで撮る])
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - 電子シャッター
 - [サイレントモード]
 - [HDR]
 - [フィルター設定]
- ・ [SCN] モードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。

❖ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
闪光	1/50 秒 ^{※1}
闪光(優先)	
闪光S	1 秒～1/50 秒
闪光S(優先)	

※1 [S] モード時は 60 秒～1/50 秒、[M] モード時は T (タイム) または 60 秒～1/50 秒になります。

- ・フラッシュ発光時は、1/50 秒より速いシャッタースピードには設定できません。
- ・[IA] / [IA⁺] モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

❖ フラッシュ撮影可能範囲

使用するレンズによってはフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光がレンズの画角をカバーできないため、撮影画像の一部が暗くなる場合があります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。

交換レンズ (H-FS12032) 装着時	
W 端時	T 端時
約 0.4 m～約 4.1 m	約 0.3 m～約 2.5 m

- ・ISO 感度を [AUTO]、[ISO 感度設定 (写真)] の [ISO オート上限設定] を [AUTO] に設定時の範囲です。

フラッシュ光量調整

フラッシュ撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整できます。

1 [フラッシュ光量調整] を選ぶ

-    [フラッシュ設定]  [フラッシュ光量調整]



2 ◀▶ で発光量を調整し、 を押す

- ・ -2 EV～+2 EV の範囲で、1/3 EV ごとに調整できます。



- ・ フラッシュ発光量が調整されているときは、フラッシュのアイコンに [+] または [-] が表示されます。
- ・ ワイヤレスフラッシュ撮影時のフラッシュ光量調整については、[207 ページ](#)をお読みください。
- ・ [ワイヤレスモード] を [ON] に設定しているときは、[フラッシュ光量調整] は使用できません。

フラッシュシンクロ

夜間、動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に写ります。[フラッシュシンクロ] を [後幕] に設定すると、シャッターが閉じる直前にフラッシュを発光させることで、光の軌跡が被写体の後方に写り、躍動感のある写真を撮影できます。

 ➔ [CAMERA] ➔ [フラッシュ設定] ➔ [フラッシュシンクロ] を選ぶ



先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
後幕	被写体の後方に光源が写り、躍動感が出ます。	

-  • [後幕] 設定時は、撮影画面のフラッシュアイコンに [2nd] が表示されます。
 • 以下の機能を使用中は、[先幕] に固定されます。
 - [ワイヤレスモード]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 • シャッタースピードが速いときは、効果が十分に得られないことがあります。

露出補正連動

露出補正量(→184)に連動してフラッシュの発光量を自動で調整します。

 ➔ [CAMERA] ➔ [フラッシュ設定] ➔ [露出補正連動] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

デジタル赤目補正

IA  P A S M  S&Q  SCN 



[フラッシュモード] を [] または [] に設定しているときに、赤目を自動で検出して画像データを補正します。

  **[デジタル赤目補正] を選ぶ**

設定 : [ON] / [OFF]



- ・ [ON] に設定すると、フラッシュアイコンに [] が表示されます。
- ・ 赤目の状態によっては補正できない場合があります。

ワイヤレスフラッシュ撮影

IA iA P A S M  S&Q SCN 



別売のフラッシュライト (DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L) を使って、ワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つの発光グループとカメラのホットシューに装着したフラッシュの発光を別々に制御できます。

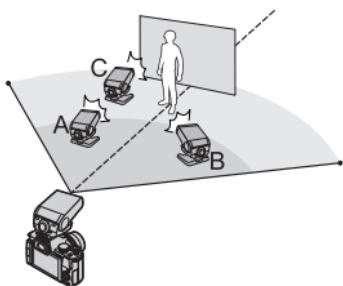
- 内蔵フラッシュでは、ワイヤレスフラッシュの発光制御はできません。

❖ ワイヤレスフラッシュの設置

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラに向けて設置してください。

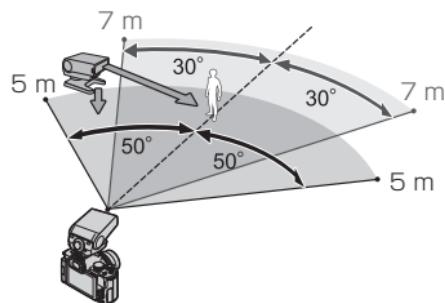
設置例

発光グループ A、B でできる被写体の背景の影を消すために C を設置した場合



設置範囲

DMW-FL200L 装着時

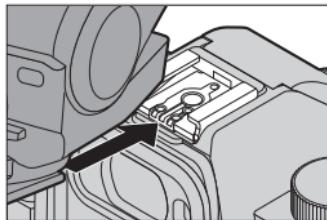


- 設置範囲はカメラを横に構えて撮影する場合の目安です。範囲は周辺の環境により異なります。
- ワイヤレスフラッシュの設置台数は、1 グループ最大 3 台をお勧めします。
- 被写体が近すぎると、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量] を [弱] に設定したり、ディフューザーなどで減光したりすると、影響を緩和できます。([→208](#))

1 カメラに外部フラッシュを取り付ける (→393)

2 ワイヤレスフラッシュの設定を [RC] モードにして配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。



3 カメラのワイヤレスフラッシュ機能を有効にする

- → [CAMERA] → [フラッシュ設定] → [ワイヤレスモード] → [ON]



4 [ワイヤレスチャンネル] を設定する

- ワイヤレスフラッシュ側と同じチャンネルを選びます。



5 [ワイヤレス設定] を設定する

- 発光モードと発光量を設定します。



❖ 設定項目（ワイヤレス設定）

- ・テスト発光するには、[DISP.] ボタンを押してください。



外部 フラッシュ	発光モード	[TTL]：カメラが自動で発光量を設定します。 [AUTO] ^{※1} ：外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 [マニュアル]：外部フラッシュの発光量を手動で設定します。 [OFF]：外部フラッシュは通信発光だけ行います。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード] を [TTL] に設定した場合に、外部 フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード] を [マニュアル] に設定した場合に、 外部フラッシュの発光量を設定します。 ・ [1/1] (フル発光) ~ [1/128] まで、1/3 段 ごとに設定できます。
A グループ/ B グループ/ C グループ	発光モード	[TTL]：カメラが自動で発光量を設定します。 [AUTO]：ワイヤレスフラッシュ側でフラッシュの 発光量を設定します。 [マニュアル]：ワイヤレスフラッシュの発光量を手 動で設定します。 [OFF]：設定したグループのワイヤレスフラッシュ は発光しません。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード] を [TTL] に設定した場合に、ワ イヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード] を [マニュアル] に設定した場合に、 ワイヤレスフラッシュの発光量を設定します。 ・ [1/1] (フル発光) ~ [1/128] まで、1/3 段 ごとに設定できます。

※1 フラッシュライト（別売：DMW-FL200L）使用時は設定できません。

❖ ワイヤレス通信光量

通信発光の強さを設定します。

 ➔ [CAMERA] ➔ [フラッシュ設定] ➔ [ワイヤレス通信光量] を選ぶ

設定：[強] / [中] / [弱]

10. 動画撮影

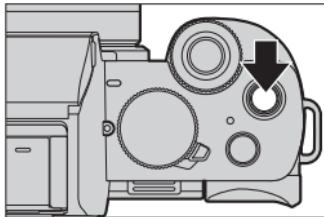
動画を撮る

REC P A S M M S&Q SCN 



1 撮影を開始する

- 動画記録ボタンを押します。
- ・ 動画記録ボタンを押したあと、すぐに離してください。



2 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタンを押します。



- ・ オートフォーカスで動画撮影中にピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。

❖ 動画画質



撮影する動画の画質を設定します。

→ → [画質設定] を選ぶ

画質設定	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
4K/100M/30p ^{※1}	3840 × 2160	30p	30 コマ/秒	100 Mbps
4K/100M/24p ^{※1}	3840 × 2160	24p	24 コマ/秒	100 Mbps
FHD/28M/60p	1920 × 1080	60p	60 コマ/秒	28 Mbps
FHD/20M/30p	1920 × 1080	30p	30 コマ/秒	20 Mbps
FHD/24M/24p	1920 × 1080	24p	24 コマ/秒	24 Mbps
HD/10M/30p	1280 × 720	30p	30 コマ/秒	10 Mbps

※1 4K 動画



- ・ [画質設定] によって 1 回に撮影できる時間が異なります。
1 回の撮影時間が以下を超えると、記録を停止します。
 - [4K/100M/30p] / [4K/100M/24p] : 10 分
 - [FHD/28M/60p] : 20 分
 - [FHD/20M/30p] / [FHD/24M/24p] / [HD/10M/30p] : 29 分 59 秒
- ・ 本機は VBR 記録方式を採用しています。撮影する被写体によりビットレートが自動で変わるために、動きの激しい被写体を記録した場合、動画記録時間は短くなります。
- ・ 以下の機能を使用中は、4K 動画に設定できません。
 - [] モードの [ジオラマ]
 - HDMI 出力
- ・ 4K 動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。
- ・ 4K 動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- ・ 4K 動画は高い精度でピントを合わせるためにオートフォーカスの速度を抑えて撮影します。オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります
が、異常ではありません。

❖ ファイル分割

画質設定	4K	SDHC メモリーカード使用時： ファイルサイズが 4 GB を超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。 SDXC メモリーカード使用時： ファイルサイズが 4GB を超えても、1 つのファイルで撮影します。
	FHD／HD	ファイルサイズが 4 GB を超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。



- ・動画撮影中にズームやボタン操作などをしてると、その動作音が記録される場合があります。
- ・レンズの動作音（オートフォーカスや手ブレ補正）が動画に記録される場合があります。
- ・撮影終了時の動画記録ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
 - 3秒ほど長めに撮影し、再生メニューの【動画分割】で動画の終わりの部分を分割する
 - シャッターリモコン機能（→341）を使って撮影する
- ・カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく表示されることがあります。異常ではありません。
- ・対応機器で再生しても、画質や音質が悪くなる、撮影情報が正しく表示されない、再生できないといった現象が起こることがあります。このような場合は本機で再生してください。
- ・カメラの温度が上昇すると、【】が表示され撮影が停止する場合があります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
- ・以下の機能を使用中は、動画撮影時は【ローライトモード】になります。
 - [SCN] モード（[夜景をきれいに撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [夜景を手持ちで撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る]）
- ・動画撮影中は HDMI 出力されません。
- ・以下の機能を使用中は、動画撮影はできません。
 - [SCN] モード（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [花をぶんわり撮る]）
 - []モード（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - [フォーカスセレクト]
 - [インタークルス撮影]
 - [コマ撮りアニメ]
 - [ライブビューコンポジット撮影]



- ・後工程でトリミングするときの画角をイメージしたフレームを撮影画面に表示できます：
[] → [] → [フレーム表示]（→232）
- ・動画撮影時の画角で表示できます：
[] → [] → [記録枠表示]（→305）

動画撮影中の写真撮影

REC P A S M M S&Q SCN 



動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能を使って撮影することもできます。



29

❖ 動画優先、写真優先を設定する

REC P A S M M S&Q SCN 

   [動画撮影中の写真撮影] を選ぶ

 動画優先	<ul style="list-style-type: none"> 動画の画質設定に応じた記録画素数で写真を記録します。 【クオリティ】を【RAW^{Hi}】、【RAW^{Lo}】または【RAW】に設定時はJPEG画像のみ記録されます。([RAW] 設定時は【クオリティ】は【】で記録されます) 動画撮影中の写真的記録可能枚数は、最大40枚までです。 ([画質設定] のサイズが【4K】の動画の場合：最大10枚まで)
 写真優先	<ul style="list-style-type: none"> 設定した【記録画素数】の画像サイズと【クオリティ】で写真を記録します。 写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声が途切れます。 動画撮影中の写真的記録可能枚数は、最大10枚までです。 ([画質設定] のサイズが【4K】の動画の場合：最大5枚まで)



- 写真的画像横縦比は【16:9】に固定されます。
- 以下の機能を使用中は、同時記録はできません。
 - [画質設定] のフレームレートが【24p】の動画([] (写真優先) 設定時)
 - [4K フォト] ([ ] (写真優先) 設定時)
 - [EX テレコン (動画)] ([ ] (写真優先) 設定時)
 - [スナップムービー]

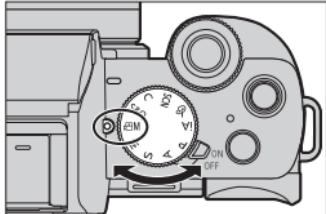
クリエイティブ動画モード

■■■■■P■■■■■SCN■■■■■



絞りやシャッタースピード、ISO 感度を手動で設定して動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを【M】に合わせる



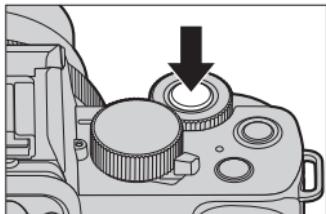
2 露出モードを設定する

- → [M] → [動画露出設定] → [P] / [A] / [S] / [M]
 - ・ [P] / [A] / [S] / [M] モードと同じ露出操作ができます。
 - ・ プログラムシフトは働きません。



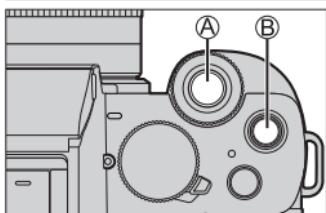
3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。



4 撮影を開始する

- シャッターボタンⒶ または動画記録ボタンⒷ を押します。



5 撮影を終了する

- もう一度シャッターボタンまたは動画記録ボタンを押します。



- 撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



❖ 動画撮影中の操作

露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。

① [] をタッチする

② アイコンをタッチする

	ズーム (パワーズーム対応交換レンズ使用時)		露出補正
	絞り値		ISO 感度
	シャッタースピード		録音レベル設定 ([録音レベル設定] を [MANUAL] に設定時)

③スライドバーをドラッグして設定する

[▼] / [▲] : ゆっくり設定を変える

[▼] / [▲] : 速く設定を変える

- アイコン ④ をタッチすると手順 ② の画面に戻ります。



4K ライブクロップ

ライブビューで表示される画像の範囲から一部を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームの動作を加えた FHD 動画を記録できます。

- ・[MP4] の [FHD/20M/30p] で撮影されます。



パン



ズームイン

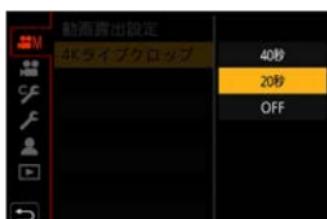


- ・カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

1 モードダイヤルを [REC] に合わせる

2 パンやズームが動作する時間を設定する

- ・ \Rightarrow [REC] \Rightarrow [4K ライブクロップ]
 \Rightarrow [40 秒] / [20 秒]



3 切り出し開始枠を設定する

- ・切り出す範囲を選び、 を押します。

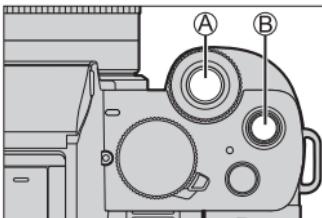
4 切り出し終了枠を設定する

- ・切り出す範囲を選び、 を押します。
- ・開始枠、終了枠の位置／大きさを設定し直すには、◀を押してください。



5 撮影を開始する

- シャッターボタン **Ⓐ** または動画記録ボタン **Ⓑ** を押します。



- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度シャッターボタンまたは動画記録ボタンを押してください。



❖ 切り出し枠の設定操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	枠の移動
↖ ↗ ↙ ↘	ピンチアウト／ピンチイン	枠を拡大／縮小
[DISP.]	[リセット]	開始枠：枠の位置と大きさを初期設定に戻す 終了枠：枠の位置と大きさの設定を解除する
[MENU/SET]	[決定]	枠の位置と大きさの決定



- 撮影時に画角が狭くなります。
- オートフォーカスマードは、[] (顔・瞳認識) に切り換わります。(ピントを合わせる目は表示されません)
- 切り出す範囲内で明るさの測定とピント合わせを行います。ピント位置を固定する場合は、[AF 連続動作] を [OFF] にするか、フォーカスマードを [MF] に設定してください。
- [測光モード] は [] (マルチ測光) に固定されます。

スロー&クイックモード

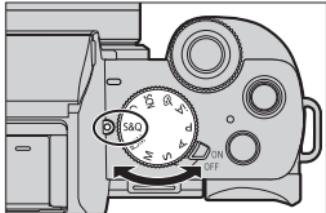
REC P A S M M S&Q SCN 



スローモーション動画、クイックモーション動画を撮影します。

- ・[MP4] の [FHD] で撮影されます。

1 モードダイヤルを [S&Q] に合わせる



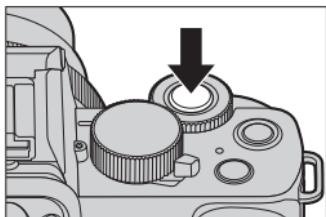
2 撮影の設定をする

-  → [S&Q] →
[S&Q 露出設定] /
[S&Q 画質設定] /
[S&Q 効果]
・詳しくは、[220](#) ページをお読みください。



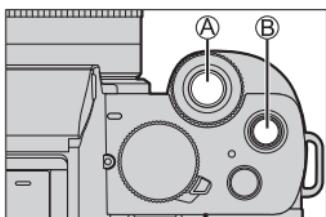
3 メニューを終了する

- シャッター ボタンを半押しします。



4 撮影を開始する

- シャッター ボタン ④ または動画記録ボタン ⑤ を押します。



5 撮影を終了する

- もう一度シャッター ボタンまたは動画記録ボタンを押します。



- 撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



❖ 動画撮影中の操作

露出などの設定をタッチ操作で変更できます。

- ① [S&Q] をタッチする
- ② アイコンをタッチする

	ズーム (パワーズーム対応交換レンズ使用時)		露出補正
	絞り値		ISO 感度
	シャッタースピード		S&Q 効果 ^{※1}

※1 撮影中は操作できません。

- ③スライドバーをドラッグして設定する
[▼] / [▲] : ゆっくり設定を変える
[▼] / [▲] : 速く設定を変える
- アイコン ④ をタッチすると手順 ② の画面に戻ります。



- 動画に音声は録音されません。

スロー& クイックメニュー

❖ S&Q 露出設定

露出設定を選択します。

設定：[P] / [A] / [S] / [M]

- ・[P] / [A] / [S] / [M] モードと同じ露出操作ができます。
- ・プログラムシフトは働きません。

❖ S&Q 画質設定

記録フレームレートを選択します。

設定：[60p] / [30p]

❖ S&Q 効果

速度効果を設定します。

8xQUICK	約 8 倍速の動画を撮影します。 例：[60p] に設定時：8 コマ/秒 [30p] に設定時：4 コマ/秒	クイックモーション動画
4xQUICK	約 4 倍速の動画を撮影します。	
2xQUICK	約 2 倍速の動画を撮影します。	
2xSLOW ^{*1}	約 1/2 倍速の動画を撮影します。	スローモーション動画
4xSLOW ^{*2}	約 1/4 倍速の動画を撮影します。	

※1 [S&Q 画質設定] が [60p] のときは、画角が狭くなります。

※2 [S&Q 画質設定] が [30p] のときに選択できます。(画角が狭くなります)

-  • 設定によって、撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- 1回の撮影時間が以下を超えると、記録を停止します。
- クイックモーション動画：29 分 50 秒
(目安：[8xQUICK] で 29 分 50 秒撮影した場合、約 4 分の動画になります)
 - スローモーション動画：10 分
(目安：[4xSLOW] で 10 分撮影した場合、約 40 分の動画になります)
-  • [S&Q 画質設定]、[S&Q 効果]、フォーカスマードによって、設定できるシャッタースピードが異なります。

スナップムービー

■■■PASM■■■S&Q SCN



撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。ピント送りやフェード効果を加えることもできます。

- ・[MP4] の [FHD/20M/30p] で撮影されます。

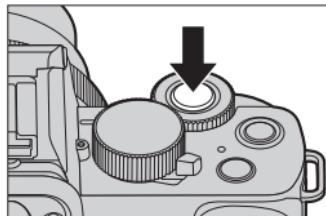
1 スナップムービーに設定する

- → → [スナップムービー]
→ [ON]



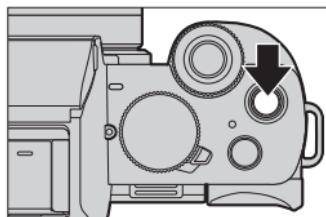
2 メニューを終了する

- シャッター ボタンを半押しします。



3 撮影を開始する

- 動画記録ボタンを押します。



- ・ 動画記録ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- ・ 途中で動画撮影は終了できません。設定した撮影時間が経過すると自動的に撮影が終了します。



❖ 設定を変更する

 ➔ [MOVIE] ➔ [スナップムービー] ➔ [設定] を選ぶ

撮影時間	動画撮影する時間を設定します。
ピント送り	撮影開始時にピントをゆっくりと変えることで、ドラマチックな映像表現を行います。(→223)
フェード	<p>映像と音声が撮影を開始するとフェードイン（ゆっくりと現れる）または、撮影の終了にかけてフェードアウト（ゆっくりと消える）する効果です。</p> <p>[WHITE-IN] / [WHITE-OUT] : 白い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。</p> <p>[BLACK-IN] / [BLACK-OUT] : 黒い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。</p> <p>[COLOR-IN] / [COLOR-OUT] : 白黒からカラーへフェードイン、またはカラーから白黒へフェードアウトする効果です。音声は通常どおりに記録されます。</p> <p>[OFF]</p>



- ・[WHITE-IN]、[BLACK-IN] で撮影した動画は、再生時のサムネイル表示が白または黒になります。
- ・カスタムメニュー（操作）の [Fn ボタン設定] (→256) に [スナップムービー] を設定すると、設定した Fn ボタンを押して [スナップムービー] の [ON]/[OFF] の切り替え画面を表示できます。画面表示中に [DISP.] ボタンを押すとスナップムービーの設定を変更できます。
- ・[スマートフォンとつないで使う] で Wi-Fi 接続すると、[スナップムービー] は [OFF] に切り換わります。
- ・以下の機能を使用中は、[スナップムービー] は使用できません。
 - 自分撮りモード
 - [⌚] モード（[ジオラマ]）
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - [4K ライブクロップ]

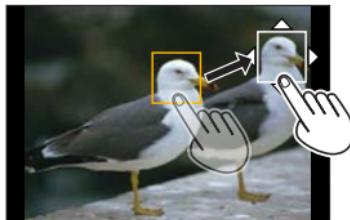
❖ [ピント送り] の設定

ピント送りの開始位置（1点目）と終了位置（2点目）の枠を設定します。

タッチ操作

被写体をタッチし（1点目）、ドラッグして指を離す（2点目）

- ・  をタッチすると、枠の設定が解除されます。



ボタン操作

① [■] ボタン（◀）を押す

② ▲ ▼ ◀ ▶ で枠を移動し、 を押す（1点目）

- ・  を押す前に [DISP.] ボタンを押すと、枠は中央に戻ります。

③ 手順 ② を繰り返す（2点目）

- ・  を押すと、枠の設定が解除されます。



・遠くから近く、近くから遠くのように、開始と終了でピントの変化を大きくすると効果が大きくなります。

・ピント設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。



・枠の設定に失敗したときは、枠が1点目に戻ります。

・[ピント送り] を [ON] に設定時は

– オートフォーカスモードは [ピント送り] 専用の  に変わります。

– 写真撮影時は、1点目の枠で  のオートフォーカス動作を行います。

・[測光モード] が  (スポット) のときは、測光ターゲットは1点目の枠に設定されます。

・以下の機能を使用中は、[ピント送り] は使用できません。

– マニュアルフォーカス

– [デジタルズーム]

動画の設定（オートフォーカス）

動画撮影時のオートフォーカスについて説明します。

- 「6. フォーカス／ズーム」では、写真と動画のどちらにも働く機能を説明しています。併せてお読みください。
- フォーカスモードの選択：
→ 114
 - オートフォーカスモードの選択：
→ 119
 - タッチでのAFエリア移動操作：
→ 131
 - マニュアルフォーカスで撮る：
→ 135
 - ズームを使って撮る：
→ 139

AF 連続動作



動画撮影中のオートフォーカスでのピントの合わせ方を選びます。

MENU → [MOVIE] → [AF 連続動作] を選ぶ

ON	撮影中も自動でピントを合わせ続けます。
OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。



- ・撮影環境や使用しているレンズによっては、動画撮影中にオートフォーカスの動作音が記録されることがあります。動作音が気になる場合は、[AF 連続動作] を [OFF] に設定して撮影してください。
- ・動画撮影中にズーム操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- ・以下の機能を使用中は、[AF 連続動作] は働きません。
 - [スナップムービー] の [ピント送り]
 - [4K ライブクロップ]

AF カスタム設定（動画）

iA  P A S M   SCN 

[AF 連続動作] を使って動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。

  [AF カスタム設定（動画）] を選ぶ

ON	下記の設定を有効にします。
OFF	下記の設定を無効にします。
設定	AF 駆動速度 [+] 側：速いスピードでピントを合わせます。 [-] 側：ゆるやかなスピードでピントを合わせます。
	AF 追従感度 [+] 側：被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。 [-] 側：被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。

動画の設定 (明るさ)

動画撮影時の明るさの設定について説明します。



- ・「8. 明るさ（露出）／色合い／画像効果」では、写真と動画のどちらにも働く機能を説明しています。併せてお読みください。
 - 測光モード : → 183
 - 露出補正 : → 184
 - ピントや露出の固定 (AF/AE ロック) : → 186
 - ISO 感度 : → 187
 - ホワイトバランス (WB) : → 189
 - フォトスタイル : → 193
 - フィルター設定 : → 196

輝度レベル設定



動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。

→ → [輝度レベル設定] を選ぶ

設定 : [0-255] / [16-255]



- ・[フォトスタイル] を [V-Log L] に設定しているときは、[0-255] に固定されます。

ISO 感度設定 (動画)



ISO 感度 [AUTO] 時の ISO 感度の下限と上限を設定します。

→ → [ISO 感度設定 (動画)] を選ぶ

ISO オート下限設定	ISO 感度 [AUTO] 時の ISO 感度の下限を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・200~3200 の範囲で設定できます。
ISO オート上限設定	ISO 感度 [AUTO] 時の ISO 感度の上限を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・AUTO、400~6400 の範囲で設定できます。

動画の設定（音声）

動画撮影時の音声の設定について説明します。

録音レベル表示

REC P A S M M S&Q SCN



録音レベルを撮影画面に表示します。

[MENU] → [REC] → [録音レベル表示] を選ぶ
設定：[ON] / [OFF]



録音レベル設定

REC P A S M M S&Q SCN



録音レベルを設定します。

[MENU] → [REC] → [録音レベル設定] を選ぶ

AUTO	音の強弱を滑らかにするために、音声入力のレベルを自動で調整します。
MANUAL	音声入力のレベルを手動で調整します。 設定：[MUTE] / [-12dB] ~ [+6dB]



- ・ [MUTE] に設定すると、音声入力をミュートにします。
 - 撮影画面に [M] が表示されます。
 - 外部マイクからの音声入力もミュートになります。
- ・ 外部マイク装着時は、[AUTO] に設定できません。
- ・ 表示される dB 値は目安です。

風音キャンセラー

REC **PAS**M **SCN** 



音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

MENU  **[REC]** **→** **[風音キャンセラー]** を選ぶ

強	強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減します。
標準	音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減します。
OFF	—

-  撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
-  **[風音キャンセラー]** は、内蔵マイクにだけ働きます。外部マイク装着時は **[風音低減]** が表示されます。（→395）

レンズ動作音低減

REC **PAS**M **SCN** 



パワーズーム対応の交換レンズを使用時、動画撮影中に記録されるズーム動作音を低減します。

MENU  **[REC]** **→** **[レンズ動作音低減]** を選ぶ

設定：[ON] / [OFF]

-  設定時は通常と音質が変わることあります。

内蔵マイク設定

REC **P** **A** **S** **M** **IS** **SCN** **6**



内蔵マイク使用時の収音範囲を設定します。

[MENU] → **[動画]** → **[内蔵マイク設定]** を選ぶ

設定	収音範囲
オート	オートフォーカスマードを (顔・瞳認識) に設定し、カメラが顔を認識すると (トラッキング) ^{※1} になります。それ以外の場合は (サラウンド) になります。
サラウンド	前後左右の広い範囲の音を収音します。
フロント	カメラの前方の音を収音します。
トラッキング ^{※1}	オートフォーカスマードを (顔・瞳認識) に設定し、カメラが顔を認識すると顔の位置、それ以外の場合は画角に応じて、自動で収音範囲を調整します。
ナレーション	カメラの後方の音を収音します。

※1 カメラを縦に構えると、一時的に (フロント) に切り換わります。

- 自分撮りモードでは、画面の をタッチして収音範囲を設定できます。（動画メニューの [内蔵マイク設定] とは連動しません）（→81）
- 外部マイク装着時は、[内蔵マイク設定] は使用できません。
- • 内蔵マイクの収音範囲を撮影画面に表示する／しないを切り換えられます：
[動画] → [内蔵マイクアイコン表示]（→230）

内蔵マイクアイコン表示

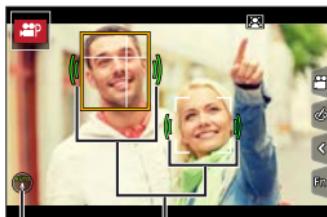
REC P A S M M S&Q SCN 



内蔵マイクの収音範囲や収音対象者を表示します。

[MENU/SET] → [REC] → [内蔵マイクアイコン表示]
を選ぶ

設定：[ON] / [OFF]



収音範囲 収音対象者 ※1

※1 [内蔵マイク設定] が  (オート) または  (トラッキング) のときに、
 (顔・瞳認識) で顔を認識すると、被写体の状態に応じてカメラが自動で表示します。



- 外部マイク装着時は、[内蔵マイクアイコン表示] は使用できません。

動画の設定（表示）

撮影時に便利な主なアシスト機能について説明します。

- カスタムメニュー（モニター/表示）には、センターマーカーなどの表示アシスト機能があります。詳しくは、300ページをお読みください。

ゼブラパターン表示



基準値より明るい部分をしま模様で表示します。

また、基準と幅を設定して、指定した範囲の明るさの部分をしま模様で表示することもできます。



ゼブラ 1



ゼブラ 2

MENU → [C] → [i] → [ゼブラパターン表示] を選ぶ

ゼebra 1	基準値より明るい部分をゼebra 1 のしま模様で表示します。		
ゼebra 2	基準値より明るい部分をゼebra 2 のしま模様で表示します。		
OFF	—		
設定	ゼebra 1	50%~105%	基準の明るさを設定します。
	ゼebra 2	OFF/50%~105%	

フレーム表示

REC P A S M S&Q SCN



設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。

後工程でトリミング（クロップ）するときの画角をイメージしながら撮影できます。

[MENU/SET] → [C/F] → [i] → [フレーム表示] を選ぶ

	ON	撮影画面に枠を表示します。
	OFF	—
設定	フレーム横縦比	枠の横縦比を設定します。 [2.39:1] / [2.35:1] / [2.00:1] / [1.85:1] / [16:9] / [4:3] / [5:4] / [1:1] / [4:5] / [9:16]
	フレーム色	枠の色を設定します。
	フレームマスク	枠の外側の不透明度を設定します。 [100%] / [75%] / [50%] / [25%] / [OFF]

Log 撮影する

REC iA P A S M M S&Q SCN



[フォトスタイル] を [V-Log L] に設定すると、Log 撮影ができます。ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることができます。

 → [CAMERA] / [MOVIE] → [フォトスタイル] → [V-Log L] を選ぶ

-  本機の動画は 4:2:0/8 bit で記録されるため、ポストプロダクション処理すると青空や人の肌、白い壁などに輝度や色のむら、またはノイズが現れる場合があります。事前に試し撮りを行い、ポストプロダクション処理後の映像を確認することをお勧めします。
- LUT (ルックアップテーブル) を使ってポストプロダクション処理ができます。
LUT データは、下記サポートサイトからダウンロードできます。
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index3.html>
-  [フォトスタイル] を [V-Log L] に設定すると、撮影画面や HDMI 出力された映像は暗く表示されます。(動画撮影中は HDMI 出力されません。)

11. 画像の再生／編集

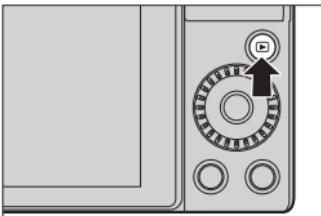
本章では、写真や動画の再生、消去方法を説明します。
画像の編集についても説明しています。

- 本機以外で撮影された画像は、本機で正しく再生、編集できない場合があります。
- 本章に記載していない再生メニューについては、317 ページからの「再生メニュー」をお読みください。

写真の再生

1 再生画面を表示する

- [□] ボタンを押します。



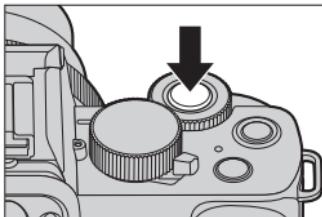
2 写真を選ぶ

- ▲▼で写真を選びます。
- ▲▼を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- ■を回しても選ぶことができます。
- 画面を水平にドラッグしても画像を送ることができます。ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。



3 再生を終了する

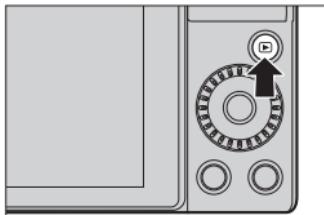
- シャッターボタンを半押しします。
- [□] ボタンを押しても再生を終了できます。



動画の再生

1 再生画面を表示する

- [□] ボタンを押します。



2 動画を選ぶ

- ・画像の選び方については、[234](#) ページをお読みください。
- ・動画には動画アイコン [CAMERA] が表示されます。
- ・画面に動画の記録時間が表示されます。



3 動画を再生する

- ▲ を押します。
- 画面中央の [▶] をタッチしても再生できます。
- ・ [スナップムービー] で撮影した動画は自動再生されます。



4 再生を終了する

- ▼ を押します。

❖ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/■	再生／一時停止
▼	■	停止
◀	◀	早戻し再生 ・もう一度◀を押すと、早戻し速度が速くなります。
	◀■	コマ戻し（一時停止中）
▶	▶	早送り再生 ・もう一度▶を押すと、早送り速度が速くなります。
	■▶	コマ送り（一時停止中）
	△□○	写真の切り出し（一時停止中）(→238)
	－	音量を下げる
	+	音量を上げる

❖ スナップムービー自動再生中の操作

▲	最初から再生
◀	前の画像に戻す
▶	次の画像へ送る

- ・画面をタッチすると自動再生が停止します。



- ・本機で再生できる動画のファイル形式はMP4です。
- ・パソコンで動画を再生するには、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。

写真の切り出し

動画の1フレームをJPEG画像として切り出して保存します。

1 写真を切り出す位置で再生を一時停止する

- ▲を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶（コマ戻し、コマ送り）をお使いください。

2 写真を保存する

-  を押します。
- [] をタッチしても写真を保存できます。



- ・動画から作成された写真は、クオリティ [■■■] で保存されます。画像サイズは【画質設定】の解像度に応じたサイズで保存されます。
- ・動画から作成された写真は、通常より画質が粗くなる場合があります。
- ・動画から作成された写真には、詳細情報表示画面に【】が表示されます。

表示方法の切り換え

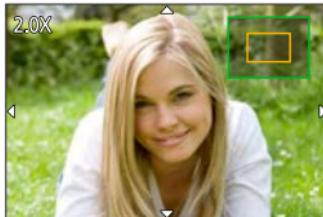
撮影画像を拡大表示したり、複数の画像を同時に表示するサムネイル表示（マルチ再生）に切り換えたりできます。撮影日を選んで表示するカレンダー表示に切り換えることもできます。

拡大表示

再生画像を拡大表示（再生ズーム）できます。

再生画面を拡大する

- ◎ を右側に回します。
- 2 倍 ⇔ 4 倍 ⇔ 8 倍 ⇔ 16 倍の順で拡大表示します。
- ◎ を左側に回すと、1 つ前の表示に戻ります。
- 【クオリティ】を【RAW】で撮影した写真は 16 倍で拡大表示できません。



❖ 拡大表示中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
—	ピンチアウト／ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
◎	—	画面を拡大／縮小
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動
✿	—	拡大倍率、拡大位置を保持したまま画像を送る

サムネイル表示

1 サムネイル表示に切り換える

-  を左側に回します。
- 12画面  30画面の順に表示が切り換わります。
- 30画面表示中に  を左側に回すと、カレンダー表示に切り換わります。
(→241)
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- アイコンをタッチして表示を切り換えることもできます。
[] : 1画面
[] : 12画面
[] : 30画面
[] : カレンダー



2 画像を選ぶ

-     で画像を選び、 を押します。



・ サムネイル表示を上下にドラッグすると、画面をスクロールできます。

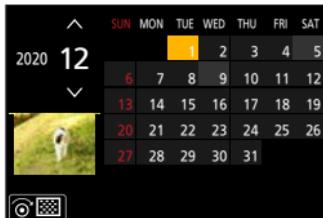


・ [] と表示される画像は再生できません。

カレンダー表示

1 カレンダー表示に切り換える

-  を左側に回します。
- サムネイル表示（12画面）
サムネイル表示（30画面）
カレンダー表示の順に表示が切り換わります。
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。



2 撮影日を選ぶ

-  で日付を選び、 を押します。

3 画像を選ぶ

-  で画像を選び、 を押します。
-  を左側に回すと、カレンダー表示に戻ります。



- ・ カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- ・ [ワールドタイム] で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

グループ画像

インターバル撮影やコマ撮りアニメ撮影で撮影した画像は、本機ではグループ画像として扱われ、グループ単位で消去や編集ができます。また、グループ内の画像ごとに消去や編集もできます。

❖ 本機でグループ画像として扱われる画像

	[4K フォト一括保存] で保存したグループ画像
	フォーカスブラケット撮影したグループ画像
	インターバル撮影したグループ画像
	コマ撮りアニメ撮影したグループ画像



❖ グループ内の画像を 1 枚ずつ再生する

グループ内の画像に対して、サムネイル表示、画像の消去など通常の再生時と同じ操作ができます。

- ① 再生状態でグループ画像を選ぶ (→234)
- ② ▼ を押してグループ内の画像を表示する
 - ・ グループ画像のアイコンをタッチしても同じ操作ができます。
- ③ ◀▶ で画像を選ぶ
 - ・ 通常の再生画面に戻るには、もう一度 ▼ を押す、または [□] をタッチしてください。

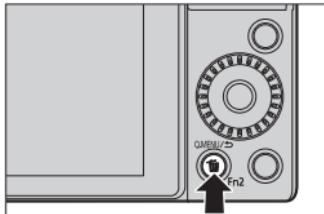
画像の消去



- 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます。

❖ 1枚消去

- 再生状態で [▲] を押す
- ▲▼で [1枚消去] を選び、 を押す



❖ 複数消去

- 再生状態で [▲] を押す
- ▲▼で [複数消去] を選び、 を押す
- ▲▼◀▶で消去する画像を選び、 を押す
 - 選択した画像に [▲] が表示されます。
 - もう一度 を押すと、選択が解除されます。
 - 画像は 100 枚まで選択できます。
- [DISP.] ボタンを押して選択した画像を消去する



- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- 消去時の確認画面で、[はい] / [いいえ] のどちらが最初に選ばれるかを設定できます：
[▶] → [消去確認画面] (→324)
- カード内のすべての画像、またはレーティングを設定していないすべての画像を消去できます：
[▶] → [全画像消去] (→324)

比較明合成

4K 連写ファイルから、合成したいコマを複数枚選び、前のコマと比較して明るく変化した部分を重ね合わせて、1枚の写真に合成します。



1 [比較明合成] を選ぶ

- → [▶] → [比較明合成]

2 4K 連写ファイルを選ぶ

- で画像を選び、 を押します。



3 合成方法を選ぶ

- で合成方法を選び、 を押します。

❖ [選択合成]：合成したいコマを選ぶ

- ①スライドバーをドラッグするか、
 で合成したいコマを選ぶ

- ② を押す
 - 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
 - で項目を選び、 を押すと、次の操作ができます。
 - [次の画像]：さらに合成したいコマを選べます。
 - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選び直します。



- ③手順 ①～②を繰り返し、合成したいコマを選ぶ（最大 40 コマ）

- ④ で [保存] を選び、 を押す

❖ [範囲合成]：合成する範囲を選ぶ

- ①先頭画像のコマを選び、 を押す
 - ・選択方法は、[選択合成] の手順 ① と同じです。
- ②終了画像のコマを選び、 を押す



- ・写真は JPEG 形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

軌跡合成

4K 連写ファイルから合成したいコマを複数枚選び、動いている被写体の軌跡を 1 枚の写真に合成します。



1 [軌跡合成] を選ぶ

- **[MENU/SET]** → **[▶]** → **[軌跡合成]**

2 4K 連写ファイルを選ぶ

- **◀▶** で画像を選び、**[MENU/SET]** を押します。



3 合成したいコマを選ぶ

コマの前後で動いている被写体が重ならないように、コマを選択してください。(被写体が重なると正しく合成されない場合があります)

①スライドバーをドラッグするか、

▲▼◀▶ で合成したいコマを選ぶ

② **[MENU/SET]** を押す

- 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。

- ▲▼ で項目を選び、**[MENU/SET]** を押すと、次の操作ができます。

- [次の画像]：さらに合成したいコマを選べます。

- [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選び直します。

③手順 ①～② を繰り返し、合成したいコマを選ぶ

(3 コマ～40 コマ)

④▼ で [保存] を選び、**[MENU/SET]** を押す



- ・軌跡合成に使用する画像を撮影時は、三脚の使用をお勧めします。



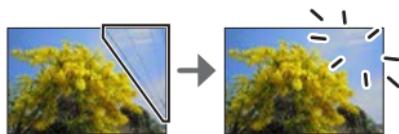
- ・写真是 JPEG 形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

クリアレタッチ

不要な部分を消去します。

- 消去操作はタッチで行います。

[クリアレタッチ] では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。



1 [クリアレタッチ] を選ぶ

- → → [クリアレタッチ]

2 写真を選ぶ

- で写真を選び、 を押します。



3 消去したい部分をなぞる

- 消去される部分に色が付きます。
- [1つ戻す] をタッチすると、色が付いた部分が 1 つ前の状態に戻ります。

4 [決定] をタッチする

5 画像を保存する

- [保存] をタッチする、または を押します。



細かい部分を消去する（拡大表示）

① [移動] をタッチする

- 画面をピンチアウト／ピンチインすると、拡大／縮小表示できます。
- 画面をドラッグすると、拡大部分を移動することができます。

② [消去] をタッチする

- 消去したい部分をなぞる操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分をなぞることができます。





- ・消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
- ・グループ画像は1枚ずつ編集してください。
- ・以下の機能を使用中は、[クリアレタッチ] は使用できません。
 - ファインダー表示
 - HDMI出力
- ・以下の機能を使用した画像には、[クリアレタッチ] は使用できません。
 - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - [クオリティ] の [RAW]

RAW 現像

RAW 形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG 形式で保存します。

1 [RAW 現像] を選ぶ

-  ➡ [▶] ➡ [RAW 現像]



2 RAW 画像を選ぶ

-  で画像を選び、 を押します。
 - ・グループ画像から選ぶ場合は、▼を押してから、グループ内の画像を選択してください。もう一度▼を押すと、通常の選択画面に戻ります。
 - ・表示される画像には、撮影時の設定が反映されています。



3 設定項目を選ぶ

-  で項目を選び、 を押します。



4 設定を変更する

-  または  を回します。
 - ・画面をピンチアウト／ピンチインすると、拡大／縮小できます。



5 設定内容を決定する

-  を押します。
- 手順 3 の画面に戻ります。続けて他の項目を設定するときは、手順 3 から 5 を繰り返してください。

6 画像を保存する

-  で [RAW 現像実行] を選び、
 を押します。



❖ 設定項目 (RAW 現像)

RAW 現像実行	画像を保存します。
ホワイトバランス	<p>ホワイトバランスを選んで調整できます。[] の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ホワイトバランス] の選択画面で ▼ を押すと、ホワイトバランスの調整画面が表示されます。 ・ [] ~ [] を選択中に ▲ を押すと、色温度の設定画面が表示されます。
明るさ補正	<p>明るさの補正ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [明るさ補正] の効果は、撮影時の露出補正と異なります。
フォトスタイル	<p>フォトスタイルを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [V-Log L] で撮影した画像は、フォトスタイルを選択できません。[V-Log L] 以外で撮影した画像では、[V-Log L] を選択できません。
iD レンジコントロール	iD レンジコントロールの設定を選択できます。
コントラスト	コントラストを調整できます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 ^{※1} / 色調 ^{※2}	彩度または色調を調整できます。
フィルター効果 ^{※2}	フィルター効果を選択できます。

粒状 ^{※2}	粒状感の設定を選択できます。
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定を選択できます。
シャープネス	解像感を調整できます。
詳細設定	<p>【調整前に戻す】：撮影時の設定に戻すことができます。</p> <p>【色空間】：色空間を【sRGB】または【AdobeRGB】から選択できます。</p> <p>【記録画素数】：保存時の画像サイズを選択できます。</p>

※1 [フォトスタイル] で [モノクローム]、[L. モノクローム]、[L. モノクローム D]、[V-Log L] 以外を選択したときに使用できます。

※2 [フォトスタイル] で [モノクローム]、[L. モノクローム]、[L. モノクローム D] を選択したときに使用できます。

❖ 比較画面を表示する

設定値を反映した画像を並べて表示することで、効果を確認しながら設定を変更できます。

①手順 4 の画面で、[DISP.] ボタンを押す

- ・現在の設定の画像が中央に表示されます。
- ・現在の設定の画像をタッチすると拡大表示します。[] をタッチすると元の表示に戻ります。
- ・[ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス] 選択時、比較画面の表示はできません。

② または を回して設定を変更する

③ を押して決定する



現在の設定



- ・本機で撮影した RAW 画像は常に [4:3] の [L] サイズで記録されます。本機能では撮影時の画像横縦比や [EX テレコン (写真)] の画角で現像されます。
- ・多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス] の項目が撮影時の設定に固定されます。
- ・本機能と、ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」の RAW 現像の結果は、完全には一致しません。
- ・HDMI 出力時は [RAW 現像] は使用できません。

動画分割

撮影した動画や4K連写ファイルを2つに分割します。



- 分割した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから分割の操作をしてください。
- 分割処理中にカードやバッテリーをカメラから取り出さないでください。画像が消失するおそれがあります。

1 [動画分割] を選ぶ

- **[MENU SET]** → **[▶]** → **[動画分割]**



2 画像を選び、再生する

- **◀▶** で画像を選び、**[MENU SET]** を押します。
- **▲** または **○** を回しても選ぶことができます。



3 分割する位置で再生を一時停止する

- **▲** を押します。
- 細かい位置調整には、**◀▶** (コマ戻し、コマ送り) をお使いください。



4 動画を分割する

- **▼** を押します。

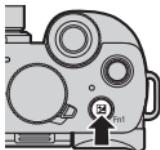


- ・動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- ・撮影時間が短い場合は分割できません。

12. カメラのカスタマイズ

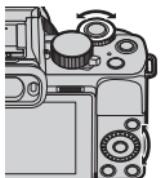
本章では、カメラをお好みに合わせて設定できるカスタマイズ機能について説明します。

ボタンやダイヤルなど、カメラの操作方法を変更する



Fn ボタン設定

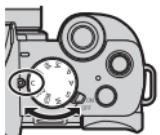
→255



ダイヤル動作切換設定

→260

現在のカメラの設定内容を登録する



カスタムモード

→265

メニューの表示内容を変更する

クイックメニュー

→262

マイメニュー

→267

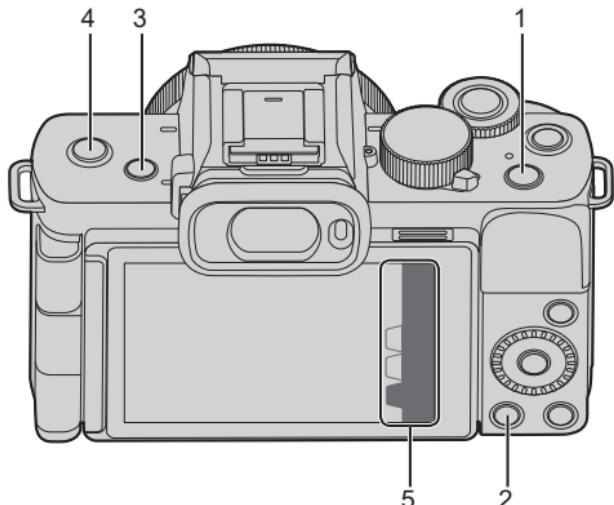


- カスタムメニューでカメラの操作や画面表示の詳細な設定ができます。
(→292)

Fn ボタン

Fn (ファンクション) ボタンに機能を登録できます。
撮影時と再生時でそれぞれ異なる機能を設定できます。

❖ Fn ボタンの初期設定

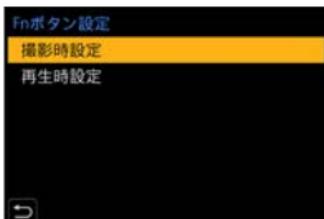


	Fn ボタン	撮影時設定	再生時設定
1	Fn1	露出補正	Wi-Fi
2	Fn2	Q.MENU	・再生時は Fn ボタンとして 使用できません。
3	Fn3	LVF/モニタ一切換	LVF/モニタ一切換
4	Fn4	OFF	スマートフォンに画像を送る
5	Fn5	Wi-Fi	・再生時は Fn ボタンとして 使用できません。
	Fn6	プレビュー	
	Fn7	水準器表示	
	Fn8	ヒストグラム表示	
	Fn9	内蔵マイク設定	

Fn ボタンへの機能の登録

1 [Fn ボタン設定] を選ぶ

- → → →
[Fn ボタン設定] →
[撮影時設定] / [再生時設定]



2 ボタンを選ぶ

- でボタンを選び、 を押します。
- または を回しても選択できます。



3 機能を登録する

- で機能を選び、 を押します。
- または を回しても選択できます。



- ・モニター撮影情報画面（→61）で [Fn] をタッチしても、手順 2 の画面を表示できます。
- ・Fn ボタンの長押し（2 秒）でも、手順 3 の画面を表示できます。（登録した機能やボタンの種類によっては表示されません）

❖ 登録できる機能（撮影時設定）

4K フォトモード	→ 149	測光モード	→ 183
露出補正	→ 184	連写速度	→ 283
Wi-Fi	→ 334	セルフタイマー	→ 167
Q.MENU	→ 60	ライブビューコンポジット撮影	→ 95
動画撮影	→ 209	ブラケット	→ 175
LVF/モニター切換	→ 57	フォーカスモード	→ 114
LVF/モニター表示スタイル	→ 305	ハイライトシャドウ	→ 278
AF/AE LOCK	→ 186	iO レンジコントロール	→ 279
AF-ON	→ 186	超解像	→ 279
プレビュー	→ 98	下限シャッター速度	→ 281
ワンプッシュAE		HDR	→ 285
・絞り値やシャッタースピードを、カメラが決めた適正露出に合う設定にします。		シャッター方式	→ 180
タッチ AE	→ 66	フラッシュモード	→ 199
水準器表示	→ 59	フラッシュ光量調整	→ 202
フォーカスエリア選択		ワイヤレスフラッシュ設定	→ 205
・AF エリア／MF アシストの移動画面を表示します。		EX テレコン	→ 140
ズーム操作	→ 140	デジタルズーム	→ 142
操作ロック		手ブレ補正	→ 181
・カスタムメニュー（操作）の【操作ロック設定】で設定した操作を無効にします。		電子補正（動画）	→ 181
フォーカスリングロック	→ 299	4K ライブクロップ	→ 216
ダイヤル動作切換	→ 261	スナップムービー	→ 221
フォトスタイル	→ 193	動画画質設定	→ 210
フィルター効果	→ 196	S&Q 効果	→ 220
画像横縦比	→ 108	動画撮影中の写真撮影	→ 213
記録画素数	→ 109	録音レベル表示	→ 227
クオリティ	→ 110	録音レベル設定	→ 227
		内蔵マイク設定	→ 229
		専用マイク指向性調整	→ 395
		サイレントモード	→ 179

ピーキング	→ 302	ホワイトバランス	→ 189
ヒストグラム表示	→ 303	AF モード/MF	→ 119 → 135
ガイドライン表示	→ 303	ドライブモード	→ 144
フレーム表示	→ 232	撮影/再生切換	
ゼブラパターン表示	→ 304	・ 再生画面に切り替えます。	
モノクロライブビュー	→ 300	OFF	・ Fn ボタンとして使用しないときに設定します。
常時プレビュー (M モード)	→ 300	デフォルトに戻す	・ Fn ボタンを初期設定に戻します。 (→ 255)
ライブビューブースト	→ 301		
記録枠表示	→ 305		
ステップズーム	→ 143		
ズーム速度	→ 143		
ISO 感度	→ 187		

❖ 登録できる機能 (再生時設定)

Wi-Fi	→ 334	レーティング★ 3	→ 319
LVF/モニタ一切換	→ 57	レーティング★ 4	→ 319
撮影/再生切換		レーティング★ 5	→ 319
・ 撮影画面に切り替えます。		RAW 現像	→ 249
スマートフォンに画像を送る	→ 355	4K フォト一括保存	→ 160
4K フォト再生		OFF	・ Fn ボタンとして使用しないときに設定します。
・ 4K 連写ファイルから保存する写真の選択画面を表示します。		デフォルトに戻す	・ Fn ボタンを初期設定に戻します。 (→ 255)
1 枚消去	→ 243		
プロテクト	→ 318		
レーティング★ 1	→ 319		
レーティング★ 2	→ 319		

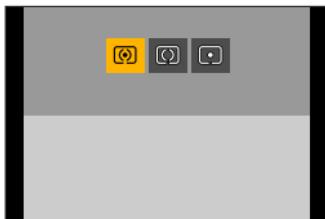
Fn ボタンを使う

Fn ボタンを押すと、撮影時は[撮影時設定]で登録した機能を、再生時は[再生時設定]で登録した機能を使うことができます。

1 Fn ボタンを押す

2 設定項目を選ぶ

- \blacktriangleleft \blacktriangleright で設定項目を選び、 を押します。
-  または  を回しても選択できます。
- 設定項目の表示、選び方はメニュー項目によって異なります。



❖ [Fn5] ~ [Fn9] ボタンを使う（タッチアイコン）

撮影時は、タッチタブ内の Fn ボタンを使うことができます。

- ①  をタッチする
- ② [Fn5] ~ [Fn9] のいずれかをタッチする



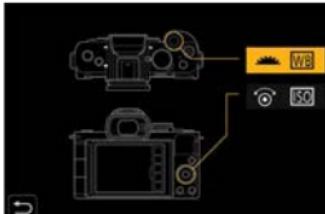
ダイヤル動作切換

▲ (前ダイヤル) と ○ (コントロールダイヤル) で動作する機能を一時的に変更します。

ダイヤルへの機能の登録

1 [ダイヤル動作切換設定] を選ぶ

-  →  →  →
[ダイヤル設定] →
[ダイヤル動作切換設定] →
 / 



2 機能を登録する

- ▲ ▼ で機能を選び、 を押します。
- ▲ または ○ を回しても選択できます。



❖ 登録できる機能

- 4K フォトモード (→ 149)
- フォトスタイル (→ 193)
- フィルター効果 (→ 196)
- 画像横縦比 (→ 108)
- フォーカスマード (→ 114)
- ハイライトシャドウ (→ 278)
- iD レンジコントロール (→ 279)

- 超解像 (→ 279)
- フラッシュモード (→ 199)
- フラッシュ光量調整 (→ 202)
- ISO 感度^{※1} (→ 187)
- ホワイトバランス^{※2} (→ 189)
- オートフォーカスマード (→ 119)
- ドライブモード (→ 144)

※1 ○ の初期設定

※2 ▲ の初期設定

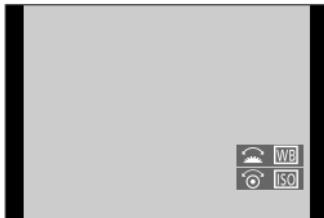
- [ハイライトシャドウ] では 2 つのダイヤルを使用します。

ダイヤルの動作を一時的に変更する

1 Fn ボタンに [ダイヤル動作切換] を設定する (→255)

2 ダイヤルの動作を切り換える

- 手順 1 で設定した Fn ボタンを押します。
- ▲ と ○ に登録した機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしないと、数秒後にガイドの表示が消えます。



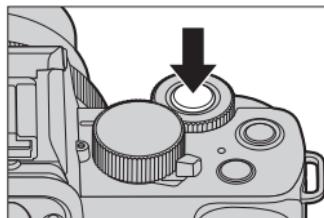
3 登録した機能を設定する

- ガイドが表示されている間に、▲ または ○ を回します。



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



クイックメニューのカスタマイズ

クイックメニューの操作方法については、[60 ページ](#)をお読みください。

クイックメニューへの登録

クイックメニューに表示させるメニューを変更します。

クイックメニューは 15 項目まで設定しておくことができます。

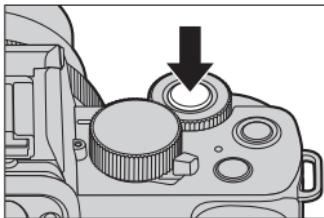
1 [Q.MENU] を選ぶ

-  →  →  → [Q.MENU]
→ [カスタム]



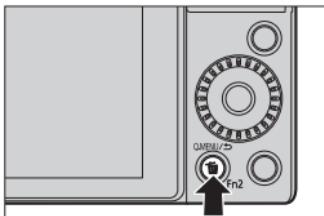
2 メニューを終了する

- シャッター ボタンを半押しします。



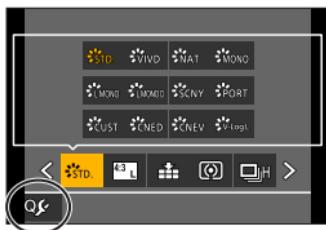
3 クイックメニューを表示する

- [Q.MENU] ボタンを押します。



4 クイックメニューの編集画面を表示する

- ▼ で [Q.MENU] を選び、**MENU/SET** を押します。



5 メニュー項目を登録する

- ▲▼◀▶ で上段のメニュー項目を選び、**MENU/SET** を押します。
- ・上段の薄いグレーで表示されている項目は、設定済みの項目です。



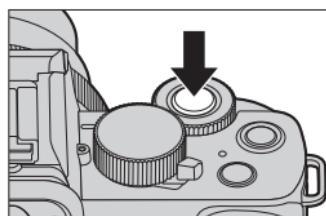
6 項目の位置を選ぶ

- ▲▼◀▶ で下段の空いている項目を選び、**MENU/SET** を押します。
- ・上段から下段へ項目をドラッグしても設定できます。
- ・下段に空いている項目がない場合は、設定済みの項目を選ぶと入れ換えて設定することができます。
- ・設定を解除するには、▼ で下段に移動し、解除する項目を選んで **MENU/SET** を押してください。
- [Q.MENU] ボタンを押すと、手順 4 の画面に戻ります。



7 クイックメニューを終了する

- シャッター ボタンを半押しします。
- [Q.MENU] ボタンを押しても終了できます。



❖ 登録できる機能

フォトスタイル	→ 193	ピーリング	→ 302
フィルター効果	→ 196	ヒストグラム表示	→ 303
画像横縦比/記録画素数	→ 108	ガイドライン表示	→ 303
	→ 109	フレーム表示	→ 232
クオリティ	→ 110	ゼブラパターン表示	→ 304
測光モード	→ 183	モノクロライブビュー	→ 300
連写速度	→ 283	常時プレビュー (M モード)	→ 300
4K フォト	→ 149	ライブビューブースト	→ 301
セルフタイマー	→ 167	記録枠表示	→ 305
プラケット	→ 175	ステップズーム	→ 143
フォーカスマード	→ 114	ズーム速度	→ 143
iD レンジコントロール	→ 279	ISO 感度	→ 187
超解像	→ 279	ホワイトバランス	→ 189
下限シャッター速度	→ 281	オートフォーカスマード	→ 119
HDR	→ 285	ドライブモード	→ 144
シャッター方式	→ 180		
フラッシュモード	→ 199		
フラッシュ光量調整	→ 202		
EX テレコン	→ 140		
デジタルズーム	→ 142		
手ブレ補正	→ 181		
電子補正 (動画)	→ 181		
4K ライブクロップ	→ 216		
スナップムービー	→ 221		
動画画質設定	→ 210		
S&Q 効果	→ 220		
動画撮影中の写真撮影	→ 213		
録音レベル表示	→ 227		
サイレントモード	→ 179		

カスタムモード

C



お好みに合わせたメニューの設定内容を、カスタムモード([C1]～[C3])に登録できます。登録した設定はカスタムモードメニューを [SET1]～[SET3] に切り換えることで使用できます。

カスタムモードへの登録

現在のカメラの設定内容を登録できます。

お買い上げ時のすべてのカスタムモードには、[P] モードのメニューの初期設定が登録されています。

1 保存したい状態の撮影モードと、メニュー設定にする

2 [カスタムセット登録] を選ぶ

-



3 登録する

- 登録先の番号を選び、 を押します。



- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。
 - ・マイメニュー、セットアップメニュー、再生メニュー
 - ・カスタムメニュー（[メニューガイド]／[個人認証]で登録されたデータ／[プロフィール設定]の設定内容）

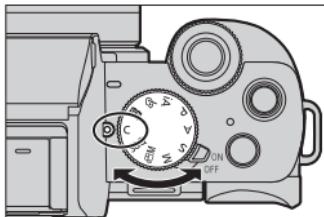


・／ モードはカスタムモードに登録できません。

カスタムモードを使う

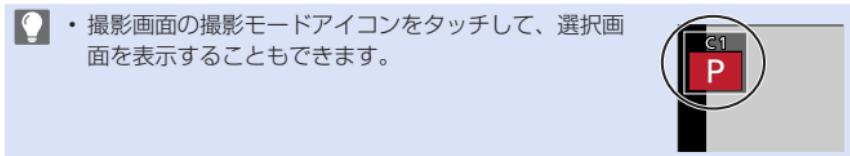
モードダイヤルを [C] に合わせる

- 最後に使ったカスタムモードが呼び出されます。



❖ カスタムモードの切り換え

 [C] ➔ [SET1] / [SET2] / [SET3]



❖ 登録内容の変更

モードダイヤルを [C] に合わせた状態で一時的にカメラの設定内容を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニューの [カスタムセット登録] で登録内容を上書きしてください。

マイメニュー

よく使うメニューをマイメニューとして登録します。最大で23項目登録できます。

マイメニューへの登録

1 [登録] を選ぶ

-  ➡ [人物] ➡ [マイメニュー設定]
➡ [登録]



2 登録する

- 登録するメニューを選び、 を押します。



❖ マイメニューの呼び出し

登録したマイメニューを呼び出します。

-  ➡ [人物] ➡ 登録したメニュー

マイメニューの編集

マイメニューの表示順を並べ換えたり、不要なメニューを消去したりできます。

 ➔  ➔ [マイメニュー設定] を選ぶ

登録	マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。
並べ換え	マイメニューの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。
消去	マイメニューに登録したメニューを消去します。 [項目消去]：メニューを選び、消去します。 [全消去]：マイメニューに登録したメニューをすべて消去します。
マイメニュー から表示	メニューを表示するとき、最初にマイメニューを表示します。 [ON]：マイメニューを表示します。 [OFF]：最後に使ったメニューを表示します。

13. メニューガイド

本章では、メニューの一覧と詳細について説明しています。

- ・メニューの操作方法については、[62 ページ](#)をお読みください。

メニューを探す

メニュー一覧 [→270](#)

メニューの働きと初期設定を知る



撮影メニュー	→276
動画メニュー	→288
カスタムメニュー	→292
セットアップメニュー	→310
マイメニュー	→267
再生メニュー	→317

特定の撮影モードで表示されるメニュー

インテリジェントオートメニュー	→274
クリエイティブ動画メニュー	→274
スロー＆クイックメニュー	→275
カスタムモードメニュー	→266
シーンガイドメニュー	→275
クリエイティブコントロールメニュー	→275

文字を入力する

文字の入力 [→325](#)

→ ・「各撮影モードで設定できる機能一覧」については、[428 ページ](#)をお読みください。

メニュー一覧

 ：撮影メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。
設定は連動しています。

インテリジェントオートメニュー

- | | |
|----------------|---|
| インテリジェントオートモード |  274 |
| i手持ち夜景 |  274 |
| iHDR |  274 |

クリエイティブ動画メニュー

- | | |
|------------|---|
| 動画露出設定 |  274 |
| 4K ライブクロップ |  274 |

スロー&クイックメニュー

- | | |
|----------|---|
| S&Q 露出設定 |  275 |
| S&Q 画質設定 |  275 |
| S&Q 効果 |  275 |

シーンガイドメニュー

- | | |
|-------|---|
| シーン切換 |  275 |
|-------|---|

クリエイティブコントロールメニュー

- | | |
|-------------|---|
| フィルター効果 |  275 |
| フィルターなし同時記録 |  275 |

撮影メニュー

- | | |
|---------------|---|
| 画像横縦比 |  276 |
| 記録画素数 |  276 |
| クオリティ |  276 |
| フォーカスモード |    276 |
| AF 追従感度 (写真) |  276 |
| フォトスタイル |    276 |
| フィルター設定 |    276 |
| 色空間 |  277 |
| 測光モード |    277 |
| ハイライトシャドウ |    278 |
| iオレンジコントロール |    279 |
| 超解像 |    279 |
| フラッシュ設定 |  280 |
| デジタル赤目補正 |  281 |
| ISO 感度設定 (写真) |  281 |
| 下限シャッター速度 |  281 |
| 長秒ノイズ除去 |  281 |
| シェーディング補正 |  282 |
| 回折補正 |    282 |
| 手ブレ補正 |    282 |
| EX テレコン (写真) |  282 |
| デジタルズーム |    282 |
| 連写速度 |  283 |
| 4K フォト |  283 |
| セルフタイマー |    283 |
| インターバル撮影 |  283 |

 **撮影メニュー (続き)**

コマ撮りアニメ	→ 283
ライブビューコンポジット撮影	→ 284
サイレントモード	→ 284
シャッター方式	→ 284
シャッターディレイ	→ 284
ブラケット	→ 284
HDR	→ 285
多重露出	→ 286

 **動画メニュー**

画質設定	→ 288
スナップムービー	→ 288
フォーカスモード	 → 288
AF 連続動作	→ 288
AF カスタム設定 (動画)	→ 288
フォトスタイル	 → 288
フィルター設定	 → 289
輝度レベル設定	→ 289
測光モード	 → 289
ハイライトシャドウ	 → 289
iQ レンジコントロール	 → 289
超解像	 → 289
ISO 感度設定 (動画)	→ 289
回折補正	 → 289
手ブレ補正	 → 290
フリッカー軽減	→ 290
EX テレコン (動画)	→ 290
デジタルズーム	 → 290
動画撮影中の写真撮影	→ 290
セルフタイマー	 → 290
録音レベル表示	→ 290
録音レベル設定	→ 290
風音キャンセラー／	→ 290
風音低減	→ 290
レンズ動作音低減	→ 290
内蔵マイク設定	→ 291
内蔵マイクアイコン表示	→ 291
専用マイク設定	→ 291

CF カスタムメニュー

 露出	→ 292	 モニター/表示	→ 300
ISO 感度ステップ	→ 292	オートレビュー	→ 300
拡張 ISO 感度	→ 292	モノクロライブビュー	→ 300
露出補正リセット	→ 292	常時プレビュー (M モード)	→ 300
 フォーカス/レリーズ	→ 292	ライブビューブースト	→ 301
AF/AE ロック切換	→ 292	ピーキング	→ 302
AF/AE ロック維持	→ 292	ヒストグラム表示	→ 303
シャッター半押し AF	→ 292	ガイドライン表示	→ 303
シャッター半押しレリーズ	→ 292	フレーム表示	→ 303
クイック AF	→ 293	センターマーカー表示	→ 304
アイセンサーAF	→ 293	ハイライト表示	→ 304
ピンポイント AF 設定	→ 293	ゼブラパターン表示	→ 304
AF 補助光	→ 294	露出メーター	→ 304
ダイレクトフォーカス移動	→ 294	MF ガイド	→ 304
フォーカス/レリーズ優先	→ 295	LVF/モニター表示設定	→ 305
縦/横位置フォーカス切換	→ 295	モニター撮影情報画面	→ 305
フォーカス枠のループ移動	→ 295	記録枠表示	→ 305
AF エリア表示	→ 295	残枚数/残時間切換	→ 305
AF+MF	→ 296	動画記録中の赤枠表示	→ 305
MF アシスト	→ 296	メニューガイド	→ 305
MF アシスト表示	→ 296	 レンズ/その他	→ 306
 操作	→ 297	レンズ位置メモリー	→ 306
Fn ボタン設定	→ 297	パワーズームレンズ	→ 306
ISO 感度画面の操作	→ 297	レンズ Fn ボタン設定	→ 306
露出補正画面の操作	→ 297	絞りリング設定	→ 306
Q.MENU	→ 297	セルフタイマー自動解除	→ 307
ダイヤル設定	→ 298	自分撮り	→ 307
操作ロック設定	→ 299	カウントダウン後 AF	→ 307
フォーカスリングロック	→ 299	個人認証	→ 307
動画記録ボタン	→ 299	プロフィール設定	→ 309
タッチ設定	→ 299		

🔧 セットアップメニュー

取扱説明書の Web サイト	→ 310
CLUB Panasonic 登録	→ 310
カスタムセット登録	→ 310
時計設定	→ 310
ワールドタイム	→ 310
トラベル日付	→ 311
Wi-Fi	→ 311
Bluetooth	→ 312
WIRELESS 接続ランプ	→ 312
電子音	→ 312
エコモード	→ 313
モニター表示速度	→ 313
LVF 表示速度	→ 313
モニター調整/LVF 調整	→ 313
モニター輝度/LVF 輝度	→ 314
アイセンサー	→ 314
USB モード	→ 314
テレビ接続設定	→ 315
言語設定	→ 315
バージョン表示	→ 316
フォルダー/ファイル設定	→ 316
番号リセット	→ 316
設定リセット	→ 316
ネットワーク設定リセット	→ 316
ピクセルリフレッシュ	→ 316
水準器調整	→ 316
デモモード	→ 316
認証情報	→ 316
フォーマット	→ 316

👤 マイメニュー

マイメニュー設定	→ 268
登録	→ 268
並べ替え	→ 268
消去	→ 268
マイメニューから表示	→ 268

▶ 再生メニュー

スライドショー	→ 318
再生モード	→ 318
プロテクト	→ 318
レーティング	→ 319
タイトル入力	→ 319
認証情報編集	→ 320
RAW 現像	→ 320
4K フォト一括保存	→ 320
比較明合成	→ 320
軌跡合成	→ 320
クリアレタッチ	→ 320
文字焼き込み	→ 321
リサイズ (縮小)	→ 322
トリミング (切抜き)	→ 322
画像回転	→ 323
動画分割	→ 323
インターバル動画作成	→ 323
コマ撮りアニメ作成	→ 323
縦位置自動回転	→ 323
画像表示順	→ 323
消去確認画面	→ 324
全画像消去	→ 324

特定の撮影モードで表示されるメニュー

▶： 初期設定

インテリジェントオートメニュー

インテリジェント オートモード	 /  [] モードと [] モードを切り替えます。	→ 74
i手持ち夜景	ON / ▶ OFF カメラが【i手持ち夜景】を判別すると、複数枚の写真を合成して、手ブレとノイズの少ない写真を記録します。	→ 76
iHDR	ON / ▶ OFF カメラが背景と被写体の明暗差を判別すると、複数枚の写真を合成して、階調豊かな写真を記録します。	→ 76

クリエイティブ動画メニュー

動画露出設定	▶ P/A/S/M [] モードで使用する露出モードを設定します。	→ 214
4K ライブクロップ	40 秒 / 20 秒 / ▶ OFF ライブビューで表示される範囲から一部を切り出して、カメラを固定したままパンやズームの動作を加えた FHD 動画を記録します。	→ 216

S&Q スロー& クイックメニュー

S&Q 露出設定	▶ P/A/S/M 露出設定を選択します。	→ 220
S&Q 画質設定	60p/▶ 30p 記録フレームレートを選択します。	→ 220
S&Q 効果	8xQUICK/4xQUICK/▶ 2xQUICK/ 2xSLOW/4xSLOW 速度効果を設定します。	→ 220

SCN シーンガイドメニュー

シーン切換	シーンの選択画面を表示します。	→ 99
-------	-----------------	------

⌚ クリエイティブコントロールメニュー

フィルター効果	フィルター効果の選択画面を表示します。	→ 103
フィルターなし同時記録	ON/▶ OFF フィルター効果を加えていない写真を同時に撮影できます。	→ 103



撮影メニュー

○/■：撮影メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。

設定は連動しています。

▶：初期設定

画像横縦比	▶ 4:3/3:2/16:9/1:1 画像の横縦比（アスペクト比）を選択できます。	→ 108
記録画素数	▶ L/M/S 写真の画像サイズを設定します。	→ 109
クオリティ	▶ / / / RAW / RAW / RAW 写真を保存するときの圧縮率を設定します。	→ 110
○/■ フォーカスマード	▶ AFS/AFF/AFC/MF 被写体の動きに合わせて、ピント合わせの方法（フォーカスマード）を選択できます。	→ 114
AF 追従感度（写真）	▶ +2~-2 (▶ ± 0) 被写体の動きに追従する感度を設定します。	→ 118
○/■ フォトスタイル	▶ スタンダード/ヴィヴィッド/ナチュラル/モノクローム/L.モノクローム/L.モノクロームD/風景/人物/カスタム/シネライクD/シネライクV/V-Log L 被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。	→ 193
○/■ フィルター設定	フィルター効果	ON/▶ OFF/設定
	フィルターなし同時記録	ON/▶ OFF
	画像に効果（フィルター）を加えて撮影できます。	

色空間	<p>▶ sRGB／AdobeRGB</p> <p> P A S M </p> <p>撮影した画像をパソコンの画面やプリンターで再現する場合に、正しく色再現するための方式を設定します。</p> <p>sRGB：パソコンを中心とした機器で広く使われています。</p> <p>AdobeRGB：AdobeRGB 色空間は sRGB 色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AdobeRGB についての専門的な知識がない方は、sRGB に設定してください。 • 以下の機能を使用中は、[sRGB] に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト] - [フォトスタイル] の [V-Log L] - [フィルター設定] 	—
測光モード	<p>▶ / / </p> <p>明るさを測る方式を切り換えることができます。</p>	→ 183

- (スタンダード) /
- (コントラストを上げる) /
- (コントラストを下げる) /
- (暗部を明るくする) /
- C1 / C2 / C3 (カスタム)

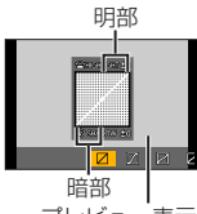


画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整します。

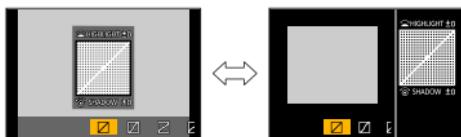
- で明部を、 で暗部を調整できます。

を押して決定してください。

- グラフをドラッグしても調整できます。
- お好みの設定を登録する場合は を押して、カスタム登録先 ([カスタム 1] / [カスタム 2] / [カスタム 3]) を選んでください。



- [DISP.] ボタンを押して表示を切り換えることができます。



- [フィルター設定] を使用中は設定できません。
- [フォトスタイル] の [V-Log L] を使用中は、 (スタンダード) に固定されます。
- / / / で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にすると初期設定に戻ります。



ハイライトシャドウ

	<p>AUTO／強／中／弱／▶ OFF</p> <p>  P A S M    </p> <p>背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 以下の場合、[iD レンジコントロール] は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> - [HDR] を [ON] に設定時 以下の機能を使用中は、[iD レンジコントロール] は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - [フォトスタイル] の [V-Log L] - [フィルター設定] - [ライブビューコンポジット撮影] 	—
  iD レンジコントロール 超解像	<p>強／中／弱／▶ OFF</p> <p>  P A S M    </p> <p>超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある画像を撮影できます。</p>	—

フラッシュ設定	フラッシュモード	▶  /  /  /  /  / 	→ 199
	フラッシュの発光方法を設定します。		
	フラッシュシンクロ	▶ 先幕／後幕	→ 203
	フラッシュの発光方法を後幕シンクロに設定できます。		
	フラッシュ光量調整	−2 EV～+2 EV (▶ ± 0 EV)	→ 202
	フラッシュ撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整できます。		
	露出補正連動	ON/▶ OFF	→ 203
	露出補正の値に連動してフラッシュの発光量を自動で調整します。		
	ワイヤレスモード	ON/▶ OFF	→ 206
	ワイヤレスフラッシュ撮影を可能にします。		
	ワイヤレスチャンネル	▶ 1CH/2CH/3CH/4CH	→ 206
	ワイヤレスフラッシュ撮影に使用するチャンネルを設定します。		
	ワイヤレス通信光量	▶ 強/中/弱	→ 208
	通信発光の強さを設定します。		
	ワイヤレス設定	外部フラッシュ A グループ/ B グループ/ C グループ	→ 207
	ワイヤレスフラッシュ撮影時の詳細設定をします。		

デジタル赤目補正	ON/▶ OFF	→204
	[フラッシュモード] を [◀◎] または [◀\$◎] に設定しているときに、赤目を自動で検出して画像データを補正します。	
ISO 感度設定（写真）	ISO オート下限設定 ▶ 200~12800	—
	ISO オート上限設定 ▶ AUTO/400~25600	
下限シャッター速度		—
	ISO 感度を [AUTO] または [ISO] に設定したときの ISO 感度の上限と下限を設定します。 <ul style="list-style-type: none">以下の機能を使用中は、[ISO 感度設定（写真）] は使用できません。<ul style="list-style-type: none">- [SCN] モード（[夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景を手持ちで撮る]）	
長秒ノイズ除去	▶ AUTO/1/16000~1/1	—
		
長秒ノイズ除去	▶ ON/OFF	—
		
長秒ノイズ除去	遅いシャッタースピードで撮影したときに発生するノイズを、カメラが自動で取り除きます。 <ul style="list-style-type: none">ノイズ除去中は撮影できません。以下の機能を使用中は、[長秒ノイズ除去] は使用できません。<ul style="list-style-type: none">- 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト]- 電子シャッター- [サイレントモード]	

	ON/▶ OFF					
  P A S M    	レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影できます。					
シェーディング補正	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。 以下の機能を使用中は、[シェーディング補正]は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト] 動画撮影中の写真記録（[]）（動画優先）設定時 [EX テレコン（写真）] [デジタルズーム] 	—				
	AUTO/▶ OFF					
 回折補正	  P A S M    	絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。				
	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 高いISO感度では、ノイズが目立つ場合があります。 	—				
 手ブレ補正	<table border="1"> <tr> <td>動作設定</td> <td>▶  /  / OFF</td> </tr> <tr> <td>電子補正（動画）</td> <td>強/▶ 標準/OFF</td> </tr> </table>	動作設定	▶  /  / OFF	電子補正（動画）	強/▶ 標準/OFF	→ 181
動作設定	▶  /  / OFF					
電子補正（動画）	強/▶ 標準/OFF					
	手ブレ補正の設定をします。					
	ZOOM/TELE CONV./▶ OFF					
EX テレコン（写真）	画質を劣化させることなく、光学ズームよりも拡大して撮ることができます。	→ 140				
 デジタルズーム	2x/▶ OFF	→ 142				
	元のズーム倍率の最大2倍まで拡大できます。					

連写速度	▶ H/M/L 連写動作を設定します。		→ 145	
	撮影方法 4K 連写 (広角) (自分撮りモード時) / ▶ 4K 連写 / 4K 連写 (S/S) / 4K プリ連写			
4K フォト	プリ記録	ON / ▶ OFF	→ 149	
	4K フォトの設定をします。高速連写した連写ファイルから、写真を選び出し保存できます。			
	▶ ⏱10 / ⏱10: / ⏱2 / ⏱3 など 設定 2 秒～10 秒 (▶ 3 秒)			
セルフタイマー	セルフタイマーの時間を設定します。		→ 168	
	開始			
インターバル撮影	撮影間隔設定	▶ ON / OFF	→ 169	
	開始時刻	▶ 即時開始 / 開始時刻設定		
	撮影枚数			
	撮影間隔			
	一定の撮影間隔で自動的に撮影を開始／終了します。			
	開始			
コマ撮りアニメ	自動撮影	ON / ▶ OFF	→ 172	
	撮影間隔			
	被写体を少しずつ動かしながら撮影します。			

ライブビューコンボ ジット撮影	開始	8秒／4秒／2秒／1秒／ ▶ OFF	→ 95
	シャッターディレイ		
サイレントモード	ON／▶ OFF	設定した露光時間ごとに画像を撮影し、明るく 変化した部分を合成して1枚の写真として記録 します。	→ 179
	カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。		
シャッター方式	▶自動切換／電子先幕／電子シャッター	写真撮影時のシャッター方式を選びます。	→ 180
	8秒／4秒／2秒／1秒／▶ OFF		
シャッターディレイ	P A S M	手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後に シャッターが切れます。 • 以下の機能を使用中は、[シャッターディレイ] は使用できません。 - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト] - [HDR]	→ 175
	プラケット種類		
プラケット	詳細設定	設定値を自動で変えて複数枚の画像を撮影でき ます。	→ 175
	WB / / FOCUS / WB / / ▶ OFF		

	ON/▶ OFF
設定	D レンジ設定
	自動位置調整
	P A S M
HDR	<p>露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。</p> <p>HDR 合成した画像は JPEG で記録されます。</p> <p>D レンジ設定 :</p> <p>AUTO : 被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。</p> <p>± 1EV / ± 2EV / ± 3EV : 設定した露出の調整幅で撮影します。</p> <p>自動位置調整 :</p> <p>ON : 手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時に設定をお勧めします。</p> <p>OFF : 画像のずれ調整を行いません。三脚使用時に設定をお勧めします。</p> <ul style="list-style-type: none"> シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。 【自動位置調整】を【ON】に設定時は、画角がわずかに狭くなります。 フラッシュは【】(発光禁止) に固定されます。 動画撮影中の写真撮影では働きません。

HDR (続き)	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を使用中は、[HDR] は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 自分撮りモード - [フィルター設定] - [連写] - [4K フォト]、[フォーカスセレクト] - [プラケット] - [クオリティ] の [RAW[■]]、[RAW^{■■}]、[RAW] - [インターバル撮影] - [コマ撮りアニメ]（[自動撮影] 設定時） - [ライブビューコンポジット撮影]
開始	
自動ゲイン補正	▶ ON/OFF
再生画像と多重	ON/▶ OFF
	
1 枚の画像に最大 4 回の露光をした効果を得ることができます。	
自動ゲイン補正：撮影枚数に応じて自動で明るさを調整します。	
再生画像と多重：撮影済みの RAW 画像に多重露出できます。[開始] を選択後に、重ねる画像の選択画面が表示されます。	
多重露出	
<ul style="list-style-type: none"> ・[開始] を選択後、シャッターボタンを全押しすると、多重露出を開始します。 ・撮影するごとにプレビューが表示され、以下の操作ができます。 <ul style="list-style-type: none"> - [次の撮影]（シャッターボタンを半押ししても同じ操作ができます） - [撮り直し] - [完了]：写真を記録し、多重露出の撮影を終了します。 ・記録前に多重露出の撮影を終了するには、撮影画面で [Fn2] ボタンを押してください。 	

多重露出 (続き)	<ul style="list-style-type: none">・多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。・[再生画像と多重] を設定できるのは、本機で撮影した RAW 画像だけです。・以下の機能を使用中は、[多重露出] は使用できません。<ul style="list-style-type: none">- 自分撮りモード- [フィルター設定]- [インターバル撮影]- [コマ撮りアニメ]- [ライブビューコンポジット撮影]- HDMI 出力	—
----------------------	---	---



動画メニュー

 撮影メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。

設定は連動しています。

▶ 初期設定

画質設定	動画撮影の画質を設定します。		→ 210
スナップムービー	ON/▶ OFF		→ 221
	設定	撮影時間	
		ピント送り	
		フェード	
撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。			
▶ フォーカスモード	▶ AFS/AFF/AFC/MF		→ 114
	被写体の動きに合わせて、ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択できます。		
AF 連続動作	▶ ON/OFF		→ 224
	動画撮影中のオートフォーカスでのピントの合わせ方を選びます。		
AF カスタム設定 (動画)	ON/▶ OFF		→ 225
	設定	AF 駆動速度/AF 追従感度	
	[AF 連続動作] を使って動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。		
▶ フォトスタイル	▶ スタンダード/ヴィヴィッド/ナチュラル/モノクローム/L. モノクローム/L. モノクロームD/風景/人物/カスタム/シネライクD/シネライクV/V-Log L		→ 193
	被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。		

 フィルター設定	フィルター効果	ON/▶ OFF/設定	→ 196
	フィルターなし同時記録	ON/▶ OFF	
	画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。		
 輝度レベル設定	0-255/▶ 16-255		→ 226
	動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。		
 測光モード	▶  /  / 		→ 183
 ハイライトシャドウ	▶ <input checked="" type="checkbox"/> (スタンダード) / <input checked="" type="checkbox"/> (コントラストを上げる) / <input checked="" type="checkbox"/> (コントラストを下げる) / <input checked="" type="checkbox"/> (暗部を明るくする) /  /  /  (カスタム)		→ 278
	画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整します。		
 iD レンジコントロール	AUTO/強/中/弱/▶ OFF		→ 279
	背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を補正します。		
 超解像	強/中/弱/▶ OFF		—
	超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある画像を撮影できます。		
 ISO 感度設定(動画)	ISO オート下限設定	▶ 200~3200	→ 226
	ISO オート上限設定	▶ AUTO/400~6400	
	ISO 感度 [AUTO] 時の ISO 感度の下限と上限を設定します。		
 回折補正	AUTO/▶ OFF		→ 282
	絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。		

 手ブレ補正	動作設定	▶ (手) / (手) / OFF	→ 181
	電子補正（動画）	強 / ▶ 標準 / OFF	
	手ブレ補正の設定をします。		
フリッカーレンズ	1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / ▶ OFF		
	 P A S M  S&Q 	動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定できます。	—
EX テレコン（動画）	ON / ▶ OFF		→ 141
	ズーム倍率を最大に固定します。		
 デジタルズーム	2x / ▶ OFF		→ 142
	元のズーム倍率の最大 2 倍まで拡大できます。		
動画撮影中の写真撮影			→ 213
	動画撮影中の写真撮影時に優先する設定を選択します。		
 セルフタイマー	▶ ⏱10 / ⏱10: / ⏱2 / ⏱3 など		→ 168
	設定	2 秒～10 秒 (▶ 3 秒)	
	セルフタイマーの時間を設定します。		
録音レベル表示	ON / ▶ OFF		→ 227
	録音レベルを撮影画面に表示します。		
録音レベル設定	▶ AUTO / MANUAL (MUTE, -12dB～+6dB (▶ 0dB))		→ 227
	録音レベルを設定します。		
風音キャンセラー	強 / ▶ 標準 / OFF		→ 228
	音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。		
風音低減	強 / 中 / 弱 / ▶ OFF		→ 395
	外部マイク装着時の風雑音を低減します。		
レンズ動作音低減	▶ ON / OFF		→ 228
	パワーズーム対応の交換レンズを使用時、動画撮影中に記録されるズーム動作音を低減します。		

内蔵マイク設定	オート/▶サラウンド/フロント/ トラッキング/ナレーション	→229
	内蔵マイク使用時の収音方法を設定します。	
内蔵マイクアイコン 表示	▶ON/OFF 内蔵マイクの収音状態や収音対象者を表示しま す。	→230
専用マイク設定	▶ステレオ/レンズ運動/ガン/スーパーガン/ マニュアル ステレオガンマイクロホン(別売: DMW- MS2)装着時の収音範囲を設定します。	→395

⌚ カスタムメニュー

▶： 初期設定

⌚ カスタムメニュー → 📄 露出

ISO 感度ステップ	▶ 1/3 EV／1 EV ISO 感度の調整値の刻みを変更します。
拡張 ISO 感度	ON／▶ OFF ISO 感度の設定範囲を拡張します。
露出補正リセット	ON／▶ OFF 撮影モード変更時および電源 OFF 時に露出補正值をリセットします。

⌚ カスタムメニュー → 📌 フォーカス/レリーズ

AF/AE ロック切換	▶ AE LOCK／AF LOCK／AF/AE LOCK／AF-ON Fn ボタンに [AF/AE LOCK] を設定時に働く機能を設定します。(→186)
AF/AE ロック維持	ON／▶ OFF AF/AE ロック時のボタン動作を設定します。[ON] にすると、ボタンを離したあと、もう一度押すまでロックを維持します。
シャッター半押し AF	▶ ON／OFF シャッターボタン半押し時に、自動でピントを合わせます。
シャッター半押し レリーズ	ON／▶ OFF シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

CF カスタムメニュー ➔ [FOCUS] フォーカス/レリーズ

クイック AF	ON/▶ OFF	
	<p>カメラのブレが小さくなると、カメラが自動でピントを合わせます。シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> バッテリーの消費が早くなる場合があります。 以下の場合、[クイック AF] は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> プレビューモード時 低照度時 	
アイセンサーAF	ON/▶ OFF	
	<p>ファインダーをのぞいてアイセンサーが動作したとき、オートフォーカスが働きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 低照度時は、[アイセンサーAF] が働かない場合があります。 	
ピンポイント AF 設定	ピンポイント AF 時間	LONG/▶ MID/SHORT
	ピンポイント AF 表示	全画面/▶ PIP
<p>オートフォーカスモードが [+] の場合に表示される、拡大画面の設定を変更します。</p> <p>ピンポイント AF 時間：シャッターボタンを半押ししたときに、拡大画面が表示される時間を設定します。</p> <p>ピンポイント AF 表示：拡大画面の表示方法（画面全体／画面の一部）を設定します。</p>		

CF カスタムメニュー ➔ [FOCUS] フォーカス/レリーズ

	▶ ON/OFF
	<p>暗い場所で撮影するときにシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> 交換レンズ（H-FS12032）使用、W端時： 約1.0m～約3.0m 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、ピントが合いにくい場合があります。 以下の機能を使用中は、[AF補助光]は[OFF]に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> [SCN]モード（[風景をきれいに撮る] [青空をさわやかに撮る] [夕焼けを幻想的に撮る] [夕焼けを印象的に撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [夜景を手持ちで撮る]） [サイレントモード]
AF補助光	ON/▶ OFF
ダイレクトフォーカス移動	<p>撮影時にカーソルボタンを使って、AFエリアやMFアシストを移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [人物]、[■]、[■■]、[□] 選択時はAFエリアを、[□] 選択時はロック開始位置を、[+] 選択時はピントを合わせる位置を移動することができます。 カーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー（→262）やFnボタン（→256）を使って設定してください。 以下の機能を使用中は、[ダイレクトフォーカス移動]は[OFF]に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> [SCN]モード（[水面をキラキラ撮る]）／[⌚] [4Kライブクロップ]

⌚ カスタムメニュー ➔ [FOCUS] フォーカス/レリーズ

フォーカス/レリーズ 優先	AFS/AFF	▶ フォーカス/バランス/レリーズ
	AFC	フォーカス/▶ バランス/レリーズ
		オートフォーカス時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。 フォーカス：ピントが合っていないときは撮影できません。 バランス：ピント合わせとレリーズタイミングのバランスをとり撮影します。 レリーズ：ピントが合っていなくても撮影できます。
縦/横位置フォーカス 切換	ON/▶ OFF	カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置を別々に記憶します。縦位置はカメラの右側を下にした場合と、左側を下にした場合の2種類を記憶します。 <ul style="list-style-type: none">オートフォーカスマードを [■], [□], [+] に設定時に働きます。マニュアルフォーカス時は、MFアシストの位置を記憶します。
フォーカス枠の ループ移動	ON/▶ OFF	AFエリアやMFアシスト移動時に、画面の端から逆の端にループできるようにします。
AFエリア表示	▶ ON/OFF	オートフォーカスマードを [■] (49点) またはカスタムマルチに設定時の、AFエリア表示の設定をします。 ON ：撮影画面にAFエリアを表示します。 <ul style="list-style-type: none">[■] (49点) やカスタムマルチの [c1]、[c2]、[c3] でAFエリアが初期設定の場合、AFエリアを表示しません。 OFF ：AFエリアの設定後の数秒間のみ、撮影画面にAFエリアを表示します。 <ul style="list-style-type: none">以下の機能を使用中は、[ON] に設定していても、[OFF] と同じ動作になります。<ul style="list-style-type: none">- [P-M] / [S&Q] モード- 動画撮影、[4K フォト]

CF カスタムメニュー ➔ [FOCUS] フォーカス/レリーズ

AF+MF	ON/▶ OFF
	AF ロック中に手動でピントを微調整できます。 - フォーカスマードを [AFS] にして、シャッターボタンを半押ししたとき - Fn ボタンの [AF LOCK] または [AF/AE LOCK] でロックしたとき
MF アシスト	フォーカスリングがある交換レンズ装着時 ①田 / ▶ ②FOCUS / 田 / OFF
	フォーカスリングがない交換レンズ装着時 ▶ ON/OFF
MF アシスト表示	MF アシスト（拡大画面）の表示方法を設定します。 ①田：レンズでピント合わせをする、または [田] ボタン (◀) を押すと、拡大表示されます。 ②FOCUS：レンズでピント合わせをすると拡大表示されます。 田：[田] ボタン (◀) を押すと拡大表示されます。 ・以下の機能を使用中は、MF アシストは表示されません。 - 動画撮影 - [4K ブリ連写] - [デジタルズーム]
MF アシスト表示	全画面/▶ PIP
	MF アシスト（拡大画面）の表示方法（画面全体／画面の一部）を設定します。

⌚ カスタムメニュー ➔ 📸 操作

Fn ボタン設定	撮影時設定
	再生時設定
	Fn ボタンに機能を登録できます。 ・詳しくは、 256 ページ をお読みください。
ISO 感度画面の操作	前ダイヤルの割当  /  / OFF
	ISO 感度の設定画面でのダイヤル動作を設定します。 [] を割り当てるごとに、[ISO オート上限設定] を変更できます。
露出補正画面の操作	上/下ボタンの割当  / OFF
	露出補正画面での ▲ ▼ の動作を設定します。 [] を割り当てるごとに、露出ブラケットの設定ができます。
	前ダイヤルの割当  /  / OFF
	露出補正画面でのダイヤル動作を設定します。 [] を割り当てるごとに、フラッシュ発光量を調整できます。
Q.MENU	▶ プリセット/カスタム
	クイックメニューのカスタマイズができます。 ・詳しくは、 262 ページ をお読みください。

⌚ カスタムメニュー ➡ 📸 操作

ダイヤル設定	F/SS ダイヤルの割当	▶  SS /  F
	[M] モード時のダイヤルに割り当てる操作を設定します。	
	[ SS] : 前ダイヤルに絞り値、コントロールダイヤルにシャッタースピードの操作を割り当てます。	
	[ F] : 前ダイヤルにシャッタースピード、コントロールダイヤルに絞り値の操作を割り当てます。	
F/SS ダイヤルの回転		▶   /  
絞り値とシャッタースピードを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。		
露出補正のダイヤル割当		◀  /  / OFF
露出補正の操作を  または  に割り当てます。 ([M] モード時を除く)		
ダイヤル動作切換設定		 
Fn ボタンの [ダイヤル動作切換] で、  または  に一時的に登録する機能を設定します。(→ 260)		

⌚ カスタムメニュー ➡ 🌄 操作

操作ロック設定	カーソル	▶ ON/OFF
	タッチパネル	▶ ON/OFF
	ダイヤル	▶ ON/OFF
	カスタムメニュー（操作）の [Fn ボタン設定] (→256) で [操作ロック] を設定時に、操作を無効にする対象を設定します。（撮影画面のみ） カーソル：カーソルボタン、  タッチパネル：タッチパネル ダイヤル：  および 	
フォーカスリングロック	ON/▶ OFF	
	(フォーカスリングがある交換レンズ装着時) マニュアルフォーカス中のフォーカスリング操作を無効にし、ピントを固定します。 ・ フォーカスリングのロック中は、撮影画面に [MFL] が表示されます。	
動画記録ボタン	▶ ON/OFF	
	動画記録ボタンの有効／無効を設定します。	
タッチ設定	タッチパネル	▶ ON/OFF
	タッチタブ	▶ ON/OFF
	タッチ AF	▶ AF/AF+AE
	タッチパッド AF	▶ 絶対位置／ 相対位置 1～相対位置 7/OFF
	モニター画面のタッチ操作を有効にします。 タッチパネル：すべてのタッチ操作。 タッチタブ：画面右に表示される [◀] などのタブ操作。 タッチ AF：タッチした被写体にピントを合わせる操作 ([AF])。またはピントと明るさを合わせる操作 ([AF+AE])。 (→131) タッチパッド AF：ファインダー表示中のタッチパッド操作。 (→133)	

CF カスタムメニュー ➔ ■ モニター/表示

オートレビュー	時間 (写真)	ホールド／5 秒～1 秒 (▶ 2 秒)／OFF
	時間 (4K フォト)	▶ ホールド／OFF
	時間 (フォーカスセレクト)	▶ ホールド／OFF
	再生操作優先	ON／▶ OFF
<p>写真撮影後に撮影画像を表示します。</p> <p>時間 (写真)：写真撮影時のオートレビュー時間を設定します。</p> <p>時間 (4K フォト)：4K フォト撮影時のオートレビューを設定します。</p> <p>時間 (フォーカスセレクト)：フォーカスセレクト撮影時のオートレビューを設定します。</p> <p>再生操作優先：[ON] に設定すると、オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[時間 (写真)] を [ホールド] に設定した場合、シャッターボタン半押しまで画像を表示します。[再生操作優先] は [ON] に固定されます。 		
モノクロライブビュー	ON／▶ OFF	
	<p>撮影画面を白黒で表示できます。マニュアルフォーカスでピントを合わせるときに便利です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HDMI 出力する映像は、白黒表示になりません。 	
常時プレビュー (M モード)	ON／▶ OFF	
	設定	MF アシスト中のプレビュー
	<p>[M] モード時の撮影画面で、常に絞り効果やシャッタースピード効果を確認できます。</p> <p>[MF アシスト中のプレビュー] を [ON] に設定すると、MF アシスト画面でもプレビューが働きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュ使用時は働きません。 	

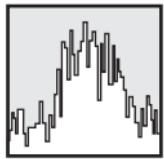
⌚ カスタムメニュー ➔ 📺 モニター/表示

ライブビューブースト	MODE1／MODE2／▶ OFF
	設定 P/A/S/M／▶ M
暗い環境でも被写体や構図を確認しやすいように、画面を明るく表示します。	
<p>MODE1：明るさ弱めで、滑らかに表示することを優先する設定です。</p> <p>MODE2：明るさ強めで、画像が見えることを優先する設定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[ライブビューブースト] が働く撮影モードは、[設定] で変更できます。 ・記録される画像に影響はありません。 ・記録される画像よりノイズが目立つ場合があります。 ・以下の場合、[ライブビューブースト] は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> - 露出を合わせるとき（シャッターボタンを半押ししたときなど） - 動画、4K フォト撮影中 - [フィルター設定] 使用中 - [常時プレビュー (M モード)] 使用中 	

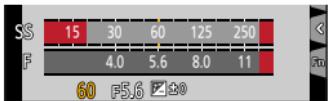
⌚ カスタムメニュー ➔ 📺 モニター/表示

▶ ON/OFF																			
設定	検出レベル	表示色																	
	表示色																		
マニュアルフォーカス動作中に、ピントが合っている部分 (画面上で輪郭がはっきりした部分) に色を付けて表示します。																			
<ul style="list-style-type: none"> 【設定】で【検出レベル】を【高】に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。 【検出レベル】の設定を変更すると、【表示色】の設定も以下のように切り換わります。 																			
<p>ピーキング</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検出レベル</th> <th>高</th> <th>↔</th> <th>低</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">表示色</td> <td>■ (水色)</td> <td>■ (青)</td> </tr> <tr> <td>■ (黄色)</td> <td>■ (オレンジ)</td> </tr> <tr> <td>■ (黄緑)</td> <td>■ (緑)</td> </tr> <tr> <td>■ (ピンク)</td> <td>■ (赤)</td> </tr> <tr> <td>■ (白)</td> <td>■ (灰色)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 【◀】の【PEAK】をタッチするごとに【PEAK L】(検出レベル:低) → 【PEAK H】(検出レベル:高) → [OFF]の順に切り換わります。 【⌚】モードの【ラフモノクローム】を使用中は、【ピーキング】は使用できません。 【ライブビューブースト】使用中は、【ピーキング】は働きません。 			検出レベル	高	↔	低	表示色	■ (水色)	■ (青)	■ (黄色)	■ (オレンジ)	■ (黄緑)	■ (緑)	■ (ピンク)	■ (赤)	■ (白)	■ (灰色)		
検出レベル	高	↔	低																
表示色	■ (水色)	■ (青)																	
	■ (黄色)	■ (オレンジ)																	
	■ (黄緑)	■ (緑)																	
	■ (ピンク)	■ (赤)																	
	■ (白)	■ (灰色)																	

⌚ カスタムメニュー ➔ 📈 モニター/表示

ヒストグラム表示	ON/▶ OFF
	ヒストグラムを表示します。 [ON] にすると、ヒストグラムの移動画面が表示されます。 ▲▼◀▶ で位置を設定できます。
	<ul style="list-style-type: none"> 撮影画面上でヒストグラムをドラッグしても位置を移動できます。 ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。グラフの分布を見ることによって、現在の露出状況を判断できます。
ガイドライン表示	
	■/■/田/田/▶ OFF
	撮影画面に表示するグリッドラインのパターンを設定します。[田] にすると、▲▼◀▶ で位置を設定できます。
フレーム表示	ON/▶ OFF
	設定
	フレーム横縦比
	フレーム色
	フレームマスク
設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。 ・詳しくは、 232 ページをお読みください。	

CF カスタムメニュー → ■ モニター/表示

センターマーカー表示	ON/▶ OFF 撮影画面の中心を示す [+] を表示します。
ハイライト表示	ON/▶ OFF オートレビュー中、または画像を再生中に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。 • 再生画面で [DISP.] ボタンを押したときの表示に、ハイライトなし表示が追加されます。ハイライト表示を消したいときに使います。(→59)
ゼブラパターン表示	ゼブラ 1/ゼebra 2/▶ OFF 設定 ゼebra 1 ゼebra 2 基準値より明るい部分をしま模様で表示します。 • 詳しくは、231 ページをお読みください。
露出メーター	ON/▶ OFF 露出メーターを表示します。 
MF ガイド	▶ ON/OFF マニュアルフォーカス時に、撮影距離の目安を示す MF ガイドを画面に表示します。

⌚ カスタムメニュー ➔ 📺 モニター/表示

LVF/モニター表示設定	LVF 表示設定	
	モニター表示設定	
	ファインダー／モニターの表示方法を切り換えることができます。	
	[]：撮影画面の外側にアイコンを表示します。	
	[]：撮影画面の内側にアイコンを表示します。	
モニター撮影情報画面	▶ ON/OFF	
	モニターの撮影情報画面を表示します。	
記録枠表示	▶ /	
	写真撮影時と動画撮影時の画角を切り替えます。	
	：写真撮影時の画角で表示します。	
	：動画撮影時の画角で表示します。	
	・記録枠表示は目安です。	
	・4K フォト撮影時やフォーカスセレクト撮影時は、[] に固定されます。	
残枚数/残時間切換	▶ (残枚数) / (残時間)	
	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り替えます。	
動画記録中の赤枠表示	▶ ON/OFF	
	撮影画面に、動画記録中であることを示す赤色の枠を表示します。	
メニューガイド	▶ ON/OFF	
	モードダイヤルを [SCN] / [] に切り換えたときに選択画面を表示します。	

⌚ カスタムメニュー ➔ ⚡ レンズ/その他

レンズ位置メモリー	ON/▶ OFF	
	電源を切ったときのピントの位置を記憶します。パワーズーム対応の交換レンズを装着時は、ズーム位置も記憶します。	
パワーズームレンズ	焦点距離表示	▶ ON/OFF
	ステップズーム	ON/▶ OFF
	ズーム速度	写真 H/▶ M/L 動画 H/▶ M/L
	ズームリング操作	▶ ON/OFF
	パワーズーム対応の交換レンズ使用時の画面表示や動作を設定します。(→143)	
レンズ Fn ボタン設定	▶ フォーカスストップ/AF/AE LOCK/AF-ON/手ブレ補正/フォーカスエリア選択/AF モード/MF/プレビュー/フォーカスリングロック/OFF/デフォルトに戻す	
	交換レンズのフォーカスボタンに割り当てる機能を設定します。 ・対応交換レンズのフォーカスセットスイッチを [Fn] に設定し、交換レンズのフォーカスボタンを押すと、設定した機能を呼び出すことができます。 ・[フォーカスストップ] 設定時、フォーカスボタンを押している間、ピントを固定します。	
	SMOOTH/▶ 1/3EV	
絞りリング設定	SMOOTH : 絞り値を細かく設定できます。 1/3EV : 絞り値を 1/3 EV 刻みで設定できます。 絞りリング操作による絞り値設定の刻みを変更できます。 ・クリックレスの絞りリングに対応した交換レンズ(別売: H-X1025)を装着したときに使用できます。 (2020年6月現在) ・写真撮影時に、絞りリングの位置を [A] 以外に合わせた場合に働きます。 ・絞りリングの位置を [A] に合わせた場合は、カメラ側の絞り値が有効になり、[1/3EV] と同じ設定になります。 ・動画撮影時は[SMOOTH]と同じ細かな設定になります。 ・[SMOOTH] で設定するときは、絞り値の端数は画面に表示されません。	

⌚ カスタムメニュー ➔ ⓒ レンズ/その他

セルフタイマー自動解除	▶ ON/OFF 電源を切ると、セルフタイマーが解除されます。
自分撮り	▶ ON/OFF [OFF] に設定すると、モニターを回転させても自分撮りモード (→79) なりません。
カウントダウン後 AF	▶ ON/OFF 自分撮りのカウントダウンが終わると自動でピントを合わせます。
個人認証	<p>ON/▶ OFF/登録 登録した顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせます。</p> <p>顔画像を登録する 最大 6 人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ▼で [登録] を選び、 を押す 2 ▲▼◀▶で [新規登録] を選び、 を押す 3 ガイドに顔を合わせて撮影する <ul style="list-style-type: none"> ・人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。 ・▶を押す、または [?] をタッチすると、説明が表示されます。 4 ▲▼で編集項目を選び、 を押す 名前：名前を設定します。 ・文字の入力方法 (→325) 月齢/年齢：誕生日を設定します。 追加登録：顔画像は 3 枚まで登録できます。 <p>①◀▶で [追加登録] を選び、 を押す ・カーソルボタンで登録済みの顔画像を選ぶと、解除の確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと、顔画像が消去されます。</p> <p>②撮影する（手順 3）</p>

⌚ カスタムメニュー ➔ Ⓡ レンズ/その他

<p>個人認証 (続き)</p>	<p>登録した人物の情報を編集／解除する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ▼で [登録] を選び、 を押す 2 ▲▼◀▶で編集または解除する人物を選び、 を押す 3 ▲▼で項目を選び、 を押す <p>情報編集：名前など、登録した情報を修正します。 〔顔画像を登録する〕の手順 4</p> <p>登録順：ピントや露出の優先順位を設定します。 ① ▲▼◀▶で登録順を選び、 を押す</p> <p>解除：登録した人物の情報や顔画像を消去します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。 • [個人認証] は、オートフォーカスモードを  に設定しているときのみ有効です。 • 連写撮影時は、1 枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。 • グループ画像では、1 枚目の画像の名前が表示されます。 • 以下の機能を使用中は、[個人認証] は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 自分撮りモード（[スリムモード]） - [SCN] モード（[人物をきれいに撮る]の[スリムモード]） -  モード（[ジオラマ]） - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト] - [インターバル撮影] - [多重露出]
----------------------	---

⌚ カスタムメニュー ➡ ○ レンズ/その他

プロフィール設定	 ¹ /  ² /  ➡ OFF / 設定 赤ちゃん/ペットの名前と年齢を撮影画像に記録します。
	名前、月齢/年齢を設定する 1 ▼で [設定] を選び、  を押す 2 ▲▼で [赤ちゃん 1]、[赤ちゃん 2] または [ペット] を選び、  を押す 3 ▲▼で [月齢/年齢] または [名前] を選び、  を押す 4 ▼で [設定] を選び、  を押す [月齢/年齢]（誕生日）を入力する [名前]を入力する <ul style="list-style-type: none"> 文字の入力方法 (→325) 月齢/年齢や名前の表示を解除する [プロフィール設定] で [OFF] を選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> [名前] や [月齢/年齢] は、Web サイトからダウンロードしたソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンで印刷設定をしたり、本機の【文字焼き込み】で写真に焼き込むことができます。 以下の機能を使用中は、[プロフィール設定] は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - [4K フォト]、[フォーカスセレクト] 以下の場合、月齢/年齢や名前は記録されません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影時 - 動画撮影中に撮影した写真

フ セットアップメニュー

▶： 初期設定

取扱説明書の Web サイト	URL 表示／QR コード表示 「取扱説明書」(PDF 形式) をダウンロードするための URL または QR コードを表示します。
CLUB Panasonic 登録	URL 表示／QR コード表示 CLUB Panasonic に登録するための URL または QR コードを表示します。 ・詳しくは、 449 ページをお読みください。
カスタムセット登録	C1／C2／C3 現在のカメラの設定内容を登録できます。 ・詳しくは、 265 ページをお読みください。
時計設定	日付や時刻を設定します。 ・詳しくは、 49 ページをお読みください。
ワールドタイム	✈ 旅行先 ▶ 🏠 ホーム お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。 ・[旅行先] の設定は、[ホーム] 設定後に行えます。 1 ▲▼ で [旅行先] または [ホーム] を選び、 MENU /SET を押す 2 ◀▶ で地域を選び、 MENU /SET を押す [ホーム] の場合  <p>現在日時 GMT (グリニッジ標準時) との時差</p> <ul style="list-style-type: none">・サマータイム [▲⌚] (夏時間) を採用している場合は、▲を押してください。(時計が 1 時間進みます) 元に戻すには、もう一度 ▲ を押してください。・旅行先から戻ってきた場合は、手順1で[ホーム]を選び、MENU /SET を押してください。

トラベル日付	トラベル日付設定	設定／▶ OFF
	旅行先	設定／▶ OFF
<p>トラベル日付設定：旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。</p> <p>旅行先：[トラベル日付設定] が設定されているときは、旅行先を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の入力方法 (→325) ・経過日数や旅行先をプリントするときは、[文字焼き込み] (→321) を行うか、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってプリントしてください。 ・トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。[ワールドタイム] で旅行先を設定したときは、旅行先の日付を基に経過日数を表示します。 ・[トラベル日付設定] を [OFF] に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に [トラベル日付設定] を [設定] にしても表示されません。 ・現在の日付が帰着日を経過した場合、[トラベル日付設定] は自動的に解除されます。 ・動画撮影時、4K フォト撮影時とフォーカスセレクト撮影時、[旅行先] は記録できません。 		
Wi-Fi	Wi-Fi 機能 (→326)	
	Wi-Fi 設定 (→374)	

Bluetooth	Bluetooth (→330)
	スマートフォンに画像を送る (→355)
	リモート起動 (→347)
	スリープモードからの復帰動作 (→342)
	自動画像転送 (→344)
	位置情報記録 (→346)
	自動時刻合わせ (→348)
	Wi-Fi ネットワーク設定
	Wi-Fi ネットワーク設定 : Wi-Fi の無線アクセスポイントを登録します。Wi-Fi 接続で無線アクセスポイントを使用すると、自動で登録されます。
WIRELESS 接続ランプ	▶ ON/OFF
	WIRELESS 機能が動作中にランプを点灯します。
	電子音音量
	シャッター音音量
	シャッター音音色
	電子音や電子シャッター音を設定します。
	・[サイレントモード] 使用中は、[電子音音量]、[シャッター音音量] は [OFF] に固定されます。

エコモード	スリープモード	10分/▶5分/2分/1分/OFF
	スリープモード (Wi-Fi)	▶ON/OFF
	LVF/モニター自動 OFF	▶5分/2分/1分/OFF
	省電力ファインダー 撮影	時間 画面
	一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ（省電力）状態にしたり、ファインダー／モニターを消灯したりする機能です。 ・ 詳しくは、 42 ページ をお読みください。	
モニター表示速度	ECO 30fps/▶ 60fps	
	モニターのライブビュー表示速度を設定します。 ECO 30fps ：電力消費を抑え、使用時間が長くなります。 60fps ：動きを滑らかに表示できます。 ・ 以下の機能を使用中は、[モニター表示速度] は働きません。 - [AF M] / [S&Q] モード - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト] - HDMI 出力	
LVF 表示速度	ECO 30fps/▶ 60fps	
	ファインダーのライブビュー表示速度を設定します。 ECO 30fps ：電力消費を抑え、使用時間が長くなります。 60fps ：動きを滑らかに表示できます。 ・ 以下の機能を使用中は、[LVF 表示速度] は働きません。 - [AF M] / [S&Q] モード - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト] - HDMI 出力	
モニター調整/ LVF 調整	明るさ/コントラスト/彩度/赤み/青み	
	モニター／ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整します。 1 ▲▼で設定項目を選び、◀▶で調整する 2  を押して決定する ・ モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。	

モニター輝度／LVF 輝度	▶ AUTO／-3～+3	
	モニター／ファインダーの輝度を調整します。 AUTO ：周囲の明るさに応じて、自動で明るさを調整します。 ・ モニター表示時はモニターの、ファインダー表示時はファインダーの輝度を調整します。 ・ [AUTO] または調整値をプラス側に設定中は、使用時間が減少します。	
	感度	▶ 強／弱
アイセンサー	LVF/モニター切換	▶ LVF/MON AUTO(ファインダー／モニター自動切換)／LVF(ファインダー表示)／MON(モニター表示)
	ファインダー表示／モニター表示の切り換えを設定します。 ・ [LVF] ボタンで表示を切り換えると、[LVF/モニター切換] の設定も切り換わります。	
USB モード	▶  接続時に選択／  PC(Storage)／  PictBridge(PTP)	
	USB 接続ケーブル接続時の通信方式を設定します。  接続時に選択 ：機器と接続したときに USB 通信方式を選びます。  PC(Storage) ：パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。  PictBridge(PTP) ：PictBridge 対応プリンターに接続する場合に設定します。	

テレビ接続設定	HDMI 出力解像度 (再生時)	▶ AUTO／4K/30p／1080p／1080i／720p／480p
	再生時の HDMI 出力解像度を設定します。 AUTO ：接続したテレビに合わせた解像度で出力します。 ・ [AUTO] に設定して映像がテレビに出ない場合は、テレビが表示できる [AUTO] 以外の設定に切り換えてください。(テレビの取扱説明書もお読みください)	
	HDMI 情報表示 (撮影時)	▶ MODE1／MODE2／OFF
	HDMI 接続した外部機器に出力するカメラの情報表示の設定を行います。 MODE1 ：常に情報表示を出力します。 MODE2 ：カメラを操作時に 5 秒間、情報表示を出力します。 OFF ：情報表示を出力しません。 ・ [OFF] に設定時は、以下のスイッチ／ボタンの操作だけ有効です。 - 電源スイッチ - シャッターボタン - 動画記録ボタン - [REC] ボタン	
	ピエラリンク	ON／▶ OFF
	HDMI マイクロケーブルを使ってカメラをピエラリンク対応機器に接続すると、機器側のリモコンで操作ができます。 ・ 詳しくは、 381 ページ をお読みください。	
言語設定	▶ [日本語]／[ENGLISH] (英語)／[简体中文] (简体字中国語)／[繁體中文] (繁体字中国語)／[한국어] (韓国語)	画面表示の言語を設定します。 ・ 誤った言語に設定した場合は、メニューアイコンの [?] を選び、言語を設定してください。

バージョン表示	カメラ本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。 MENU を押すと、カメラのソフトウェアに関する情報を表示します。
フォルダー/ファイル設定	フォルダー選択／新規フォルダー作成／ファイル名設定 画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。 ・詳しくは、 111 ページをお読みください。
番号リセット	次に撮影する画像のファイル番号を 0001 にします。 ・詳しくは、 113 ページをお読みください。
設定リセット	カメラの設定を初期設定に戻します。 ・詳しくは、 64 ページをお読みください。
ネットワーク設定リセット	[Wi-Fi 設定] や [Bluetooth] で登録した機器情報など、ネットワークに関する設定を初期設定に戻します。 ・PicMate のログイン ID はリセットされません。
ピクセルリフレッシュ	撮像素子と画像処理の最適化を行います。 ・撮像素子と画像処理は、初期設定で最適な状態になっています。被写体がない明るい点が記録される場合に、本機能をお使いください。 ・終了後は、電源を入れ直してください。
水準器調整	調整 カメラを水平な状態にし、MENU を押してください。水準器が調整されます。
	調整値リセット 水準器の調整値を初期設定に戻します。
デモモード	フォーカスセレクトのピント合わせやピーリングなどをイメージ画像にてお試しいただけます。
認証情報	電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。
フォーマット	カードをフォーマット（初期化）します。 ・詳しくは、 45 ページをお読みください。

► 再生メニュー

❖ 再生メニューでの画像の選び方

画像を選ぶ画面が表示されたときは、以下の手順で選択してください。

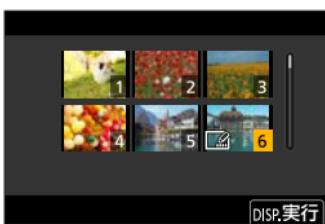
[1 枚設定] 選択中

- ① で画像を選び
- ② を押す
 - ・画面右下に [設定/解除] と表示される場合、もう一度 を押すと設定が解除されます。



[複数設定] 選択中

- ① で画像を選び、 を押す
(繰り返す)
 - ・設定を解除するには、もう一度 を押してください。
- ② [DISP.] ボタンを押して実行する



右のような画面の場合

- で画像を選び、 で設定する
(繰り返す)
 - ・設定を解除するには、もう一度 を押してください。



▶： 初期設定

スライドショー	全画像／写真のみ／動画のみ 画像の種類を選び、一定間隔で順番に再生します。 開始：スライドショー再生を開始します。 効果：画像が切り換わる際の画面効果を選びます。 設定：再生間隔／リピート／音設定 再生間隔：画像を再生する間隔を選びます。 [再生間隔] は、[効果] を [OFF] に設定しているときのみ設定できます。 リピート：リピート再生を設定します。 音設定：[AUTO] を選択すると、写真のときは音楽を、動画のときは音声を再生します。どちらかだけを再生する、またはどちらも再生しない設定も選べます。
	スライドショー中の操作 ▲：再生／一時停止 [■/■] をタッチしても同じ操作ができます。 ◀：前の画像へ ▶：次の画像へ ▼：スライドショーを終了する ◎：音量の調整 [−] / [+] をタッチしても同じ操作ができます。 ・ [動画のみ] を設定したときは、[再生間隔] は使用できません。
再生モード	▶ 通常再生／写真のみ／動画のみ 再生する画像の種類を絞り込みます。
プロテクト	1 枚設定／複数設定／全解除 誤って消去することができないように、画像にプロテクトを設定できます。ただし、カードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。 ・ 画像の選び方については、317 ページをお読みください。 ・ [プロテクト] 設定は本機以外では無効になる場合があるためお気をつけください。

レーティング	<p>1 枚設定／複数設定／全解除</p> <p>画像に 5 段階のレベルに分けたレーティングを設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レーティングを設定した画像以外を消去する。 ・Windows 10、Windows 8.1、Windows 8 などのファイルの詳細表示で、レーティングのレベルを確認する。(JPEG 画像のみ) <p>1 画像を選ぶ (→317)</p> <p>2  でレーティングのレベル (1~5) を選び、 を押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[複数設定] を選択したときは、手順 1、2 を繰り返してください。 ・設定を解除するには、レーティングのレベルを [OFF] してください。
	<p>撮影した画像に文字 (タイトルなど) を入力します。入力後、[文字焼き込み] (→321) で撮影画像に焼き込むことができます。</p> <p>1 写真を選ぶ (→317)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに文字が入力されている画像には  が表示されます。 <p>2 文字を入力する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の入力方法 (→325) ・文字を消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。 ・ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字をプリントすることができます。 ・[複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。 ・以下の機能を使用した画像には、[タイトル入力] は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト] - [クオリティ] の   

	入換え／解除
認証情報編集	<p>間違って個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ◀▶で画像を選び、 を押す 2 ◀▶で人物を選び、 を押す <ul style="list-style-type: none"> ・[解除] の場合は手順 4 へ 3 ▲▼◀▶で入れ換える人物を選び、 を押す 4 ◀で[はい] を選び、 を押す <ul style="list-style-type: none"> ・解除した個人認証に関する情報は元に戻せません。
RAW 現像	<p>RAW 形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG 形式で保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳しくは、249 ページをお読みください。
4K フォト一括保存	<p>4K 連写ファイルから、5 秒分の写真を一括で保存できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳しくは、160 ページをお読みください。
比較明合成	<p>4K 連写ファイルから、合成したいコマを複数枚選び、前のコマと比較して明るく変化した部分を重ね合わせて、1 枚の写真に合成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳しくは、244 ページをお読みください。
軌跡合成	<p>4K 連写ファイルから合成したいコマを複数枚選び、動いている被写体の軌跡を 1 枚の写真に合成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳しくは、246 ページをお読みください。
クリアレタッチ	<p>不要な部分を削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳しくは、247 ページをお読みください。

文字焼き込み

撮影した写真に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

1 写真を選ぶ (→317)

- すでに文字焼き込みされた画像には [] が表示されます。

2 焼き込む内容を選ぶ

- ▼で [設定] を選び、 を押します。

撮影日時 : [日付] (撮影日) / [日時] (撮影日時)

名前 : [] (個人認証に登録された名前) /

[]/[] ([プロフィール設定] で登録された名前)

旅行先 : セットアップメニューの [トラベル日付] で登録された旅行先

トラベル日付 : セットアップメニューの [トラベル日付] で設定された旅行日の経過日数

タイトル : [タイトル入力] で登録した文字

3 [↓] ボタンを押す

4 ▲で [実行] を選び、 を押す

- 文字焼き込み済みの写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。(重なってプリントされることがあります)
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 文字焼き込みをすると画質が粗くなることがあります。
- 以下の機能を使用した画像には、[文字焼き込み] は使用できません。
 - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト]
 - [クオリティ] の [RAW]
 - [文字焼き込み]
- 時計設定を行わずに撮影した画像には、日付情報を焼き込むことができません。

	<p>1 枚設定／複数設定</p> <p>ホームページ用やメール添付で送信しやすいように、JPEG 画像の容量（記録画素数）を小さくして、別の画像として保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像の選び方については、317 ページをお読みください。 <ul style="list-style-type: none"> - [1 枚設定] 選択時は、画像を選んだあとに、▲▼ でサイズを選んで  を押してください。 - [複数設定] 選択時は、画像を選ぶ前に、▲▼ でサイズを選んで  を押してください。 ・[複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。 ・リサイズ（縮小）すると画質が粗くなります。 ・以下の機能を使用した画像には、[リサイズ（縮小）] は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト] - グループ画像 - [クオリティ] の [RAW] - [文字焼き込み]
リサイズ（縮小）	<p>写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ◀▶ で写真を選び、 を押す 2 写真を切り抜く部分を表示して、 を押す <p>トリミング中の操作</p> <p> : 画面を拡大／縮小 $[\text{○}-]$ / $[\text{○}+]$ をタッチしても同じ操作ができます。</p> <p>▲▼◀▶ : 拡大表示位置の移動 画面をドラッグしても同じ操作ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トリミングした写真には、元の写真の個人認証に関する情報はコピーされません。 ・トリミングすると画質が粗くなります。 ・グループ画像は 1 枚ずつ編集してください。 ・以下の機能を使用した画像には、[トリミング（切抜き）] は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト] - [クオリティ] の [RAW] - [文字焼き込み]

画像回転	<p>画像を手動で 90° ずつ回転させます。</p> <p>▶ : 時計回りに 90° 回転します。 ▶ : 反時計回りに 90° 回転します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 画像の選び方については、317 ページをお読みください。
動画分割	<p>撮影した動画や 4K 連写ファイルを 2 つに分割します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、253 ページをお読みください。
インターバル動画作成	<p>[インターバル撮影] で撮影したグループ画像から動画を作成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▶ でインターバル撮影したグループ画像を選び、  を押す 動画の作成方法を選び、動画化する <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、174 ページをお読みください。
コマ撮りアニメ作成	<p>[コマ撮りアニメ] で撮影したグループ画像から動画を作成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▶ でコマ撮りアニメ撮影したグループ画像を選び、  を押す 動画の作成方法を選び、動画化する <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、174 ページをお読みください。
縦位置自動回転	<p>▶ ON/OFF</p> <p>カメラを縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。</p>
画像表示順	<p>ファイル名/▶ 撮影日時</p> <p>本機で画像を再生するときの表示順を設定します。</p> <p>ファイル名：フォルダーネーム/ファイル名の順番で表示します。</p> <p>撮影日時：画像が撮影された日時の順番で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 別のカードを入れたときは、すべてのデータを読み込むまで時間がかかるため、設定した順番で表示されない場合があります。

消去確認画面	<p>「はい」がはじめ／▶「いいえ」がはじめ</p> <p>画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、[はい]／[いいえ] のどちらが最初に選ばれるかを設定します。</p> <p>「はい」がはじめ：最初に [はい] が選ばれます。</p> <p>「いいえ」がはじめ：最初に [いいえ] が選ばれます。</p>
全画像消去	<p>全画像消去／レーティング以外全消去</p> <p>カード内のすべての画像を消去します。</p> <p>全画像消去：カード内のすべての画像を消去します。</p> <p>レーティング以外全消去：レーティング設定した画像以外のすべての画像を消去します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[全画像消去] は、[再生モード] を [通常再生] に設定しているときに使用できます。 ・消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。 ・消去枚数により、時間がかかることがあります。

文字の入力

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 文字を入力する

- ▲ ▼ ◀ ▶ で文字を選び、入力する文字が表示されるまで  を押します。(繰り返す)
- ・ 続けて同じ文字を入力したい場合は、  または  を右側に回して入力位置を移動してください。
- ・ 項目を選んで  を押すと、以下の操作ができます。
 - [切換] : **かな** (ひらがな)、**カナ** (カタカナ)、**A** / **a** (アルファベット)、**1** (数字)、**&** (記号) に文字を切り換え
 - [] : 空白を入力
 - [消去] : 文字を消去
 - [<] : 入力位置を左に移動
 - [>] : 入力位置を右に移動



2 入力を終了する

- [決定] を選び、 を押します。



- ・ 入力できる文字数は以下のとおりです。
かな / **カナ** : 最大 15 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 6 文字)
A / **a** / **1** / **&**^{※1} : 最大 30 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 9 文字)
※1 []、[]、[]、[·]、[—] は最大 15 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 6 文字)

14. Wi-Fi／Bluetooth

本章では、カメラの Wi-Fi®／Bluetooth® 機能について説明します。

スマートフォンからリモート操作する



「LUMIX Sync」を使うと、リモート撮影や画像の転送 [→328](#) ができます。

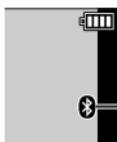
カメラから画像を転送する



カメラを操作して、Wi-Fi 接続した機器に撮影画像を [→350](#) 送信します。

本書ではスマートフォンとタブレットを併せてスマートフォンと表記します。

❖ Wi-Fi／Bluetooth 機能の動作確認

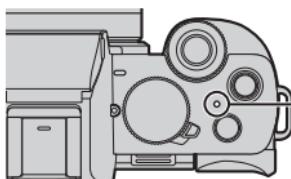


Bluetooth 機能をオンに設定しているとき、または接続中（[自動画像転送] など、Bluetooth 接続後に Wi-Fi 接続する機能を使用時は、Wi-Fi アイコンが表示されます）



Wi-Fi 機能をオンに設定しているとき、または接続中

カメラ操作による画像データ送信時は、モニターに  が表示されます。



WIRELESS 接続ランプ（青色）

点灯：Wi-Fi／Bluetooth 機能をオンに設定しているときまたは接続中

点滅：カメラ操作で画像データ送信中



- ・通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- ・本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- ・情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- ・画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- ・バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー] などのメッセージが表示されます)
- ・電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に通信が切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

スマートフォンと接続する

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Sync」（以降は「LUMIX Sync」と表記）を使うと、リモート撮影や画像の転送ができます。

スマートフォン接続の流れ

1	スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする (→329)	
スマートフォンと接続する		
2	Bluetooth Low Energy に対応した スマートフォンの場合 • Bluetooth 接続 (→330)	Bluetooth Low Energy に非対応の スマートフォンの場合 • Wi-Fi 接続 (→334)
スマートフォンでカメラを操作する (→339)		
3	<ul style="list-style-type: none">リモート撮影 (→340)シャッターリモコン (→341)画像取り込み (→343)自動画像転送 (→344)位置情報記録 (→346)リモート起動 (→347)自動時刻合わせ (→348)	



- カメラを操作してスマートフォンに画像を転送することもできます。
(→350)

「LUMIX Sync」のインストール

「LUMIX Sync」はパナソニック株式会社が提供するスマートフォン用アプリケーションです。



対応 OS

Android™ : Android 5 以上

iOS : iOS 11 以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android) 「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic LUMIX Sync」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic LUMIX Sync」  を選び、インストールする



- ・最新のバージョンをお使いください。
- ・対応 OS は 2020 年 6 月現在のものです。対応 OS は変更する場合があります。
- ・操作方法などについて詳しくは、「LUMIX Sync」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- ・お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「LUMIX Sync」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>

スマートフォンとの接続 (Bluetooth 接続)

簡単な接続設定（ペアリング）で、Bluetooth Low Energy に対応したスマートフォンと接続します。ペアリング設定をすると、スマートフォンとの Wi-Fi 接続も自動で行います。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要です。2回目以降の接続については、332 ページをお読みください。



・対応スマートフォン

Android™ : Android 5 以上で、Bluetooth 4.0 以上を搭載

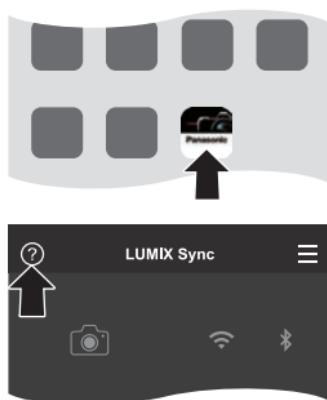
(Bluetooth Low Energy 非対応の一部の端末を除く)

iOS : iOS 11 以上

・あらかじめスマートフォンの Bluetooth 機能をオンにしてください。

1 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- 機器（カメラ）登録についてのメッセージが表示されます。「次へ」を選んでください。
- メッセージを閉じた場合は、[?] を選び、[カメラの登録（ペアリング）] からカメラを登録してください。



2 表示されるガイドの内容を確認し、カメラを登録する画面が表示されるまで、「次へ」を選ぶ

スマートフォンのガイドに従って、カメラを操作します。

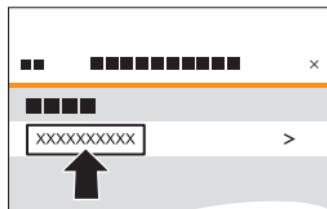
3 カメラを Bluetooth のペアリング待機状態にする

-  →  → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [設定] → [ペアリング]
- カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名 ④ が表示されます。



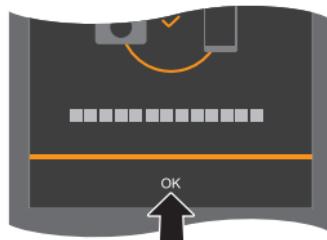
4 スマートフォンでカメラのデバイス名を選ぶ

- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。



5 機器の登録が完了したメッセージが表示されたら、[OK] を選ぶ

- カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されます。



-  • ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。
- Bluetooth 接続中は、撮影画面に  が表示されます。Bluetooth 機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは、 が半透明で表示されます。
- スマートフォンは 16 台まで登録できます。16 台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。

❖ Bluetooth 接続の終了

Bluetooth 接続を終了するには、カメラの Bluetooth 機能をオフにしてください。

     を選ぶ



- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

❖ ペアリング済みスマートフォンとの接続

ペアリング済みのスマートフォンとは、以下の手順で接続できます。

① カメラの Bluetooth 機能を有効にする

-     

② スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

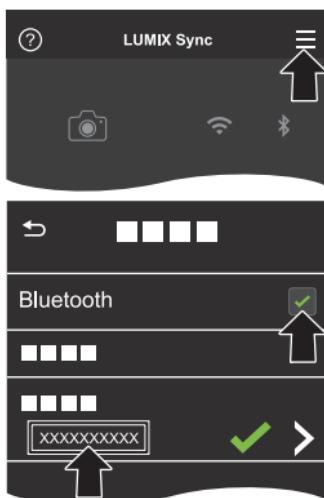
- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

③  を選ぶ

④ [Bluetooth 設定] を選ぶ

⑤ Bluetooth をオンにする

⑥ [登録済みの機器] の項目からカメラのデバイス名を選ぶ



- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは 1 つです。
- ペアリングに時間がかかるときは、スマートフォンとカメラ両方のペアリング設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。

❖ ペアリングの解除

① カメラのペアリング設定を解除する

・  → [] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [設定] → [解除]

② ペアリングを解除するスマートフォンを選ぶ



- ・スマートフォン側のペアリング設定も解除してください。
- ・セットアップメニューの【ネットワーク設定リセット】でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

スマートフォンとの接続 (Wi-Fi 接続)

スマートフォンを Wi-Fi で接続します。初期設定では、パスワードを入力せずに、簡単にスマートフォンと接続できます。パスワード認証を使って、セキュリティーを強化して接続することもできます。

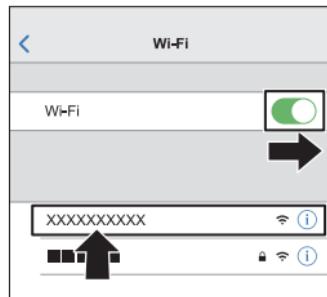
1 カメラを Wi-Fi の接続待機状態にする

- **[MENU/SET] → [Fn] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]**
- 画面にカメラの SSID Ⓐ が表示されます。
 - [Wi-Fi] を登録した Fn ボタンを押しても同じ操作ができます。Fn ボタンについては、[255 ページ](#)をお読みください。

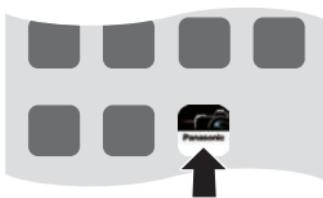


2 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi 機能をオンにする

3 カメラに表示された SSID を選ぶ



4 スマートフォンで 「LUMIX Sync」を起動する



5 (初回接続時) カメラに表示される機器名称を確 認して [はい] を選ぶ



- 実際に接続したい機器とは別の機器が表示されている場合でも、[はい] を選ぶとそのまま接続されます。お近くに別の Wi-Fi 接続機器がある場合などは、QR コードまたは手動入力によるパスワード認証での接続をお勧めします。([→336](#))

❖ パスワード認証を使って接続する

QR コードまたは手動入力によるパスワード認証を使うと、Wi-Fi 接続のセキュリティーを強化できます。

QR コードを読み取って接続する

① カメラの [Wi-Fi パスワード] を [ON] にする

-  →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [Wi-Fi パスワード] → [ON]

② QR コードⒶを表示する

-  →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [新規に接続する] →
[スマートフォンとつないで使う]
• [Wi-Fi] を登録した Fn ボタンを押しても
同じ操作ができます。Fn ボタンについては、
[255 ページをお読みください。](#)
•  を押すと、QR コードが拡大表示され
ます。



③ スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

④ を選ぶ

⑤ [Wi-Fi 接続] を選ぶ

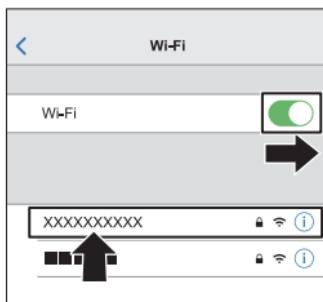
⑥ [QR コード] を選ぶ

⑦ カメラの画面に表示されている QR コードを「LUMIX Sync」で読み取る

- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。

パスワードを手動入力して接続する

- ① 336 ページ手順 ② の画面を表示する
- ② スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする



- ③ Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID ⑧ を選ぶ
- ④ (初回接続時)
カメラに表示されたパスワード ⑧ を入力する
- ⑤ スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する



❖ 初期設定以外の接続方法

[ネットワーク経由] や [直接接続] の [WPS 接続] で接続する場合は、以下の操作をしてください。

- ① カメラの接続方法の設定画面を表示する
・ → [] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] →
[スマートフォンとつないで使う]
- ② [DISP.] ボタンを押す

ネットワーク経由で接続する

- 1 [ネットワーク経由] を選び、 を押す
 - ・ 366 ページの接続方法に従ってカメラを無線アクセスポイントに接続してください。
- 2 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- 3 カメラが接続している無線アクセスポイントに、スマートフォンを接続する
- 4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

直接接続で接続する

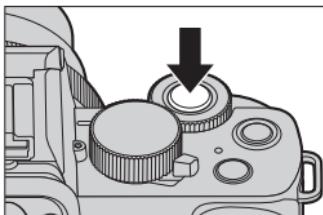
- 1 [直接接続] を選び、 を押す
 - ・ [WPS 接続] を選び、369 ページの接続方法に従って、カメラをスマートフォンに接続してください。
- 2 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

Wi-Fi 接続を終了する

カメラとスマートフォンの Wi-Fi 接続を終了するには、以下の操作をしてください。

1 カメラを撮影モードにする

- シャッターボタンを半押しします。



2 Wi-Fi 接続を終了する

-  →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [はい]
 - ・ [Wi-Fi] を登録した Fn ボタンを押しても同じ操作ができます。Fn ボタンについては、255 ページをお読みください。



3 スマートフォンで「LUMIX Sync」を終了する

スマートフォンでカメラを操作する

スマートフォンからカメラを操作する機能について説明します。本書で **Bluetooth** の記号を付けて説明している機能は、Bluetooth Low Energy に対応したスマートフォンが必要です。

準備：

- ・カメラとスマートフォンを接続する (→330、334)
- ・スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

❖ ホーム画面

「LUMIX Sync」を起動すると、ホーム画面が表示されます。



Ⓐ	≡	アプリ設定 (→332、336、347) 接続の設定やカメラの電源操作、ヘルプの表示などをします。
Ⓑ	➡	画像取り込み (→343)
Ⓒ	⌚	リモート撮影 (→340)
Ⓓ	⌚	シャッターリモコン (→341)

リモート撮影

離れた場所のカメラのライブビュー映像を確認しながら、スマートフォンで撮影できます。

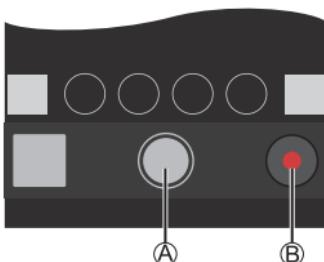
1 ホーム画面で【】(リモート撮影) を選ぶ

- ・(iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、【接続】を選んでください。

2 撮影する

- | | |
|---|-----------|
| Ⓐ | 写真撮影 |
| Ⓑ | 動画撮影開始／終了 |

- ・撮影した画像はカメラに保存されます。



- ・設定など一部利用できないものがあります。

❖ リモート撮影中の操作方法

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。

 ➔  ➔ [Wi-Fi] ➔ [Wi-Fi 設定] ➔ [リモート優先操作設定] を選ぶ

 カメラ	カメラとスマートフォンの両方で操作できます。 ・ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できません。
 スマートフォン	スマートフォンでだけ操作できます。 ・ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できます。 ・リモート撮影を終了するには、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、【終了】を選んでください。

- ・初期設定は【カメラ】に設定されています。



- ・接続中は、設定を変更できません。

シャッターリモコン

Bluetooth

スマートフォンをシャッターリモコンとして使うことができます。

- 1 ホーム画面で [] (シャッターリモコン) を選ぶ
- 2 撮影する

	動画撮影開始／終了
	写真撮影 ・バルブ撮影 (→341)



❖ バルブ撮影

撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるため、星空や夜景の撮影に便利です。

準備：

- ・カメラを [M] モードにする (→92)
- ・カメラのシャッタースピードを T (タイム) に設定する (→94)

- ① [] をタッチして、撮影を開始する (タッチしたまま、指を離さない)
- ② [] から指を離して、撮影を終了する
 - ・ [] を LOCK 方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影できます。([] を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します)
 - ・ B (バルブ) 撮影中に Bluetooth 接続が切れた場合は、再度 Bluetooth 接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。

❖ [スリープモード] からの復帰時間を短くする

[シャッターリモコン] を使ってカメラが [スリープモード] から復帰するときにかかる時間を短くできます。

準備 :

- [Bluetooth] の [リモート起動] を [ON] に設定する (→347)

 →  → [Bluetooth] → [スリープモードからの復帰動作] を選ぶ

 画像取り込み/リモート撮影優先	[画像取り込み] や [リモート撮影] を使って復帰するときにかかる時間を短くします。
 シャッターリモコン優先	[シャッターリモコン] を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

 • [シャッターリモコン] を使ってカメラの [スリープモード] を解除するには、セットアップメニューの [Bluetooth] で下記のとおり設定してから、Bluetooth 接続してください。 <ul style="list-style-type: none">- [リモート起動] : [ON] (→347)- [自動画像転送] : [OFF] (→344) • [シャッターリモコン] を使ってカメラの電源を入れることはできません。
--

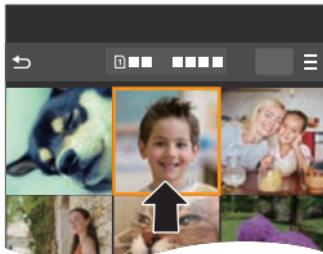
画像取り込み

カードに保存した画像を Wi-Fi 接続したスマートフォンに転送します。

1 ホーム画面で [□] (画像取り込み) を選ぶ

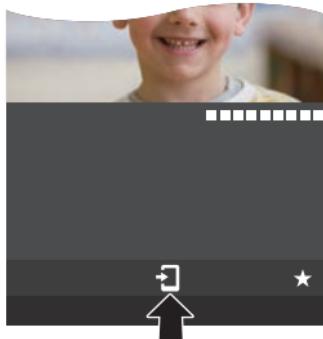
- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。

2 転送する画像を選ぶ



3 画像を転送する

- [□] を選びます。
- 動画の場合、画面中央の [▶] をタッチすると再生できます。



- 動画再生時は、データサイズを小さくして「LUMIX Sync」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に画質劣化や音飛びが発生する場合があります。
- 4 GB を超える画像は送信できません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - [4K フォト]、[フォーカスセレクト]

自動画像転送

Bluetooth

写真を撮影するたびに、撮影画像をスマートフォンに自動転送できます。

1 カメラの【自動画像転送】を有効にする

- **[MENU/SET]** → **[]** → **[Bluetooth]** → **[自動画像転送]** → **[ON]**
- ・ カメラに Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されたら、**[はい]** を選んで終了してください。

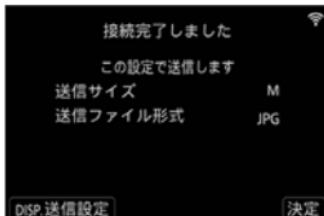


2 スマートフォンで [はい] (Android 機器) または [接続] (iOS 機器) を選ぶ

- ・ Wi-Fi 接続を自動で行います。

3 カメラで送信設定を確認し、 **[MENU/SET]** を押す

- ・ 画像の送信設定を変更するには **[DISP.]** ボタンを押してください。(**→372**)
- ・ カメラの撮影画面に **[]** が表示されると、自動画像転送ができます。



4 カメラで撮影する

- ・ ファイル送信中はカメラの撮影画面に **[]** が表示されます。

❖ 自動画像転送を終了する

 [] ➔ [Bluetooth] ➔ [自動画像転送] ➔ [OFF] を選ぶ

- Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されます。

-  • カメラの [Bluetooth] と [自動画像転送] を [ON] に設定しているときにカメラの電源を入れると、スマートフォンと Wi-Fi/Bluetooth の接続を自動で行います。スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動して、カメラと接続してください。
-  • [自動画像転送] を [ON] に設定しているときは、[Wi-Fi 機能] が使用できません。
- 画像転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
 - 未送信のファイルの保存状況が変化すると送信できないことがあります。
 - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを送信できないことがあります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、自動画像転送ができません。
 - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト]

位置情報記録

Bluetooth

スマートフォンの位置情報を Bluetooth でカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。

準備：

- スマートフォンの GPS 機能を有効にする

1 カメラの【位置情報記録】を有効にする

- **[MENU/SET]** → **[F]** → **[Bluetooth]** → **[位置情報記録]** → **[ON]**
- 位置情報の記録ができる状態になり、カメラの撮影画面に **[GPS]** が表示されます。



2 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。



- 撮影画面の **[GPS]** が半透明で表示されるときは、位置情報が未取得のため書き込みができません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンの GPS が測位できない場合があります。空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試しください。スマートフォンの取扱説明書もお読みください。
- 位置情報が書き込まれた画像には、**[GPS]** が表示されます。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消費が早くなります。

リモート起動

Bluetooth

カメラの電源を切っていても、スマートフォン操作でカメラを起動して撮影したり、撮影画像を確認したりできます。

準備：

- ① カメラの [リモート起動] を有効にする
・  → [] → [Bluetooth] → [リモート起動] → [ON]
- ② カメラの電源スイッチを [OFF] にする
- ③ スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

❖ カメラの電源を入れる

「LUMIX Sync」のホーム画面で [リモート撮影] を選ぶ

- ・ (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。
- ・ カメラの電源が入り、自動で Wi-Fi 接続を行います。

❖ カメラの電源を切る

- ① 「LUMIX Sync」のホーム画面で [] を選ぶ
- ② [電源 OFF 操作] を選ぶ
- ③ [電源を切る] を選ぶ



- ・ [リモート起動] を設定しているときは、カメラの電源スイッチを [OFF] にしても Bluetooth 機能が働くため、バッテリーを消費します。

自動時刻合わせ

Bluetooth

カメラの時刻とタイムゾーン（時間帯）の設定をスマートフォンに合わせます。

カメラの【自動時刻合わせ】を有効にする

-  → [] → [Bluetooth] → [自動時刻合わせ] → [ON]



テレビに写真を映す

お部屋ジャンプリンクや DLNA (DMR) に対応したテレビに写真を表示できます。

1 [TVで見る] を選ぶ

-                              <img alt="Wi-Fi icon" data-bbox="18

カメラから画像を送る

カメラを操作して、Wi-Fi 接続した機器に撮影画像を送信します。

操作の流れ

1	送信方法を選ぶ カメラのメニューの【撮影中に画像を送る】と【カメラ内の画像を送る】から、送信方法を選びます。	
2	送信先（送信する機器の種類）を選ぶ - スマートフォン (→353) - パソコン (→356) - プリンター (→358) - AV 機器 (→360) - Web サービス (→362) - クラウド同期サービス (→364)	
3	接続方法を選び、Wi-Fi 接続する - 【ネットワーク経由】 (→366) - 【直接接続】 (→369)	
4	送信設定を確認する - 送信設定の変更 (→372)	
5	撮影中に画像を送る 写真を撮る 写真を撮るたびに、自動で画像を送信します。	カメラ内の画像を送る 画像を選ぶ 選択した画像を送信します。

共通の操作については、下記のページをお読みください。

- Wi-Fi 接続：ネットワーク経由 (→366) ／直接接続 (→369)
- 送信設定の変更 (→372)
- 画像の選択 (→373)



- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、または Wi-Fi 接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができない場合があります。
- インターバル撮影時は、Wi-Fi 接続を終了します。
- [Bluetooth] の【自動画像転送】を [ON] に設定しているときは、[Wi-Fi 機能] が使用できません。

❖ 送信できる画像

送信できる画像は送信先機器によって異なります。

送信先機器	送信できる画像	
	撮影中に画像を送る	カメラ内の画像を送る
スマートフォン (→353)	JPEG／RAW	JPEG／RAW／MP4 ^{※1}
PC (→356)	JPEG／RAW	JPEG／RAW／MP4／4K 連写ファイル／フォーカスセレクト画像
クラウド同期サービス (→364)	JPEG	JPEG／MP4
Web サービス (→362)	JPEG／RAW ^{※2}	JPEG／MP4／RAW ^{※2}
AV 機器 (→360)	JPEG	JPEG
プリンター (→358)	—	JPEG

※1 4 GB を超える場合、送信できません。

※2 送信先の Web サービスが、本機からの RAW 画像転送に対応しているときに送信できます。

- Android 機器に RAW 画像を保存・送信するには、Android 7.0 以上の OS が必要です。スマートフォンまたは OS のバージョンによっては正しく表示されない場合があります。
- [クラウド同期サービス]、[Web サービス] に 4K 動画は送信できません。



- お使いの機器によっては送信できない場合があります。
- 本機以外で撮影した画像、パソコンで編集・加工した画像は送信できない場合があります。

❖ [Wi-Fi] を登録した Fn ボタン

Wi-Fi 接続後に [Wi-Fi] を登録した Fn ボタンを押すと、以下の操作ができます。Fn ボタンについては、[255 ページ](#)をお読みください。

接続を終わる	Wi-Fi 接続を終了します。
接続先を変える	Wi-Fi 接続を終了し、別の Wi-Fi 接続先を選択します。
画像の送信設定を変える	画像を送信する際の画像のサイズやファイル形式などを設定します。(→372)
今の接続先をお気に入りに入れる	現在の接続先や接続方法を登録すると、次回以降、同じ接続設定で接続できます。
ネットワークアドレス表示	本機の MAC アドレスと IP アドレスを表示します。 (→375)

- お使いの Wi-Fi 機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

スマートフォン

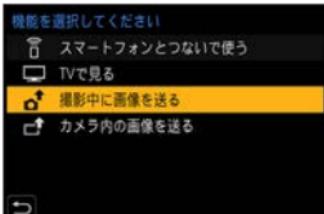
Wi-Fi 接続したスマートフォンに撮影画像を転送します。

準備：

- スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする (→329)

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  → [] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
 - [新規に接続する]
 - [撮影中に画像を送る] /
 - [カメラ内の画像を送る]

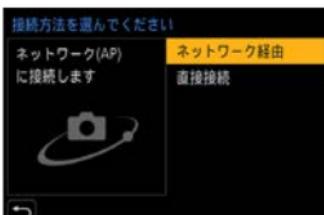


2 送信先を「スマートフォン」に設定する



3 カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続する

- [ネットワーク経由] (→366) または [直接接続] (→369) を選び、接続してください。



4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

5 カメラで送信先のスマートフォンを選ぶ

6 送信設定を確認し、 を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。 (→372)

7 [撮影中に画像を送る] 選択時

写真を撮る

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に [] が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。
   

[カメラ内の画像を送る] 選択時

画像を選ぶ

- 接続を終了するには、[終了] を選んでください。

❖ カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る

再生時に [REC] (スマートフォン転送) ボタンを押すだけで、Bluetooth 接続したスマートフォンに画像を転送できます。メニューから簡単に転送することもできます。

- ・[スマートフォンに画像を送る] を登録した Fn ボタンで操作します。初期設定では [Fn4] ボタンに登録されています。Fn ボタンについては、[255 ページ](#)をお読みください。

準備：

- ・スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする (→[329](#))
- ・カメラとスマートフォンを Bluetooth 接続する (→[330](#))
- ・カメラの [REC] ボタンを押して再生画面を表示する

写真を 1 枚送る

- ① ◀▶ で画像を選ぶ
- ② [REC] ボタンを押す
- ③ [1 枚選択] を選ぶ
 - ・画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。 (→[372](#))
- ④ スマートフォンで
[はい] (Android 機器) または
[接続] (iOS 機器) を選ぶ
・Wi-Fi 接続を自動で行います。

複数枚の写真を送る

- ① [REC] ボタンを押す
- ② [複数選択] を選ぶ
 - ・画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。 (→[372](#))
- ③ 画像を選び、転送する
 - ◀▶：画像の選択
 - [MENU/SET]：設定／解除
 - [DISP.]：転送の実行
- ④ スマートフォンで
[はい] (Android 機器) または
[接続] (iOS 機器) を選ぶ
・Wi-Fi 接続を自動で行います。

メニュー操作で簡単に転送する

[MENU] → [REC] → [Bluetooth] → [スマートフォンに画像を送る]

設定：[1 枚選択] / [複数選択]

- ・[1 枚選択] のときは、◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押して実行します。
- ・[複数選択] のときは、「複数枚の写真を送る」の場合と同じ操作で実行できます。



- ・[Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定しているときは、本機能が使用できません。

パソコン

Wi-Fi 接続したパソコンに撮影画像を送信します。



対応 OS

Windows : Windows 10／Windows 8.1／Windows 8

Mac : OS X v10.5～v10.11、macOS 10.12～10.15

準備 :

- ・接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合は、[PC 接続設定] でカメラの設定も変更する (→374)

❖ 画像を受信するフォルダーを作成する

Windows をお使いの場合 (Windows 10 の例)

- ①受信するフォルダーを選択し、右クリックする
 - ②「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする
- ・「PHOTOfunSTUDIO」でもフォルダーを作成できます。
詳しくは、「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書をお読みください。

Mac をお使いの場合 (OS X v10.14 の例)

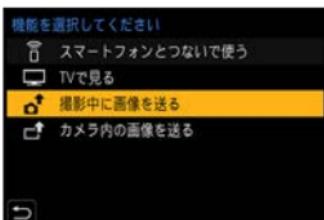
- ①受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする
「ファイル」→「情報を見る」
- ②フォルダーに共有の設定をする



- ・パソコンのアカウント名 (254 文字以内) とパスワード (32 文字以内) は半角英数字で設定してください。半角英数字以外で設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。
- ・コンピューター名 (Mac の場合は NetBIOS 名) にスペース (空白文字) などが入っていると、認識できないことがあります。その場合は、15 文字以内の英数字だけに変更することをお勧めします。
- ・詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書や OS のヘルプをご参照ください。

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

- [Wi-Fi] [Wi-Fi 機能]
 - [新規に接続する] →
 - [撮影中に画像を送る] /
 - [カメラ内の画像を送る]

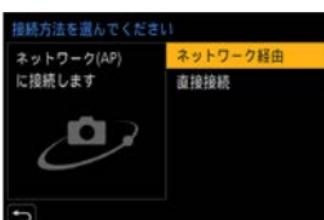


2 送信先を [PC] に設定する

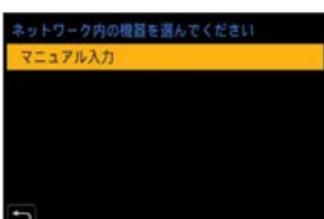


3 カメラとパソコンを Wi-Fi 接続する

- [ネットワーク経由] (→366) または [直接接続] (→369) を選び、接続してください。



4 接続したいパソコンのコンピューター名 (Mac の場合は NetBIOS 名) を入力する



5 画像を保存するフォルダーを選ぶ

- 選択したフォルダーの中に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。



6 送信設定を確認し、 を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。
(→372)

7 [撮影中に画像を送る] 選択時

写真を撮る

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に  が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

 →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [はい]

[カメラ内の画像を送る] 選択時

画像を選ぶ

- 接続を終了するには、「終了」を選んでください。



- ユーザー アカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- OS およびセキュリティーソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

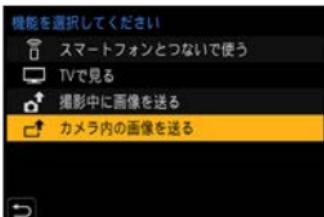
プリンター

Wi-Fi 接続した PictBridge (ワイヤレス LAN)^{※1} 対応プリンターに画像を送信して印刷できます。

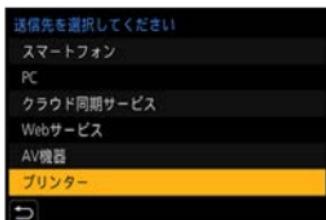
※1 DPS over IP 規格準拠

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [新規に接続する] →
[カメラ内の画像を送る]

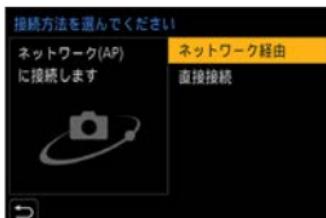


2 送信先を【プリンター】に設定する



3 カメラとプリンターを Wi-Fi 接続する

- [ネットワーク経由] (→366) または [直接接続] (→369) を選び、接続してください。



4 送信先のプリンターを選ぶ

5 画像を選んでプリントする

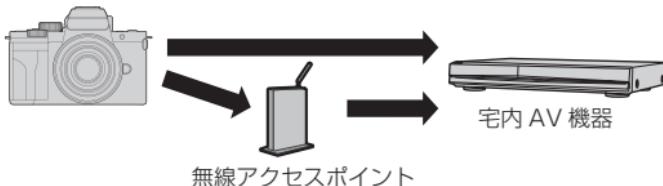
- 画像の選び方は USB 接続ケーブルで接続する場合と同じです。 (→388)
- 接続を終了するには、[◀] ボタンを押してください。



- PictBridge (ワイヤレス LAN) 対応のプリンターについて詳しくは、各 製造元へお問い合わせください。
- [Bluetooth] の【自動画像転送】を [ON] に設定しているときは、[Wi-Fi 機能] が使用できません。

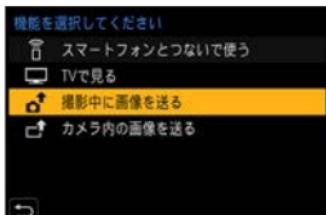
AV 機器

お部屋ジャンプリンクや DLNA に対応したレコーダーなど、家の中にある AV 機器（宅内 AV 機器）に写真や動画を送れます。



1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

- [Wi-Fi] [Wi-Fi 機能]
→ [新規に接続する] →
[撮影中に画像を送る] /
[カメラ内の画像を送る]



2 送信先を [AV 機器] に設定する



3 カメラと AV 機器を Wi-Fi 接続する

- [ネットワーク経由] (→366) または [直接接続] (→369) を選び、接続してください。



4 接続したい機器を選ぶ

5 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。
(→372)

6 [撮影中に画像を送る] 選択時

写真を撮る

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に  が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。
   [Wi-Fi]  [Wi-Fi 機能]  [はい]

[カメラ内の画像を送る] 選択時

画像を選ぶ

- 接続を終了するには、[終了] を選んでください。



- AV 機器の操作状態によっては、送信できない場合があります。また、送信に時間がかかる場合があります。
- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定しているときは、[Wi-Fi 機能] が使用できません。

Web サービス

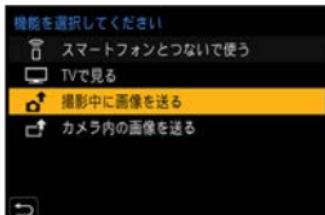
撮影した画像を、LUMIX CLUB(PicMate)経由で SNS などの Web サービスにアップできます。

準備：

- LUMIX CLUB (PicMate) に登録する (→375)
- LUMIX CLUB (PicMate) 以外の Web サービスに画像を送信するには、その Web サービスを登録する (→377)

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [新規に接続する] →
[撮影中に画像を送る] /
[カメラ内の画像を送る]

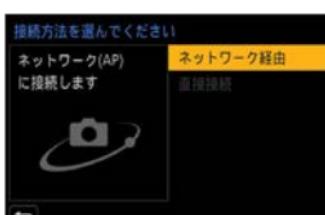


2 送信先を [Web サービス] に設定する



3 Web サービスに接続する

- [ネットワーク経由] を選び、接続してください。 (→366)



4 Web サービスを選ぶ

5 送信設定を確認し、 を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。
(→372)

6 [撮影中に画像を送る] 選択時 写真を撮る

- ・ファイル送信中はカメラの撮影画面に [↑] が表示されます。
- ・接続を終了するには、以下の操作を行ってください。
 →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [はい]

[カメラ内の画像を送る] 選択時

画像を選ぶ

- ・接続を終了するには、[終了] を選んでください。



- ・画像の送信に失敗すると、LUMIX CLUB (PicMate) に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。
- ・Web サービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・Web サービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Web サービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認ください。

クラウド同期サービス

撮影した画像を、LUMIX CLUB (PicMate) 経由でクラウド同期サービスへ自動転送し、パソコンやスマートフォンに送ることができます。

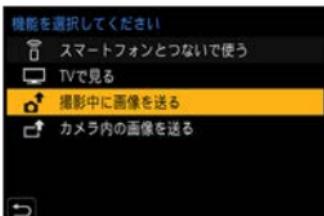


[クラウド同期サービス] を利用するには (2020年6月現在)

- ・クラウドフォルダーに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate)への登録 (→375) とクラウド同期設定が必要です。クラウド同期設定は、「PHOTOfunSTUDIO」で設定してください。
- ・送信した画像はクラウドフォルダーに一時保存されます。パソコンやスマートフォンなど、お使いの機器と同期できます。
- ・クラウドフォルダーに送信した画像は30日間（最大1000枚まで）保存されます。以下の場合は、自動で消去されます。
 - 送信後30日を超えた場合（30日以内であっても指定した機器すべてにダウンロードされた場合は消去されることがあります）
 - 1000枚を超えた場合（[クラウド上限枚数動作] (→372) の設定によります）

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

- [Wi-Fi] [Wi-Fi機能]
→ [新規に接続する] →
[撮影中に画像を送る] /
[カメラ内の画像を送る]



2 送信先を[クラウド同期サービス]に設定する

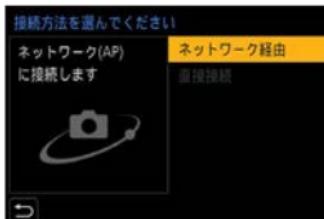


3 クラウド同期サービスに接続する

- [ネットワーク経由] を選び、接続してください。(→366)

4 送信設定を確認し、**[MENU/SET]** を押す

- ・ 画像の送信設定を変更する場合は、
[DISP.] ボタンを押してください。
(→372)



5 [撮影中に画像を送る] 選択時

写真を撮る

- ・ ファイル送信中はカメラの撮影画面に  が表示されます。
- ・ 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。
 →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [[はい]]

[カメラ内の画像を送る] 選択時

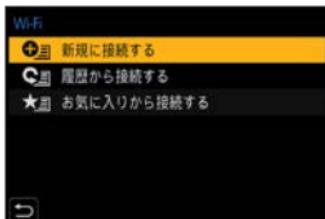
画像を選ぶ

- ・ 接続を終了するには、[終了] を選んでください。

Wi-Fi 接続

セットアップメニューの [Wi-Fi] の [Wi-Fi 機能] で [新規に接続する] を選んだ場合、接続方法を [ネットワーク経由] と [直接接続] から選んで接続します。

[履歴から接続する] または [お気に入りから接続する] の場合、以前と同じ設定で接続します。



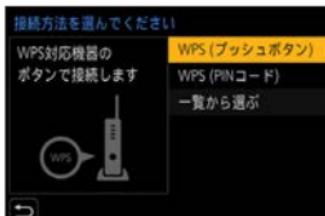
ネットワーク経由

カメラと送信先機器を無線アクセスポイント経由で接続します。



無線アクセスポイントとの接続方法を選ぶ

設定：[WPS (プッシュボタン)] /
[WPS (PIN コード)] /
[一覧から選ぶ] (→367)



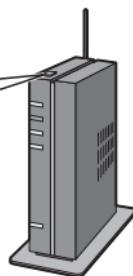
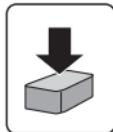
- ・2回目以降に [ネットワーク経由] を選んだときは、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続する無線アクセスポイントを変更する場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続先を変更してください。
- ・無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。

❖ WPS (プッシュボタン)

無線アクセスポイントの WPS ボタンを押して接続します。

無線アクセスポイントが WPS モードになるまで、無線アクセスポイントの WPS ボタンを押す

(例)



❖ WPS (PIN コード)

無線アクセスポイントに PIN コードを入力して接続します。

- ① カメラの画面で接続する無線アクセスポイントを選ぶ
- ② カメラの画面に表示されている PIN コードを無線アクセスポイントに入力する
- ③ カメラの  を押す

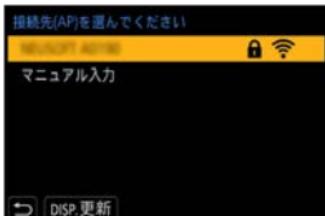
❖ 一覧から選ぶ

利用する無線アクセスポイントを検索して接続します。



- ・ 無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。

- ① 接続する無線アクセスポイントを選ぶ
 - ・ [DISP.] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
 - ・ 無線アクセスポイントが見つからない場合は [368 ページ](#) の「マニュアル入力で接続する」をお読みください。
- ② (ネットワーク認証が暗号化されている場合) 暗号化キーを入力する



❖ マニュアル入力で接続する



- お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

- 「一覧から選ぶ」手順 ① の画面で、[マニュアル入力] を選ぶ (→ 367)
- 接続する無線アクセスポイントの SSID を入力して [決定] を選ぶ
- ネットワークの認証方式を選ぶ

WPA2-PSK	対応する暗号化方式 : TKIP、AES
WPA2／WPA-PSK	—
暗号化なし	—

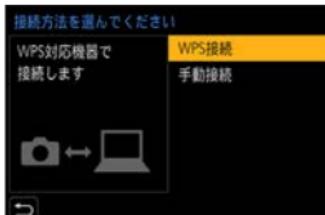
- ([暗号化なし] 以外選択時)
暗号化キーを入力して [決定] を選ぶ

直接接続

カメラと送信先機器を直接接続します。



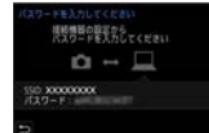
送信先機器との接続方法を選ぶ



WPS 接続	WPS (プッシュボタン)	送信先機器の WPS ボタンを押して接続します。 ・ カメラの [DISP.] ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。
	WPS (PIN コード)	カメラに PIN コードを入力して接続します。
手動接続		送信先機器でカメラを検索して接続します。 カメラに表示されている SSID とパスワードを、機器に入力してください。 ・ 接続先が [スマートフォン] の場合は、パスワードは表示されません。SSID を選んで接続してください。 (→334)



- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

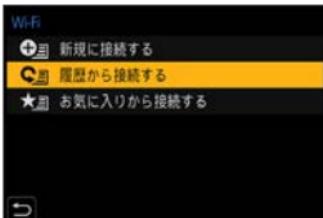


以前と同じ設定で Wi-Fi 接続する

Wi-Fi の接続履歴を使って、以前と同じ設定で接続できます。

1 Wi-Fi 接続の履歴を表示する

- **[MENU/SET]** → **[Wi-Fi]** → **[Wi-Fi 機能]**
 → **[履歴から接続する]** /
[お気に入りから接続する]



2 接続する履歴を選ぶ

- **[DISP.]** ボタンを押すと接続履歴の詳細を確認できます。



❖ お気に入り登録

Wi-Fi の接続履歴をお気に入りに登録できます。

① Wi-Fi 接続の履歴を表示する

- **[MENU/SET]** → **[Wi-Fi]** → **[Wi-Fi 機能]** → **[履歴から接続する]**

② 登録する履歴を選び、**▶** を押す

③ 登録名を入力して **[決定]** を選ぶ

- 入力できる文字数は最大 30 文字です。全角文字は 2 文字の扱いになります。

❖ お気に入り登録した項目の編集

① お気に入り登録した履歴を表示する

・  → [] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [お気に入りから接続する]

② 編集する履歴を選び、▶ を押す

お気に入りを消す	—
お気に入りの順番を変える	移動先を選び、表示する順番を変更します。
登録名を変える	文字を入力し、登録名を変更します。



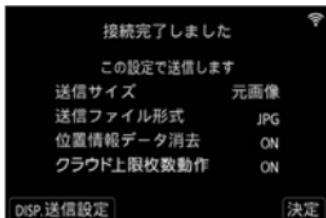
- ・履歴に保存される数には制限があります。よく使う接続設定はお気に入りに登録してください。
- ・セットアップメニューの「設定リセット」でネットワーク設定をリセットすると、履歴とお気に入り登録した内容が消去されます。
- ・スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続] を使って本機と接続できません。接続する機器側の Wi-Fi 設定のアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する] で接続し直してください。(→334)
- ・多くの機器が使用しているネットワークには接続しにくい場合があります。その場合は、[新規に接続する] で接続してください。

送信設定、画像の選択

画像の送信設定

接続先機器に送信する画像のサイズやファイル形式などを設定します。

- 1 Wi-Fi 接続後に送信設定の確認画面が表示されたら、[DISP.] ボタンを押す
- 2 送信設定を変更する



送信サイズ	送信する画像のサイズを変更します。 [元画像] / [自動] / [変更] ([M]、[S] または [VGA]) ・ [自動] の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。(送信先が [Web サービス] の場合に設定できます)
送信ファイル形式	送信する画像のファイル形式を設定します。 [JPG] / [RAW+JPG] / [RAW] ・ 送信先が本機からの RAW 画像転送に対応している場合に設定できます。(→351)
位置情報データ消去	送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。 ・ 送信先が [クラウド同期サービス] または [Web サービス] の場合に設定できます。 ・ 位置情報が消去されるのは送信した画像だけです。
クラウド上限枚数動作	クラウドフォルダーの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。 [ON] : 画像を送信しません。 [OFF] : 古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。 ・ 送信先が [クラウド同期サービス] の場合に設定できます。

画像の選択

[カメラ内の画像を送る] で送信するときは、以下の手順で画像を選択してください。

1 [1枚選択] または [複数選択] を選ぶ

2 画像を選ぶ

[1枚選択] を選択したとき

①◀▶ で画像を選ぶ

②MENU/SET を押す

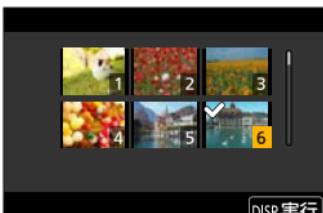


[複数選択] を選択したとき

①▲▼◀▶ で画像選び、MENU/SET を押す
(繰り返す)

・設定を解除するには、もう一度 MENU/SET を押してください。

② [DISP.] ボタンを押して実行する



Wi-Fi 設定メニュー

Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定ができます。Wi-Fi 接続中は設定を変更できません。

Wi-Fi 設定メニューを表示する

-  → [] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定]

リモート優先操作設定	リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。(→340)
Wi-Fi パスワード	パスワードを利用して接続することで、セキュリティーをより強化できます。(→336)
PicMate 設定	「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID の取得や変更ができます。(→376)
PC 接続設定	ワークグループ名を設定できます。パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。 (初期設定では「WORKGROUP」に設定されています) <ul style="list-style-type: none">ワークグループ名を変更するには、 を押してからワークグループ名を入力してください。初期設定に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。
機器名称	カメラの名前 (SSID) を変更できます。 <ul style="list-style-type: none">SSID 名を変更するには、[DISP.] ボタンを押してから SSID 名を入力してください。入力できる文字数は最大 32 文字です。

Wi-Fi 機能ロック	<p>誤操作や第三者による Wi-Fi 機能の使用を防止し、カメラ内および撮影した画像に含まれる個人情報を保護するため、Wi-Fi 機能をパスワードで保護します。</p> <p>【設定】：数字 4 衔で任意のパスワードを設定します。</p> <p>【解除】：パスワードを解除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスワードを設定すると、Wi-Fi 機能を使用する際にパスワードの入力が必要になります。 ・パスワードを忘れた場合、セットアップメニューの [ネットワーク設定リセット] でネットワーク設定をリセットすると、パスワードをリセットできます。
ネットワークアドレス表示	カメラの MAC アドレスと IP アドレスを表示します。

LUMIX CLUB (PicMate)

「LUMIX CLUB (PicMate)」は、デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。

詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。

<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

カメラとの連携サービスを利用する場合は、下記のサイトにアクセスしてください。

<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/>



- ・本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

❖ カメラで新規ログイン ID を取得する

カメラのメニューから「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID を取得します。

① メニューを設定する

-      
-  
- ネットワークに接続します。[次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。



② 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する (→366)

- 初回接続時以外は、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続先を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。
- [次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。

③ LUMIX CLUB (PicMate) の利用規約を読み、[同意する] を選ぶ

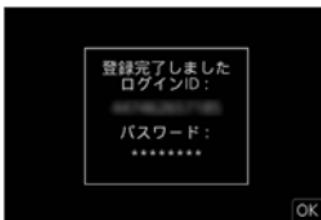
- ページを切り換える :  
- 拡大表示する :  を右に回す (元に戻す :  を左に回す)
- 拡大位置を移動する :    
- 登録せずに中止する : 

④ パスワードを入力する

- 英数字交じり 8~16 衝で任意のパスワードを入力してください。

⑤ ログイン ID を確認し、[OK] を選ぶ

- ログイン ID とパスワードは必ず控えを取ってください。
- ログイン ID (数字 12 衝) は自動で発行されます。



❖ Web サービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録する



- ・「LUMIX CLUB (PicMate)」が対応する Web サービスは、下記サイト内にある「FAQ・お問い合わせ」をご確認ください。
https://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/

準備：

- ・利用する Web サービスでアカウントを作成し、ログイン情報を用意する
- ①スマートフォンまたはパソコンで、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスする
<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/>
 - ②「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID とパスワードを入力し、ログインする
 - ・「LUMIX CLUB (PicMate)」にメールアドレスを登録していない場合は、メールアドレスを登録してください。
 - ③「Web サービス連携設定」で利用する Web サービスを選び、登録する
 - ・画面の指示に従って操作してください。

❖ ログイン ID やパスワードの確認／変更

準備：

- ・取得済みのログイン ID を使う場合は、ID とパスワードを確認する
- ・パスワードを変更する場合は、パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更する

①メニューを設定する

- ・**[MENU/SET]** → **[Wi-Fi]** → **[Wi-Fi 設定]**
 → **[PicMate 設定]** → **[ログイン・新規登録]** → **[ログイン ID 設定]**
- ・ログイン ID とパスワードが表示されます。
- ・パスワードは「*」で表示されます。



②変更する項目を選ぶ

③ログイン ID またはパスワードを入力する

④「終了」を選ぶ

❖ 「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する

利用規約が更新された場合に内容を確認できます。

 ➔  ➔ [Wi-Fi] ➔ [Wi-Fi 設定] ➔ [PicMate 設定] ➔ [利用規約確認] を選ぶ

❖ ログイン ID の消去／「LUMIX CLUB (PicMate)」の退会

本機を譲渡／廃棄する場合に、本機のログイン ID を消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会もできます。



- ・変更、消去できるのは、本機で取得したログイン ID だけです。

① メニューを設定する

・ ➔  ➔ [Wi-Fi] ➔ [Wi-Fi 設定] ➔ [PicMate 設定] ➔ [消去・退会]
・メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。

② ログイン ID 消去の確認画面で [はい] を選ぶ

・メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。

③ 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で [はい] を選ぶ

・メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。

・退会しない場合は、[いいえ] を選ぶとログイン ID の消去だけが実行されます。

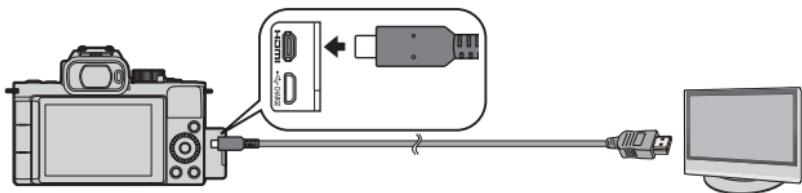
④ [OK] を選ぶ

15. 他機器との接続

本章では、テレビやパソコンなどの他機器との接続について説明します。

[HDMI] 端子

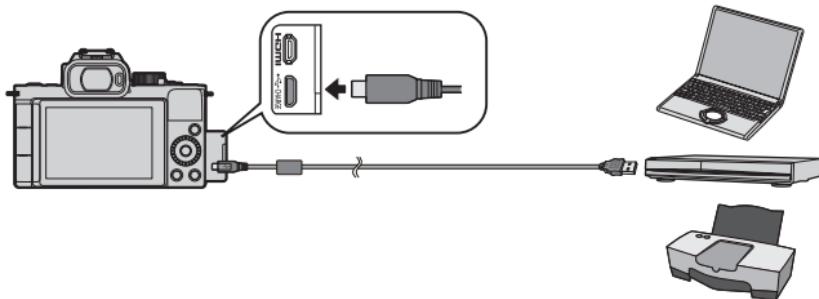
市販の HDMI マイクロケーブルでカメラとテレビをつなぐ



- HDMI ロゴがあり、4K に対応したハイスピード HDMI マイクロケーブル (2 m まで) をお使いください。

[USB/CHARGE] 端子

USB 接続ケーブルでカメラとパソコン、レコーダー、またはプリンターをつなぐ



- 付属の USB 接続ケーブル以外は使用しないでください。



- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差してください。
(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

テレビで見る

カメラをテレビに接続して、撮影した写真や動画をテレビで見ることができます。

準備：

- ・カメラとテレビの電源を切る

1 市販の HDMI マイクロケーブルでカメラとテレビをつなぐ
(→379)

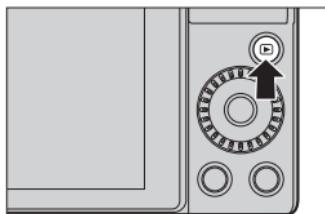
2 テレビの電源を入れる

3 テレビの入力を HDMI 入力に切り換える

4 カメラの電源を入れる

5 再生画面を表示する

- ・[REC] ボタンを押します。
- ・撮影した画像がテレビに表示されます。(カメラのモニターやファインダーは消灯します)



- ・初期設定では、接続したテレビに合わせて最適な解像度で出力されます。[HDMI 出力解像度 (再生時)] で出力解像度の変更もできます。(→315)
- ・24p 動画を再生時は [HDMI 出力解像度 (再生時)] を [AUTO] に設定してください。[AUTO] 以外に設定していると、24 コマ/秒では出力できません。
- ・画像の横縦比によっては、上下左右にグレーの帯が表示されることがあります。
- ・HDMI 出力時は Wi-Fi 接続できません。
- ・一部の設定画面は HDMI 出力されません。
- ・USB 接続ケーブルと同時に接続すると、[HDMI] 端子は働きません。
- ・画像の上下が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- ・テレビの取扱説明書もお読みください。

❖ ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) とは、カメラと HDMI マイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動で連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)



- ・ビエラリンク (HDMI) を使うにはテレビ側でも設定が必要です。設定方法については、テレビの取扱説明書をお読みください。

- ①市販の HDMI マイクロケーブルで、カメラとビエラリンク (HDMI) に対応した当社製テレビ (ビエラ) をつなぐ (→379)
- ②カメラの電源を入れる
- ③ビエラリンクをオンにする
 - ・ ➔ [MENU] ➔ [ビエラリンク] ➔ [ON]
- ④再生画面を表示する
 - ・[REC] ボタンを押します。
- ⑤テレビのリモコンで操作する

電源オフ連動

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、カメラの電源も連動して切れます。

自動入力切換

カメラの電源を入れ、[REC] ボタンを押すと、テレビの入力が自動でカメラを接続した入力に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)



- ・ビエラリンク (HDMI) は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ・本機は、ビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています。ビエラリンク (HDMI) Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。
- ・本機のボタンを使っての操作は制限されます。

カメラの映像をモニターしながら撮る

HDMI 出力時は、テレビなどでモニターしながら写真を撮影することができます。



- ・カメラのモニターやファインダーは消灯します。
- ・オートフォーカスモードの **[+]** や MF アシストを使用時、画面の一部を拡大表示することはできません。
- ・画像横縦比は [16:9] に固定されます。
- ・電子音や電子シャッター音は鳴りません。
- ・HDMI 出力時は Wi-Fi 接続できません。
- ・一部の設定画面は HDMI 出力されません。
- ・以下の機能を使用中は、HDMI 出力されません。
 - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト]



- ・HDMI 出力する撮影情報を、常時表示から、操作時のみ表示または非表示に変更できます：
[F] ⇒ [テレビ接続設定] ⇒ [HDMI 情報表示 (撮影時)] (→315)

パソコンに画像を取り込む

カメラをパソコンと接続すると、撮影した画像をパソコンにコピーできます。

- Windows の場合、LUMIX 用ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」でもコピーできます。(→385)
- Mac の場合、「iMovie」でもコピーできます。「iMovie」の詳細は、Apple にお問い合わせください。

パソコンに画像をコピーする



- マスストレージデバイス（大容量記憶装置）が認識可能な以下のパソコンに接続できます。

対応 OS

Windows : Windows 10／Windows 8.1／Windows 8

Mac : OS X v10.5～v10.11、macOS 10.12～10.15

準備：

- カメラとパソコンの電源を入れる

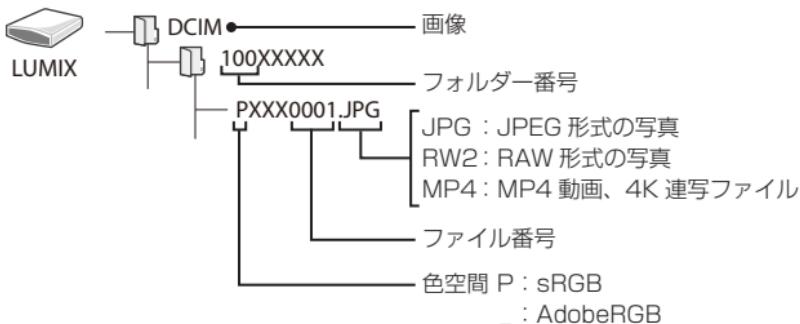
1 USB 接続ケーブルでカメラとパソコンをつなぐ (→379)

2 ▲▼で [PC(Storage)] を選び、 を押す

- Windows :「PC」にドライブ（「LUMIX」）が表示されます。
- Mac : デスクトップ上にドライブ（「LUMIX」）が表示されます。

3 カメラのファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップする

❖ カード内のフォルダー構造



❖ 「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする

準備 :

- ・カメラとパソコンの電源を入れる
- ・パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする (→385)

① USB接続ケーブルでカメラとパソコンをつなぐ (→379)

② ▲▼で [PC(Storage)] を選び、 を押す

③ 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- ・コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去したり移動したりしないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生や編集ができなくなります。



・セットアップメニューの [USBモード] を [PC(Storage)] に設定すると、[USBモード] の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。 (→314)



- ・画像の取り込み中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- ・画像の取り込み後は、パソコンを操作してUSB接続ケーブルを安全に取り外してください。
- ・カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

ソフトウェアのインストール

撮影した画像の整理や補正、RAW 現像、動画編集などを行うためのソフトウェアをインストールします。



- ・ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- ・対応 OS は 2020 年 6 月現在のものです。対応 OS は変更する場合があります。

❖ PHOTOfunSTUDIO 10.0 AE

写真や動画をパソコンに取り込み、撮影日や機種名で分類して整理するなど、画像を管理できるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集もできます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
https://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs10ae.html
 ダウンロード有効期限：2025 年 7 月

動作環境

対応 OS	Windows 10 (32 bit／64 bit) Windows 8.1 (32 bit／64 bit) ・4K 動画、4K フォトをご利用の場合、Windows 10／Windows 8.1 の 64 bit 版 OS が必要です。
CPU	Pentium® 4 2.8 GHz 以上
ディスプレイ	1024 × 768 以上 (1920 × 1080 以上を推奨)
搭載メモリ	1 GB 以上 (32 bit)、2 GB 以上 (64 bit)
ハードディスク	インストールに 450 MB 以上の空き容量

- ・4K 動画の再生・編集機能や、4K フォトの写真切り出し機能をご利用の場合、高性能なパソコン環境が必要です。詳しくは、「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書をお読みください。
- ・「PHOTOfunSTUDIO」は Mac では使用できません。

❖ SILKYPIX Developer Studio SE

RAW 画像を現像、編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式 (JPEG、TIFF など) で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

動作環境

対応 OS	Windows	Windows 10 (64 bit 推奨) Windows 8.1 (64 bit 推奨)
	Mac	OS X v10.10～v10.11 macOS 10.12～10.15

- SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイトをお読みください。

❖ LoiLoScope-30 日間フル体験版（無料）

簡単に動画編集できるソフトウェアです。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
<http://loilo.tv/product/20>

動作環境

対応 OS	Windows	Windows 10
		Windows 8.1
		Windows 8

- LoiLoScope の詳しい使い方は、サイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
- 「LoiLoScope」は Mac では使用できません。

レコーダーにダビングする

カメラを当社製ブルーレイディスクレコーダーまたはDVDレコーダーに接続すると、写真や動画をレコーダーに残すことができます。

準備：

- ・カメラとレコーダーの電源を入れる

- 1 USB接続ケーブルでカメラとレコーダーをつなぐ (→379)
- 2 ▲▼で [PC(Storage)] を選び、 を押す
- 3 レコーダーを操作してダビングする



- ・セットアップメニューの [USBモード] を [PC(Storage)] に設定すると、[USBモード] の選択画面は表示されず、自動でレコーダーと接続します。 (→314)
- ・ダビング中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- ・レコーダーによっては、4K動画などに対応していない場合があります。
- ・カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- ・ダビングや再生の方法について詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

プリントする

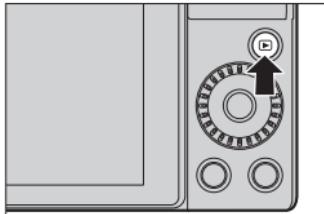
PictBridge 対応のプリンターに接続すると、カメラのモニターで写真を選択してプリントできます。

準備：

- ・カメラとプリンターの電源を入れる
- ・プリンター側で印刷品質などを設定する

1 再生画面を表示する

- [DISP.] ボタンを押します。



2 USB 接続ケーブルでカメラとプリンターをつなぐ (→379)

3 ▲▼で [PictBridge(PTP)] を選び、MENU/SET を押す

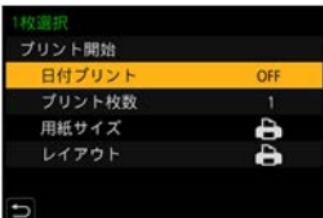
4 ◀▶で写真を選び、MENU/SET を押す

- 複数枚の写真をプリントするには、▲を押したあと、写真の選択方法を設定して写真を選んでください。



複数選択	プリントする写真を選びます。 1 ▲▼◀▶で写真を選び、MENU/SET を押す ・設定を解除するには、もう一度 MENU/SET を押してください。 2 [DISP.] ボタンを押して選択を終了する
全画像	保存されているすべての写真をプリントします。
レーティング	[★ 1] ~ [★ 5] に [レーティング] 設定されたすべての写真をプリントします。

5 プリント設定をする



日付プリント	日付プリントを設定します。 ・プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントできません。
プリント枚数	プリントする枚数（最大 999 枚まで）を設定します。
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
レイアウト	縁あり、縁なしや複数印刷の設定をします。

6 プリントを開始する

- [プリント開始] を選び、 を押します。





- ・セットアップメニューの【USB モード】を【PictBridge(PTP)】に設定すると、【USB モード】の選択画面は表示されず、自動でプリンターと接続します。(→314)
- ・プリント中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- ・[☒] (ケーブル切断禁止アイコン) 表示中は、USB 接続ケーブルを抜かないでください。
- ・プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜いてください。
- ・カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB 接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- ・カメラが対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには、【用紙サイズ】および【レイアウト】の設定を【】にして、プリンター側で設定してください。(詳しくは、プリンターの取扱説明書をお読みください)
- ・黄色の【●】が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリンターに異常がないか確認してください。
- ・プリント枚数が多いと、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- ・RAW 画像はプリントできません。
- ・以下の機能を使用して撮影した画像は、プリントできません。
 - 動画撮影、[4K フォト]、[フォーカスセレクト]

16. 資料

別売品のご紹介

(品番は 2020 年 6 月現在)

バッテリーパック	DMW-BLG10
バッテリーチャージャー ^{※1}	DMW-BTC12 (充電時間: 約 150 分)
AC アダプター	DMW-AC9 (充電時間: 約 160 分)
DC カブラー ^{※2}	DMW-DCC11
AC アダプター ^{※2}	DMW-AC10
フラッシュライト	DMW-FL580L、DMW-FL360L、 DMW-FL200L
トライポッドグリップ	DMW-SHGR1
LED ビデオライト	VW-LED1
ステレオガンマイクロホン	DMW-MS2
ステレオマイクロホン	VW-VMS10
ボディキャップ	DMW-BDC1
マウントアダプター	DMW-MA1
ライカレンズ用 M マウントアダプター	DMW-MA2M
ライカレンズ用 R マウントアダプター	DMW-MA3R
ソフトバッグ	DMW-CZ18
ショルダーストラップ	DMW-SSTG5、DMW-SSTG1
ロングショルダーストラップ	DMW-SSTG6
三脚アダプター ^{※3}	DMW-TA1

※1 AC アダプター、USB 接続ケーブル付き

※2 DC カブラーと AC アダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。ご使用中はバッテリー残量を気にせず撮影・再生ができます。

※3 取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。

- ・別売品の最新情報は、カタログ／ホームページなどをご覧ください。
- ・レンズの最新情報やレンズに対応する別売品については、カタログ／ホームページをご覧ください。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



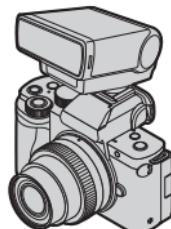
Panasonic Store

別売品を使う

- ・トライポッドグリップについては、[67](#) ページをお読みください。

外部フラッシュ (別売)

フラッシュライト (別売: DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L) を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。



- 1 内蔵フラッシュを閉じ、本機の電源スイッチを [OFF] にする
- 2 ホットシューに外部フラッシュを取り付け、本機と外部フラッシュの電源を入れる
 - ・本機で外部フラッシュの設定をするととき ([→207](#))
 - ・ワイヤレスフラッシュの設定について ([→205](#))

❖ ホットシューカバーの取り外し

フラッシュライト (別売) を取り付ける前に、ホットシューカバーを取り外してください。

フラッシュライトの取り付け方について詳しくは、フラッシュライトの取扱説明書をお読みください。

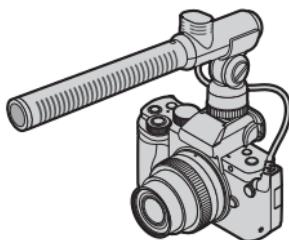
ホットシューカバーを矢印 ① の方向に押しながら、矢印 ② の方向に引いて取り外す



- ・外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュだけを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ・市販の外部フラッシュを使用する場合、極性が逆のもの、またはカメラとの通信機能のあるものは使用しないでください。カメラを故障させる原因になる場合や、正常に動作しない場合があります。
- ・広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- ・詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

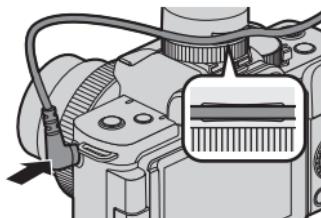
外部マイク（別売）

ステレオガンマイクロфон（別売：DMW-MS2）やステレオマイクロфон（別売：VW-VMS10）を使用すると、内蔵マイクよりも高音質の音声を記録できます。



- 1 内蔵フラッシュを閉じ、本機の電源スイッチを【OFF】にする
- 2 カメラと外部マイクをつなぐ

- ・ホットシューカバーを取り外してください。（→393）
- ・コードを図の向きに差し込んでください。
- ・たるんだコードは、コードホルダーにはさみ込み、留めることができます。



- ・外部マイク接続中は、画面に【】が表示されます。外部マイクが正しく接続されていることを撮影前にご確認ください。
- ・ステレオマイクロфонケーブルは3 m未満のものをご使用ください。
- ・外部マイクを接続すると、【録音レベル表示】が自動で【ON】になり、画面に録音レベルが表示されます。
- ・外部マイク装着時は、外部マイクを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ・外部マイク装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- ・ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- ・詳しくは、外部マイクの取扱説明書をお読みください。

❖ 収音範囲の設定（別売：DMW-MS2）





ステレオ・ガン・マイクロホン（別売：DMW-MS2）装着時、マイクの収音範囲を設定できます。

① [専用マイク設定] を選ぶ

-  →  → [専用マイク設定]

ステレオ	広い範囲の音を収音します。
レンズ連動	レンズの画角に合わせて自動で設定された範囲の音を収音します。
ガン	周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を収音します。
スーパーガン	[ガン]よりもさらに収音範囲を絞ります。
マニュアル	範囲を手動で設定し、収音します。

② ([マニュアル] 設定期)

◀▶ で収音範囲を調整し、 を押す

- • Fn ボタンに [マニュアル] の収音範囲の設定を登録できます：
 [] → [] → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [専用マイク指向性調整] (→ 256)

❖ 風雑音の低減





外部マイク装着時の風雑音を低減します。

• → → [風音低減] を選ぶ

設定：[強] / [中] / [弱] / [OFF]

- [風音低減] を設定すると、通常と音質が変わることがあります。

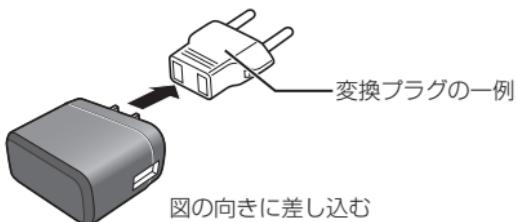
海外旅行先で使う

AC アダプターは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。



- ・電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- ・国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ・ご使用にならないときは、電源プラグと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- ・市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

❖ 変換プラグの付け方



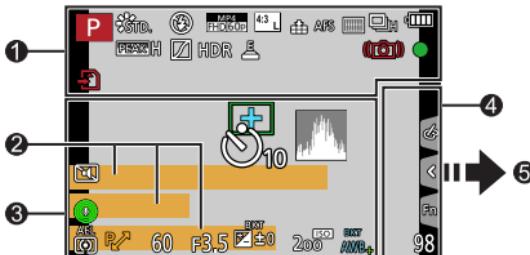
❖ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ 合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A		
ヨーロッパ							
イギリス	BF,B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2),SE	オランダ	C(C2),SE
ギリシャ	A,B,B3, C(C2),SE	スイス	A,B, C(C2),SE	スウェーデン	B,C(C2), SE	スペイン	A,C(C2), SE
デンマーク	C(C2)	ドイツ	A,C(C2), SE	ノルウェー	C(C2)	ハンガリー	C(C2)
フィンランド	B,C(C2)	フランス	A,C(C2), SE	ベルギー	B,C(C2), SE	ロシア	A,C(C2), SE
アジア							
インド	B,BF,B3, C(C2)	インドネシア	B,B3, C(C2),SE	シンガポール	B,BF,B3	タイ	A,BF, C(C2)
大韓民国	A,C(C2), SE	台湾	A,C(C2), 0	中華人民 共和国	すべて	フィリピン	A,0
ベトナム	A,BF, C(C2),SE	香港特別 行政区	B,BF,B3, C(C2)	マカオ特別 行政区	B,BF,B3, C(C2)	マレーシア	B,BF,B3, C(C2)
オセアニア							
オースト ラリア	0	グアム島	A	サイパン島	A	トンガ	0
ニュージー ランド	0	フィジー	A,B, C(C2),0				
中南米							
アルゼンチン	BF, C(C2),SE	ペルトリコ	A,BF, C(C2)	ブラジル	A,C(C2), SE	メキシコ	A,C(C2), SE
中東・アフリカ							
アラブ首長 国連邦	B,BF,B3	エジプト	BF,B3, C(C2),SE	クウェート	B,B3, C(C2)	トルコ	A,B, C(C2),SE
南アフリカ 共和国	B,BF,B3, C(C2)	モロッコ	A,C(C2), SE				
タイプ	A	B	BF	B3	C(C2)	SE	0
	アメリカン タイプ	U.K. タイプ		ヨーロピアン タイプ		オーストラリアン タイプ	
コンセント 形状							
プラグ 形状	不要です						

モニター／ファインダーの表示

- ・画面は【LVF/モニター表示設定】を【】にしたときのモニター表示の例です。

撮影画面



	撮影モード (→53)
	フォトスタイル (→193)
	フラッシュモード (→199)
	フラッシュ設定 (→203, 205)
	EX テレコン (動画時) (→141)
	画質設定 (→210)
	スナップムービー (→221)
	画像横縦比 (→108) / 記録画素数 (→109)
	EX テレコン(写真) (→140)
	クオリティ (→110)
AFS AFF	S&Q 効果 (→220)
AFC MF	フォーカスモード (→114, 135)

	フォーカスプラケット (→178)
	AF ロック (→186)
	オートフォーカスモード (→119)
	個人認証 (→307)
	ドライブモード (→144)
	バッテリー残量 (→41)
	ファインダー/モニター自動切換 (→57)
	ピーキング (→302)
	ハイライトシャドウ (→278)
	HDR (→285) / iHDR (→274)
	ライブビュー・コンポジット撮影 (→95)
	多重露出 (→286)
	デジタルズーム (→142)
	電子シャッター (→180)

	動画撮影中の写真撮影 (写真優先) (→213)
	温度上昇警告アイコン (→409)
	手ブレ補正 (→181)
	手ブレ警告 (→182)
PRE	プリ記録 (→151)
	フォーカス (緑点灯) (→52) / 記録動作表示 (赤点灯) (→209)
	フォーカス (低照度 AF 時) (→117)
	フォーカス (星空 AF 時) (→117)
POP	フィルター設定 (→196)
	フィルター効果調整 (→104, 196)
	カード (記録時のみ表示) (→44)
XXmXXs	記録経過時間 (→209)
	同時記録表示 (→213)

②

名前 ^{*1} (→307)
トラベル経過日数 ^{*2} (→311)
旅行先 ^{*2} (→311)
月齢/年齢 ^{*1} (→307)
現在日時／旅行先設定 ^{*2} :
(→310)
露出メーター (→304)
焦点距離表示 (→143)
ステップズーム (→143)

	画像送信中 (→344)
	AF エリア (→131)
+	スポット測光ターゲット (→183)
+	センターマーカー (→304)
	セルフタイマー (→167)
	ヒストグラム (→303)
	録音レベル表示 (→227)
	内蔵マイク設定 (→81, 229)
	外部マイク (→394)
	サイレントモード (→179)
	測光モード (→183)
	AE ロック (→186)
60	シャッタースピード (→52)
F3.5	絞り値 (→52)
	絞りブラケット (→177)
	露出補正值 (→184)
	露出ブラケット (→177)
	明るさ (露出) (→77, 107)
	マニュアル露出アシスト (→93)
	ISO 感度 (→187)
AWBc	
AWBw	
	ホワイトバランス (→189)
BKT	ホワイトバランスブラケット (→178)
AWB	ホワイトバランス調整 (→192)
AWB + AWB -	色合い (→77)

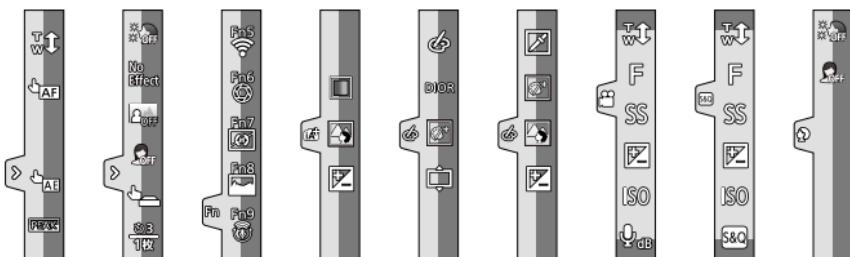
④

	Wi-Fi 接続状態 (→ 326)
	Bluetooth 接続状態 (→ 331)
GPS	位置情報記録 (→ 346)
98	撮影可能枚数 (→ 427)
r20	連続撮影可能枚数 (→ 146)
残 XXmXXs	記録可能時間 (→ 427)
----	カードなし

※1 [プロフィール設定] を設定時、電源を入れた場合に約 5 秒間表示されます。

※2 電源を入れたとき／時計設定後／再生から撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

5



タッチタブ (→299)



	タッチズーム (→141)
	タッチ AF、タッチシャッター (→65)
	タッチ AE (→66)
	ピーキング (→302)



No Effect



OFF



OFF



OFF



OFF



OFF

自分撮りモード (→79)



Fn ボタン (→259)



	色合い (→77)
	ボケ味コントロール (→77, 107)
	明るさ (露出) (→77, 107)
	ぼかし方 (ジオラマ) (→105)
	ワンポイントカラー (→106)
	光源の位置 (サンシャイン) (→106)
	フィルター効果調整 (→107, 196)
	フィルターの入／切 (→196)
	フィルター設定 (→196)
	絞り値 (→215, 219)
	シャッタースピード (→215, 219)
	露出補正 (→215, 219)
	ISO 感度 (→215, 219)
	録音レベル設定 (→215)
	S&Q 効果 (→219)
	シーンガイドモード [人物をきれいに撮る] (美肌効果、スリムモード) (→100)

❖ モニター撮影情報画面



①

P	撮影モード (→53)
1/60	シャッタースピード (→52)
F3.5	絞り値 (→52)
■■■	バッテリー残量 (→41)

②

ISO 200	ISO 感度 (→187)
±0	露出補正值 (→184) / マニュアル露出アシスト (→93)
±0 (S) ±0 (R)	フラッシュ設定 (→202、 203、205) / フラッシュモード (→199)

③

□	ドライブモード (→144)
AFS	フォーカスモード (→114、 135)
■■■	オートフォーカスモード (→119)
RAW	クオリティ (→110)
MP4 FHD60p	画質設定 (→210)
4:3 L	画像横縦比 (→108) / 記録画素数 (→109)
2x QUICK	S&Q 効果 (→220)
Wi-Fi/ Bluetooth	Wi-Fi/Bluetooth 接続状態 (→326)
Fn	Fn ボタン設定 (→255)

④

STD.	フォトスタイル (→193)
AWB	ホワイトバランス (→189)
iOFF	iO レンジコントロール (→279)
○	測光モード (→183)
98	撮影可能枚数 (→427)
r20	連続撮影可能枚数 (→146)
残 XXmXXs	記録可能時間 (→427)
----	カードなし

再生画面



①

	再生モード (→318)
	プロジェクト (→318)
GPS	位置情報記録 (→346)
	レーティング (→319)
	ケーブル切断禁止アイコン (→390)
	動画再生 (→236)
	4K連写ファイルから写真を保存 (→154)
	フォーカスセレクト画像から写真を保存 (→163)
	文字焼き込み済み (→321)
	再生経過時間 (→236)

②

	マーカーあり (→156, 158)
	4K フォト(4K 連写ファイル) (→149)
	フォーカスセレクト (→161)
	フォーカス合成 (→165)
	画像横縦比 (→108) / 記録画素数 (→109)
	動画画質 (→210)
	スナップムービー (→221)
	クオリティ (→110)
	S&Q 効果 (→220)
	バッテリー残量 (→41)
	画像番号／トータル枚数
	Wi-Fi/Bluetooth 接続状態 (→326)
	グループ画像枚数
	動画記録時間 (→236)
	S&Q 再生時間／記録時間 (→220)

③

	クリアレタッチ済み (→247)
	情報取得中
	再生（動画）(→236)
	1日目 トラベル経過日数 (→311)
	グループ画像 (→242)
	サイレントモード (→179)

④

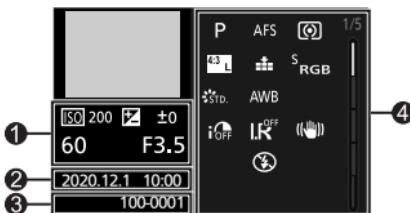
名前 ^{※1} (→307、309)
旅行先 ^{※1} (→311)
タイトル ^{※1} (→319)
月齢/年齢 (→307、309)

⑤

撮影情報

※1 [タイトル]、[旅行先]、[名前]（赤ちゃん／ペット）、[名前]（個人認証）の優先順位で表示されます。

詳細情報表示

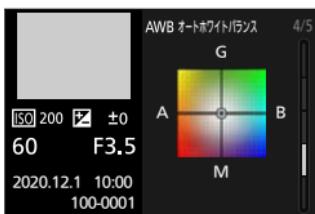


- ① 撮影情報（基本）
- ② 撮影日時（→49）
- ③ フォルダー・ファイル番号（→384）
- ④ 撮影情報（詳細）

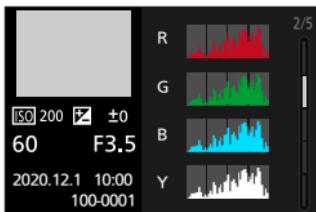
フォトスタイル、ハイライトシャドウ表示



ホワイトバランス表示



ヒストグラム表示



レンズ情報表示



メッセージ表示

カメラの画面に表示される主なメッセージの意味と対処法です。

❖ カード

メモリーカードエラー／フォーマットしますか？

- ・本機では使用できないフォーマットです。別のカードをご使用いただくか、必要なデータをバックアップしてから本機でフォーマットしてください。(→45)

メモリーカードエラー／このカードは使用できません

- ・本機に対応したカードをお使いください。(→31)

カードを入れ直してください／別のカードでお試しください

- ・カードにアクセスできませんでした。カードを入れ直してください。
- ・別のカードを入れてお試しください。

リードエラー／ライトエラー／カードを確認してください

- ・データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。カメラの電源を切り、カードを入れ直してから、もう一度、電源を入れてください。
- ・カードが壊れている可能性があります。
- ・別のカードを入れてお試しください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- ・カードの書き込み速度が不足しています。対応するスピードクラスのカードをお使いください。(→31)
- ・指定されたスピードクラスのカードを使用しても撮影が停止する場合は、カードのデータ書き込み速度が低下しています。データのバックアップを取り、フォーマット(→45)することをお勧めします。

❖ レンズ

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

- レンズを一度取り外し、レンズ取り外しボタンを押さずに付け直してください。
(→46)

電源を入れ直し、それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。

- レンズをカメラから取り外し、レンズとカメラ両方の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

❖ バッテリー

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみやほこりを取り除いてください。

❖ その他

消去できない画像があります／この画像は消去できません

- DCF 規格に準拠していない画像は消去できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。
(→45)

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号の上限に達したため、新しいフォルダーを作成できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。
(→45) フォーマットしたあとにセットアップメニューの【番号リセット】を実行すると、フォルダー番号が 100 にリセットされます。
(→113)

電源を入れ直してください／システムエラー

- 電源を入れ直してください。数回繰り返してもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

Q & A 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず**1**の内容をお試しください。
それでも解決できない場合は、**2**、**3**、**4**の順にお試しください。

本項目（Q&A）の内容を試す

1	「電源、バッテリー」	→409
	「撮影」	→409
	「動画」	→411
	「レンズ」	→412
	「再生」	→412
	「モニター／ファインダー」	→413
	「フラッシュ」	→413
	「Wi-Fi 機能」	→414
	「テレビ、パソコン、プリンター」	→416
	「その他」	→416

2 カメラを初期設定に戻す

-  → [] → [設定リセット]

3 パナソニックのサポートサイトを確認する

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

- ・最新のサポート情報を掲載しています。

4 ご相談窓口に問い合わせる

本書の「保証とアフターサービス」(→448)をお読みください。

電源、バッテリー

電源が勝手に切れる。

- ・[エコモード] が働いています。(→42)

バッテリーの消費が早い。

- ・[4K プリ連写] や [プリ記録] を設定しているときは、バッテリーの消費が早くなります。撮影するときだけ設定してください。
- ・Wi-Fi 接続中はバッテリーの消費が早くなります。[エコモード] (→42) を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影

撮影が途中で止まる。撮影できない。一部の機能が使用できない。

- ・周囲の温度が高い場合や、連続で撮影した場合は、カメラの温度が上昇します。温度上昇からカメラを保護するため、[▲] が表示されたあと、撮影が停止することや、以下の機能が一時的に使用できないことがあります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。

– 4K フォト

– 動画撮影

– フォーカスセレクト

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- ・[フォーカス/レリーズ優先] が [フォーカス] に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影できません。(→295)

撮影した画像が白っぽい。

- ・レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと、画像が白っぽくなることがあります。レンズが汚れたときは、カメラの電源を切り、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。撮像素子のお手入れについては、418 ページをお読みください。

撮影した画像が明るすぎる、暗すぎる。

- ・不適切な状態で AE ロックがかかっていないか確認してください。(→186)

1 回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ・ドライブモードを [■] (連写) に合わせているときは、シャッターボタンを押したままにすると連写されます。(→144)
- ・[プラケット] を設定しているときは、シャッターボタンを押すと自動で設定を変えて複数枚の画像を撮影します。(→175)

ピントが合わない。

- 以下の内容を確認してください。
 - ピントが合う範囲から外れていないか。
 - [シャッター半押し AF] が [OFF] になっていないか。(→292)
 - [フォーカス/レリーズ優先] が [レリーズ] になっていないか。(→295)
 - 不適切な状態で AF ロック (→186) がかかっていないか。

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、三脚とセルフタイマーを使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下の内容をお試しください。
 - ISO 感度を低くする (→187)
 - [フォトスタイル] の [ノイズリダクション] をプラス方向にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目をマイナス方向に調整する (→194)
 - [長秒ノイズ除去] を [ON] に設定する (→281)

被写体が曲がって撮影される。

- 以下の機能を使用中は、動いている被写体を撮影すると被写体が曲がって撮影される場合があります。
 - 電子シャッター
 - 動画撮影
 - 4K フォト
- これは、本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯や LED などの照明下でちらつきや横しまが出る。

- 本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター (→180) 使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 動画撮影中にちらつきや横しまが目立つ場合は、シャッタースピードを固定することで軽減できます。[フリッカーレンズ] (→290) を設定するか、[M] モード (→214) で撮影してください。



ISO 感度が高いとき、横しまが出る。

- ISO 感度が高いとき、使用するレンズによっては横しまが撮影されることがあります。ISO 感度を低くしてください。(→187)

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯や LED などの照明下では、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するもので、異常ではありません。
- 極端に明るい場所や、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。

被写体がない明るい点が画像に記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性があります。[ピクセルリフレッシュ] (→316) を実行してください。

動画**動画が撮影できない。**

- 容量の大きなカードをお使いの場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 動画撮影には、対応したスピードクラスのカードが必要です。対応したカードをお使いください。(→31)

動画の再生音が小さい。

- 本機は音質向上のため、ダイナミックレンジが広く、幅広い音域を再生することができます。そのため、撮影された環境によっては再生音が小さく感じることがあります。故障ではありません。

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が記録される。記録される音声が非常に小さい。

- 撮影環境や使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に記録されることがあります。動画撮影中のフォーカス動作は [AF 連続動作] (→224) で [OFF] に設定できます。
- 動画撮影中にマイクの穴を塞がないでください。

動画に操作音が記録される。

- 撮影中の操作音が気になるときは、[REC M] モードに設定し、タッチ操作で撮影することをお勧めします。（→215）

フォーカスが合ってない部分にピーキングが表示される。

- [フォトスタイル] を [V-Log L] などガンマカーブを調整する設定にした場合、画像のノイズ成分がピントのコントラストとして誤って検出され、ピーキング表示されることがあります。

撮影前に MF アシストでピントを確認することをお勧めします。

レンズ

レンズを他のデジタルカメラに取り付けたときに、マニュアルフォーカス操作ができない。

- 交換レンズ (H-FS12032) は対応した機種でのみマニュアルフォーカス操作ができます。
詳しくは、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

再生

再生できない。撮影した画像がない。

- パソコンでフォルダーや画像を加工すると、本機で再生できません。パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。
- [再生モード] を設定すると、一部の画像が表示されません。[通常再生] に設定してください。（→318）

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正（[◆◎]、[◆\$◎]）が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。フラッシュモードを [◆] に変更するか、または [デジタル赤目補正] を [OFF] にして撮影することをお勧めします。（→204）

モニター／ファインダー

電源が入っているときに、モニター／ファインダーが消える。

- ・設定した時間内に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動 OFF] (→42) が働き、モニター／ファインダーが消灯します。
- ・アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- ・シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化して発生する現象です。故障ではありません。

[LVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- ・自分撮りモード時は、自動的にモニター表示に切り換わり、[LVF] ボタンとアイセンサーが無効になります。

フラッシュ

フラッシュが発光しない。

- ・以下の場合は発光しません。
 - フラッシュを閉じている。
 - [⌚] (発光禁止) になっている。(→200)
- ・以下の機能を使用中は、フラッシュは発光しません。
 - [⌚] モード
 - 動画撮影 (→209)、[4K フォト] (→149)、[フォーカスセレクト] (→161)
 - 電子シャッター (→180)
 - [サイレントモード] (→179)
 - [フィルター設定] (→196)

Wi-Fi 機能

Wi-Fi 接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi 接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用すると、電波が途切れことがあります。それらの機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー] などのメッセージが表示されます)
- カメラを金属製のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくい場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- 接続する無線アクセスポイントが使用可能であることを確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
 - カメラと無線アクセスポイントを近づけてください。
 - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの電源を入れ直してください。
 - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で本機に対応したチャンネルに設定してください。
 - 無線アクセスポイントの SSID が非通知に設定されていると、検出されない場合があります。SSID を入力して接続してください。(→368)
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動で接続が切断されることがあります。接続し直してください。

無線アクセスポイントに接続できない。

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化キーをご確認ください。(→368)
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できないことがあります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、他の無線機器の使用状況をご確認ください。

(iOS 機器) Wi-Fi 接続に失敗する。

- 表示されるメッセージに従ってカメラとの接続を許可してください。それでも接続できない場合は、スマートフォンの Wi-Fi 設定画面でカメラの SSID を選択して接続してください。SSID が表示されない場合は、カメラの電源を入れ直してください、もう一度接続の設定をしてください。

スマートフォンと Wi-Fi 接続できない。

- スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

パソコンと Wi-Fi 接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- OS のバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント（ローカルアカウント／Microsoft アカウント）があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi 機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。パソコンのワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[Wi-Fi 設定] メニューの [PC 接続設定] で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。（→374）
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。
- カメラと接続するパソコンの時計設定が大きくずれていると、OS によっては接続できないことがあります。

Web サービスに画像を送信するのに時間がかかる。**画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。**

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
 - [送信サイズ]（→372）で画像サイズを小さくして送信してください。
 - [動画分割]（→253）で動画を分割して送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。（→351）

Wi-Fi のパスワードを忘れた。

- ネットワーク設定をリセットしてください。（→316）
ただし、[Wi-Fi 設定] や [Bluetooth] で設定した情報もすべてリセットされます。([PicMate 設定] は除く）

テレビ、パソコン、プリンター

テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れる、色が付かない。

- ・テレビとの接続を確認してください。(→380)

ビエラリンク (HDMI) が動かない。

- ・カメラの[ビエラリンク]が[ON]になっていることを確認してください。(→315)
- ・接続した機器側のビエラリンク (HDMI) の設定を確認してください。
- ・カメラの電源を入れ直してください。

パソコンとの通信ができない。

- ・カメラの[USB モード]を[PC(Storage)]に設定してください。(→314)
- ・カメラの電源を入れ直してください。

プリンターに接続してもプリントができない。

- ・PictBridge 対応していないプリンターではプリントできません。
- ・カメラの[USB モード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(→314)

その他

カメラの電源を入／切したとき、またはカメラを振ったときに、レンズから「カタカタ」音がする。

撮影するときに、レンズから音がする。

- ・これはレンズ移動や絞り動作の音です。故障ではありません。

カメラが熱くなる。

- ・ご使用中、カメラの表面やモニターの裏側が多少熱くなることがあります、性能・品質には問題ありません。

使用上のお願い

❖ 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど）からはできるだけ離れて使う

- ・テレビの近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- ・スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- ・マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- ・本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出し、AC アダプターを一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- ・近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。

別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

本機のそばにクレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- ・外装ケースが変質したり塗装がはがれたりするおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品を長期間接触したままにしないでください。

❖ お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたは DC カプラーを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。

- ・汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれたりするおそれがあるので使用しないでください。
- ・化学雑巾を使用する場合は、その注意書きに従ってください。

❖ 撮像素子のごみの付着について

レンズ交換の際に、マウント内部にごみが入り込むと、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。本体の内部にごみやほこりが付着することを防ぐため、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップに付着したごみは必ず取り除いてください。

撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいため、やむをえずご自身でクリーニングする場合は、以下のことを必ずお守りください。

- ・市販のプロワーで撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにしてください。
- ・プロワーをレンズマウントより中に入れないでください。万一、プロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ・プロワー以外のものは使用しないでください。
- ・プロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ ファインダーのお手入れについて

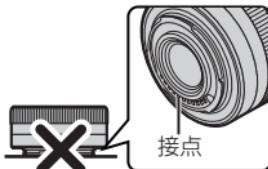
- ・アイカップは取り外しきれいなので、汚れた場合などお手入れの際は、プロワー（市販）でファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
- ・万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ モニター／ファインダー

- ・モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出ることや、故障の原因になることがあります。
- ・モニター／ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点や白い点が現れることや、常時点灯（赤や青、緑の点）することができます。これは故障ではありません。モニター／ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。また、これらの点は、カードの画像には記録されないためご安心ください。

❖ レンズについて

- ・レンズ部を強く押さないでください。
- ・レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- ・レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・レンズ取り付け部を下にして置かないでください。また、レンズの接点を汚さないようにお気をつけください。

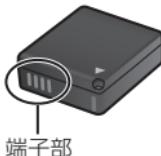


❖ バッテリー

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど性能への影響が大きくなります。

バッテリーの端子部を汚さないでください。

- ・汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。

- ・取り出したバッテリーはポリ袋などに入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

- ・端子部が変形したバッテリーをカメラに入れると、カメラを傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ・ホームページ <http://www.jbrc.com>



充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- ・端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- ・分解しないでください。

❖ AC アダプター

- ・充電時の環境によっては、静電気や電磁波の影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ・ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入ることがあります。使用時は 1 m 以上離してください。
- ・使用中に AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- ・使用後は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いてください。（接続したままにすると、最大約 0.1 W の電力を消費します）

❖ カード

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。

カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。

カードに強い振動を与えないでください。

- ・カードや撮影データが壊れるおそれがあります。

- ・使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。

- ・カードの端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

❖ 個人情報について

カメラ内および撮影した画像には個人情報が含まれます。個人情報の保護のため、Wi-Fi パスワードや Wi-Fi 機能ロックを設定してセキュリティーを強化することをお勧めします。（→374、375）

- ・画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。よくご確認のうえ、Web サービスに画像をアップロードしてください。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡／廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、カメラ内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を、[ネットワーク設定リセット] (→316) および [PicMate 設定] の [消去・退会] (→378) を実行して必ず消去してください。
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(→64)
- カメラからカードを取り出してください。
- 修理をすると、カメラが初期設定状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、カメラの操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

カードを廃棄／譲渡するときのお願い

カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

❖ 長期間使用しないときは

- バッテリーとカードは必ずカメラから取り出してください。バッテリーを入れたままにすると、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなることがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度: 15 ℃~25 ℃、推奨湿度: 40%RH~60%RH)
- 長期間保管する場合、1年に1回はバッテリーを充電し、カメラでバッテリーを使い切ってから、カメラから取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

❖ 画像データ

- ・不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

❖ 三脚／一脚

- ・カメラを取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- ・三脚／一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- ・ねじを締めすぎるとカメラに傷がつくことや、定格ラベルがはがれることがあるためお気をつけください。
- ・本機に径の大きなレンズを取り付けた場合、三脚／一脚によっては台座にレンズが接触するものがあります。接触した状態でねじを締めると、本機やレンズを損傷する事がありますので、三脚アダプター（別売：DMW-TA1）を取り付けてから三脚／一脚に装着することをお勧めします。
- ・三脚／一脚の取扱説明書もよくお読みください。

❖ ショルダーストラップ

- ・カメラに重いレンズを取り付けた場合は、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。カメラとレンズを持って持ち運んでください。

❖ Wi-Fi 機能

本機は無線 LAN 機器としてお使いください

無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線 LAN 機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。
あらかじめご了承ください。

磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- ・電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- ・2.4 GHz 帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

Wi-Fi 使用時は、利用する権限のない無線ネットワーク（SSID）が表示されることがあります、不正アクセスと見なされるおそれがあるため接続しないでください。

-
- ・本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
 - ・本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、セットアップメニューの【認証情報】で確認できます。

425 ページの「認証情報の表示方法」をご覧ください。

本機の無線 LAN 機能/Bluetooth 機能 (2.4 GHz 帯) が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4DS4/OF4/XX1

2.4 : 2400 MHz 帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX : 変調方式が DSSS、OFDM、その他の方式であることを示します。

1 : 想定される与干渉距離が約 10 m であることを示します。

4 : 想定される与干渉距離が約 40 m であることを示します。

無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえ、下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。

LUMIX (ルミックス)・ムービーご相談窓口



0120-878-638

パナは ロクサンハチ

受付時間
9:00~18:00 (年中無休)

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■ FAX フリーダイヤル
0120-878-236

■認証情報の表示方法

本機の認証情報は、メニュー画面で確認できます。

 →  → [認証情報] を選ぶ

■無線 LAN 接続について

本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。

バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間

付属のバッテリーを使用して撮影できる枚数と時間は下記のとおりです。

- 写真の撮影可能枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による。
- 当社製 SDHC メモリーカード使用。
- 交換レンズ（H-FS12032）使用。
- 記載している数値は目安です。

❖ 写真記録

	モニター使用時	ファインダー使用時
撮影可能枚数（枚）	270	250（900）

- （ ）内は【省電力ファインダー撮影】の【時間】を【1秒】に設定し、【省電力ファインダー撮影】が働いた場合の数値です。（CIPA 規格をベースにした当社測定条件による）

❖ 動画撮影（モニター使用時）

画質設定	4K/100M/30p	FHD/28M/60p	FHD/24M/24p
連続撮影可能時間（分）	80	90	130
実撮影可能時間（分）	40	45	65

- 実撮影可能時間とは、電源の【ON】／【OFF】切り換え、撮影の開始／終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

❖ 再生（モニター使用時）

再生使用時間（分）	220
-----------	-----



- 撮影可能枚数と撮影可能時間は、周囲の環境や使用条件によって変わります。例えば、以下の場合は減少します。
 - フラッシュ発光を繰り返したとき
 - スキー場などの低温下
- 満充電してもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

カードの静止画撮影枚数、動画記録時間

カードに記録できる写真の枚数と動画の時間は下記のとおりです。

- 記載している数値は目安です。

❖ 静止画撮影枚数（枚）

- 画像横縦比 [4:3] の場合

記録画素数	L (20M)		M (10M)		S (5M)	
クオリティ	■■■	RAW ■■■	■■■	RAW ■■■	■■■	RAW ■■■
16 GB	1450	450	2630	520	4600	570
32 GB	2910	900	5280	1050	9220	1150
64 GB	5810	1810	10510	2110	17640	2290
128 GB	11510	3590	20810	4180	34940	4550

❖ 動画記録時間（h：時間、m：分、s：秒）

- 動画記録時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

画質設定	4K/100M/30p 4K/100M/24p	FHD/28M/60p	FHD/20M/30p	FHD/24M/24p	HD/10M/30p
16 GB	20m00s	1h10m	1h35m	1h25m	3h05m
32 GB	41m00s	2h25m	3h 15m	2h50m	6h20m
64 GB	1h25m	5h00m	6h40m	5h50m	12h45m
128 GB	2h45m	9h55m	13h15m	11h35m	25h20m



- 撮影条件、カードの種類により静止画撮影枚数、動画記録時間は変動します。
- 静止画撮影枚数の残り枚数が 10000 枚以上の場合、撮影画面に [9999+] と表示されます。
- 画面には、連続して動画を記録できる時間が表示されます。

各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー	iA	IA	P	A	S	M	Q.M	S&Q	SCN	手
撮影										
画像横縦比	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓
記録画素数	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓
クオリティ		✓	✓	✓	✓	✓				✓
フォーカスモード	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓
AF 追従感度 (写真)			✓	✓	✓	✓				✓
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓				✓
フィルター設定	フィルター効果			✓	✓	✓	✓			
	フィルターなし同時記録			✓	✓	✓	✓			
色空間			✓	✓	✓	✓	✓			✓
測光モード			✓	✓	✓	✓	✓			✓
ハイライトシャドウ			✓	✓	✓	✓	✓			
iD レンジコントロール			✓	✓	✓	✓	✓			✓
超解像			✓	✓	✓	✓	✓			✓
フラッシュ設定			✓	✓	✓	✓	✓			✓
フラッシュモード			✓	✓	✓	✓	✓			✓
フラッシュシンクロ			✓	✓	✓	✓	✓			
フラッシュ光量調整			✓	✓	✓	✓	✓			✓
露出補正連動			✓	✓	✓	✓	✓			✓
ワイヤレスモード			✓	✓	✓	✓	✓			
ワイヤレスチャンネル			✓	✓	✓	✓	✓			
ワイヤレス通信光量			✓	✓	✓	✓	✓			
ワイヤレス設定			✓	✓	✓	✓	✓			
デジタル赤目補正			✓	✓	✓	✓	✓			✓
ISO 感度設定	ISO オート下限設定		✓	✓	✓	✓	✓			✓
(写真)	ISO オート上限設定		✓	✓	✓	✓	✓			✓
下限シャッター速度			✓	✓						
長秒ノイズ除去			✓	✓	✓	✓	✓			✓
シェーディング補正			✓	✓	✓	✓	✓			✓
回折補正			✓	✓	✓	✓	✓			✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓	✓	✓			✓
	電子補正 (動画)		✓	✓	✓	✓	✓			✓
EX テレコン (写真)			✓	✓	✓	✓	✓			✓
デジタルズーム			✓	✓	✓	✓	✓			✓
連写速度		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓

メニュー		IA	IA+	P	A	S	M	SCM	S&Q	SCN	6
4K フォト	撮影方法	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
	プリ記録	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
インターバル撮影		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
コマ撮りアニメ		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
ライブビューコンポジット撮影							✓				
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
シャッター方式			✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
プラケット		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
HDR			✓	✓	✓	✓	✓				
多重露出	自動ゲイン補正			✓	✓	✓	✓				
	再生画像と多重			✓	✓	✓	✓				
動画											
画質設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
スナップムービー		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォーカスマード		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF 連続動作		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF カスタム設定 (動画)		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓	✓	✓			
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓	✓				
輝度レベル設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
測光モード		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ハイライトシャドウ		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
i.Dynamicコントロール		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
超解像		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ISO 感度設定 (動画)	ISO オート下限設定							✓	✓		
	ISO オート上限設定							✓	✓		
回折補正		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	電子補正 (動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フリッカー軽減		✓	✓	✓	✓	✓	✓				
EX テレコン (動画)		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
デジタルズーム		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
動画撮影中の写真撮影		✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓

メニュー	IA	IB	P	A	S	M	SCM	S&Q	SCN	6
セルフタイマー	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベル表示		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
録音レベル設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
風音キャンセラー		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
風音低減 ^{※1}		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
レンズ動作音低減 ^{※2}		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
内蔵マイク設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
内蔵マイクアイコン表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
専用マイク設定 ^{※3}	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓

※1 外部マイク（別売）装着時に設定できます。

※2 パワーズーム対応の交換レンズ装着時に設定できます。

※3 ステレオガンマイクロホン（別売：DMW-MS2）装着時に設定できます。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	8.4 V ==
消費電力	2.9 W (モニター撮影時)、2.0 W (モニター再生時) [交換レンズ (H-FS12032) 使用時]

型式

型式	レンズ交換式デジタル一眼カメラ
記録メディア	SD メモリーカード／SDHC メモリーカード ^{※1} ／ SDXC メモリーカード ^{※1} ※1 UHS-I UHS Speed Class 3 対応
レンズマウント	マイクロフォーサーズマウント

撮像素子

撮像素子	4/3 型 Live MOS センサー、総画素数 2177 万画素、 原色カラーフィルター
カメラ有効画素数	2030 万画素

静止画記録形式

静止画ファイル形式	JPEG (DCF 準拠、Exif2.3.1 準拠) ／RAW
4K フォト ファイル形式	MP4 (H.264／MPEG-4 AVC、AAC (2ch))
記録画素数	画像横縦比 [4:3] 設定時 L : 5184 × 3888 M : 3712 × 2784 S : 2624 × 1968 4K フォト : 3328 × 2496 画像横縦比 [3:2] 設定時 L : 5184 × 3456 M : 3712 × 2480 S : 2624 × 1752 4K フォト : 3504 × 2336 画像横縦比 [16:9] 設定時 L : 5184 × 2920 M : 3840 × 2160 S : 1920 × 1080 4K フォト : 3840 × 2160

記録画素数	画像横縦比 [1:1] 設定時 L: 3888 × 3888 M: 2784 × 2784 S: 1968 × 1968 4K フォト: 2880 × 2880
クオリティ	ファイン／スタンダード／RAW+ファイン／RAW+スタンダード／RAW
動画記録形式	
動画フォーマット	MP4 (H.264／MPEG-4 AVC、AAC (2ch))
動画画質	本書 210 ページをお読みください。
ファインダー	
方式	アスペクト比 4:3、0.4 型、約 368 万ドット相当、 カラー液晶ライブビューファインダー (視野率約 100%)
倍率	約 0.73 倍 (35 mm フィルムカメラ換算) (-1.0 m^{-1} 50 mm 無限遠、画像横縦比 [4:3] 設定時)
アイポイント	約 20 mm (-1.0 m^{-1} 時)
視度調整範囲	-4.0～+2.0 diopter
モニター	
型式	アスペクト比 3:2、3.0 型、約 184 万ドットモニター、 静電容量方式タッチパネル (視野率約 100%)
フォーカス	
AF 方式	映像検出による TTL 方式 (コントラスト AF)
フォーカスマード	AFS／AFF／AFC／MF
オートフォーカス モード	顔・瞳認識／追尾／49 点／カスタムマルチ／1 点／ ピンポイント (タッチによるフォーカスエリア選択可能)
露出制御	
測光方式、 測光モード	1728 分割測光 マルチ測光／中央重点測光／スポット測光
測光範囲	EV 0～EV 18 (F2.0 レンズ、ISO100 換算)

露出	プログラム AE (P) / 絞り優先 AE (A) / シャッター優先 AE (S) / マニュアル露出 (M)
露出補正	1/3 EV ステップ、±5 EV
ISO 感度 (標準出力感度)	オート / インテリジェント ISO / 200~25600、 [拡張 ISO 感度] 設定時 : オート / 100~25600、 1/3 EV ステップ

ホワイトバランス

AWB / AWBc / AWBw / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / フラッシュ /
ホワイトセット 1・2・3・4 / 色温度 1・2・3・4

シャッター

形式	電子制御式単幕フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	<p>写真 :</p> <p>電子先幕 : タイム (最大約 60 秒)、60~1/500 秒</p> <p>電子シャッター : 1~1/16000 秒</p> <p>動画 :</p> <p>1/25^{※2}~1/16000 秒</p> <p>※2 [M] モードで [動画露出設定] を [M]、フォーカスモードを [MF] に設定時は、1/2 まで設定可能</p>

連写撮影

電子先幕	高速	6 コマ/秒 (AFS、MF) / 5 コマ/秒 (AFF、AFC)
	中速	4 コマ/秒
	低速	2 コマ/秒
電子シャッター	高速	10 コマ/秒
	中速	4 コマ/秒
	低速	2 コマ/秒
最大撮影可能コマ数	RAW ファイルなし : 480 コマ以上 RAW ファイルあり : 20 コマ以上 (当社測定条件による撮影時)	

最低被写体照度

約 9 lx (ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒)
[交換レンズ (H-FS12032) 使用時]

フラッシュ	
フラッシュ	TTL 調光内蔵ポップアップ式 GN5.1 相当 (ISO200・m) [GN3.6 相当 (ISO100・m)]
フラッシュモード	オート／赤目軽減オート／強制発光／赤目軽減強制発光／スローシンクロ／赤目軽減スローシンクロ／発光禁止
フラッシュ同調速度	1/50 秒以下
撮影可能範囲	約 0.4 m ~ 約 4.1 m [交換レンズ (H-FS12032) 装着、W 端、[ISO AUTO] 設定時]
ズーム	
デジタルズーム	2 倍
EX テレコン	写真：最大 2.0 倍（記録画素数 [S] 選択時） 動画：2.7 倍 (FHD) / 4.0 倍 (HD)
表示言語	
[日本語] / [ENGLISH] (英語) / [简体中文] (簡体字中国語) / [繁體中文] (繁体字中国語) / [한국어] (韓国語)	
マイク／スピーカー	
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
インターフェース	
HDMI	micro HDMI Type D
USB/CHARGE	USB 2.0 (High Speed) / USB 2.0 Micro-B
[MIC]	Ø3.5 mm ステレオミニジャック
外形寸法／質量	
外形寸法	約 幅 115.6 mm × 高さ 82.5 mm × 奥行き 54.2 mm (突起部除く)
質量	約 345 g (本体、バッテリー、カード含む) 約 303 g (本体のみ)
動作環境	
推奨使用温度	0 °C ~ 40 °C
許容相対湿度	10%RH ~ 80%RH

Wi-Fi

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412 MHz～2462 MHz (1～11ch)
暗号化方式	WPA TM ／WPA2 TM 、Wi-Fi 準拠
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

Bluetooth

準拠規格	Bluetooth v4.2、Bluetooth Low Energy (BLE)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402 MHz～2480 MHz

AC アダプター: SAE0012B

入力	100–240 V～ 50/60 Hz 0.2 A 13 VA (100 V) 18 VA (240 V)
出力	5 V = 1.0 A

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BLG10

電圧／容量	7.2 V／1025 mAh
-------	----------------

本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

～	AC (交流)
---	DC (直流)
<input checked="" type="checkbox"/>	クラス II 機器 (二重絶縁構造)

本機は一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) によって制定された統一規格 DCF (Design rule for Camera File system) および、Exif (Exchangeable Image File Format) に準拠しています。DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。Exif とは、撮影情報などの付帯情報を追加できる写真用のファイルフォーマットです。

交換レンズ：

H-FS12032 (LUMIX G VARIO 12-32 mm/F3.5-5.6 ASPH./MEGA O.I.S.)

焦点距離	f=12 mm~32 mm (35 mm フィルムカメラ換算：24 mm~64 mm)
絞り形式	7 枚羽根 円形虹彩絞り
開放絞り	F3.5 (W 端時) ~F5.6 (T 端時)
最小絞り値	F22
レンズ構成	7 群 8 枚 (非球面レンズ 3 枚、ED レンズ 1 枚)
撮影範囲	0.2 m~∞ [撮像面から] (焦点距離 12 mm~20 mm) 0.3 m~∞ [撮像面から] (焦点距離 21 mm~32 mm)
最大撮影倍率	0.13x (35 mm フィルムカメラ換算：0.26x)
手ブレ補正	あり
マウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	84° (W 端時) ~37° (T 端時)
フィルター径	37 mm
最大径	Ø55.5 mm
全長	約 24 mm (レンズ先端からレンズマウント基準面まで、レンズ鏡筒収納時)
質量	約 67 g
推奨使用温度	0 °C~40 °C
許容相対湿度	10%RH~80%RH

トライポッドグリップ：DMW-SHGR1

積載質量 (積載カメラ本体、 レンズ、バッテリー、 その他装着品の総質量)	1.2 kg 以下
外形寸法（収納時）	約 幅 53.7 mm × 高さ 144.7 mm × 奥行き 45.5 mm (突起部除く)
外形寸法（三脚時）	約 幅 150.5 mm × 高さ 113.7 mm × 奥行き 133.4 mm (突起部除く)
接続ケーブルの 長さ	約 160 mm
質量	約 102 g
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH

商標、ライセンス



- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズロゴマークはオリンパス（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズ™ 及びフォーサーズロゴマークはオリンパス（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、OS X、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。



- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記（3）～（5）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報]で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0 または LGPL V2.1 に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/index.html>

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

あ行

アイカップ	418
アイセンサー	314
アイセンサーAF	293
青空をさわやかに撮る	101
圧縮率	110, 276
位置情報記録	312, 346
位置情報データ消去	372
イルミネーションをキラキラ撮る	101
色空間	277, 384
インターバル撮影	169, 283
インターバル動画作成	323
インテリジェントオートプラスモード	74
インテリジェントオートメニュー	274
インテリジェントオートモード	72
インテリジェントISO	188
インプレッシブアート	104
ヴィヴィッド	193
動くペットをきちんと撮る	102
エコモード	42, 313
お気に入り登録 (Wi-Fi接続)	370
お手入れ	417
オートフォーカス	116
オートフォーカスマード	119
オートホワイトバランス	190
オートマーキング	159
オートレビュー	300
オールドデイズ	104

か行

回折補正	282
ガイドライン表示	303
外部フラッシュ	393
外部マイク	394

カウントダウン後AF	307
顔・瞳認識	121
拡大表示	239
拡張ISO感度	292
下限シャッター速度	281
画質設定 (動画撮影時)	210, 288
画質調整	194
カスタムセット登録	265, 310
カスタムメニュー	292
カスタムモード	265
カスタムモードメニュー	266
風音キャンセラー	228, 290
風音低減	290, 395
画像回転	323
画像表示順	323
画像横縦比	108, 276
カレンダー表示	241
ガンマ設定 (フォトスタイル)	193
カード	31, 44, 420
機器名称	374
軌跡合成	246
輝度レベル設定	226, 289
逆光でふんわり撮る	100
逆光補正	73
記録画素数	109, 276
記録枠表示	305
クイックメニュー	60, 262
クイックAF	293
クオリティ	110, 276
クラウド上限枚数動作	372
クラウド同期サービス	364
クリアレタッチ	247
クリエイティブコントロールメニュー	275
クリエイティブコントロールモード	103

クリエイティブ動画メニュー	274	シネライク V	193
クリエイティブ動画モード	214	自分撮り	307
グループ画像	242	自分撮りモード	79
クロスフィルター	105	絞りブラケット	177
クロスプロセス	104	絞り優先 AE モード	88
言語設定	315	絞りリング設定	306
光学ズーム	139	写真再生	234
個人認証	307	シャッターディレイ	96, 284
コマ撮りアニメ	172, 283	シャッター半押しレリーズ	292
コマ撮りアニメ作成	323	シャッター半押し AF	292
コントラスト	195	シャッター方式	180, 284
コントロールダイヤル	54	シャッター優先 AE モード	90
さ行			
再生	234	シャッターリモコン	341
再生メニュー	317	シャープネス	195
再生モード	318	充電	37
彩度	195	消去	243
サイレントモード	179, 284	消去確認画面	324
撮影可能時間	426	常時プレビュー (M モード)	300
撮影可能枚数	426	省電力ファインダー撮影	42, 313
撮影距離基準	138	ショルダーストラップ	36
撮影メニュー	276	シルキーモノクローム	104
撮影モード	53	人物の肌をきれいに撮る	100
撮影/再生切換	258	人物をきれいに撮る	100
サムネイル表示	240	人物 (フォトスタイル)	193
三脚	422	シーンガイドメニュー	275
サンシャイン	105	シーンガイドモード	99
残枚数/残時間切換	305	シーン切換	275
シェーディング補正	282	水準器調整	316
ジオラマ	104	水準器表示	257
色調	195	水面をキラキラ撮る	101
自動画像転送	312, 344	スイーツをかわいく撮る	102
自動時刻合わせ	312, 348	スタンダード (フォトスタイル)	193
自動シーン判別	73	ステレオガンマイクロホン	291, 394
視度調整	56	スナップムービー	221
シネライク D	193	スポット測光	183
		スポーツをきれいに撮る	102

スマートフォンに画像を送る	299
..... 312, 353, 355	
スライドショー	55
スリープモード	66
スリープモードからの復帰動作	133, 299
..... 312, 342	
スリープモード (Wi-Fi)	295
スロー＆クイックメニュー	275
スロー＆クイックモード	387
ズーム	183
静止画撮影枚数	279
設定リセット	183
セットアップメニュー	281
セピア	281
ゼブラパターン表示	27
セルフタイマー	117
セルフタイマー自動解除	204, 281
全画像消去	258
センターマーカー表示	142, 282
専用マイク設定	181
操作ロック設定	316
送信サイズ	380
送信ファイル形式	315
測光モード	312
ソフトフォーカス	180, 284
ソフモード	180, 284
ソフタップ	180, 284
ソフタップ (動画)	258
ソフタップ (動画)	282
ソフタップ (動画)	104
ソフタップ (動画)	104
ソフタップ (動画)	238
ソフタップ (動画)	427
ソフタップ (動画)	305
ソフタップ (動画)	290
ソフタップ (動画)	236
ソフタップ (動画)	209
ソフタップ (動画)	253, 323
ソフタップ (動画)	288
た行	
タイム	94
タイトル入力	319
ダイナミックモノクローム	104
ダイヤル設定	298
ダイヤル動作切換設定	298
ダイレクトフォーカス移動	298
多重露出	294
タッチシャッター	286
タッチズーム	65
タッチ設定	141
タッチタブ	299
タッチパッド AF	133, 299
タッチパネル	55
タッチ AE	66
タッチ AF	131, 299
縦位置検出機能	51
縦位置自動回転	323
縦/横位置フォーカス切換	295
ダビング	387
中央重点測光	183
超解像	279
長秒ノイズ除去	281
追尾 (AF)	123
露付き	27
低照度 AF	117
デジタル赤目補正	204, 281
デジタルズーム	142, 282
デフォルトに戻す	258
手ブレ補正	181, 282
電子音	316
電子先幕	380
電子シャッター	315
電子補正 (動画)	180, 284
トイフォト	180, 284
トイピップ	180, 284
動画から写真を作成	238
動画記録時間	427
動画記録中の赤枠表示	305
動画撮影中の写真撮影	290
動画記録ボタン	236
動画再生	209
動画撮影	253, 323
動画分割	288
動画メニュー	288

動画露出設定	214, 274
時計設定	49, 310
ドライブモード	144
トライポッドグリップ	67
トラベル日付	311
取扱説明書の Web サイト	310
トリミング（切抜き）	322

な行

内蔵マイクアイコン表示	230
内蔵マイク設定	229
内蔵マイク設定（自分撮り）	81
ナチュラル（フォトスタイル）	193
認証情報	316
認証情報編集	320
ネットワークアドレス表示	375
ネットワーク設定リセット	316
ノイズリダクション	195

は行

ハイキー	104
ハイダイナミック	104
ハイライトシャドウ	278
ハイライト表示	304
パソコン接続	356, 383
発光禁止	199
バッテリー	37, 419
花をふんわり撮る	101
バルブ	341
パワーズームレンズ	143, 306
番号リセット	113, 316
バージョン表示	316
ピエラリンク	315, 381
比較明合成	244
ピクセルリフレッシュ	316
ヒストグラム表示	303
日付プリント	389

ピント	116, 224
ピンポイント AF 設定	293
ピンポイント（AF）	129
ピーキング	302
ファイル番号	111, 113, 384, 405
ファインダー	56, 398
ファンタジー	105
ファームウェアアップデート	26
フィルター効果	103, 196, 276
フィルター設定	196, 276
フィルターなし同時記録	103, 197, 276
風景をきれいに撮る	101
風景（フォトスタイル）	193
フォトスタイル	193, 276
フォルダーファイル番号	111, 113, 384, 405
フォルダー/ファイル設定	111, 316
フォーカスエリア選択	257
フォーカス合成	165
フォーカスセレクト	161
フォーカスブラケット	178
フォーカスモード	114
フォーカスリングロック	299
フォーカス枠のループ移動	295
フォーカス/レリーズ優先	295
フォーマット	45, 316
ブラケット	175, 284
フラッシュ	198
フラッシュ光量調整	202, 280
フラッシュシンクロ	203, 280
フラッシュ設定	199, 280
フラッシュモード	199, 280
プリ記録	151, 283
フリッカーレンズ	290
プリント	358, 388
プリント枚数	389

ブリーチバイパス	104
プレビュー	98
フレーム表示	232, 303
プログラムシフト	87
プログラム AE モード	86
プロテクト	318
プロフィール設定	309
ボケ味コントロール	77, 107
星空 AF	117
ホットシューカバー	393
ポップ	104
ほのぼのした雰囲気で撮る	100
ホワイトバランス	189
ホワイトバランス調整	192
ホワイトバランスブラケット	178

ま行

マイメニュー	267
マイメニュー設定	268
前ダイヤル	54
マニュアルフォーカス	135
マニュアル露出モード	92
マルチ測光	183
メニューガイド	305
文字入力	325
文字焼き込み	321
モニター	48, 398
モニター輝度	314
モニター撮影情報画面	58, 61, 402
モニター調整	313
モニター表示速度	313
モノクロで撮る	102
モノクロライブビュー	300
モノクローム	104, 193

や行

夜景を暖かく撮る	101
夜景をアーティスティックに撮る	101
夜景をきれいに撮る	101
夜景を手持ちで撮る	101
夜景をバックに人物をきれいに撮る	101
夕焼けを印象的に撮る	101
夕焼けを幻想的に撮る	101
用紙サイズ	389
夜空をクールに撮る	101

ら行

ライブビューコンポジット撮影	95
ライブビューブースト	301
ラフモノクローム	104
リサイズ（縮小）	322
リモート起動	312, 347
リモート撮影	340
粒状	195
料理をおいしそうに撮る	101
レイアウト	389
レトロ	104
連写	145
連写速度	146, 283
レンズ	30, 46
レンズ位置メモリー	306
レンズ動作音低減	228
レンズ Fn ボタン設定	306
連続撮影可能時間	426
連続撮影可能枚数	146
レーティング	319
録音レベル設定	227, 290
録音レベル表示	227, 290
露出ブラケット	177
露出補正	184

露出補正画面の操作	297	AF 補助光	294
露出補正リセット	292	AF 連続動作	224, 288
露出補正連動	203, 280	AFC	114
露出メーター	304	AFF	114
ローキー	104	AFS	114
わ行			
ワイヤレス設定	207, 280	AF/AE ロック	186
ワイヤレスチャンネル	206, 280	AF/AE ロック維持	292
ワイヤレス通信光量	208, 280	AF/AE ロック切換	186, 292
ワイヤレスフラッシュ	205	AF+AE	132
ワイヤレスプリント	358	AF+MF	296
ワイヤレスモード	206, 280	Android	329
ワンプッシュAE	257	AV 機器 (Wi-Fi 接続)	360
ワンポイントカラー	105	Bluetooth	312, 330
ワールドタイム	310	CLUB Panasonic 登録	310, 449
英数字			
1点 (AF)	128	DC カブラー	391
1枚消去	243	DCF 規格	435
49点 (AF)	124	EX テレコン	140, 282, 290
4K フォト	149, 283	Fn ボタン	255
4K フォト一括保存	160, 320	Fn ボタン設定	256, 297
4K フォト再生	258	HDAVI Control™	381
4K プリ連写	150	HDMI 出力解像度 (再生時)	315
4K ライブクロップ	216, 274	HDMI 情報表示 (撮影時)	315
4K 連写	150	HDMI 端子	379
4K 連写ファイル	154	HDMI マイクロケーブル	379, 380, 381
4K 連写 (広角)	82	HDR	285
4K 連写 (S/S)	150	i 手持ち夜景	76, 274
5軸ハイブリッド手ブレ補正	181	iD レンジコントロール	279
AC アダプター	391, 420	iHDR	76, 274
AF	116	iOS	329
AF-ON	186	ISO 感度	187
AF エリア表示	295	ISO 感度画面の操作	297
AF カスタム設定 (動画)	225, 288	ISO 感度ステップ	292
AF 追従感度 (写真)	118	ISO 感度設定 (写真)	281
		ISO 感度設定 (動画)	226, 289
		i.ISO	188
		Log 撮影	233

LUMIX CLUB (PicMate)	375	Wi-Fi 機能ロック	375
LUMIX Sync	329	Wi-Fi 設定メニュー	311, 374
LVF 輝度	314	Wi-Fi ネットワーク設定	312
LVF 調整	313	Wi-Fi パスワード	374
LVF 表示速度	313	WIRELESS 接続ランプ	312, 326
LVF/モニター切換	314	WPS	366, 369
LVF/モニター自動 OFF	42, 313		
LVF/モニター表示スタイル	257		
LVF/モニター表示設定	305		
L. モノクローム	193		
L. モノクローム D	193		
MF	114, 135		
MF アシスト	296		
MF アシスト表示	296		
MF ガイド	304		
PC 接続設定	374		
PHOTOfunSTUDIO	385		
PicMate 設定	375		
PictBridge	388		
Q.MENU	60, 262, 297		
RAW	110		
RAW 現像	249, 320		
SD スピードクラス	31		
S&Q モード	218		
S&Q 画質設定	220		
S&Q 効果	220		
S&Q 露出設定	220		
UHS スピードクラス	31		
USB 接続ケーブル	39, 314, 379, 383, 387, 388		
USB モード	314		
USB/CHARGE 端子	39, 379		
Video スピードクラス	31		
V-Log L	233		
Web サービス	362		
Wi-Fi	311, 326		
Wi-Fi 機能	311, 326		

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな?と思ったら」(406~407 ページと 408~416 ページ) でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。付属品や別売品のアクセサリーと組み合わせての現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリーも一緒に修理をご依頼ください。

● 製品名 デジタルカメラ/レンズ/三脚/ボディグリップキット、
レンズキット

● 品番 DC-G100V
 DC-G100K



お買い上げの品番に記入してください。

● 故障の状況 できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間

保証書は日本国内においてのみ有効です。

The warranty is valid only in Japan.

保证书承诺内容，仅限于产品在日本国内使用时有效。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間

8年

当社は、このデジタルカメラ/レンズ/トライポッドグリップキット、デジタルカメラ/レンズキットの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常ににおいや音がする
- ・映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体やACアダプターが破損した
- ・その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる

詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



●カメラのモニターに表示されるQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。以下の操作をするとQRコードを表示できます。

① [MENU] ボタンを押す

② [セットアップ] の [CLUB Panasonic 登録] から [QRコード表示] を選ぶ

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト
<http://www.panasonic.com/jp/support/>



LUMIX (ルミックス)・ムービー
使い方・お手入れなどのご相談窓口



バナは ロクサンハチ

0120-878-638 受付時間

9:00~18:00 (年中無休)

■上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル
0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談窓口



バナは イイヨ

0120-878-554

■上記電話番号がご利用いただけない場合
03-6633-6700

■FAX フリーダイヤル
0120-878-225



便利な修理サービスサイト
<http://club.panasonic.jp/repair/>

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 アプライアンス社
〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号
© Panasonic Corporation 2020

ファームウェアアップデート

■ファームウェアアップデートを実施しました。

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを実施しました。
以降では、追加および変更した機能について説明します。

取扱説明書と併せてお読みください。

- ・カメラのファームウェアのバージョンは、セットアップメニューの【バージョン表示】でご確認ください。
- ・ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、
下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>

クリックすると、「取扱説明書」の表紙に移動します。

ファームウェアバージョン 1.1

【LVF/モニター表示設定】に【モニター左右反転表示】、 【モニター上下反転表示】を追加

撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する／しないを設定できるようになりました。

 →  →  → [LVF/モニター表示設定] →
【モニター左右反転表示】／【モニター上下反転表示】を選ぶ

モニター左右反転表示	AUTO	モニターの開閉角度に合わせて、自動で左右を反転して表示します。
	ON	常に左右を反転して表示します。
	OFF	反転表示を行いません。
モニター上下反転表示	AUTO	モニターの回転角度に合わせて、自動で上下を反転して表示します。
	ON	常に上下を反転して表示します。
	OFF	反転表示を行いません。

- 初期設定は【AUTO】に設定されています。

-  • 本機能の設定は、再生画面には反映されません。

ファームウェアバージョン 1.2

【動画の縦位置情報】を追加

動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する／しないを、メニューで設定できるようになりました。

 →  →  → [動画の縦位置情報] を選ぶ

ON	縦位置情報を記録します。カメラを縦にして撮影した動画は、パソコンやスマートフォンなどで再生時に自動で縦向きに再生されます。
OFF	縦位置情報を記録しません。

- 初期設定は [ON] に設定されています。